

授業評価 2017

—学生による授業評価報告書—

【2017年度新規開設科目】

2018年3月



授業評価 2017
— 学生による授業評価報告書 —
【2017 年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2017」の概要</u> -----	1
I-1. 目的	
I-2. 構成と内容	
I-3. 方法と期間	
I-4. 時系列分析	
I-5. 回答者の特性	
I-6. 評価結果の提供と公表	
I-6-1. 評価結果の提供	
I-6-2. 評価結果の公表	
I-7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u> -----	21
II-1. 学部の分析結果	
II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-1-2. 学習への取組み姿勢	
II-1-3. 学部の授業評価	
II-1-4. 学部の重回帰分析	
II-2. 大学院の分析結果	
II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-2-2. 学習への取組み姿勢	
II-2-3. 大学院の授業評価	
II-2-4. 大学院の重回帰分析	
<u>III. 自由記述のまとめ</u> -----	105
III-1. 学部	
III-2. 大学院	
<u>付録</u> -----	200

2017 度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2017」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。今年度は、第13回目となり、例年の通り2017年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……コースまたは領域、プログラム(群)における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4～6年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第 3 に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第 4 に、放送大学は教員の 5 年任期制を採っており、再任のためには 5 年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第 3 の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査（放送授業）は、大きく分けて 3 つの部分からなっている。

第 1 は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について 4 段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の 2 つに分かれる。

第 2 は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第 3 は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については 197、198 頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2017 年度第 1 学期に本学で開講していた放送授業のうち、今年度に開設した科目及び前年度第 2 学期に開設した科目（開講 1 年目の科目）、学部 50 科目、大学院 14 科目、計 64 科目である（表 1-1 参照）。このような選定システムにすることで、開設後 4 年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず 1 回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	2017年度		2017年度			2017年度		2017年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	2	2	189	4%	生活健康科学	2	2	65	9%
基盤科目(外国語)	3	3	286	6%	人間発達科学	3	3	133	19%
生活と福祉	8	8	831	18%	人文学	2	2	148	21%
心理と教育	10	10	958	21%	情報学	1	1	25	4%
社会と産業	12	12	1,010	22%	社会経営科学	4	4	154	22%
人間と文化	4	4	441	10%	臨床心理学	2	2	180	26%
情報	3	3	219	5%	全体	14	14	705	100%
自然と環境	7	7	528	12%					
夏季集中科目(司書)	1	1	62	1%					
全体	50	50	4,524	100%					

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

調査票の配布は、これら 64 科目の全受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 11,515 名、大学院 1,512 名、計 13,027 名（いずれも延べ人数）に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行なった。

また、回収も郵送により行ない、調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 8 月中旬から 9 月末までの約 50 日間とした。有効回答数は学部 4,524 票、大学院 705 票、計 5,229 票であった(表 1-2 参照)。無記名調査ながら、有効回答率は学部 39.3%、大学院 46.6%、全体で 40.1%と、2016 年度の有効回答率（2016 年度新規開設科目 学部 40.6%、大学院 48.2%、全体 41.1%）と比較すると学部、大学院共に有効回答率はやや下がっている。

表 1-2 調査対象者数および有効回答率

	2017年新規開設科目			2016年新規開設科目			2015年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	11,515	4,524	39.3%	12,580	5,108	40.6%	13,698	5,901	43.1%
大学院	1,512	705	46.6%	939	453	48.2%	2,538	1,148	45.2%
計	13,027	5,229	40.1%	13,519	5,561	41.1%	16,236	7,049	43.4%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

次頁表1-3は、回答者の属性分布と母集団（全受講登録者）の属性分布を比較したものである。両者を比較して、属性分布が回答者と母集団で乖離していないかを検証する。

学部では、男性は+6.2ポイント、女性は-7.8ポイントで母集団との差は男性でプラス、女性でマイナスであった。

年齢階層別では19歳以下から50歳代の5層でマイナスとなり、19歳以下が-0.6ポイント、50歳代は-0.5ポイントと僅かに母集団を下回っていたが、20歳代は-5.9ポイント、30歳代は-6.0ポイント、40歳代は-4.4ポイントと大きな差であった。

60歳代、70歳以上はプラス10ポイントと7ポイントでプラス幅は大きかった。

学生種別では全科履修生は+2.8ポイント、選科履修生は-3.5ポイントで、科目履修生は母集団とほとんど変わらなかった。

一方、大学院の性別では男性が-3.2ポイントであったが、女性は+0.7ポイントの微増であった。

年齢階層では20歳代から40歳代までは2.8~4.3ポイントのマイナス、50歳代から70歳以上はプラスでそれぞれ1.5ポイント、5.1ポイント、3.2ポイントであった。

学生種別では修士全科生だけがプラスで8.1ポイント、修士選科生で-8.5ポイントと母集団との差は大きく、修士科目生は-0.7ポイントと僅かに下回っていた。

なお、ここの比率の高さと回答率の高さが連動してはいないことに留意されたい。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		2017年新規開設科目			2016年新規開設科目			2015年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	48.2%	42.0%	6.2ポイント	47.4%	42.2%	5.3ポイント	51.2%	53.1%	▲1.8ポイント
	女性	50.2%	58.0%	▲7.8ポイント	51.2%	57.8%	▲6.6ポイント	47.3%	46.9%	0.3ポイント
年齢階層別	19歳以下	0.4%	1.0%	▲0.6ポイント	0.2%	0.9%	▲0.8ポイント	0.4%	1.2%	▲0.8ポイント
	20～29歳	6.8%	12.7%	▲5.9ポイント	7.3%	13.1%	▲5.8ポイント	7.3%	13.8%	▲6.5ポイント
	30～39歳	11.1%	17.1%	▲6.0ポイント	13.7%	20.1%	▲6.4ポイント	12.5%	17.2%	▲4.7ポイント
	40～49歳	20.5%	24.9%	▲4.4ポイント	20.7%	25.8%	▲5.1ポイント	18.5%	20.9%	▲2.4ポイント
	50～59歳	19.1%	19.6%	▲0.5ポイント	18.5%	18.9%	▲0.4ポイント	18.3%	17.7%	0.6ポイント
	60～69歳	27.0%	17.0%	10.0ポイント	26.1%	15.3%	10.9ポイント	27.6%	19.8%	7.8ポイント
	70歳以上	14.7%	7.7%	7.0ポイント	13.0%	5.8%	7.2ポイント	14.9%	9.4%	5.5ポイント
学生種別	全科履修生	75.3%	72.5%	2.8ポイント	66.3%	66.4%	▲0.1ポイント	69.2%	72.2%	▲2.9ポイント
	選科履修生	17.7%	21.2%	▲3.5ポイント	21.0%	26.5%	▲5.6ポイント	16.4%	17.8%	▲1.4ポイント
	科目履修生	6.1%	6.2%	▲0.1ポイント	8.4%	7.1%	1.3ポイント	8.9%	8.1%	0.8ポイント
人数(N)		4,524	-	-	5,108	-	-	5,901	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		2017年新規開設科目			2016年新規開設科目			2015年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	51.1%	54.3%	▲3.2ポイント	65.1%	64.8%	0.3ポイント	52.4%	53.0%	▲0.6ポイント
	女性	46.4%	45.7%	0.7ポイント	33.1%	35.2%	▲2.1ポイント	44.0%	47.0%	▲3.0ポイント
年齢階層別	20～29歳	1.6%	4.8%	▲3.2ポイント	1.8%	3.7%	▲1.9ポイント	3.7%	5.2%	▲1.5ポイント
	30～39歳	9.2%	12.0%	▲2.8ポイント	7.5%	11.4%	▲3.9ポイント	10.5%	14.3%	▲3.8ポイント
	40～49歳	17.2%	21.5%	▲4.3ポイント	18.5%	23.4%	▲4.9ポイント	21.3%	23.6%	▲2.3ポイント
	50～59歳	30.1%	28.6%	1.5ポイント	27.4%	29.8%	▲2.4ポイント	26.7%	28.7%	▲1.9ポイント
	60～69歳	30.8%	25.7%	5.1ポイント	30.7%	24.0%	6.7ポイント	27.0%	21.6%	5.4ポイント
	70歳以上	10.6%	7.4%	3.2ポイント	13.5%	7.8%	5.7ポイント	9.6%	6.6%	3.0ポイント
学生種別	修士全科生	28.6%	20.5%	8.1ポイント	23.4%	17.6%	5.8ポイント	20.1%	18.3%	1.8ポイント
	修士選科生	62.6%	71.1%	▲8.5ポイント	63.1%	70.5%	▲7.3ポイント	66.5%	73.3%	▲6.9ポイント
	修士科目生	7.7%	8.4%	▲0.7ポイント	10.4%	12.0%	▲1.6ポイント	9.0%	8.4%	0.6ポイント
人数(N)		705	-	-	453	-	-	1,148	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

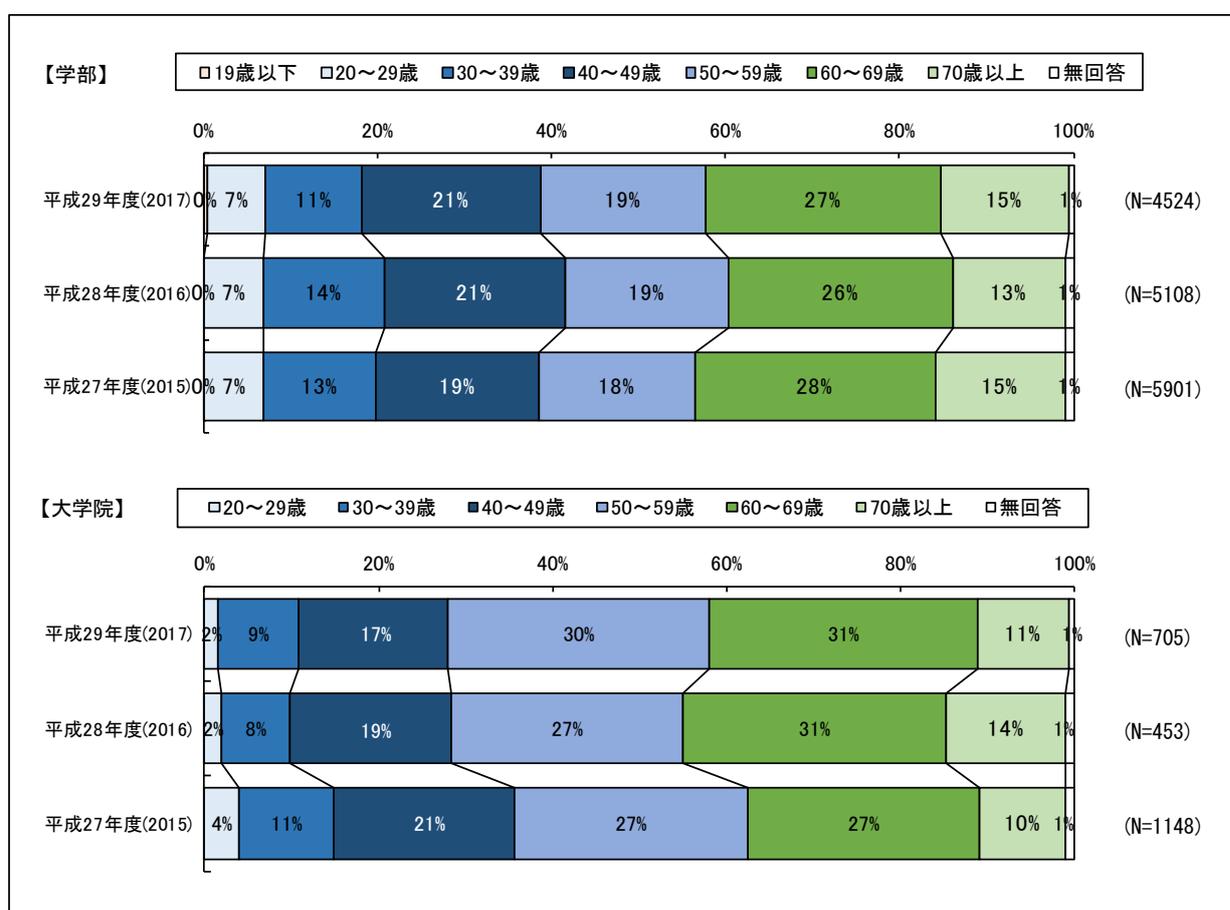
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらにみていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布(2017年新規開設科目)

年齢階層別に今年度(2017年新規開設科目)の回答者の分布をみると(図1-1)、学部では60歳代が最も多く27%、次いで30歳代が21%、40歳代が19%を占めた。各年度と全体の傾向はあまり変わらないものの、前回の調査と比べると、60歳代と70歳以上がやや増加していた。

大学院では50歳代と60歳代の割合が多く60歳代で31%を占めていた。前回の調査と比べると、40歳代と70歳以上が減少していた。

図1-1 年齢階層別回答者



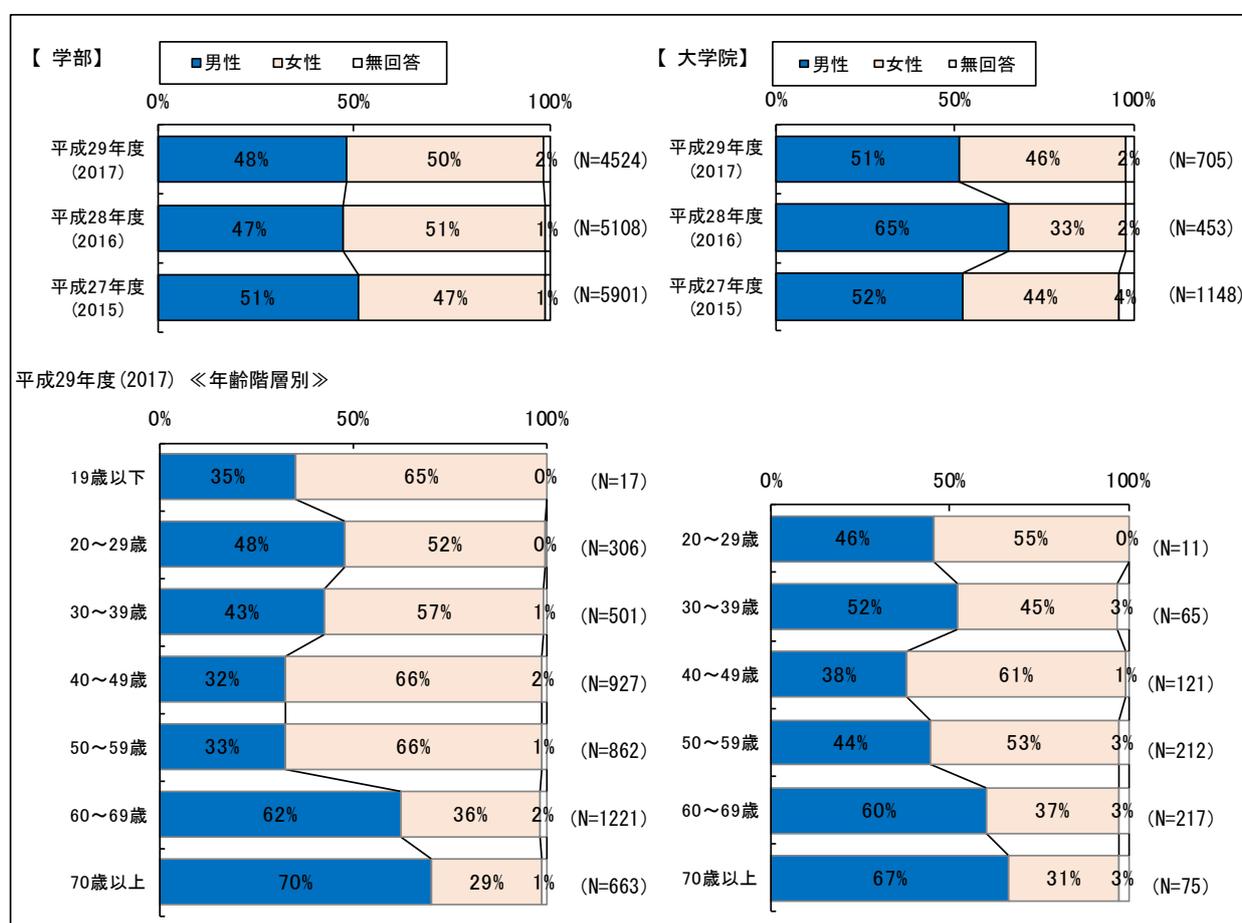
(3) 性別の傾向 (2017年新規開設科目)

学部では「男性」48%、「女性」50%で、昨年の調査に比べると「男性」の割合がやや増えている。また、「女性」が60%以上となったのは19歳以下(65%)と40歳代(66%)、50歳代(66%)で、70歳以上は29%と極端に少なかった(図1-2)。

大学院は、「男性」51%、「女性」46%と「男性」の比率が高く、昨年までの調査と比べると「女性」が+13ポイントと大きな増加がみられた。(反対に男性は14ポイント減)

年齢階層別で最も男女間に差があったのは70歳以上で、男性が67%と女性の2倍以上を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2017年新規開設科目)

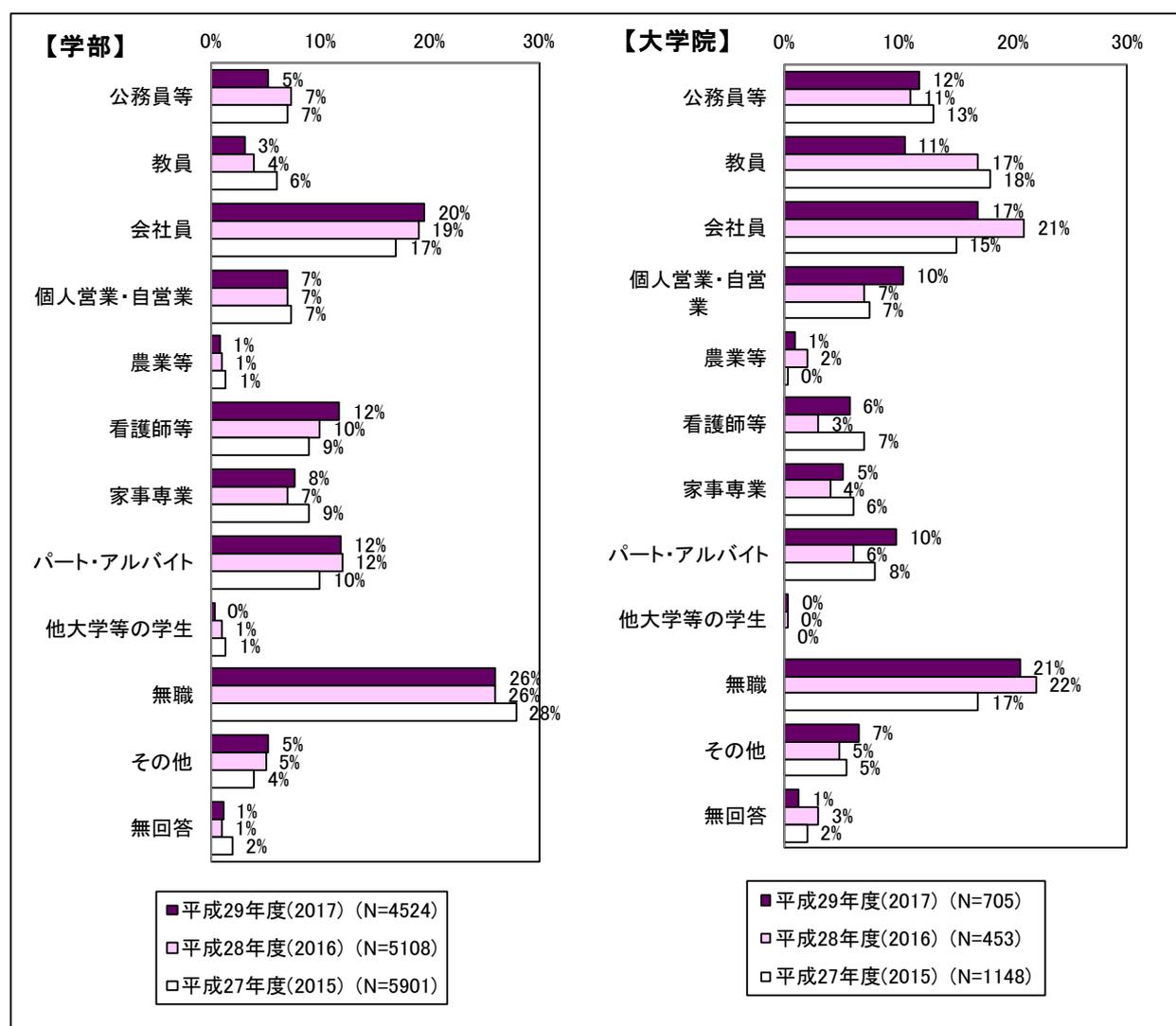
職業別では(図1-3)、学部は「無職」が26%と最も多く、次いで「会社員」20%、「看護師等」と「パート・アルバイト」が共に12%で上位。

時系列でみると、昨年よりも「会社員」「看護師等」の割合がやや増加している。

一方、大学院では「無職」が21%と最多で、次に「会社員」17%、「公務員等」12%「教員」11%と続いた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3 職業別回答者

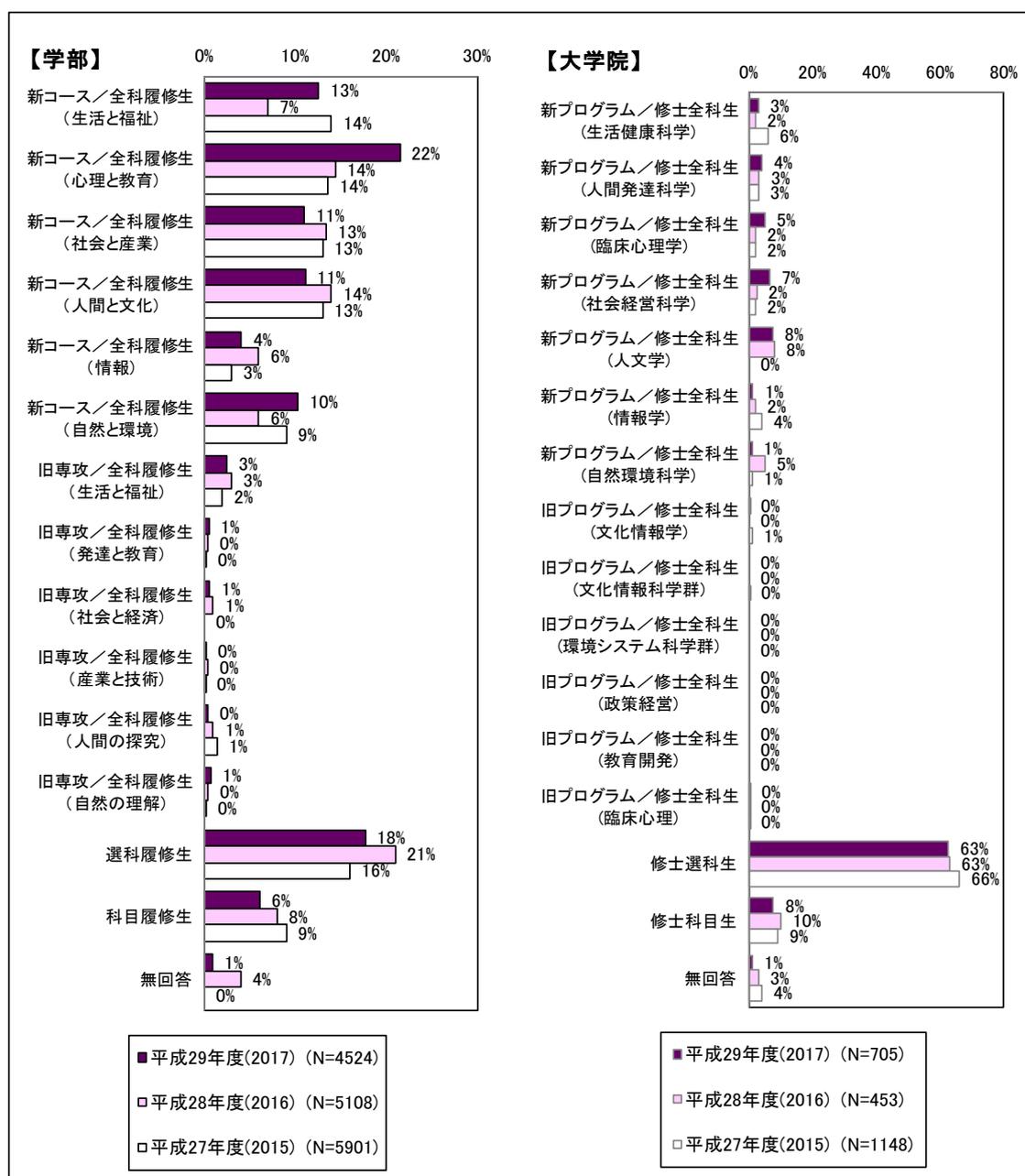


(5) 所属コース（プログラム）別分布（2017年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布をみると（図1-4）、学部では全科履修生が75%を占め、そのうち新コース所属が71%、旧専攻所属が5%となっている。全科履修生の中では、新コースの「心理と教育」（22%）、「生活と福祉」（13%）、「社会と産業」（11%）、「人間と文化」（11%）が上位を占めた。

大学院では修士選科生が63%を占めており、修士全科生が29%、修士科目生が8%であった。修士全科生の所属プログラムでは「人文学」（8%）、「社会経営科学」（7%）、「臨床心理学」（5%）が上位で、大きな差はみられなかった。

図1-4 学生の所属コース（プログラム）別回答者



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（4～8月中）や方法（オンライン上での調査・集計）が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・対象科目が少ない（学部5科目、大学院5科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1

2017年度学生による授業評価の調査結果【2017年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○○○○○ (R)

(○○○○)

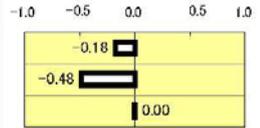
教員氏名 ○○○○

(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

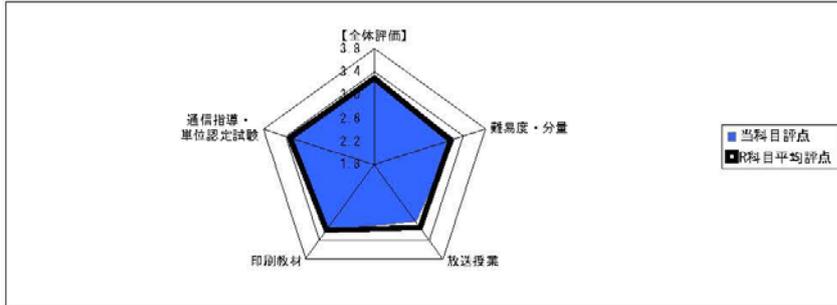
1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
取組姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	111	31%	51%	15%	3%	3.10	3.27	3.28
	A-2 放送授業を十分に視聴した	111	14%	29%	26%	32%	2.24	2.86	2.73
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	111	46%	43%	11%	0%	3.35	3.28	3.35

【当科目評点と、R科目平均評点との差】

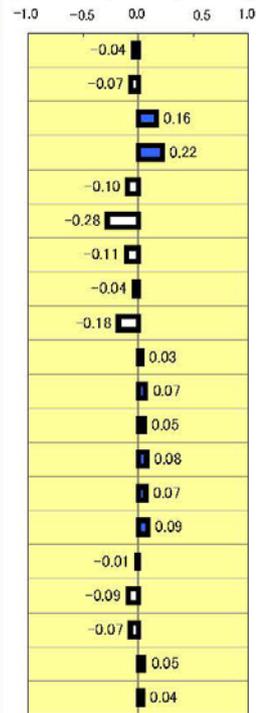


2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	94	34%	49%	9%	9%	3.09	3.19	3.13
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	93	35%	44%	11%	10%	3.05	3.18	3.12
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	110	45%	51%	4%	1%	3.39	3.22	3.23
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	111	49%	48%	4%	0%	3.45	3.23	3.23
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	86	37%	44%	8%	10%	3.08	3.22	3.18
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	86	36%	41%	12%	12%	3.01	3.33	3.29
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	84	33%	46%	10%	11%	3.02	3.21	3.13
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	82	32%	41%	13%	13%	2.91	3.12	2.95
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	86	35%	49%	7%	9%	3.09	3.27	3.27
	B-10 印刷教材の内容は明瞭で説明も分かりやすかった	109	37%	54%	8%	1%	3.27	3.20	3.23
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	106	27%	54%	18%	1%	3.08	3.10	3.01
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	108	41%	50%	9%	0%	3.31	3.25	3.26
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	106	44%	53%	3%	0%	3.42	3.30	3.34
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	107	50%	44%	6%	0%	3.45	3.34	3.38
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を測るのにふさわしい内容だった	107	44%	46%	8%	2%	3.32	3.18	3.23
全体評価	B-16 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	108	37%	52%	10%	1%	3.25	3.25	3.26
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	110	36%	51%	12%	1%	3.23	3.32	3.32
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	111	43%	52%	5%	0%	3.39	3.46	3.46
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	110	35%	52%	14%	0%	3.21	3.14	3.16
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	110	41%	50%	8%	1%	3.31	3.27	3.27

【当科目評点と、R科目平均評点との差】



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科目履修生(前コース所属)							全科目履修生(旧専攻所属)					全科目履修生(小計)				
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探求	自然の理解					
	40	5	3	3	0	5	8	0	0	0	2	0	66				
													32	6	7	111	
性別	男性	女性	無回答	計													
	20	89	2	111													
年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計								
	1	3	29	27	26	20	5	0	111								
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大卒等の学生	無職	その他	無回答	計				
	7	2	9	4	1	52	11	9	1	13	1	1	111				
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答		計										
	106	4	0	1	111												
単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ		ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ		放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ		無回答		計								
	3		58		42		8		111								

2017年度学生による授業評価の調査結果【2017年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価 平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価 平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価 平均												
	4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答													
合計(全体)	4524	43%	42%	12%	2%	84%	3.27	4524	32%	34%	21%	12%	2%	66%	2.88	4524	43%	41%	13%	2%	1%	84%	3.26							
生活と福祉	194	43%	45%	11%	2%	86%	3.28	1448	27%	33%	23%	14%	2%	60%	2.74	568	42%	44%	10%	2%	2%	86%	3.28							
心理と教育	233	45%	25%	6%	1%	84%	3.22	973	30%	36%	20%	13%	1%	66%	2.84	973	41%	43%	13%	2%	1%	84%	3.24							
社会と産業	389	43%	41%	13%	2%	83%	3.26	498	31%	33%	20%	14%	2%	64%	2.83	498	41%	40%	14%	4%	2%	81%	3.20							
人間と文化	213	43%	41%	13%	2%	83%	3.26	498	31%	33%	20%	14%	2%	64%	2.83	498	41%	40%	14%	4%	2%	81%	3.20							
情報	488	43%	41%	13%	2%	83%	3.26	498	31%	33%	20%	14%	2%	64%	2.83	498	41%	40%	14%	4%	2%	81%	3.20							
自然と環境	502	48%	36%	13%	1%	84%	3.34	502	36%	32%	21%	10%	2%	68%	2.95	502	46%	36%	15%	1%	2%	83%	3.29							
生活と福祉	243	43%	41%	13%	2%	83%	3.26	498	31%	33%	20%	14%	2%	64%	2.83	498	41%	40%	14%	4%	2%	81%	3.20							
発達と教育	186	37%	43%	15%	4%	80%	3.14	186	30%	36%	23%	11%	0%	66%	2.85	186	36%	44%	16%	4%	0%	80%	3.11							
社会と経済	69	80%	28%	8%	1%	87%	3.14	69	56%	67%	42%	21%	0%	66%	2.85	69	67%	81%	30%	8%	0%	80%	3.11							
産業と技術	464	47%	36%	13%	4%	82%	3.27	464	36%	34%	19%	10%	1%	69%	2.96	464	46%	36%	15%	3%	1%	81%	3.25							
人間の探究	216	46%	46%	8%	0%	85%	3.15	216	166	157	89	47	6	58%	2.69	216	212	165	68	15	4	85%	3.19							
自然の理解	111	29%	59%	8%	3%	87%	3.16	111	18%	38%	23%	18%	3%	56%	2.57	111	37%	51%	8%	2%	3%	87%	3.26							
社会と経済	32	65%	9%	3%	2%	77%	3.00	22	23%	23%	32%	18%	5%	46%	2.52	22	50%	32%	14%	5%	0%	82%	3.27							
産業と技術	22	32%	46%	14%	9%	77%	3.00	22	23%	23%	32%	18%	5%	46%	2.52	22	50%	32%	14%	5%	0%	82%	3.27							
人間の探究	7	10%	12%	2%	0%	85%	3.15	26	23%	35%	31%	12%	0%	58%	2.69	26	39%	46%	12%	4%	0%	85%	3.19							
自然の理解	10	12%	2%	0%	0%	87%	3.50	10	6%	9%	8%	3%	0%	71%	3.17	10	10%	12%	3%	1%	0%	86%	3.57							
産業と技術	7	57%	14%	14%	0%	71%	3.50	7	43%	29%	0%	14%	14%	71%	3.17	7	71%	14%	14%	0%	0%	86%	3.57							
人間の探究	20	50%	30%	15%	0%	80%	3.37	20	35%	30%	25%	5%	5%	65%	3.00	20	40%	50%	10%	0%	0%	90%	3.30							
自然の理解	10	6%	3%	0%	1%	80%	3.37	10	7%	6%	5%	1%	1%	65%	3.00	10	8%	10%	2%	0%	0%	90%	3.30							
産業と技術	33	27%	42%	21%	6%	70%	2.94	33	33%	30%	15%	12%	9%	64%	2.93	33	33%	36%	15%	9%	6%	70%	3.00							
人間の探究	9	14%	7%	2%	1%	84%	3.25	3410	11%	10%	5%	4%	3%	65%	2.85	3410	42%	41%	13%	3%	1%	83%	3.24							
自然の理解	3410	42%	42%	12%	2%	84%	3.25	3410	31%	34%	21%	13%	2%	65%	2.85	3410	42%	41%	13%	3%	1%	83%	3.24							
産業と技術	1430	42%	42%	12%	2%	84%	3.25	1430	1057	1155	710	429	59	65%	2.85	1430	1438	1392	450	88	42	86%	3.32							
人間の探究	801	46%	41%	10%	2%	87%	3.33	801	35%	34%	20%	9%	2%	69%	2.96	801	46%	40%	11%	2%	1%	86%	3.32							
自然の理解	366	47%	39%	11%	2%	87%	3.33	366	27%	27%	16%	7%	14%	73%	3.02	366	32%	32%	8%	13%	10%	86%	3.30							
産業と技術	274	47%	39%	11%	2%	87%	3.33	274	37%	37%	17%	9%	1%	73%	3.02	274	46%	39%	11%	3%	0%	86%	3.30							
人間の探究	129	108	29	5	3	88%	3.33	129	101	100	47	24	2	73%	3.02	129	127	108	31	7	1	86%	3.31							
自然の理解	3921	45%	42%	10%	1%	88%	3.33	3921	34%	35%	20%	11%	1%	68%	2.92	3921	45%	41%	12%	1%	1%	86%	3.31							
産業と技術	1781	45%	42%	10%	1%	88%	3.33	1781	1319	1358	770	427	47	68%	2.92	1781	1602	1602	455	53	29	86%	3.31							
人間の探究	324	24%	42%	24%	7%	65%	2.85	324	19%	36%	29%	15%	3%	54%	2.60	324	25%	40%	24%	9%	3%	65%	2.83							
自然の理解	77	135	77	24	11	84%	2.50	77	60	116	93	47	8	38%	2.34	77	80	131	76	29	8	53%	2.58							
産業と技術	151	20%	24%	28%	19%	44%	2.50	151	21%	17%	25%	28%	10%	38%	2.34	151	17%	36%	21%	17%	9%	53%	2.58							
人間の探究	30	36	42	28	15	84%	2.50	30	31	26	37	42	15	38%	2.34	30	25	55	32	25	14	53%	2.58							

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数字以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選択肢「あてはまる」：4点「ややあてはまる」：3点「あまりあてはまらない」：2点「あてはまらない」：1点「あてはまらない」として算出した。

提供資料サンプル【学部】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

〈参考までによろしければ以下についてもお答えください〉

この授業科目を学習するきっかけとして、本学の告知番組『授業科目案内』（テレビ又はラジオ）を視聴して決めましたか？
(1. はい ・ 2. いいえ)

提供資料サンプル【大学院】

大学院1 2017年度学生による授業評価の調査結果【2017年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○○○

(○○○○)

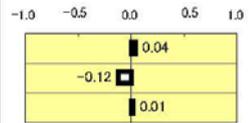
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

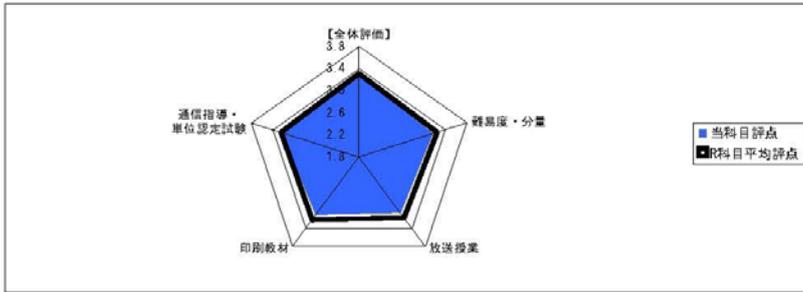
1. 取組み姿勢

	取組姿勢	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
				あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
	A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	57	46%	47%	5%	2%	3.37	3.38	3.33
	A-2	放送授業を十分に視聴した	57	26%	35%	28%	11%	2.77	3.01	2.89
	A-3	印刷教材を熱心に学習した	57	46%	46%	7%	2%	3.35	3.35	3.34

【当科目評点と、R科目平均評点との差】

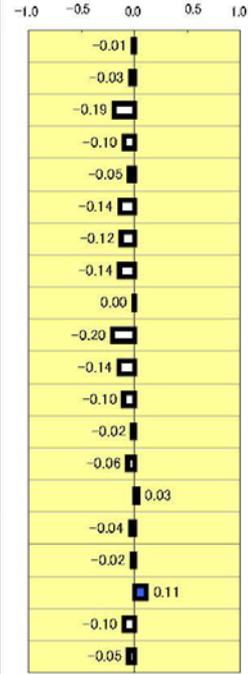


2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
難易度・分量	B-1	放送授業の難易度は適切だった	54	43%	43%	9%	6%	3.22	3.31	3.23
	B-2	放送授業の内容は適切な分量であった	54	37%	46%	13%	4%	3.17	3.28	3.20
	B-3	印刷教材の難易度は適切だった	56	34%	50%	11%	5%	3.13	3.33	3.31
	B-4	印刷教材の内容は適切な分量であった	56	43%	38%	14%	5%	3.18	3.31	3.28
放送授業	B-5	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	52	33%	48%	15%	4%	3.10	3.23	3.14
	B-6	講師の態度が十分に伝わった	53	42%	45%	9%	4%	3.25	3.44	3.38
	B-7	放送授業は教材としてよくできていると感じた	54	31%	46%	15%	7%	3.02	3.23	3.14
	B-8	映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	50	30%	38%	16%	16%	2.82	3.11	2.96
印刷教材	B-9	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	52	40%	48%	10%	2%	3.27	3.28	3.27
	B-10	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	55	27%	51%	18%	4%	3.02	3.23	3.22
	B-11	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	54	26%	46%	24%	4%	2.94	3.14	3.09
	B-12	印刷教材は教材としてよくできていると感じた	55	40%	38%	18%	4%	3.15	3.26	3.25
通信指導・単位認定試験	B-13	通信指導のコメントは、納得のいくものだった	53	36%	51%	13%	0%	3.23	3.30	3.24
	B-14	通信指導は学習内容の理解に役立った	54	35%	56%	7%	2%	3.24	3.31	3.30
	B-15	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を試みるのにふさわしい内容だった	52	38%	48%	12%	2%	3.23	3.21	3.20
全体評価	B-16	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	55	47%	35%	15%	4%	3.25	3.28	3.29
	B-17	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	55	51%	36%	9%	4%	3.35	3.42	3.37
	B-18	新しい知識が身につく視野が広がった	56	68%	25%	4%	4%	3.57	3.52	3.46
	B-19	この科目の内容を全体としてよく理解できた	56	36%	43%	16%	5%	3.09	3.25	3.19
	B-20	この科目の内容には全体として満足している	56	43%	41%	11%	5%	3.21	3.32	3.27

【当科目評点と、R科目平均評点との差】



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科目生(新プログラム所属)										修士全科目生(旧プログラム所属)			計		
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	文化情報学	文化情報科学	環境システム科学	政策経営	教育開発	臨床心理			
	15	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	19		
													修士全科目生	修士科目生	無回答	計
													31	1	6	57

性別	男性	女性	無回答	計
		20	35	2

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
		0	3	5	19	18	8	3	1

職業	公務員等	教員	会社員	個人事業・自営業	無業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学の学生	無職	その他	無回答	計
		3	10	7	3	0	18	2	2	0	4	7	1

通信指導・単位認定試験	通信指導		無回答	計
	受検	未受検		
	48	6	2	57

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ		ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ		放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ		無回答	計
	2	2	18	33				
	2	2	18	33	4	57		

2017年度学生による授業評価の調査結果【2017年度新規開設科目】（学生種別・通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院

学生種別	科目	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ					A-2 放送授業を十分に視聴した					A-3 印刷教材を熱心に学習した														
		回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価平均	回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価平均	回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価平均										
		4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答	4	3	2	1	無回答										
合計	(全体)	705	50%	40%	8%	2%	1%	90%	3.39	705	35%	34%	19%	11%	2%	68%	2.94	705	53%	35%	10%	2%	1%	87%	3.39	
	生活健康科学	21	24%	43%	24%	5%	1%	67%	2.90	21	14%	29%	48%	10%	0%	43%	2.48	21	38%	24%	0%	0%	0%	76%	3.14	
	人間発達科学	29	41%	35%	21%	3%	0%	76%	3.14	29	28%	41%	21%	10%	0%	69%	2.86	29	55%	24%	17%	3%	0%	79%	3.31	
	臨床心理学	35	46%	40%	14%	0%	0%	86%	3.31	35	31%	40%	26%	3%	0%	71%	3.00	35	54%	37%	6%	3%	0%	91%	3.43	
	社会健康科学	46	59%	35%	4%	2%	0%	94%	3.50	46	44%	26%	15%	11%	4%	70%	3.07	46	50%	35%	11%	0%	4%	85%	3.41	
	人文学	53	59%	38%	4%	0%	0%	96%	3.55	53	53%	30%	13%	4%	0%	83%	3.32	53	62%	32%	6%	0%	0%	94%	3.57	
	情報学	9	67%	0%	22%	11%	0%	67%	3.22	9	22%	11%	11%	56%	0%	33%	2.00	9	56%	22%	11%	11%	0%	78%	3.22	
	自然環境科学	6	17%	50%	17%	17%	0%	67%	2.67	6	0%	33%	0%	67%	0%	33%	1.67	6	50%	17%	33%	0%	0%	67%	3.17	
	文化情報学	1	0%	0%	0%	0%	100%	0.00	0.00	1	0%	0%	0%	0%	100%	0.00	0.00	1	0%	0%	100%	0%	0%	0%	2.00	
	文化情報科学群	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	
	環境防災科学群	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	
	政策経営	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	
	教育開発	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0.00	
	臨床心理	2	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50	2	50%	0%	50%	0%	0%	50%	3.00	2	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%	3.00
	全科履修生	202	49%	36%	11%	3%	1%	85%	3.33	202	36%	31%	20%	11%	2%	67%	2.94	202	53%	33%	12%	2%	1%	86%	3.39	
	【小計】	99	73	23	5	2	0	92%	3.40	441	34%	33%	20%	11%	2%	67%	2.91	441	52%	36%	10%	2%	1%	87%	3.39	
	選科履修生	54	56%	35%	7%	0%	2%	91%	3.49	54	35%	41%	15%	6%	4%	76%	3.10	54	57%	33%	6%	2%	2%	91%	3.49	
	科目履修生	621	53%	39%	7%	1%	1%	92%	3.44	621	36%	34%	18%	10%	2%	70%	2.98	621	56%	34%	8%	1%	1%	90%	3.46	
	単位	326	243	41	6	5	0	86%	3.18	50	24%	34%	34%	0%	56%	2.74	50	22%	46%	32%	0%	0%	68%	2.90		
	受験	17	26	6	1	0	0	86%	3.18	50	24%	34%	34%	0%	56%	2.74	50	22%	46%	32%	0%	0%	68%	2.90		
	未受験	22	18%	27%	27%	23%	5%	46%	2.43	22	5%	27%	32%	32%	5%	32%	2.05	22	23%	23%	27%	23%	5%	46%	2.48	
	通信指導未出席	4	6	6	5	1	1	6	7	1	6	7	7	7	1	32%	2.05	22	23%	23%	27%	23%	5%	46%	2.48	

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 「評価点」については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(大学院)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[修士全科生 新プログラム所属の方] 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 [修士全科生 旧プログラム所属の方] 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 [修士選科生・修士科目生] 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

<参考までによろしければ以下についてもお答えください>

この授業科目を学習するきっかけとして、本学の告知番組『授業科目案内』（テレビ又はラジオ）を視聴して決めましたか？
(1. はい ・ 2. いいえ)

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示する。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差も大きく出る可能性があるため、注意が必要である。たとえば、学部の職業別「他大学等の学生」（13人）や年齢階層別「19歳以下」（17人）、大学院の職業別「農業等」（6人）、「他大学等の学生」（3人）、年齢階層別「20～29歳」（11人）等の場合である。（参考値として、記載している。）

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体		(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	2,791	19歳以下	17
ラジオ科目(R)	1,732	20～29歳	306
職業		30～39歳	501
公務員等	240	40～49歳	927
教員	138	50～59歳	862
会社員	888	60～69歳	1,221
個人営業・自営業	317	70歳以上	663
農業等	38	コース	
看護師等	532	基盤科目	189
家事専業	348	基盤科目(外国語)	286
パート・アルバイト	538	生活と福祉	831
他大学等の学生	13	心理と教育	958
無職	1,182	社会と産業	1,010
その他	239	人間と文化	441
		情報	219
		自然と環境	528
		夏季集中科目(司書)	62
		夏季集中科目(看護)	-

【大学院】

全体		(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	-	20～29歳	11
ラジオ科目(R)	705	30～39歳	65
職業		40～49歳	121
公務員等	83	50～59歳	212
教員	74	60～69歳	217
会社員	120	70歳以上	75
個人営業・自営業	73	プログラム	
農業等	6	生活健康科学	65
看護師等	40	人間発達科学	133
家事専業	37	人文学	148
パート・アルバイト	69	情報学	25
他大学等の学生	3	社会経営科学	154
無職	145	臨床心理学	180
その他	46		

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の項目平均を算出したのが（図 2－1）である。

個々の平均値の算出方法は、評価項目の選択肢である「あてまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、項目ごとに得られた得点合計を回答者数で割った値である。

全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

肯定的評価は「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。

肯定的な評価（百分率）の方が（例えば回答者の 80% [8 割] と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に食い違いが出た場合、どちらを採用するか迷うことになるため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、2015 年からの開設年度比較の箇所は比率の差の検定結果から、学部はサンプルサイズが大きいため（2017 年度 4524 人、2016 年度 5108 人、2015 年度 5901 人）、概ね 2 ポイントの差で有意となり、1 ポイントでは有意差がなかったため 2 ポイント以上で差があることとした。

図 2－1 の全体的な傾向では、『放送授業』と『学習への取組み姿勢』は 76% と 78% で 8 割を下回ったが、『全体評価』までの他の 4 項目は 80% 以上の評価を得ていた。

中でも『全体評価』は 84% と項目間で最も高かった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』は共に 80% であった。

図 2－1 【学部】 項目平均による全体的傾向

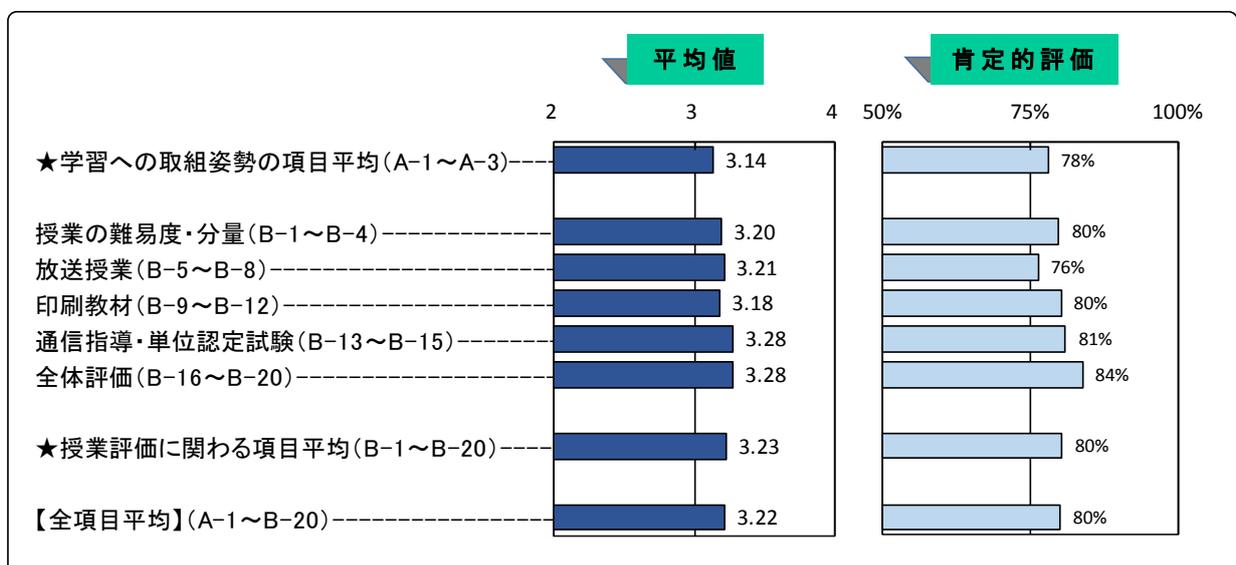
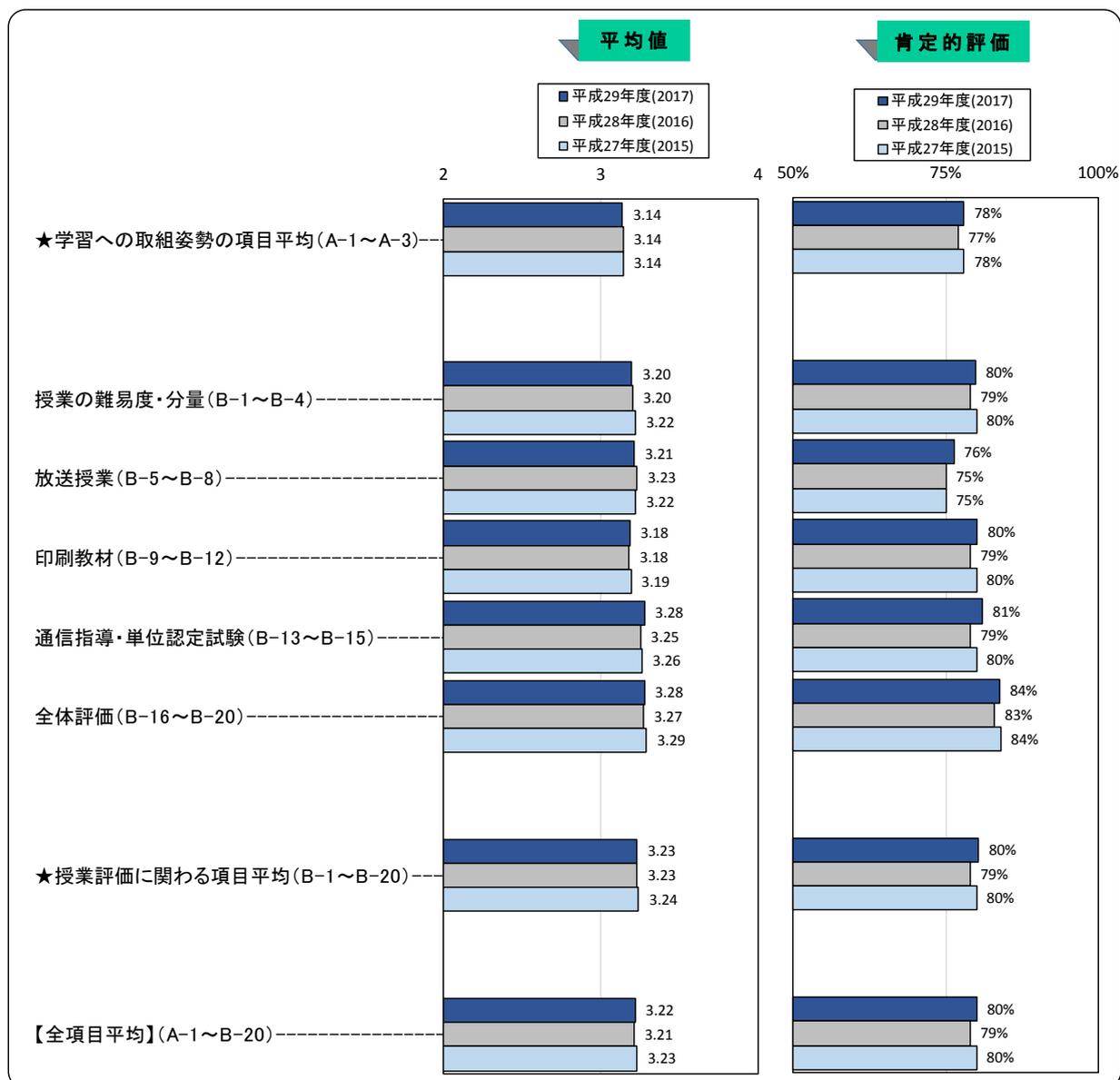


図2-2で過去2年度と2017年度を比較すると肯定的評価では『通信指導・単位認定試験』を除く全の項目で1ポイント以内の差でほとんど変わらなかった。

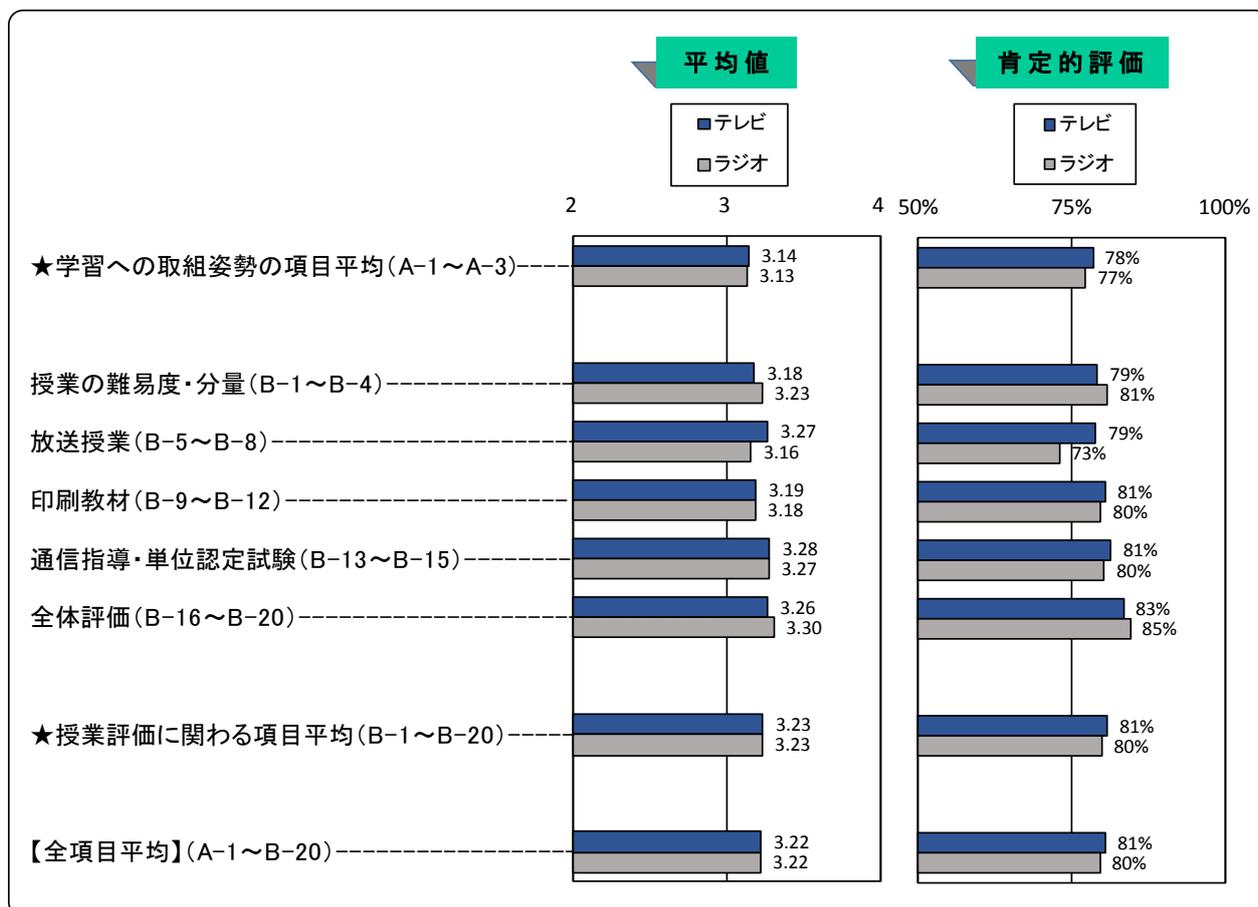
『通信指導・単位認定試験』だけは2017年度は2016年度に比べ2ポイントと僅かな上昇がみられた。

図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別に2017年度新規開設科目の『学習への取組姿勢』から『全体評価』までをみると(図2-3)、『放送授業』以外はテレビ科目(n=2791)とラジオ科目(n=1732)に差はほとんどみられなかった。評価に差のあった『放送授業』はテレビの方が、ラジオを6ポイントと大きく上回っていた。

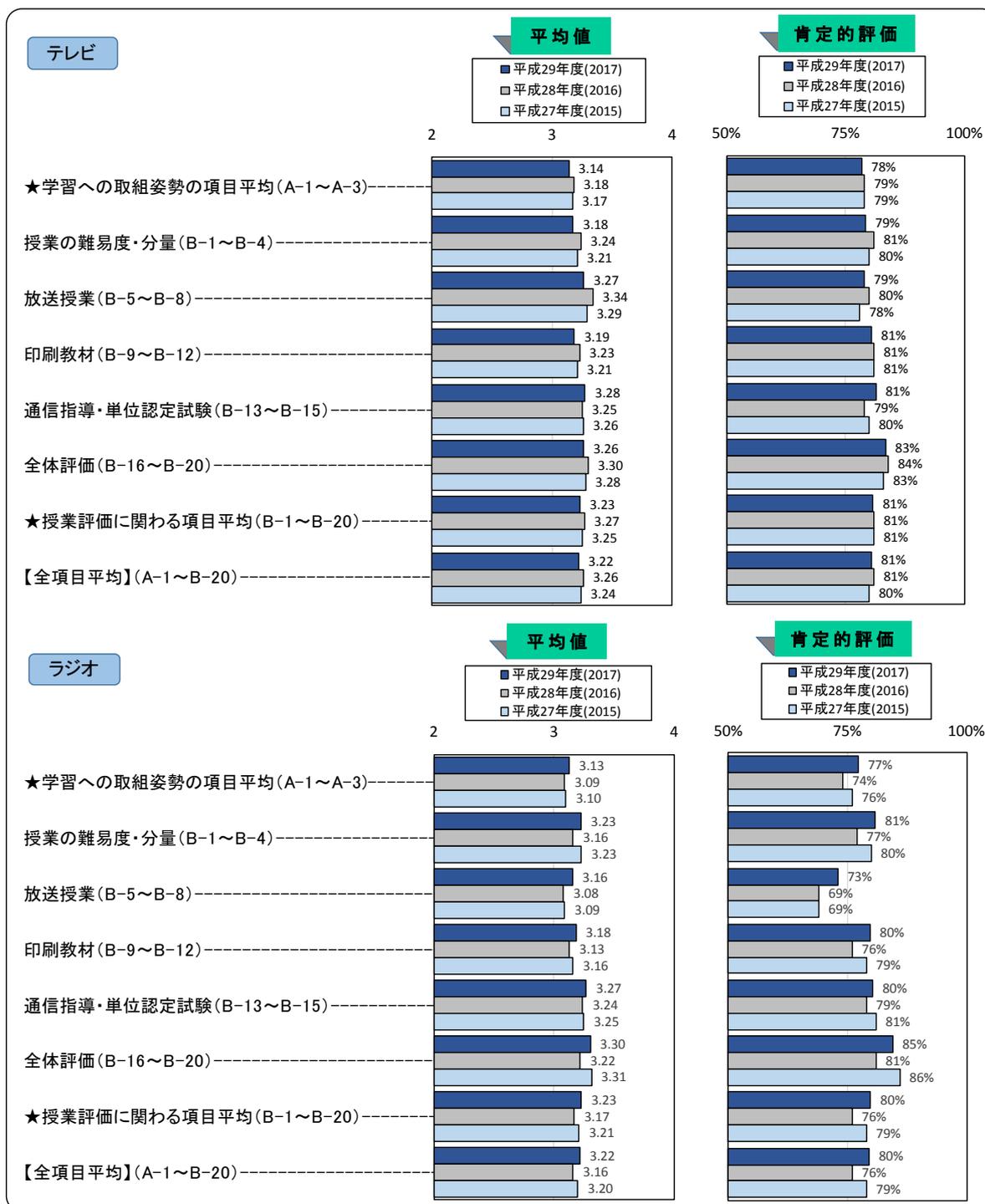
図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



次にメディア別の項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-4）、肯定的評価でテレビ科目は、2017年度は2015年度とほとんど変わらなかった。だが、2016年度との比較では『授業の難易度・分量』で減少傾向、『通信指導・単位認定試験』では増加傾向であった。

ラジオ科目では『通信指導・単位認定試験』を除く全てで2016年度から3～4ポイントの上昇がみられた。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



回答者の年齢階層別に 2017 年度新規開設科目の項目平均をみると（図 2-5）、肯定的評価で『印刷教材』と『通信指導・単位認定試験』を除く項目で 19 歳以下の評価が低かった。

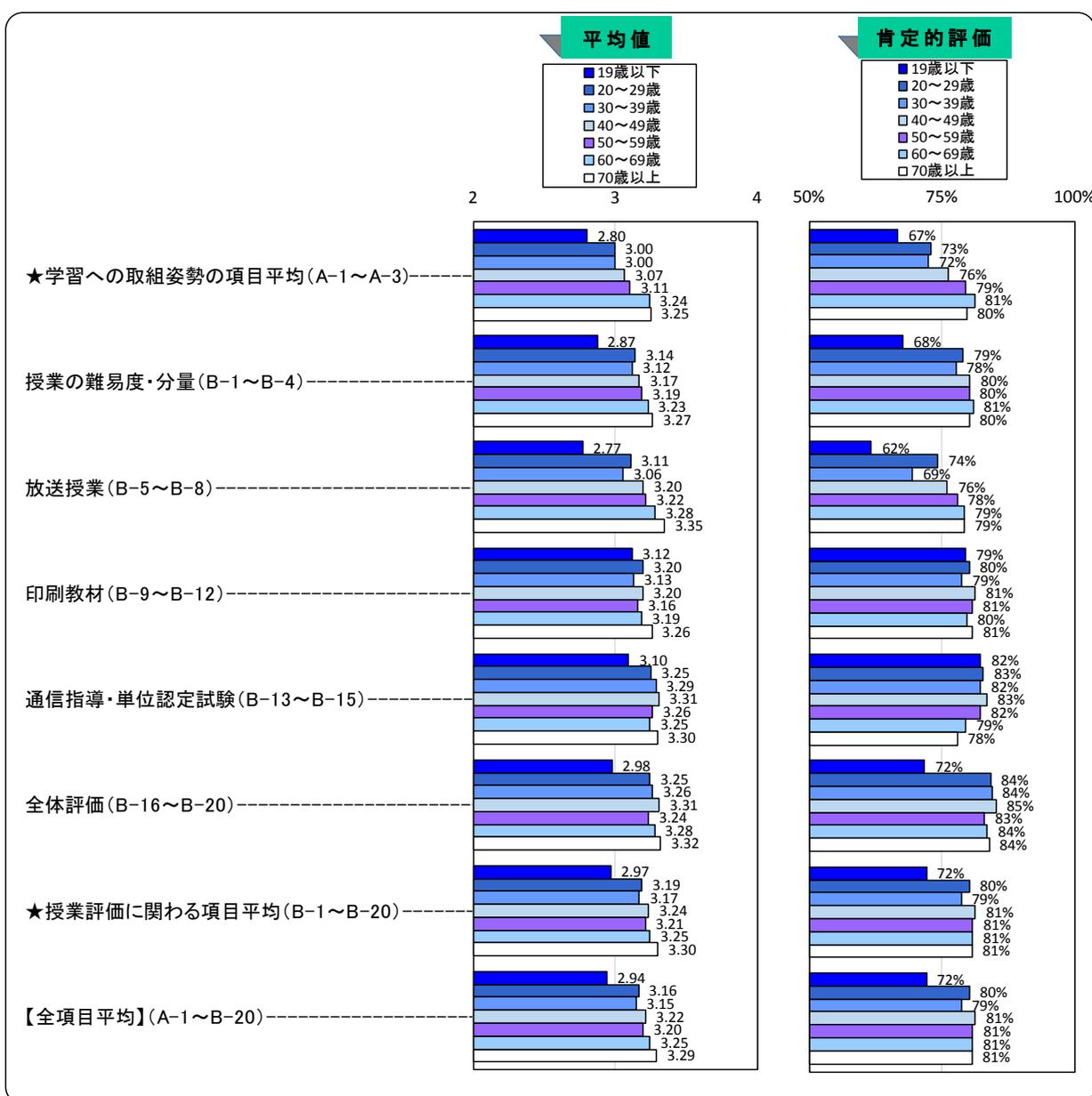
ただし、19 歳以下の標本数が 17 と小サンプルで誤差が大きくなるため、これ以降参考値として考えたい。

『学習への取組み姿勢』は概ね年代の上がるにつれ、評価の上昇がみられ 60 歳代、70 歳以上で 80% 前後に達していた。

『放送授業』は 30 歳代の評価の低さが目立っている。

『通信指導・単位認定試験』は 60 歳代と 70 歳以上の評価が低かった。

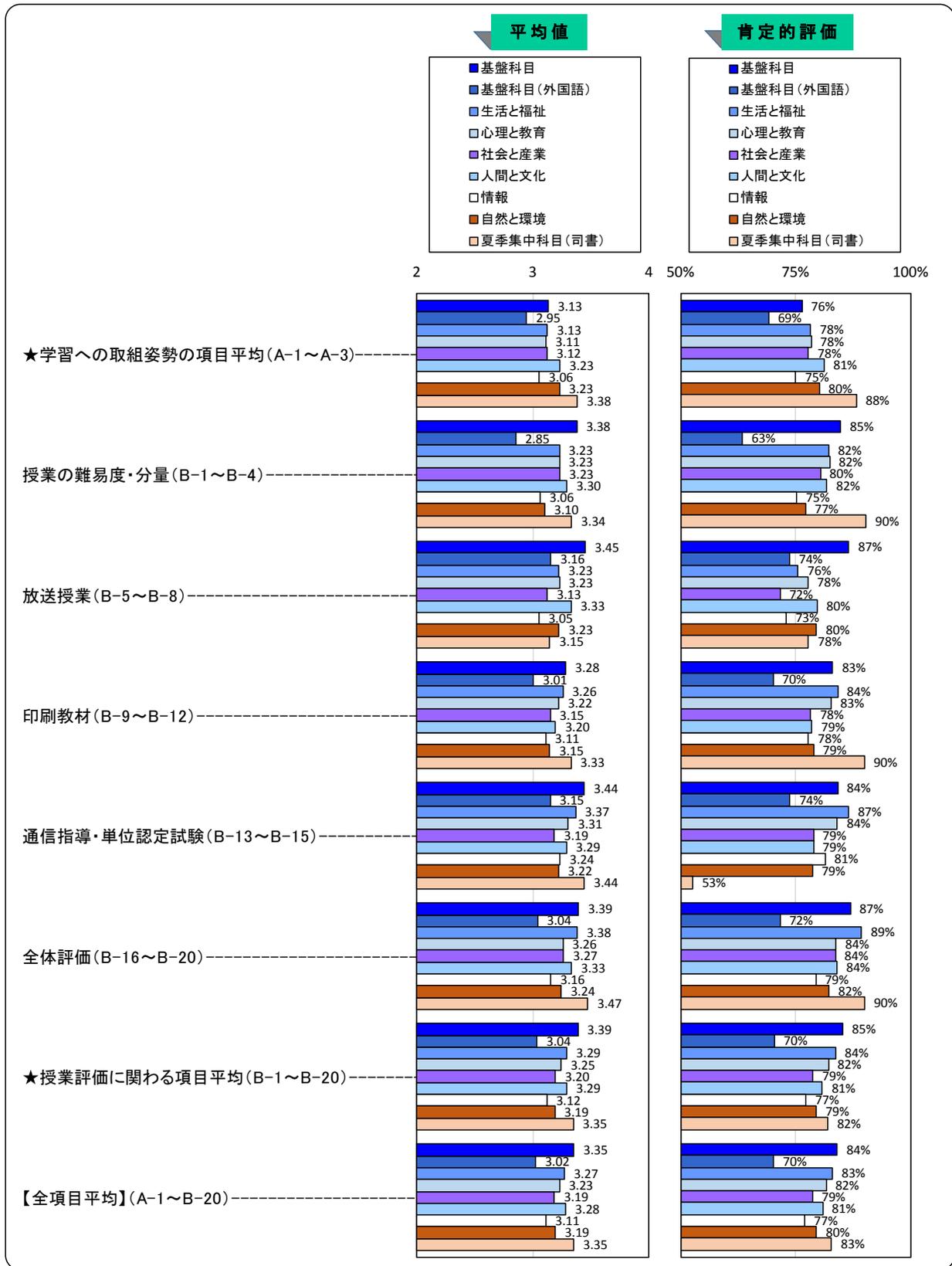
図 2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



科目の所属コース等別に項目平均をみると（次頁図 2 - 6）、「基盤科目（外国語）」は『放送授業』を除く全項目にわたって他の科目に比べ評価が低かった。

反対に夏季集中科目（司書は）『全体評価』までの 6 項目中『学習への取組み姿勢』『授業の難易度・分量』『印刷教材』『全体評価』の 4 項目で最も評価が高く、88%～90%の支持率であった。ただ、『通信指導・単位認定試験』（53%）については他の科目より 20 ポイント以上低く、固有の傾向がみられた。

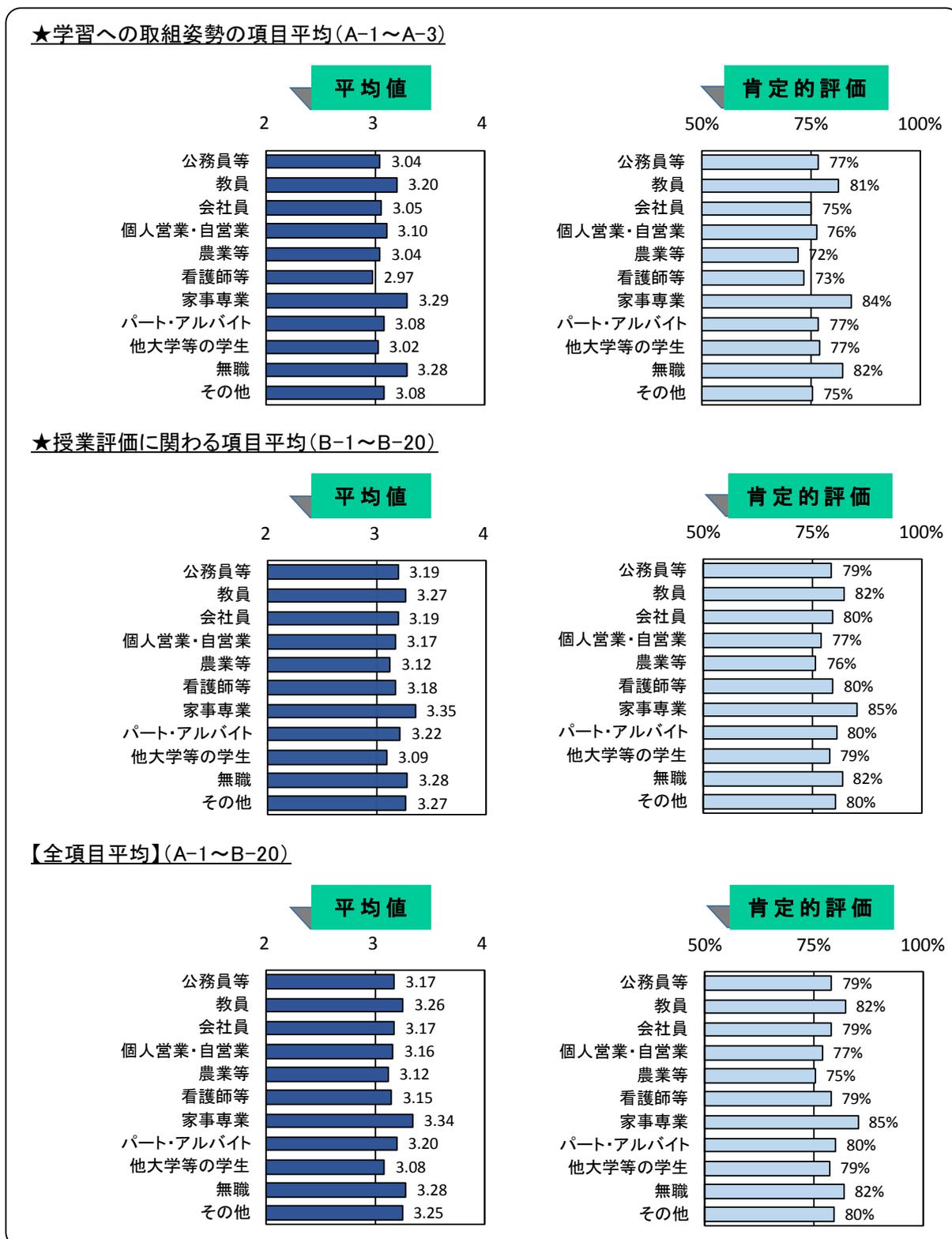
図 2-6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向



職業別では（図2-7）『学習への取組み姿勢』『授業評価に関わる項目平均』『全項目平均』共に「家事専業」の評価が最も高く、「教員」「無職」がこれに続く。

反対に最も評価が低かったのは「農業等」で、「家事専業」よりも10ポイント前後の差があった。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

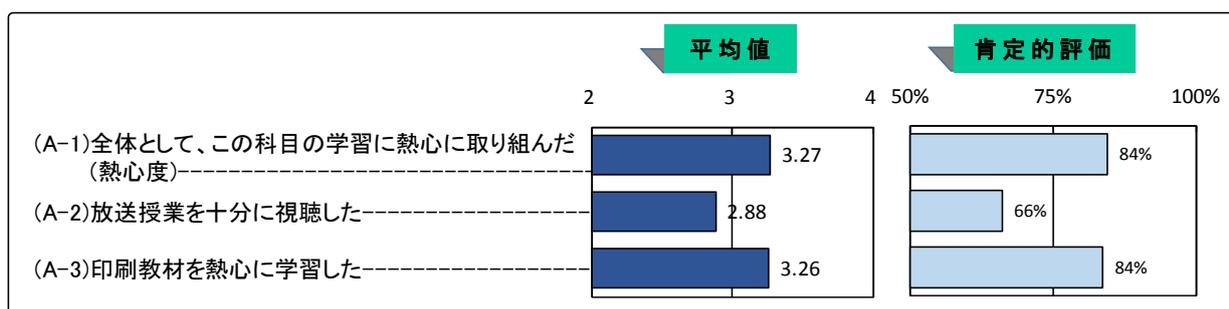


Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果をみていく。

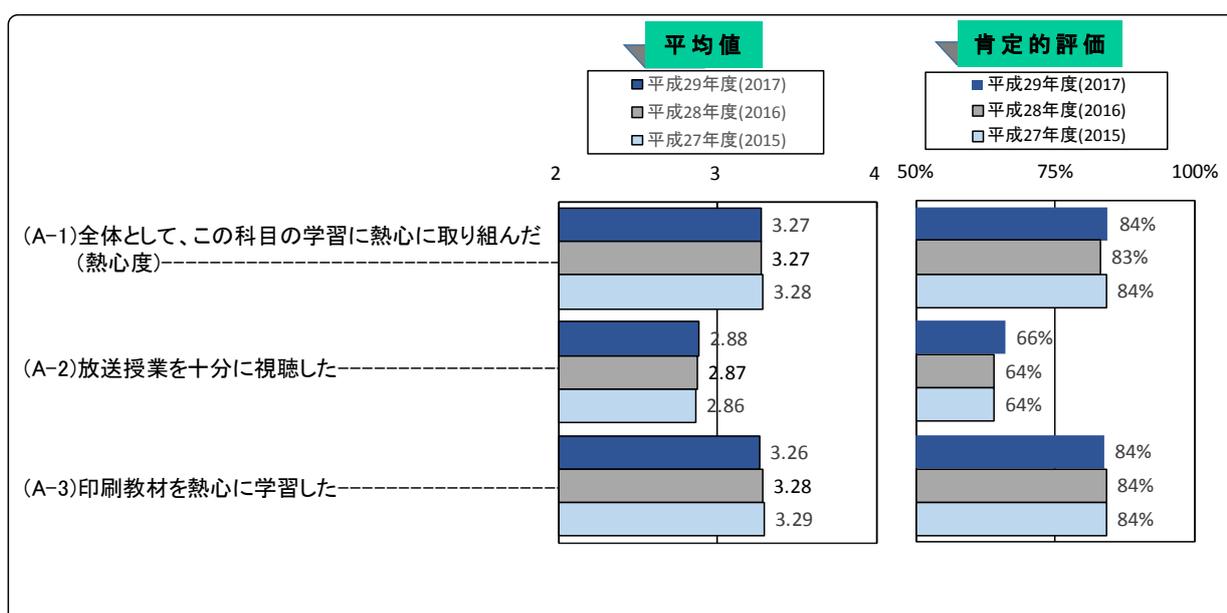
学習への取組み姿勢（図2-8）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」の肯定的評価は84%と、8割以上の履修生は熱心に学習していた。同様に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も肯定的評価が84%であった。しかし、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は66%と前述の項目に比べ低く、学習は印刷教材のウエイトが高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



取組姿勢を時系列でみると（図2-9）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の肯定的評価は過去2年度と同じ水準であった。ただ、2017年度の(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は過去2年度と比べわずかに上昇していた。

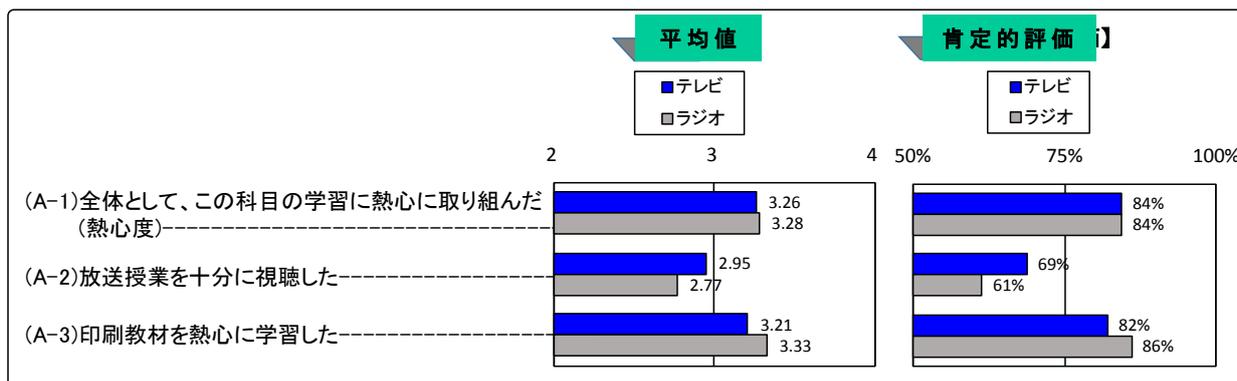
図2-9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、(A-1)「全体として、この科目の学習に取り組んだ」の項目ではテレビ科目、ラジオ科目とも同水準であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」はテレビ科目の方がラジオ科目を大きく上回り、逆に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」はラジオ科目の方がテレビ科目より支持率は高かった。

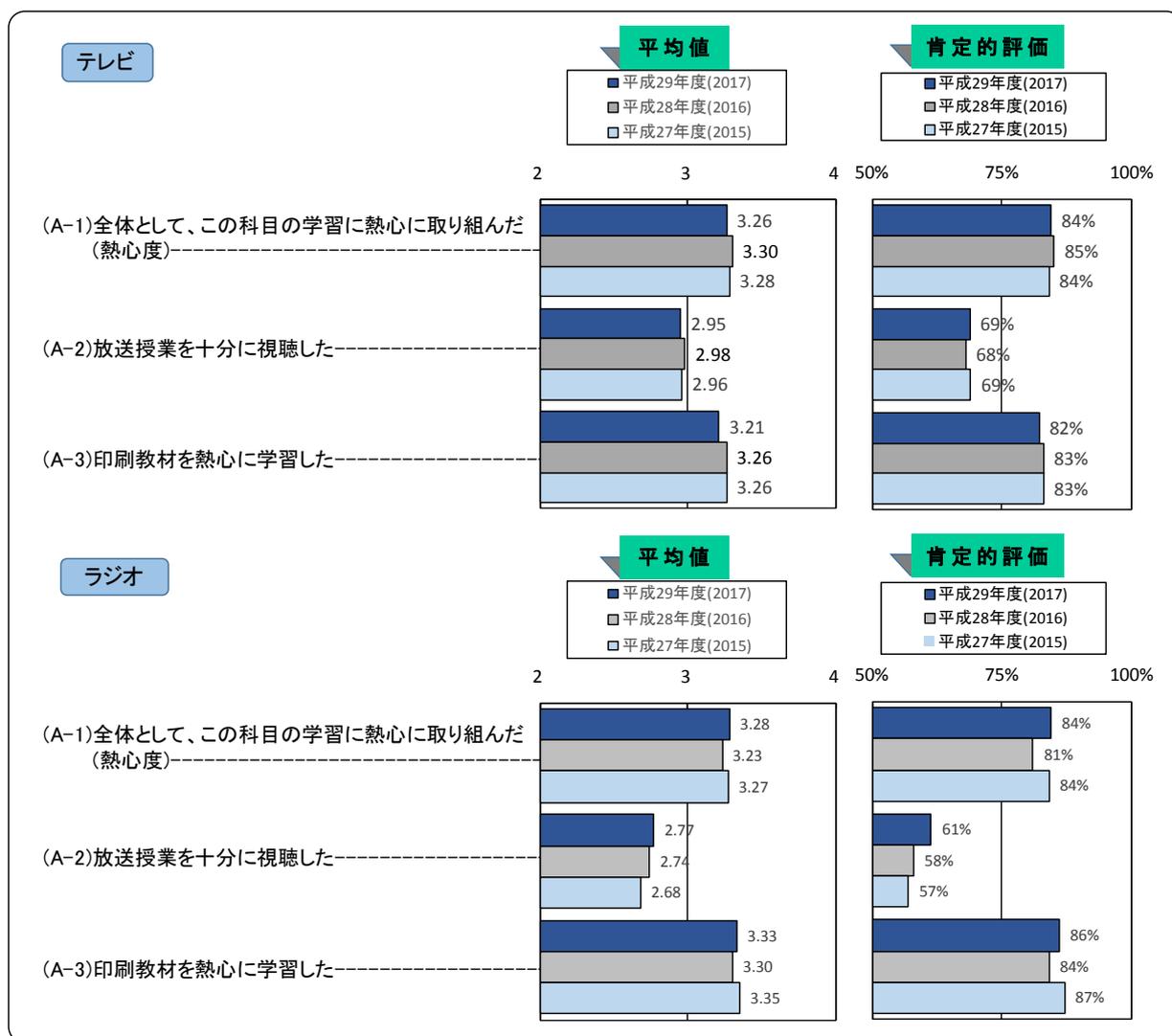
図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列でみると（図2-11）、テレビ科目は、過去2年度と『学習への取組み姿勢』の3項目で、ほとんど変化は見られなかった。

ラジオ科目については3項目とも、2016年度から2～3ポイントの上昇がみられた。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）



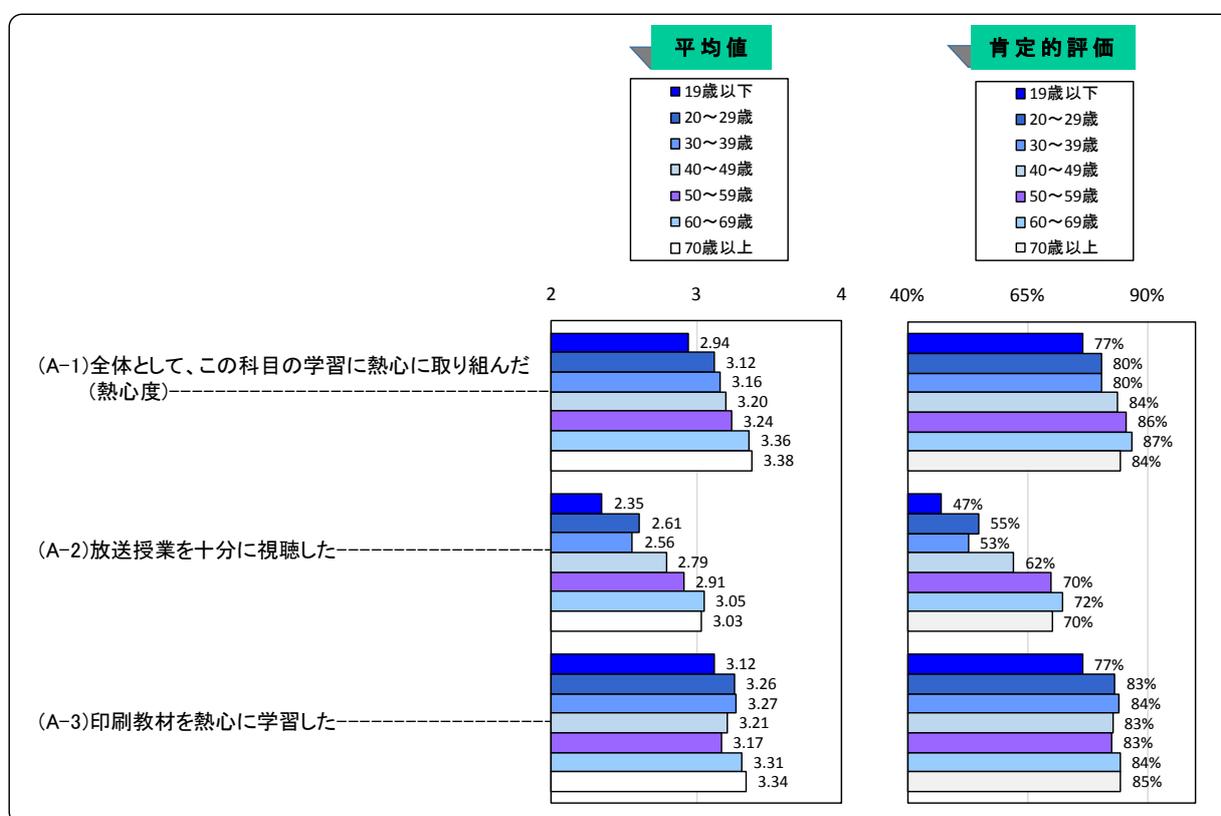
年齢階層別に取り組姿勢をみると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は40歳代以上で熱心度が高く、特に60歳代は87%と高率であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では50歳代以上で取り組み姿勢が良く、いずれも70%以上であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では19歳以下を除く、20歳代以上は83%～85%と一様に高い値であった。

(19歳以下は先の3項目で熱心度が最も低い傾向であったが、サンプルサイズが17と小さいため参考値と扱っていく。)

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



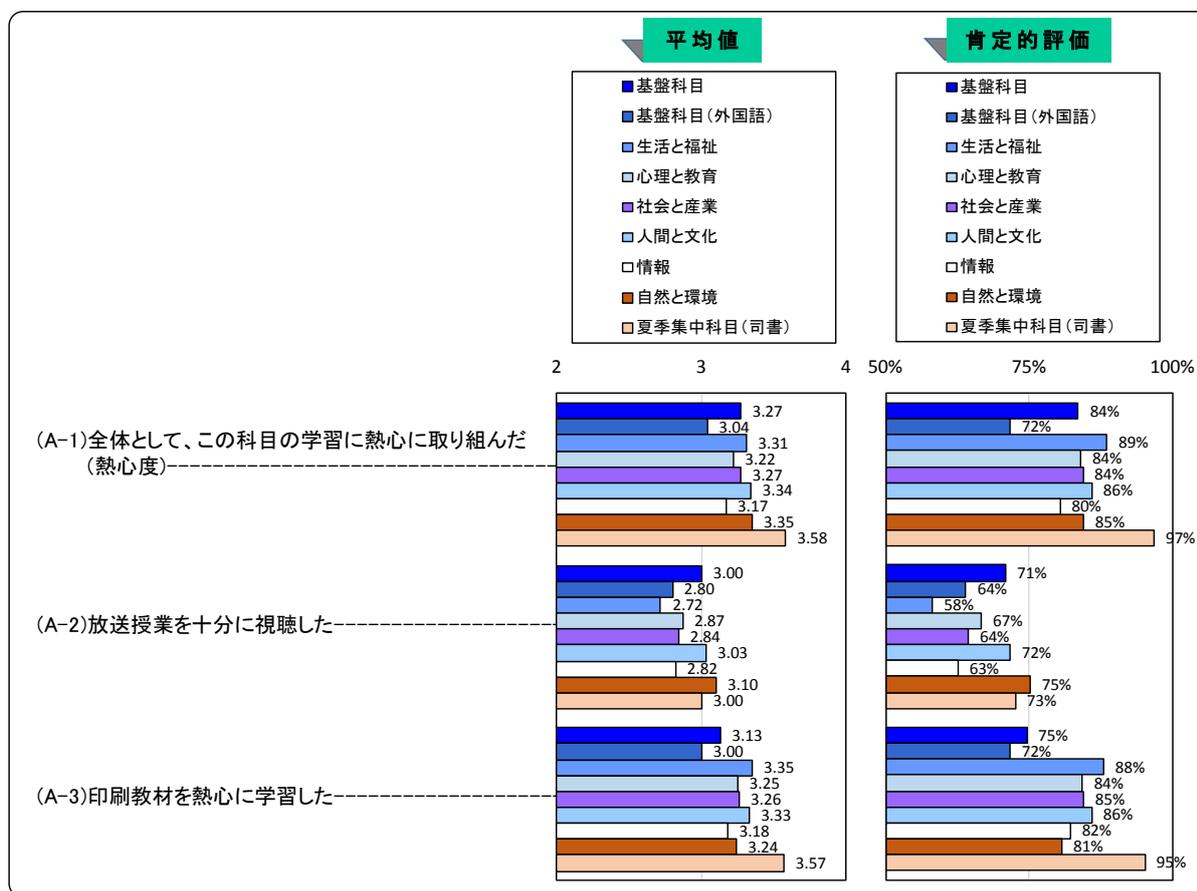
所属コース別に取り組姿勢をみると（図2-13）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「基盤科目（外国語）」が他の科目と比べ極端に低く、それ以外の科目は80%以上で、特に「夏季集中科目（司書）」は97%と群を抜いていた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については「基盤科目」「人間と文化」「自然と環境」「夏季集中科目（司書）」がともに70%越えて、他の科目より支持率が高かった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「夏季集中科目（司書）」が95%で際立っていた。

反対に、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、基盤科目（外国語）の評価はともに72%と他のコースと対比すると支持率は低かった。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢



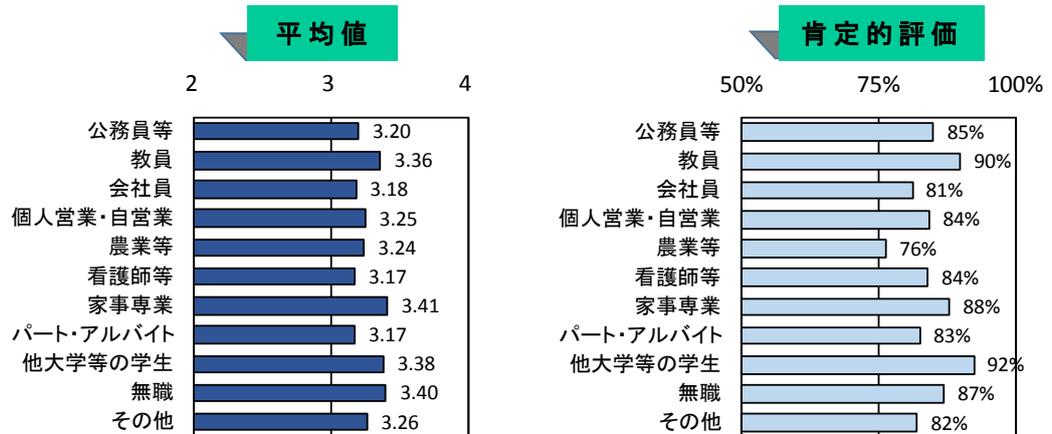
職業別に取り組姿勢をみると（次頁図 2-14）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は、「農業等」の値が他の職業と比べ 76%と低く、それ以外の職業は 80%以上で、特に「教員」と「他大学等の学生」は 90%以上と高かった。ただ、「他大学等の学生」の標本数が 13 と少なく、誤差が大きくなるため、これ以降参考値として扱っていく。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「家事専業」と「無職」が 70%を超えて他の職業より高く、反対に「看護師等」は 50%と極端に低かった。

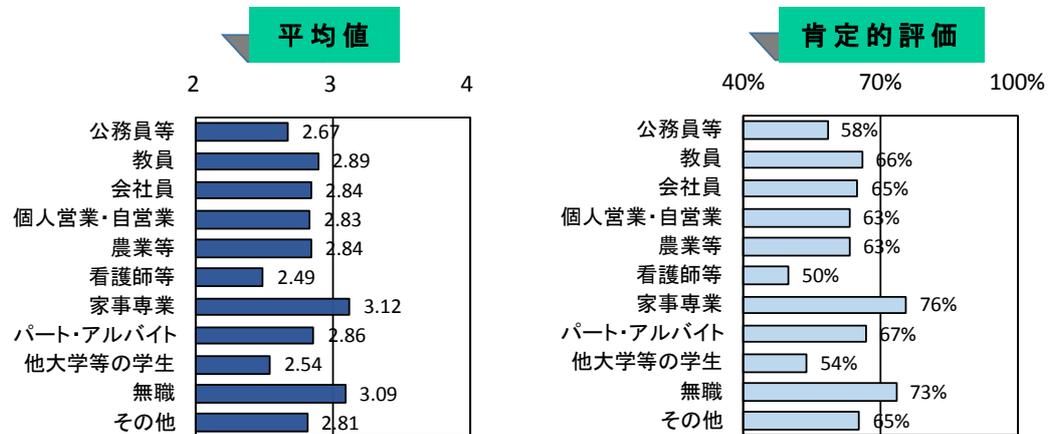
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「公務員等」や「教員」「看護師等」「家事専業」が 80%台の後半で特に高かった。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

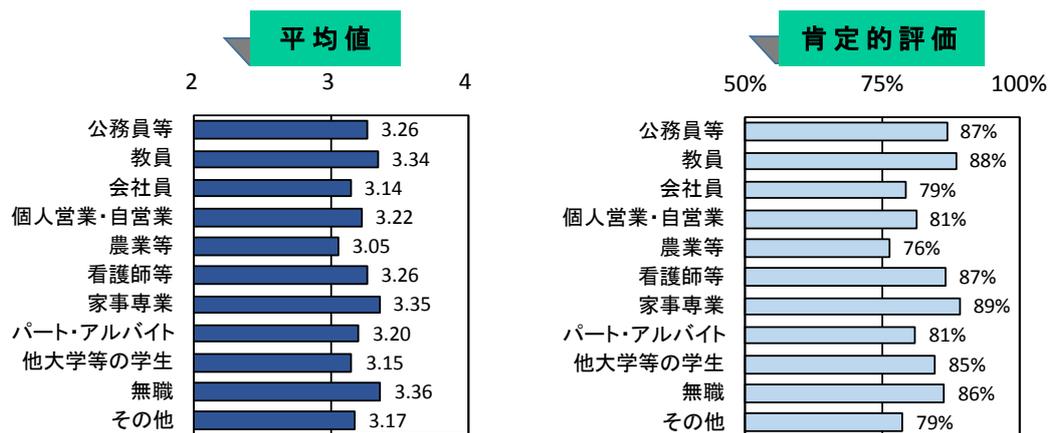
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2-15）は、全体では『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 60% を占め最も高く、次いで『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が 29%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』はわずか 5% であった。

メディア別では「テレビ科目」は全体に比べ『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』がやや多く、その分『ほとんど印刷教材の学習だけ』がやや少なくなっていた。

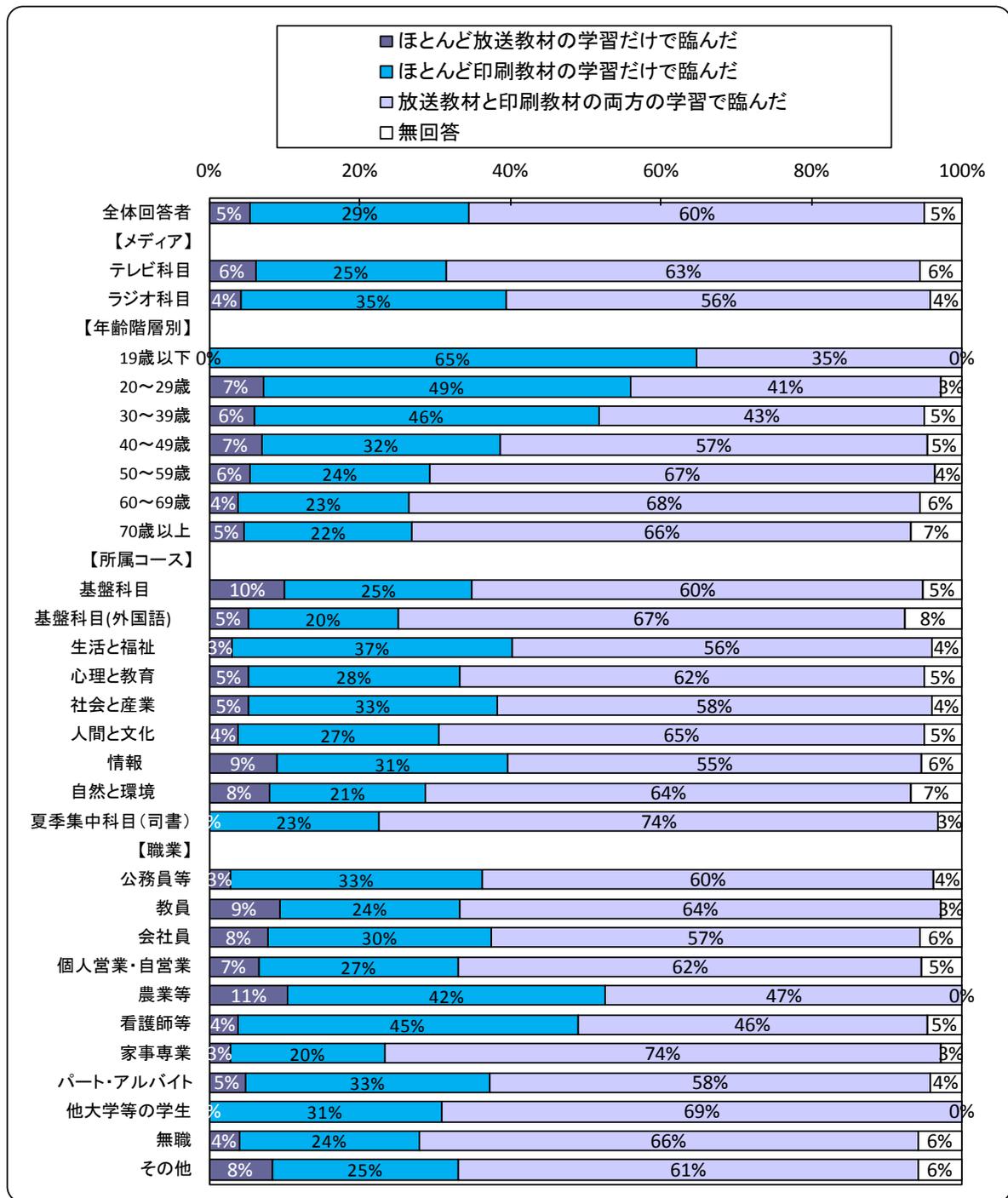
「ラジオ学科」は「テレビ科目」と傾向が逆で『両方の学習で臨んだ』が全体より少なく、『ほとんど印刷教材の学習だけ』が多くなっている。

「年齢階層別」では年代の上昇と共に『ほとんど印刷教材の学習だけ』が減少し、『両方の学習で臨んだ』が増加するという特徴的な傾向で、30 歳代までは『ほとんど印刷教材の学習だけ』が多く、それ以降は『両方の学習で臨んだ』が増加傾向となっている。

「所属コース別」では『ほとんど印刷教材の学習だけ』が最も多かったのは「生活と福祉」の 37%、『両方の学習で臨んだ』が最も多かったのは「夏季集中科目（司書）」の 74% であった。

「職業別」では「農業等」と「看護師等」の『ほとんど放送教材の学習だけ』が 40% 越えで突出していた。

図 2 - 1 5 【学部】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－1－3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

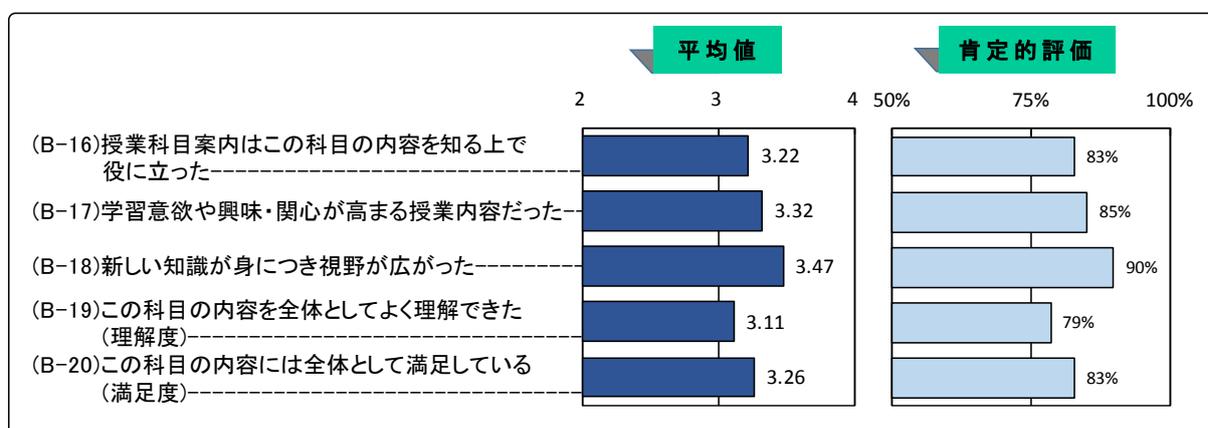
次に学部の授業評価について、評価項目ごとにみていくこととする。

まず全体評価の各項目では(図2-16)、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は90%と高い評価を得ていた。

また(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も85%と高い。

さらに(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も共に83%と8割以上であった。

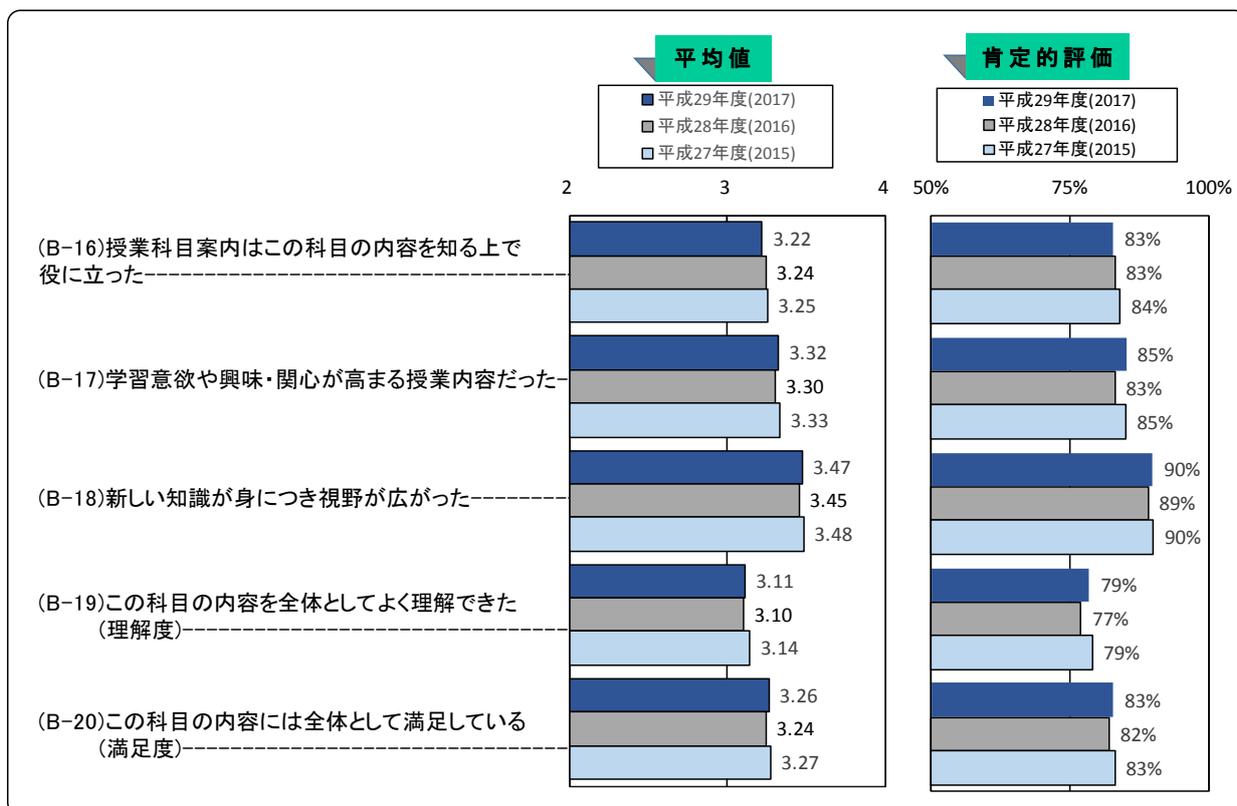
図2-16 【学部】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列でみると（図2-17）、2017年度はどの項目も2015年度と同水準で、最も高かったのが（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」（各90%）で、反対に最も低かったのが（B-19）「この科目の内容を全体として理解できた（理解度）」（各79%）であった。

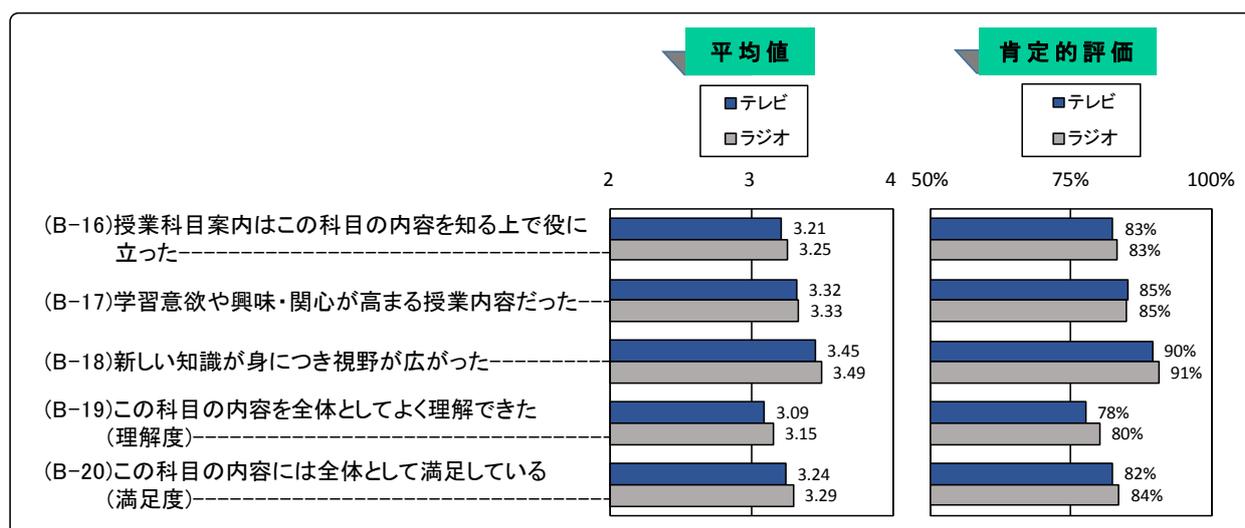
2017年度は（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と（B-19）「この科目の内容を全体として理解できた（理解度）」が2016年度から、わずかであるが比率の上昇が見られた。

図2-17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



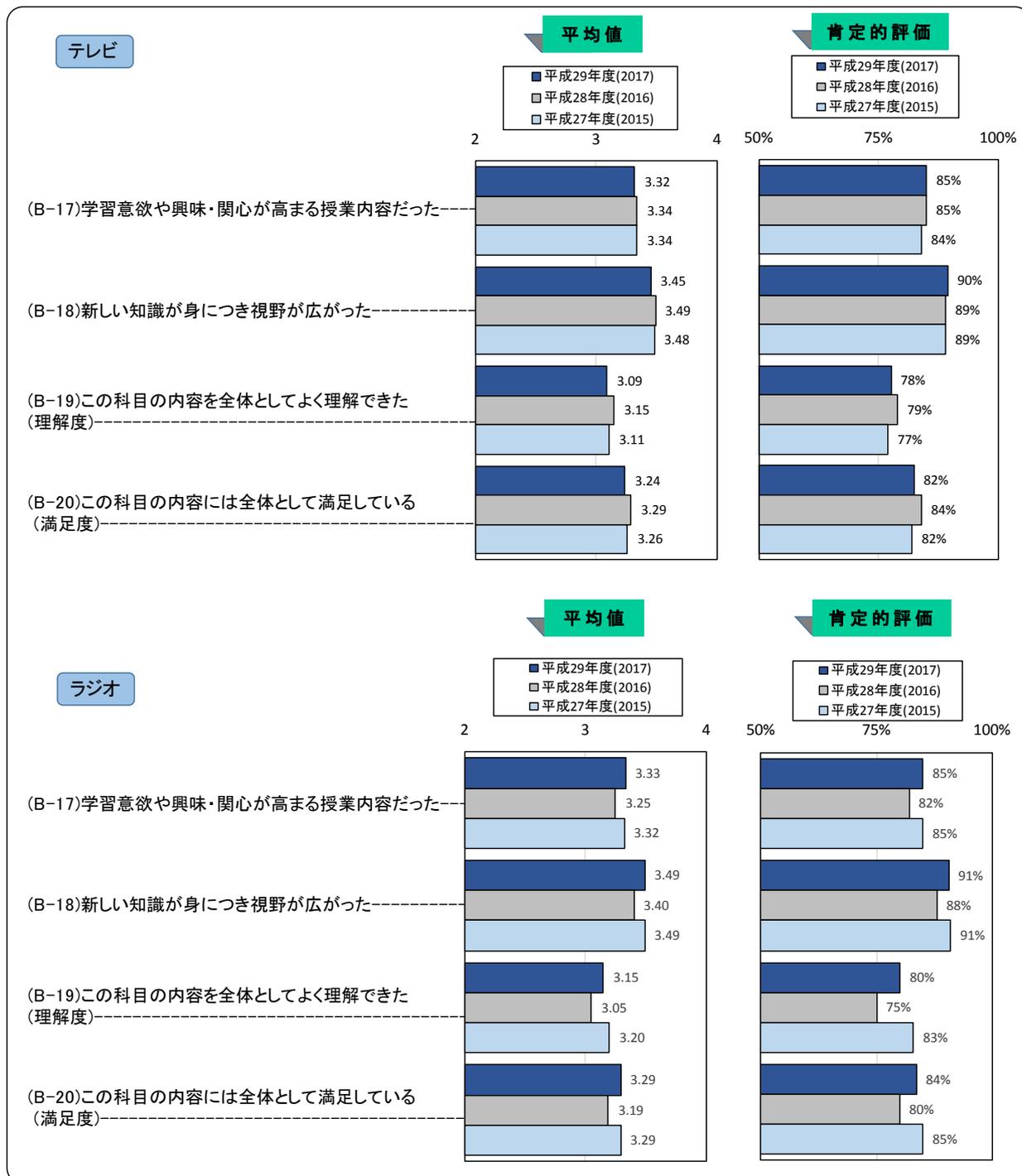
メディア別に全体評価をみると（図 2 - 1 8）、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」から(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」まではほぼ変わりはないが、(B-19)「この科目の内容を全体として理解できた（理解度）」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」でラジオ科目の方がテレビ科目をわずかに上回っていた。

図 2 - 1 8 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列でみると（図2-19）、テレビ科目では2017年度は2015年度と差はなかったが、2016年度との比較で唯一、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で2017年度の減少が（2ポイント）見られたが、82%と「満足度」は高かった。

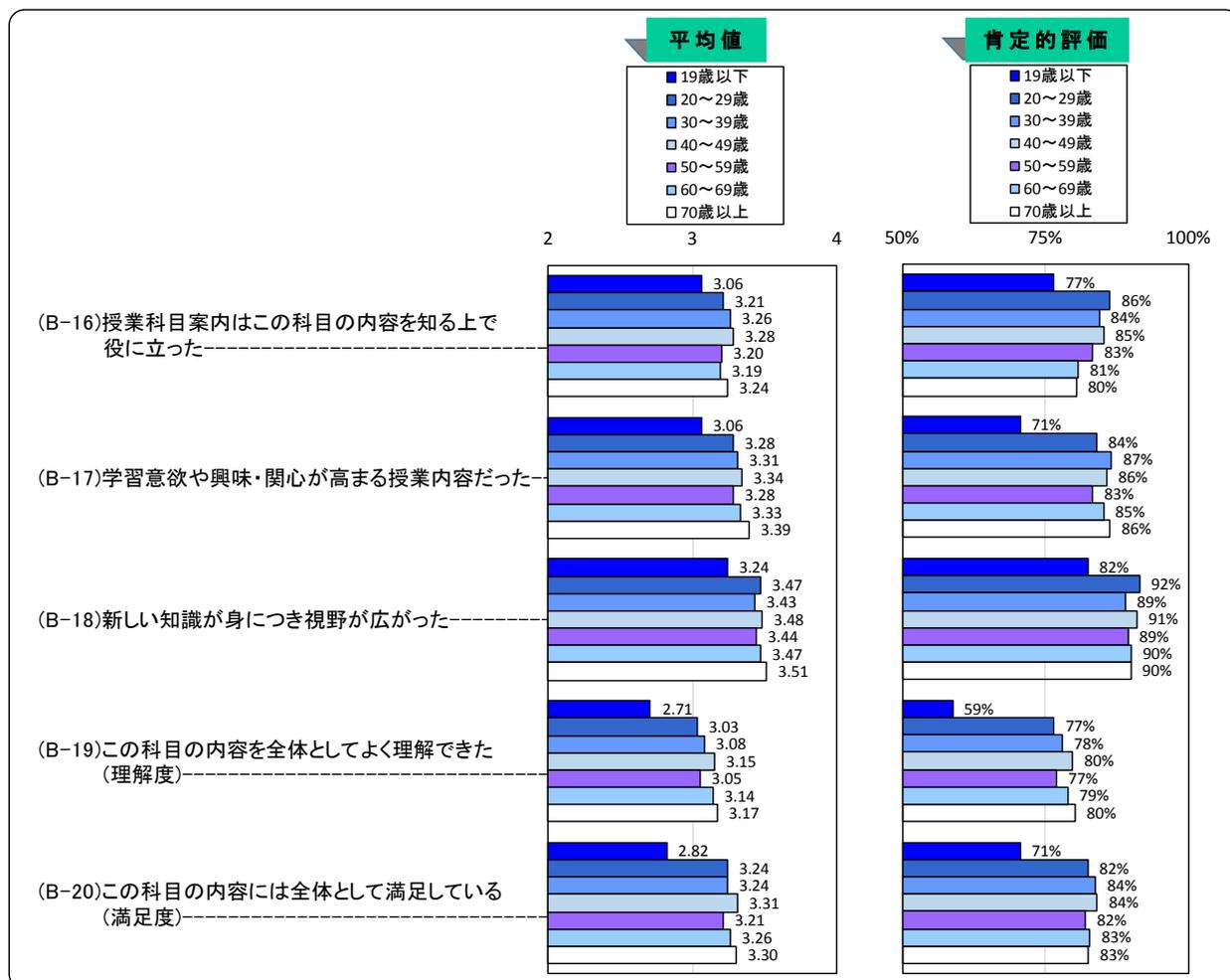
ラジオ科目の過去2年度との比較では、全項目にわたって2016年度の比率が2015年度で3～8ポイント落ち込んでいたが、2017年度はそこからV字回復を達成していた。



年齢階層別に全体評価をみると項目ごとでは(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は20歳代の86%をピークに年代の上昇と共に漸減傾向で、70歳以上で80%となっていた。

それ以外では前述の19歳以下、以外は見立った差は見られなかった。

図2-20【学部】年齢階層別の全体評価

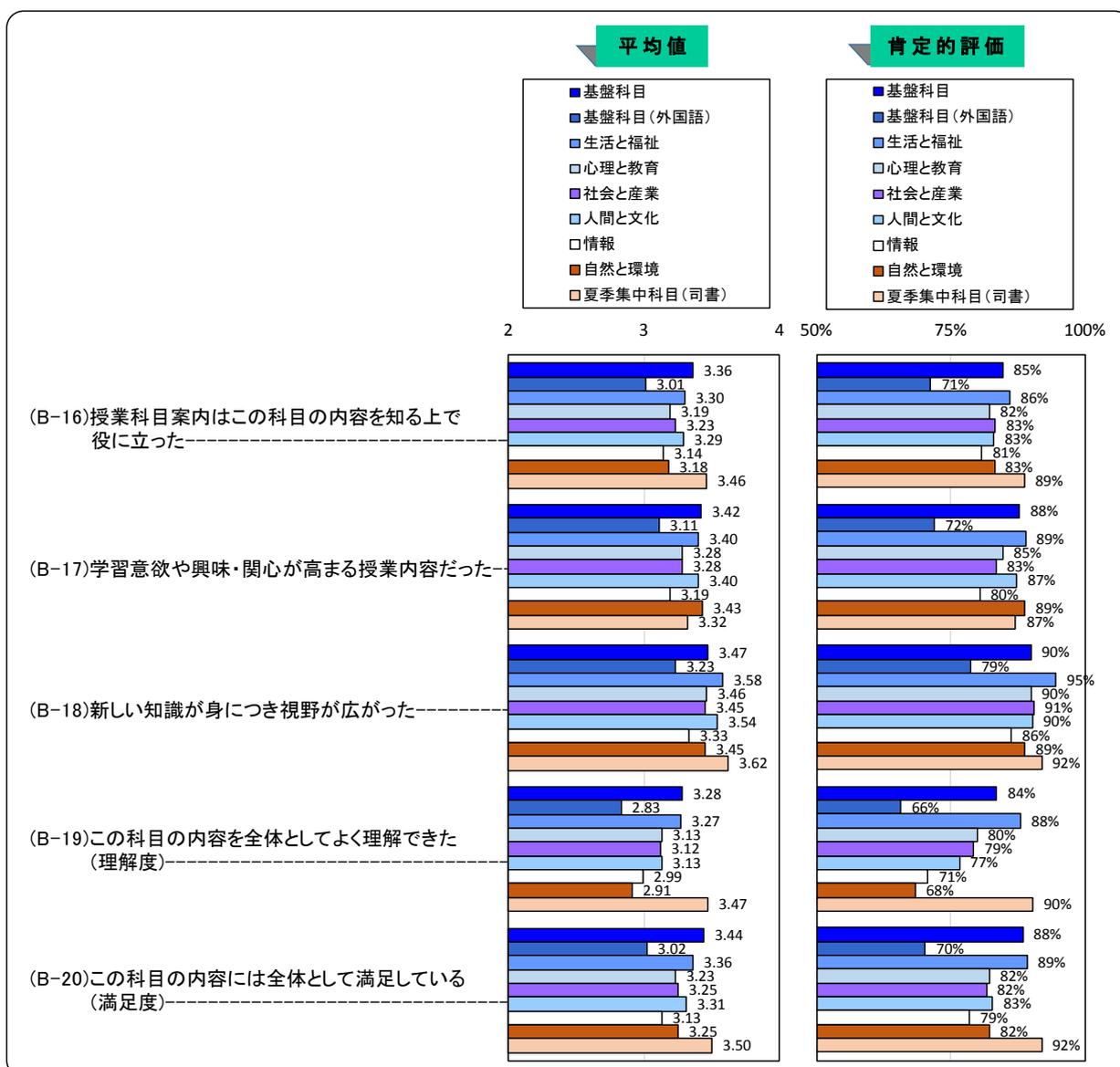


所属コース別の全体評価では（図 2 - 2 1）、「基盤科目（外国語）」に特異な傾向がみられ、全項目で最も低い支持率となっていた。（B-19）『この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）』では「自然と環境」も低かった。

項目別に見ると（B-16）「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では「夏季集中科目（司書）」が 89% と最も高かった。

その他、（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では「生活と福祉」「自然と環境」（各 89%）が、（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は「生活と福祉」（95%）が、（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」では「夏季集中科目（司書）」（90%）が、（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」も「夏季集中科目（司書）」（92%）が最も高かった。

図 2 - 2 1 【学部】所属コース別の全体評価



職業別に全体評価をみると（次頁図 2 - 2 2）（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では「家事専業」（90％）が最も高く、「個人営業・自営業」（80％）で最も低かった。

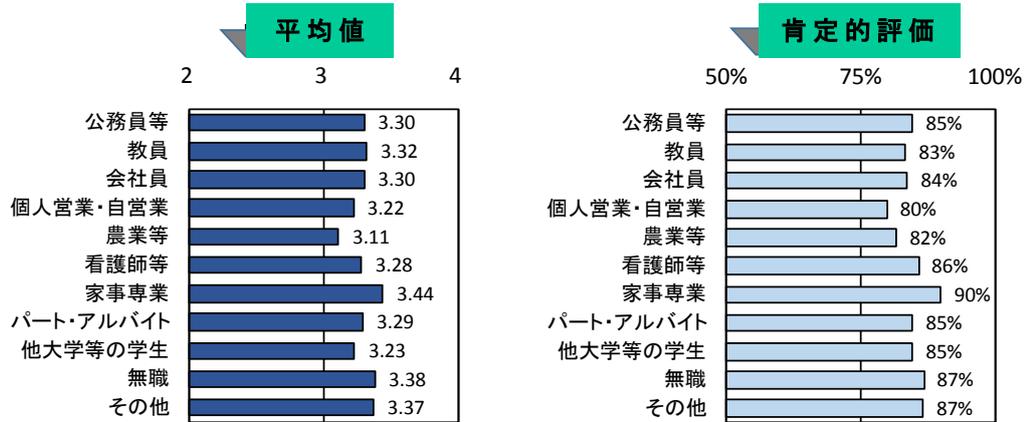
（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」については「他大学等の学生」除けば、「家事専業」（83％）が最も高く、最も低かったのは「農業等」（68％）であった

（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で最も高かったのは「家事専業」（87％）、最も低かったのは「他大学等の学生」を除けば「農業等」（79％）であった。

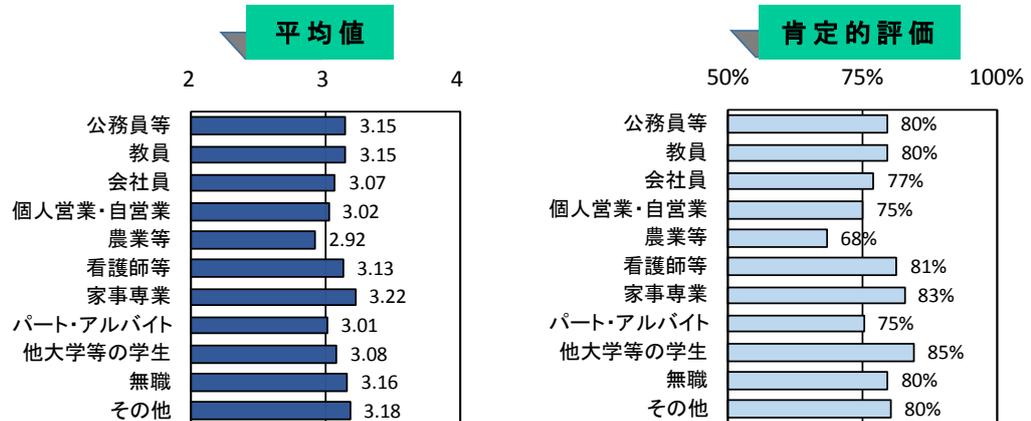
「家事専業」は前述の 3 項目の評価が総じて高かった。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

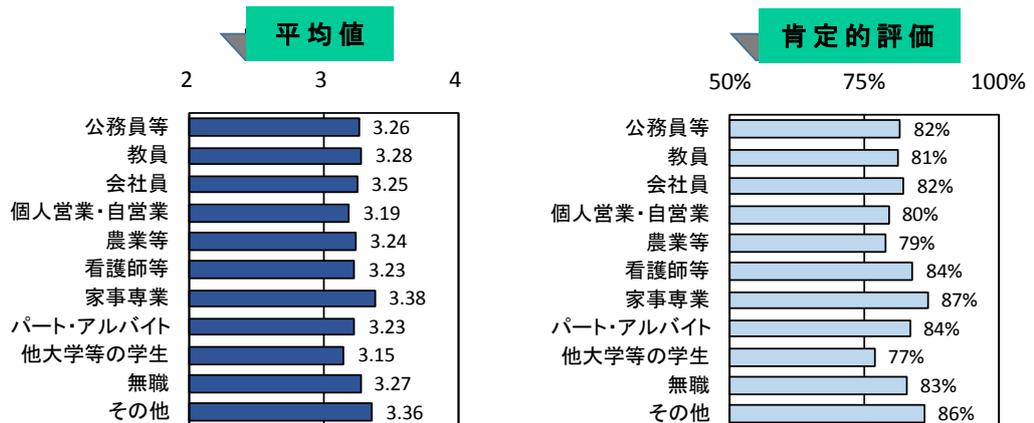
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

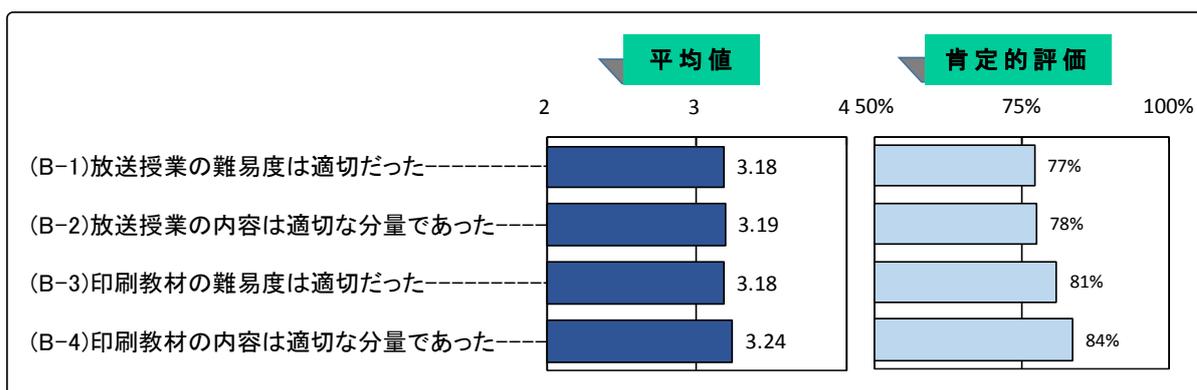


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとにみていくこととする。

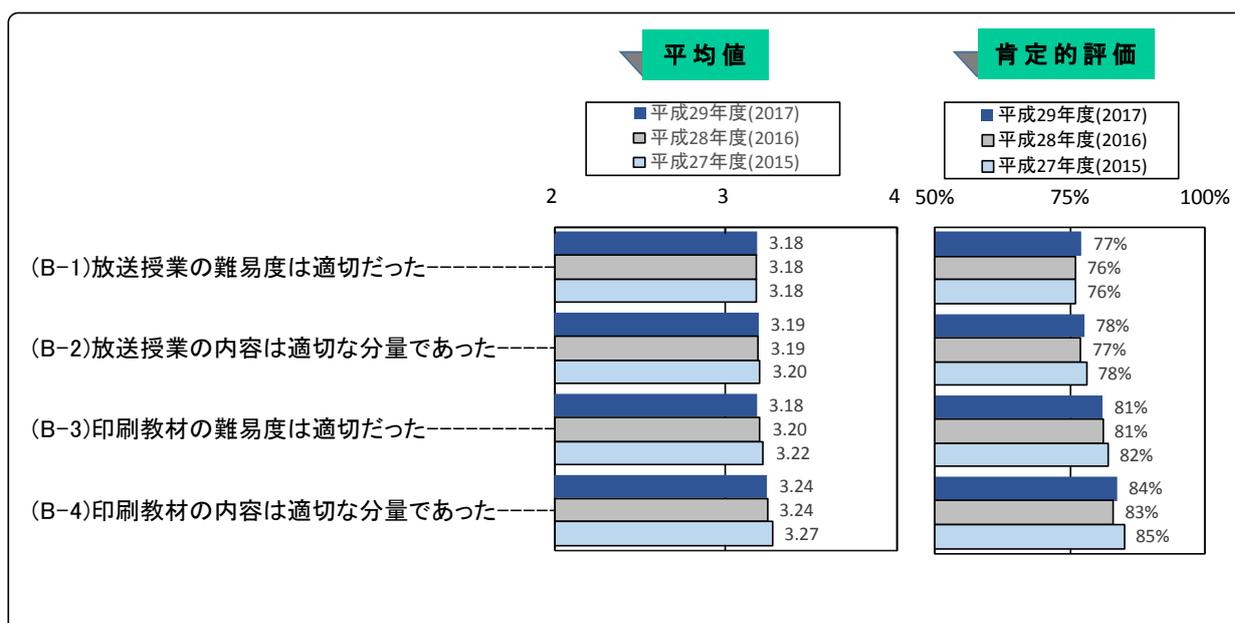
肯定的評価では放送授業よりも印刷教材についての評価が高く、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」はともに80%を超えていた。

図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



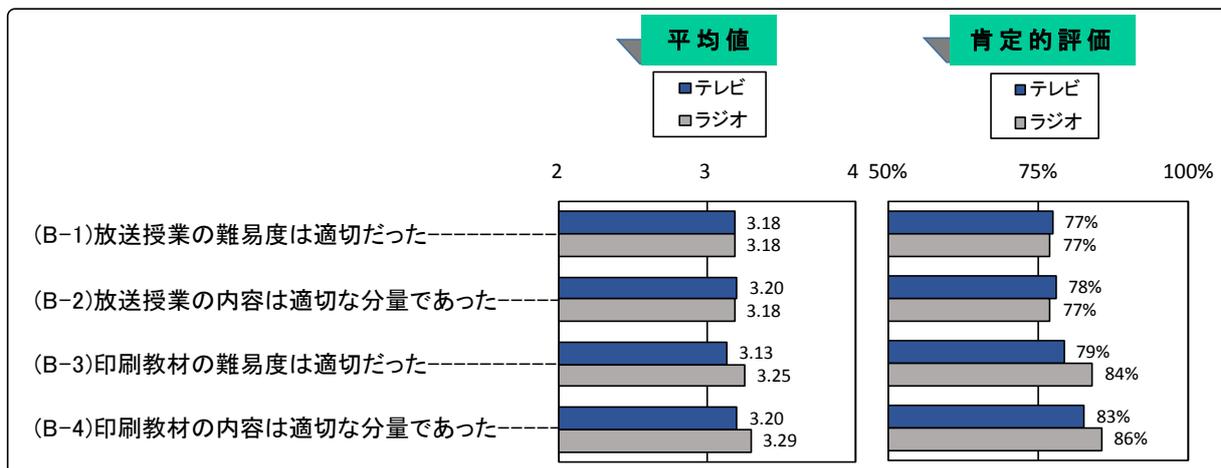
開設年度で比較すると（図2-24）、放送授業と印刷教材の難易度・分量とも同水準であった。

図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量をみると（図2-25）放送授業の難易度、分量についてはテレビ科目とラジオ科目の評価は同水準であったが、印刷教材の難易度、分量はラジオ科目の評価の方が高かった。

図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



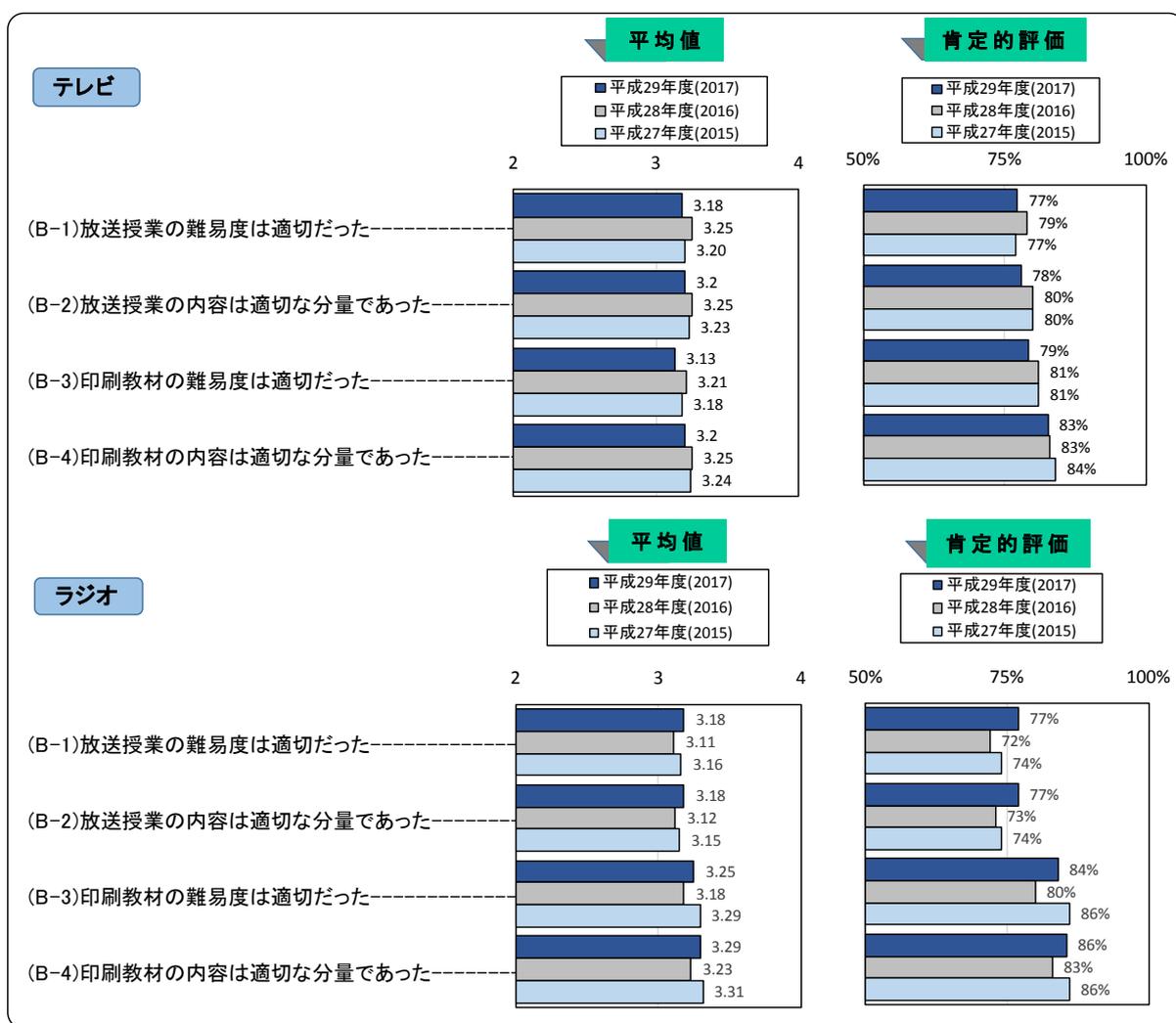
メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）テレビ科目では、2017年度は(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」について、2016年度に比べ評価が下がっていた。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」についても2015年度及び2016年度に比べ低い。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」については過去2年度と同水準。

ラジオ科目では2016年度との比較では、全項目で3～5ポイントの上昇が見られた。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）

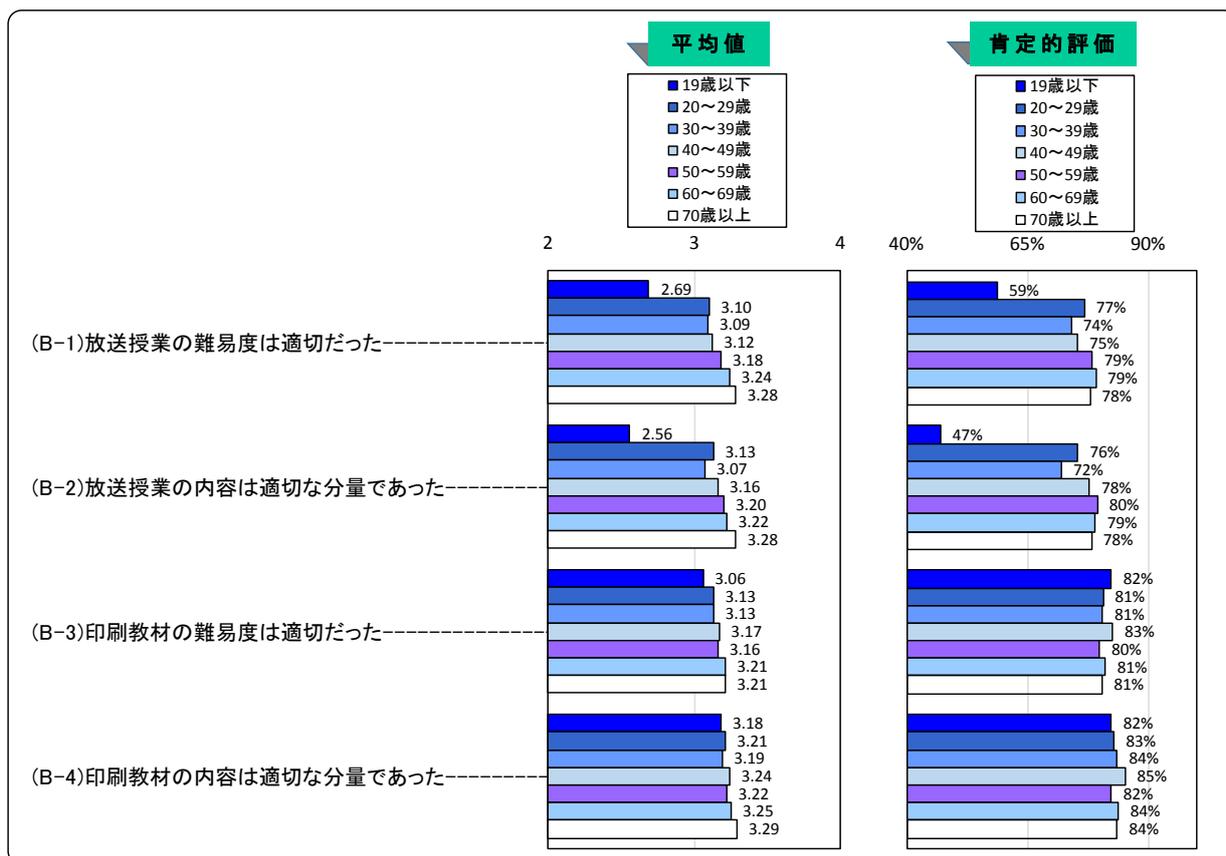


年齢階層別に授業の難易度・分量をみると（図 2 - 2 7）（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」は 50 歳代以上で評価が高かった。

（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」については 30 歳代の評価が低かった。

（B-3）「印刷教材の難易度は適切だった」と（B-4）「印刷教材の内容は適切な分量であった」については年齢階層別で大きな違いはみられなかった。

図 2 - 2 7 【学部】 年齢階層別の授業難易度・分量の評価

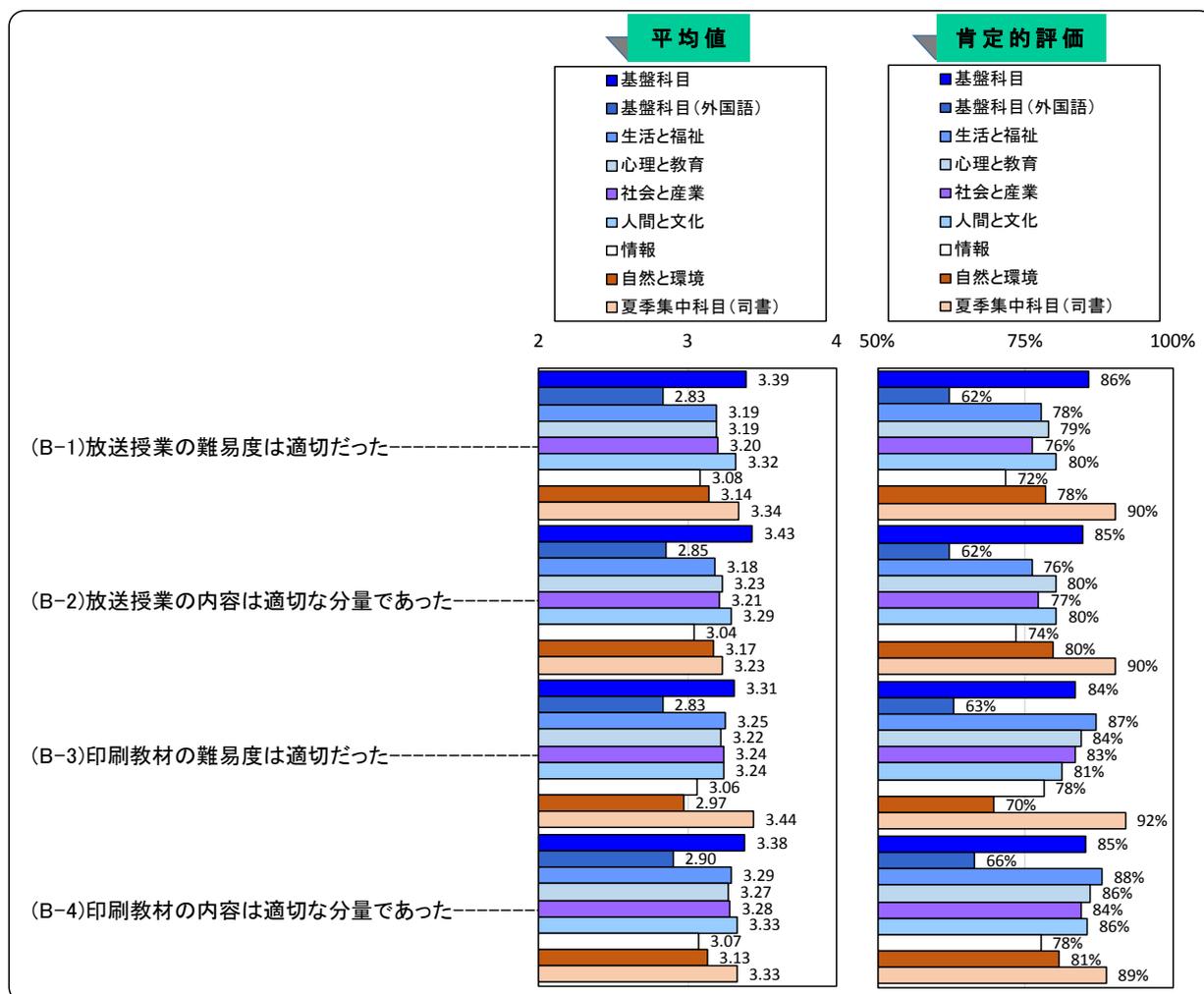


所属コース別に授業の難易度・分量をみると（図 2 - 2 8）、放送授業は両方とも「基盤科目」と「夏季集中科目（司書）」の支持率が高く目立っていた。

印刷教材については難易度、分量ともに「生活と福祉」「夏季集中科目（司書）」の支持率が上位であった。

下図の 4 項目全てで「基盤科目（外国語）」の評価が 60% 台と他の科目に比べ極端に低く特徴的な傾向がみられた。

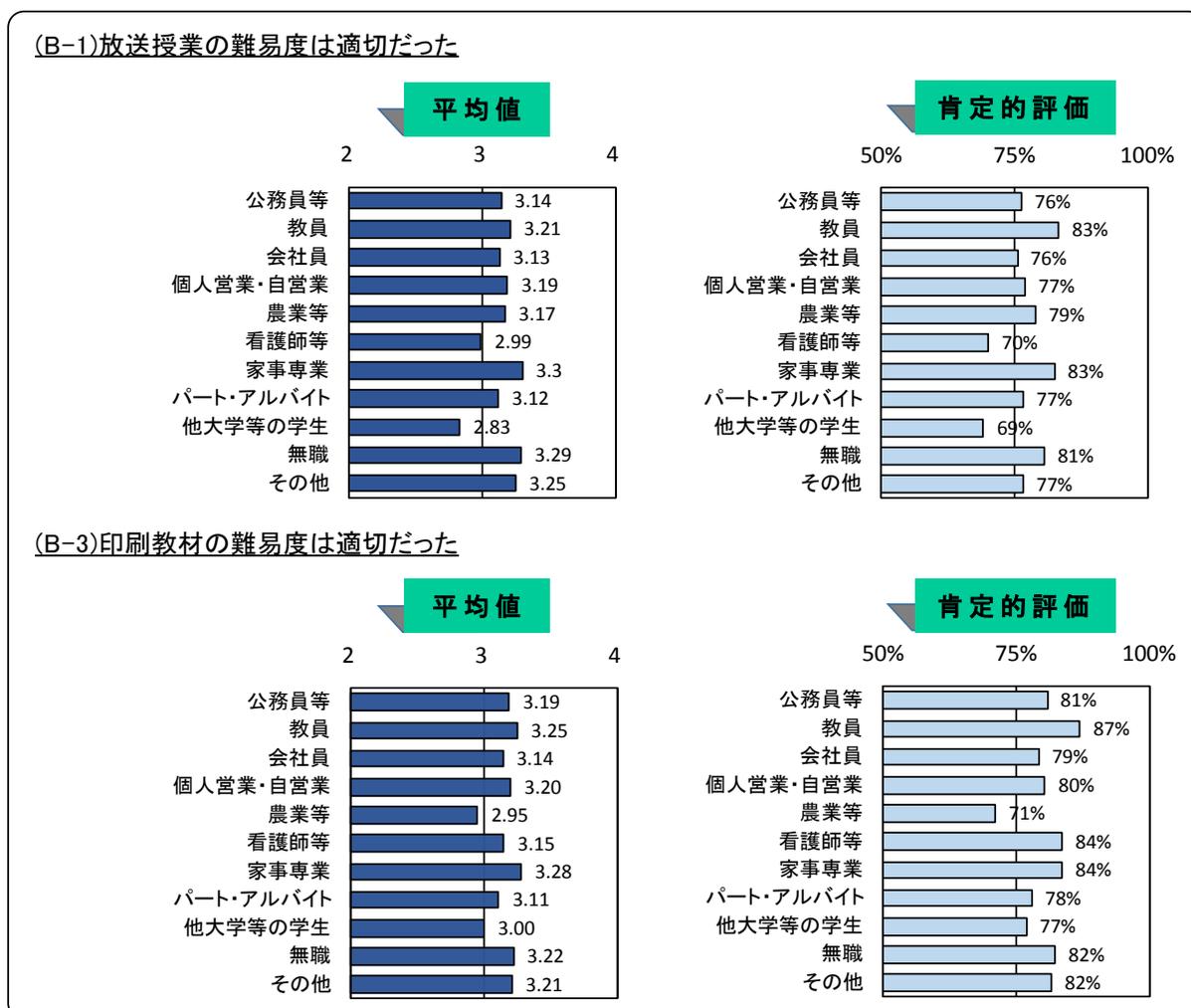
図 2 - 2 8 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度をみると（図2-29）、放送授業については「教員」「家事専業」「無職」で8割を超え評価が高く、反対に「看護師等」で評価が低かった。

印刷教材については「教員」「看護師等」「家事専業」で評価が高く、「農業等」で低かった。

図2-29【学部】職業別の授業難易度の評価



(3) 放送授業

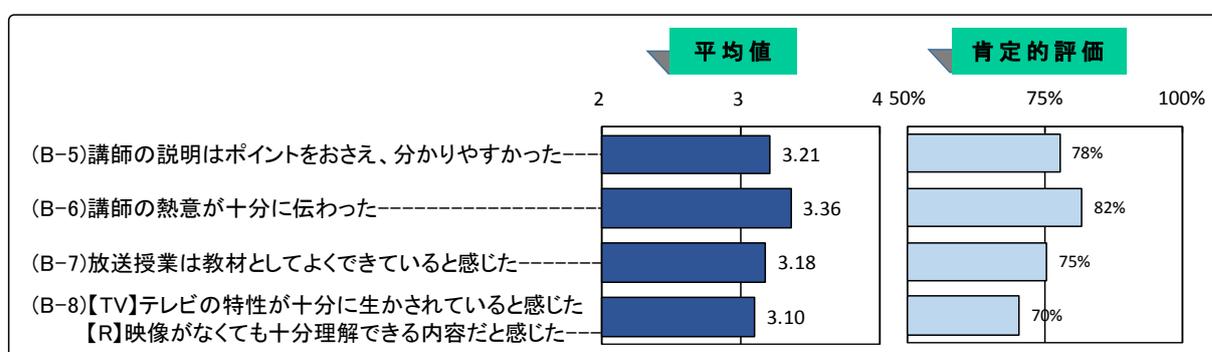
ここからは放送授業について、評価項目ごとにみていくことにする。

放送授業に関する評価項目で最も評価が高かったのは（図2-30）、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」で、肯定的評価が82%となっている。

だが、放送授業そのものの評価である(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は75%と8割を下回った。

(B-8)「テレビの特性が十分に生かされていると感じた／(ラジオ)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も70%と4項目中で最も低かった。

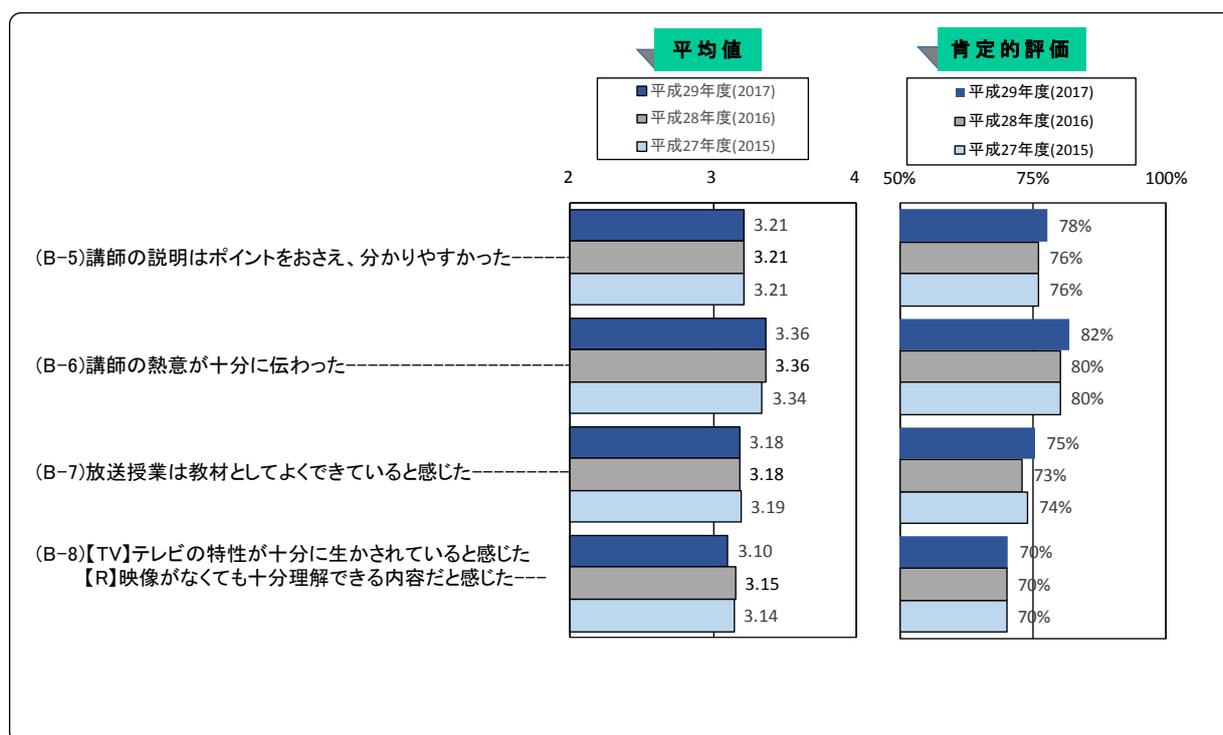
図2-30【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列でみると（図2-31）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は過去2年度から2ポイント増、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は2016年度から2ポイント増であった。

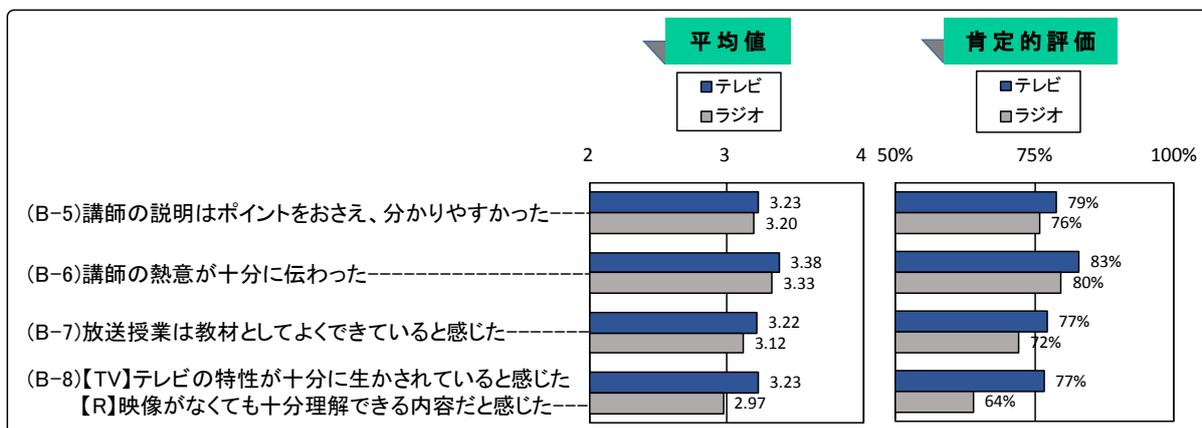
ただ、(B-8)「テレビの特性が十分に生かされていると感じた」／「(ラジオ)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」についてはこの3年間では全く変化がなかった。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価をみると（図 2 - 3 2）、いずれの項目もテレビ科目がラジオ科目を上回っており、(B-8)「テレビの特性が十分に生かされていると感じた / (ラジオ) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の差が 13 ポイント特に大きい。

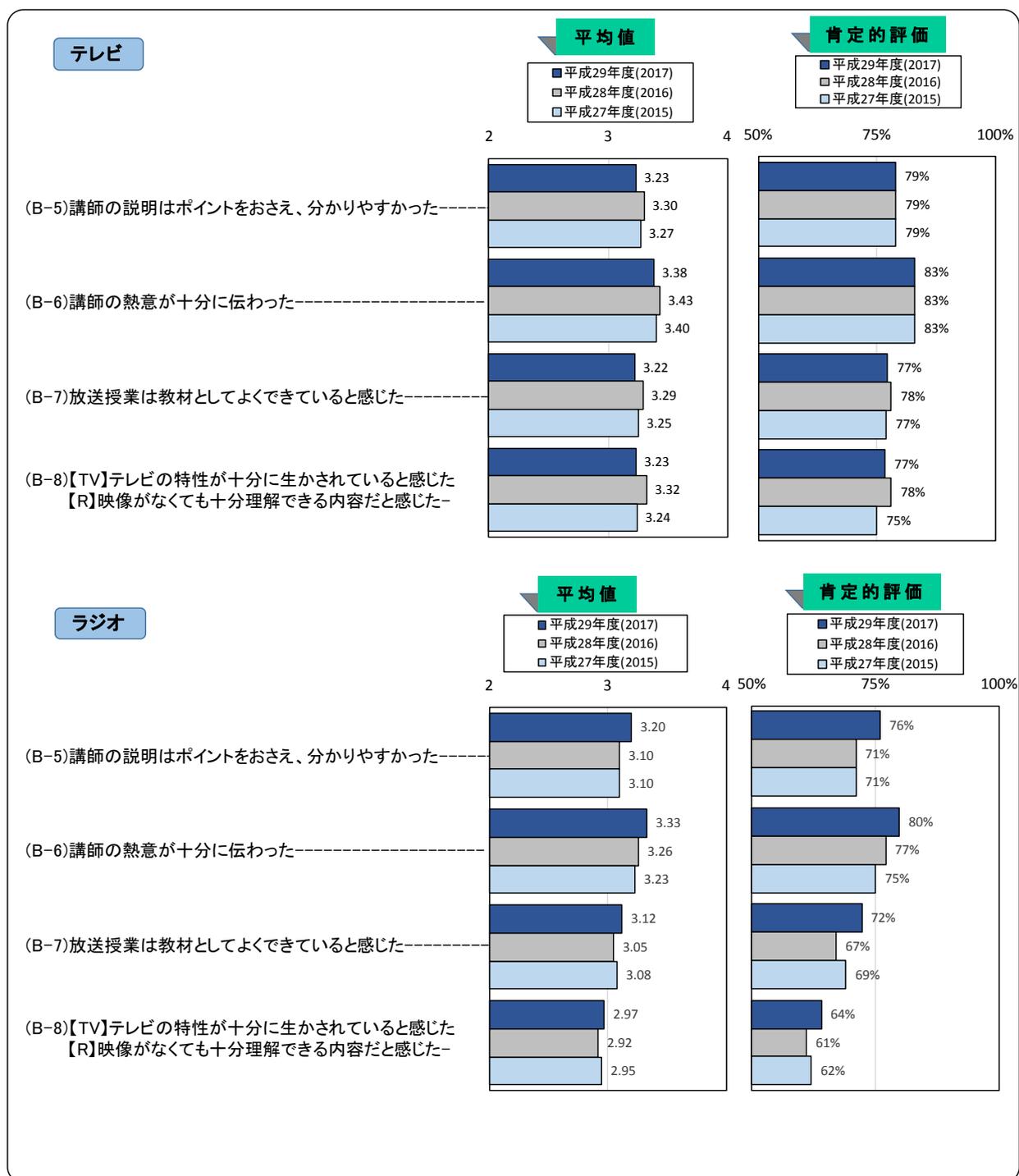
図 2 - 3 2 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別の放送授業の評価を時系列でみると（図2-33）、過去3年間でいずれの項目もほとんど変わりはない。

ラジオ科目については、2017年度は全ての項目で過去2年度より増加傾向で、特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は増加の幅が大きかった。

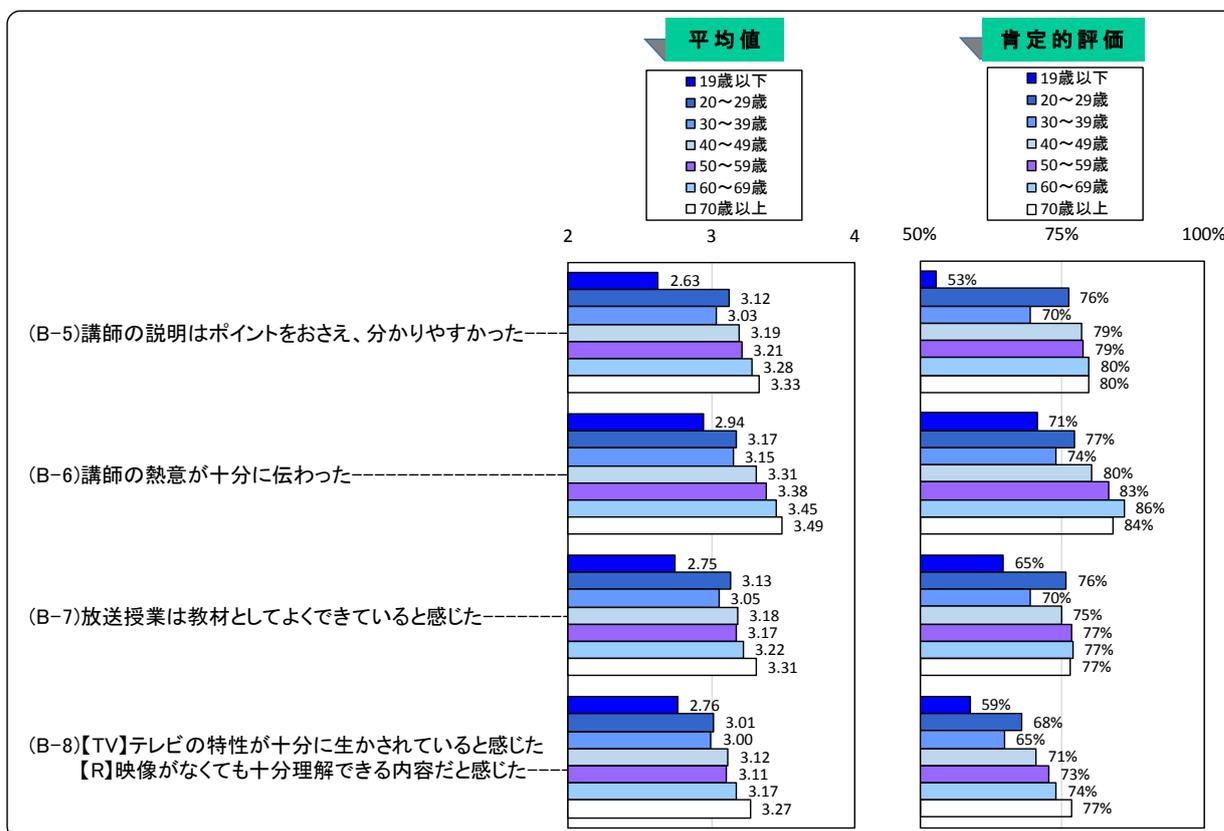
図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別に放送授業の評価をみると（図2-34）全項目で30歳代の評価が低かった。

また、全項目についてみられた傾向で、60歳代と70歳以上は好評価の上位2位までを占めていた。

図2-34【学部】年齢階層別の放送授業の評価

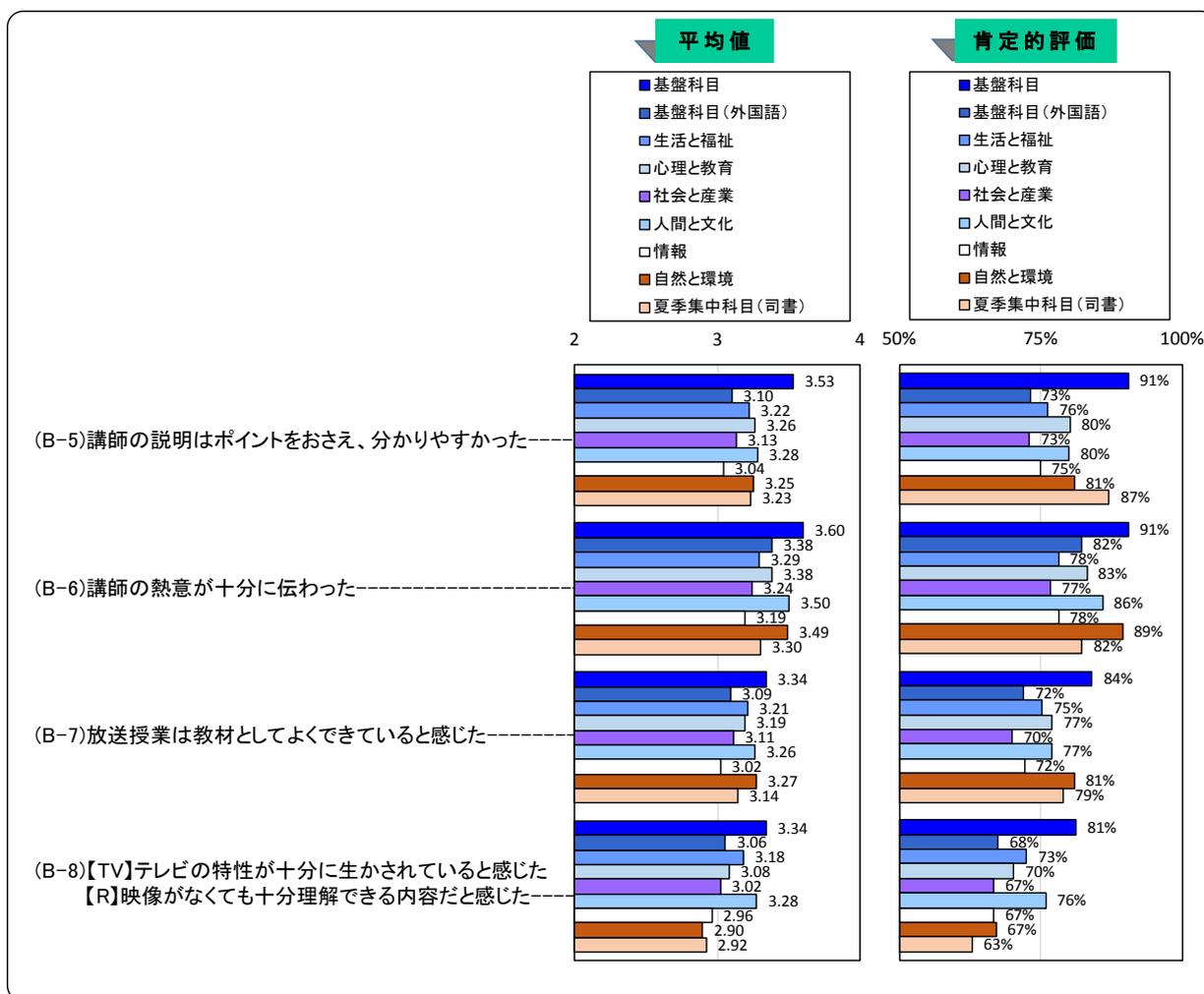


所属コース別に放送授業の評価をみると(図2-35)、いずれの項目でも「基盤科目」の評価が最も高かった。

その他、上位となったのは(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」では「夏季集中科目(司書)」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は「自然と環境」、

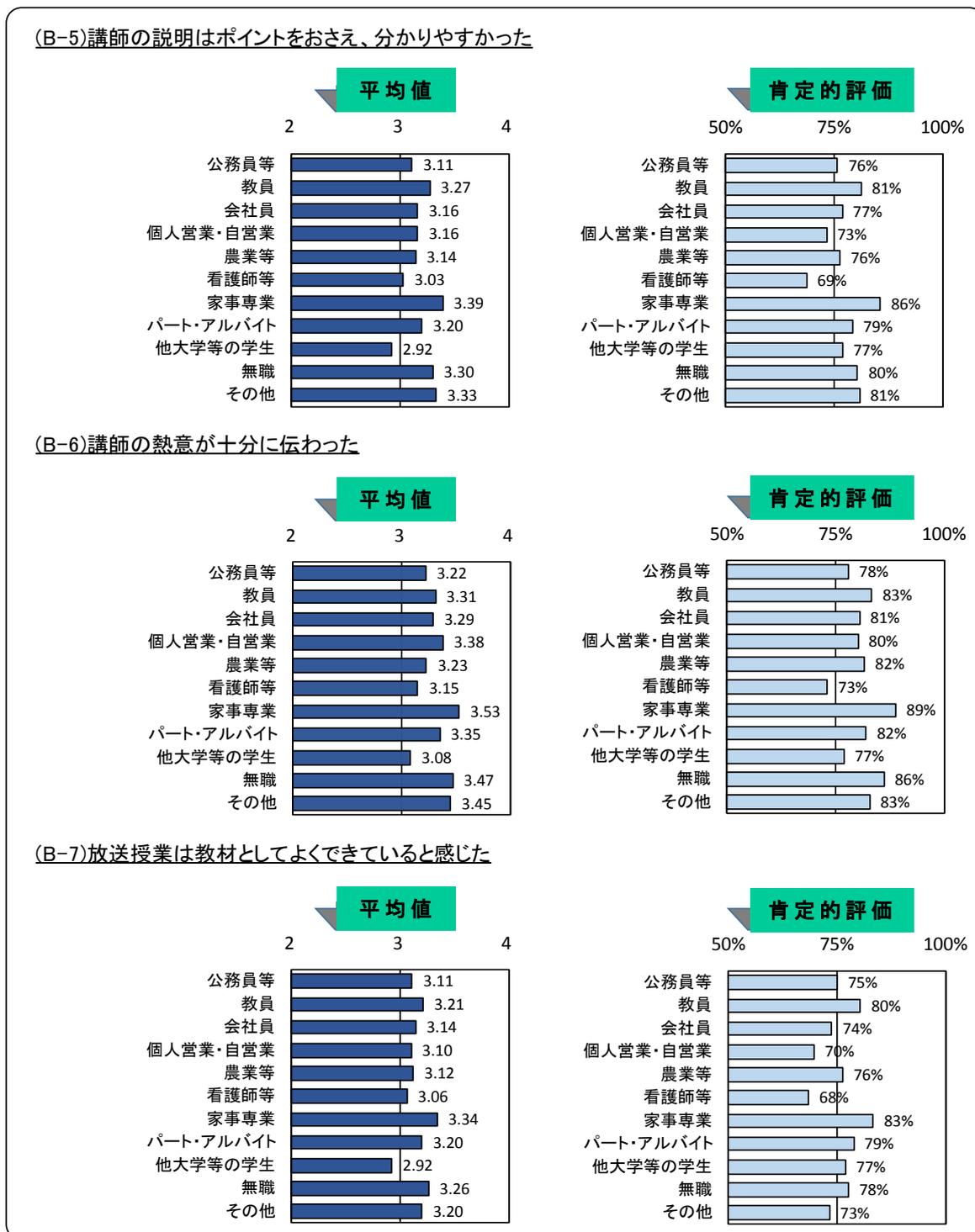
(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では「自然と環境」と「夏季集中科目(司書)」が、(B-8)「テレビの特性が十分に活かされていると感じた」/「(ラジオ)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は「人間と文化」であった。

図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



職業別に放送授業の評価をみると（図2-36）いずれの項目でも「家事専業」の評価が高く、反対に「看護師等」の評価は低く、下図の3項目で両者の差は15～17ポイントと大差がみられた。

図2-36 【学部】職業別の放送授業の評価

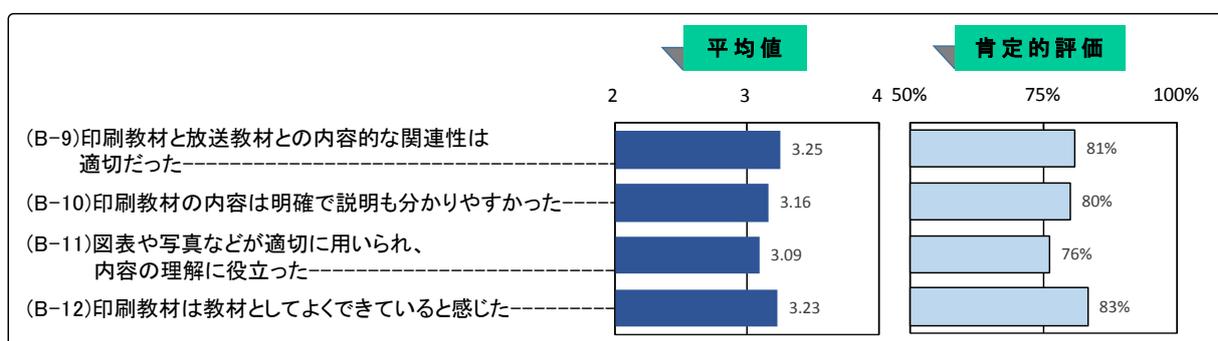


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとにみていくことにする。

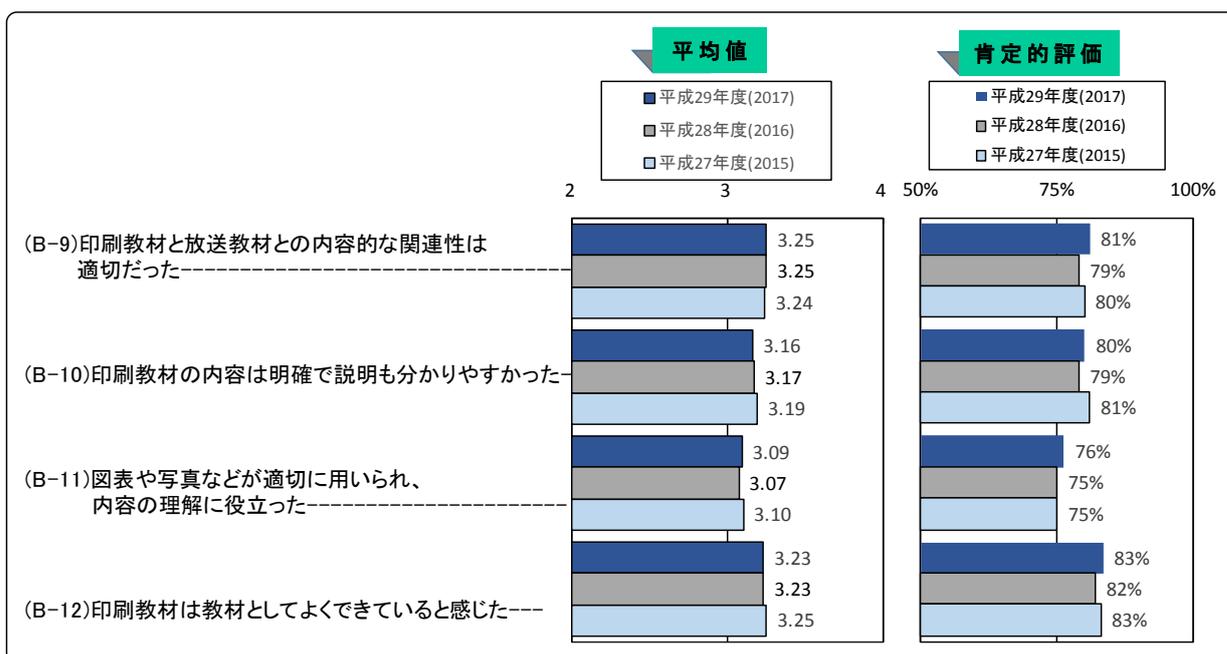
印刷教材の評価項目では(図2-37)(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はいずれも80%以上の支持を得ていたが、それに比べ(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は76%と他の項目に比べ低い評価であった。

図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



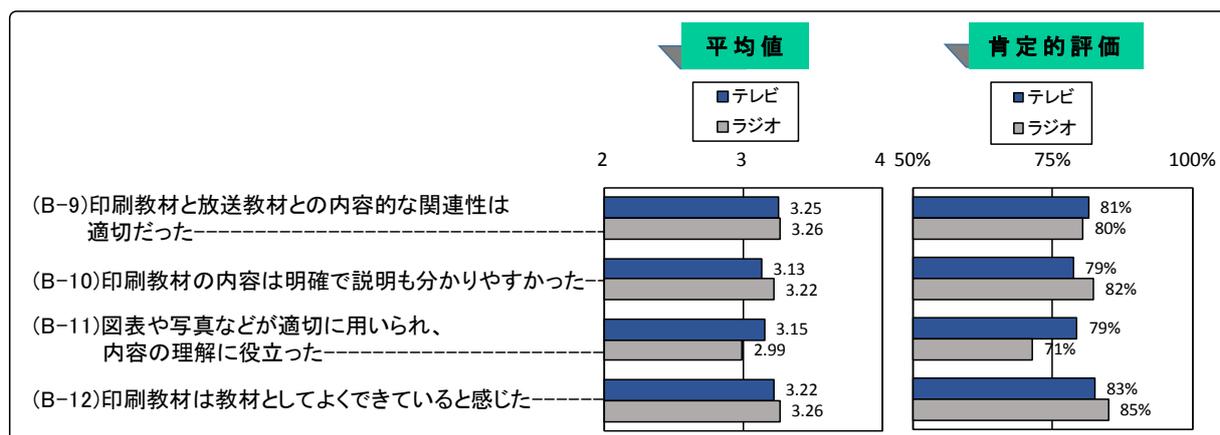
印刷教材の評価を時系列でみると(図2-38)(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」だけ2017年度は2016年度に比べ微増がみられたが、それ以外の項目では過去3年間は同水準であった。

図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価(時系列)



メディア別に印刷教材の評価をみると（図2-39）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」はテレビ科目とラジオ科目にはほとんど差はなかったが、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はラジオの評価が高く、反対に(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」はテレビが大きく上回っていた。

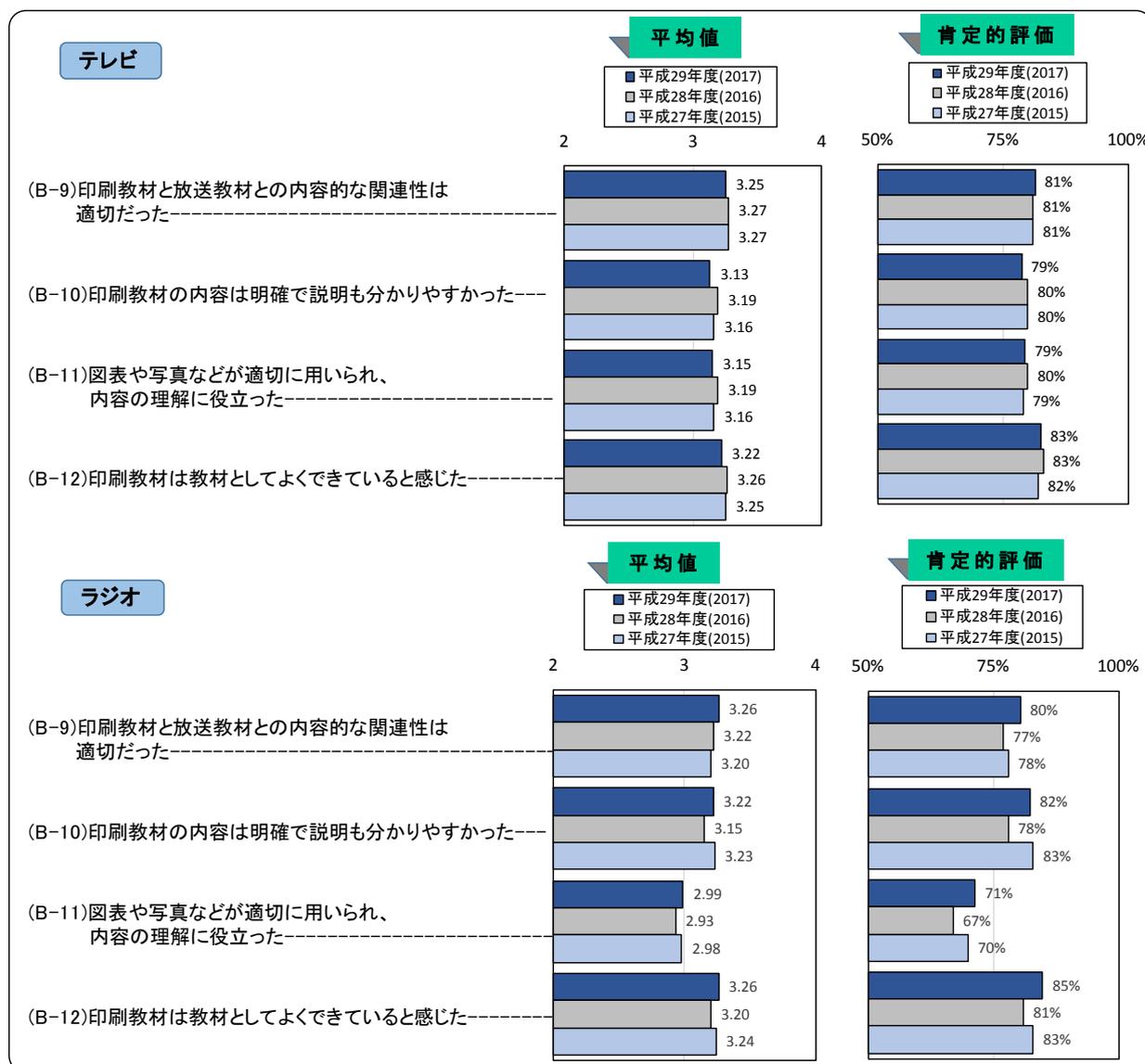
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列でみると（図2-40）、テレビ科目についてはこの3年間ほとんど変化なく同水準の値であった。

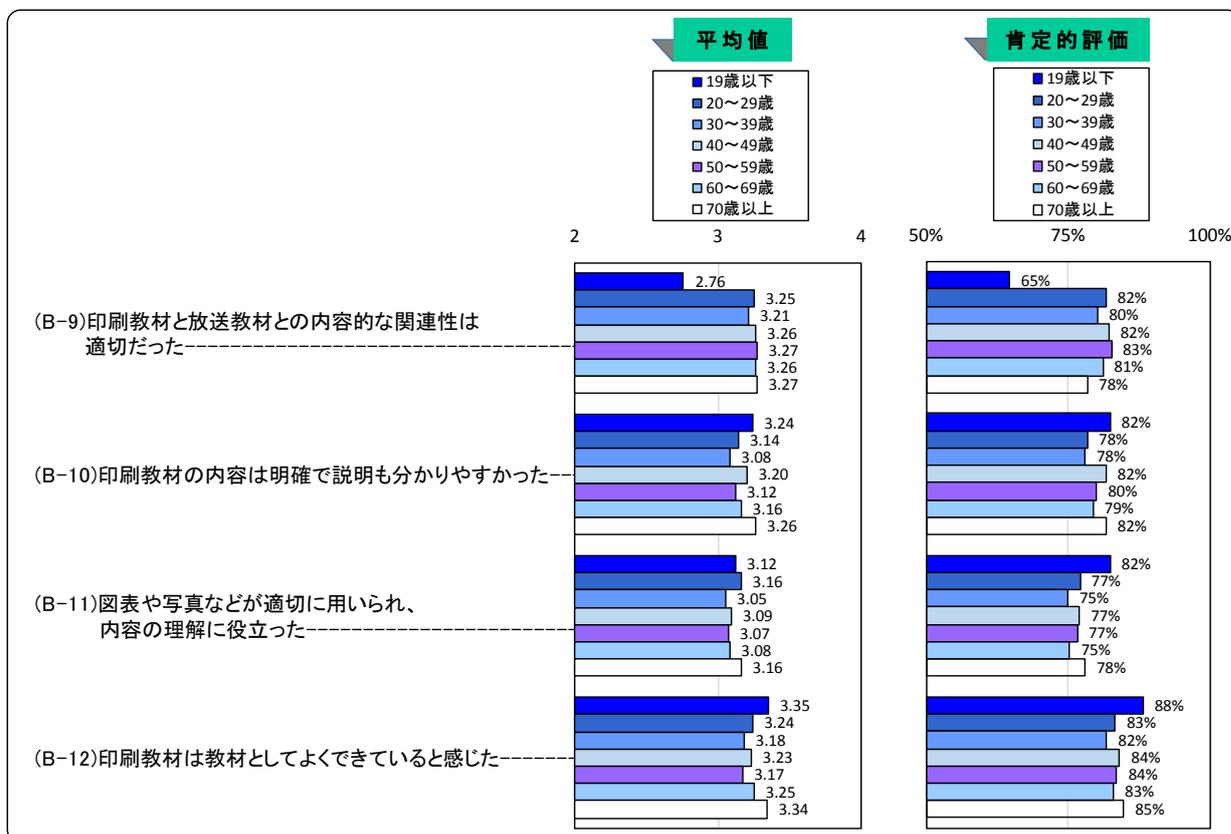
ラジオ科目については全ての項目で2016年度から3～4ポイントの上昇がみられた。

図2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価をみると（図2-41）（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」については20歳代～60歳代の評価が8割越えと高かった。残りの3項目については70歳以上の評価が高かった。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価

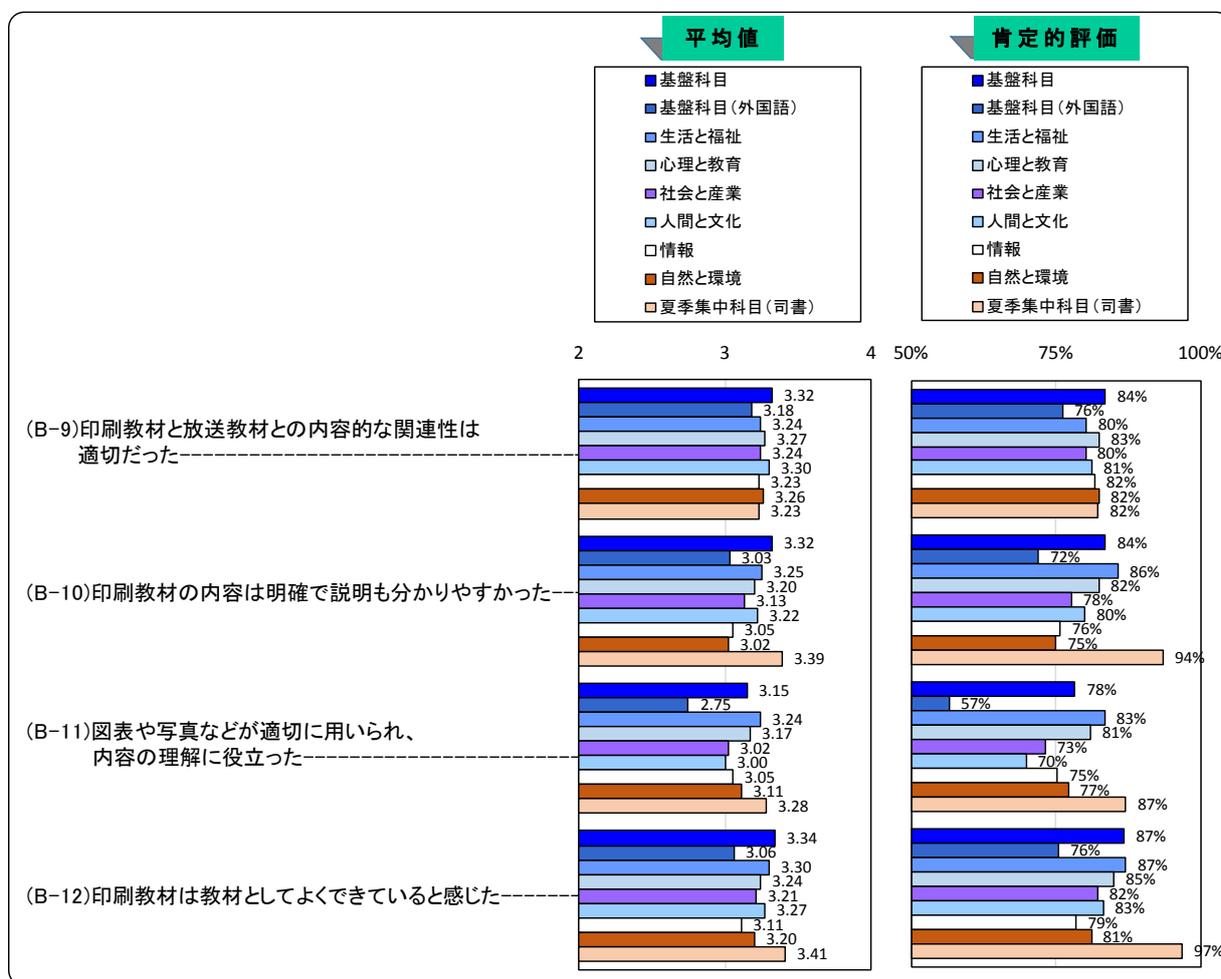


所属コース別に印刷教材の評価をみると（図 2 - 4 2）（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」については「基盤科目」の評価が最も高く、反対に「基盤科目（外国語）」の評価が最も低かった。

「基盤科目（外国語）」はそれ以外の 3 項目でも評価がもっと低く、特に（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では 57% と他の科目と比べ大きく下回っていた。

（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」から（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」の 3 項目については「夏季集中科目（司書）」と「生活と福祉」が上位を占め、「基盤科目」も（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」で同率 2 位となっている。

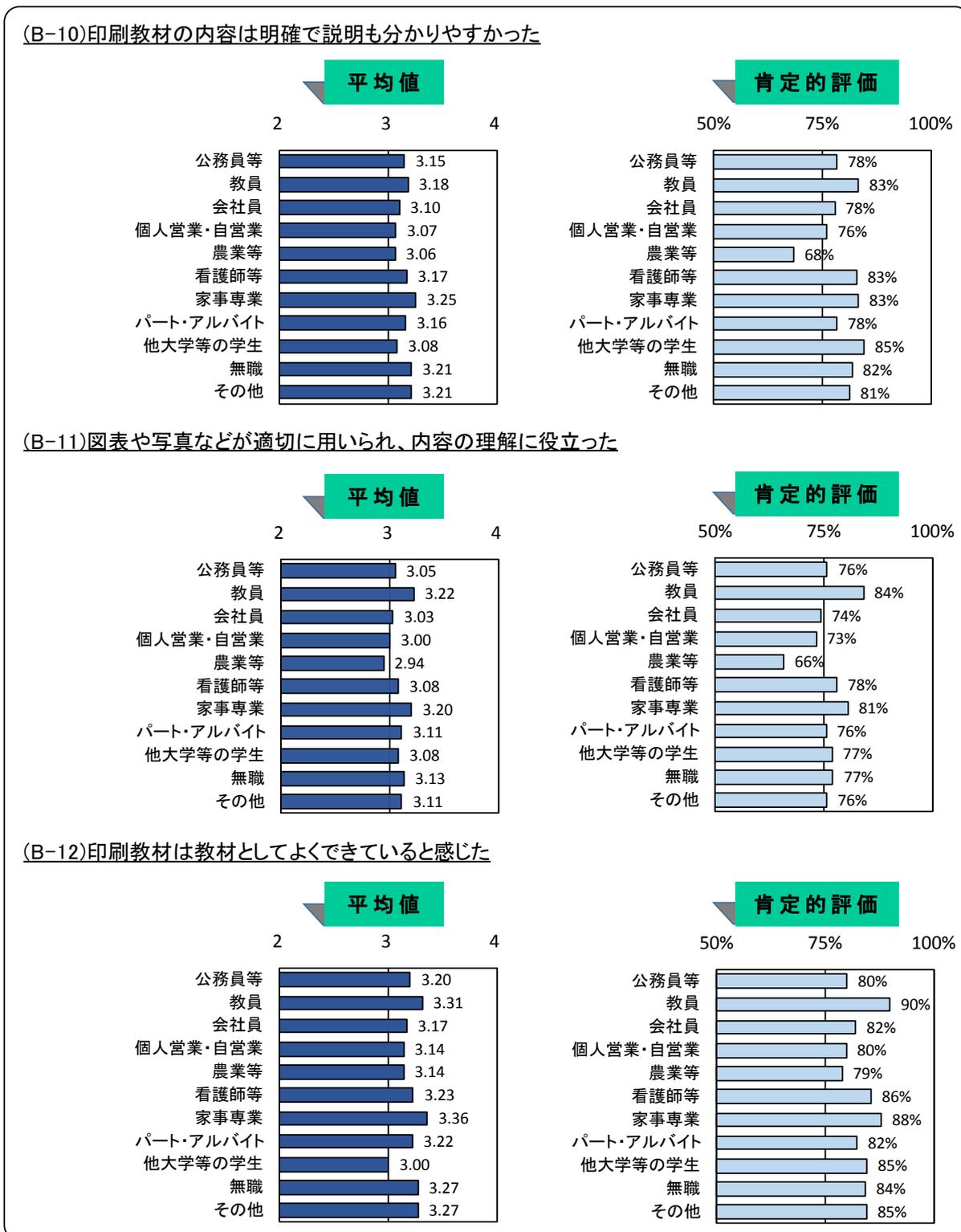
図 2 - 4 2 【学部】所属コース別の印刷教材の評価



職業別の印刷教材の評価では（図 2 - 4 3）（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は「他大学等の学生」以外では「教員」「看護師等」「家事専業」の評価が高かった。

残りの 2 項目でも「教員」と「家事専業」が上位を占めていた。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価



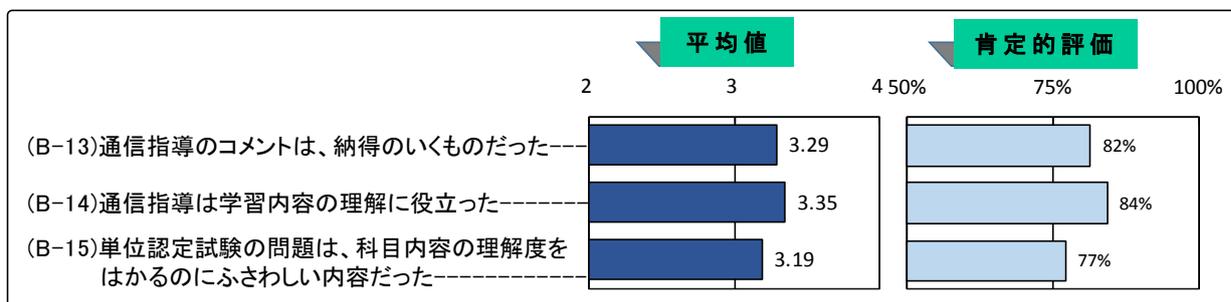
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとにみていくことにする。

通信指導については（図2-4-4）（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」がそれぞれ82%と84%と8割を超えていた。

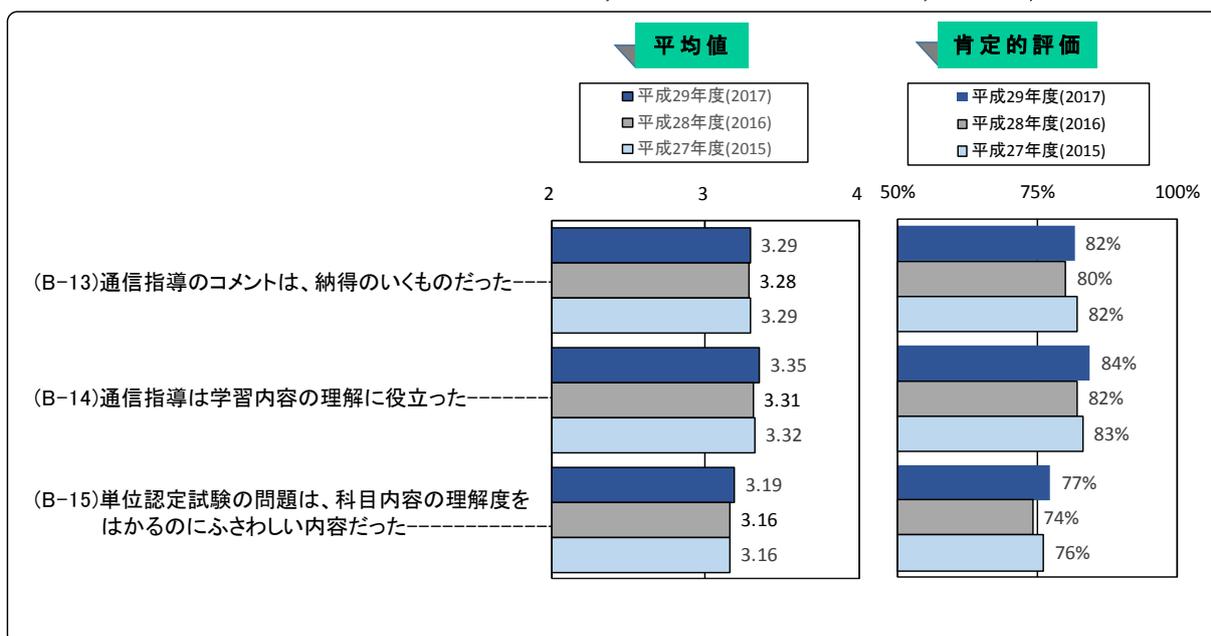
ただ、単位認定試験については、（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は77%と先の2項目を大きく下回っていた。

図2-4-4 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列でみると（図2-4-5）2017年度は全ての項目で2016年度から上昇がみられた。

図2-4-5 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）

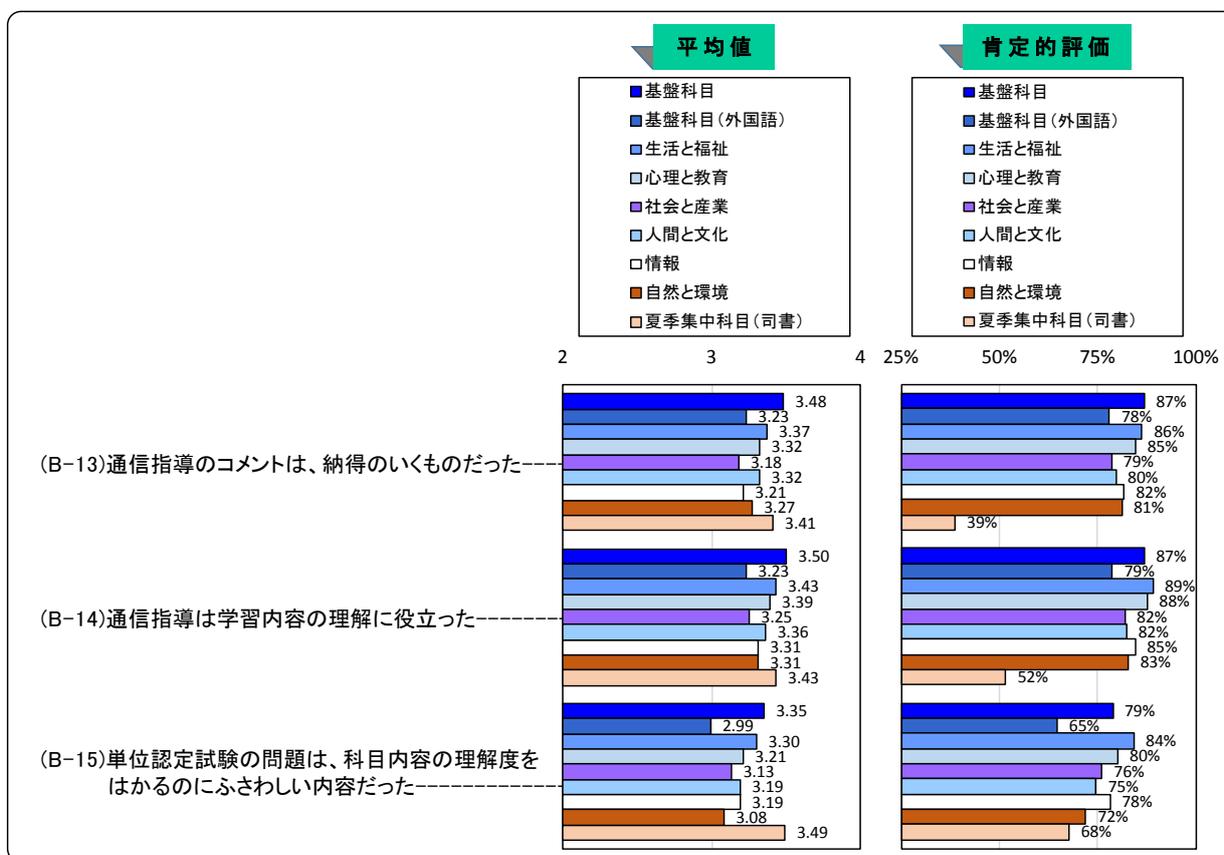


所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価をみると（図2-46）評価が高かったのは全ての項目で「生活と福祉」と「心理と教育」で、「基盤科目」も(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」で上位を占めていた。

反対に全ての項目で「夏季集中科目（司書）」の評価が低く、特に(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」で他の科目と比べ極端に低かった。

他に「基盤科目（外国語）」も全項目で80%を下回り評価が低かった。

図2-46 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－１－４．学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回の調査では＜全体評価＞の満足度 B-(20)「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、それ以外の各項目を説明変数として分析を試みる。

当調査の回答肢は数量データではなくカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値ポイント化することで数量データに変換し、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知ることを目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-(20)
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目A①～③、B(1)～(19) : 全 22 問
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{22}x_{22}$ (説明変数が全 22 問の場合)

説明変数が多すぎると全体の満足度を表すために適した重回帰式を得られないことが経験的に分かっているため、今回は重回帰分析の中で、目的変数との相関関係が強い説明変数を自動的に選択することができる「変数減少法」を用いて解析を行うことにする。

使用するデータは調査票の表面の I. の A と B、全設問を全て回答した 3,521 人のローデータを使用する。

■学部の重回帰分析

決定係数は目的変数のばらつきのうち、これらの説明変数で説明できる割合を表し、1 に近いほど当てはまりがよいとされ、当該重回帰式の決定係数は 0.748 であった。

前述したように変数減少法で分析を試みたが、全体評価と A-②「放送授業を十分に視聴した」、A-③「印刷教材を熱心に学習した」の単相関係数の符号は+であったが、得られた A-②と A-③の標準偏回帰係数は-となったため、またそれぞれの単相関係数が 0.282 と 0.327 で他の項目の中で最下位とその次だったためこの 2 項目を除外して分析を行った。

◆分析精度

重相関係数 R	0.865
決定係数	0.748
自由度修正済み決定係数	0.747
説明変数の数	11
ダーヴィンワトソン比	1.999

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 1.999 となった。

今回の重回帰分析では分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%ある事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	2192.8	3520				
回帰による変動	1639.7	44	149.1	945.8	0.000	[**]
回帰からの残差変動	553.0	3509	0.157			

凡例	有意水準
[**]	0.01
[*]	0.05

標準偏回帰係数とは偏回帰係数間の相互比較を可能にするためのものである。各説明変数の目的変数に対する影響力の度合い(寄与率)がこれで分かる。

下表は「B-20. 全体評価」の説明変数として「標準偏回帰係数」の高い順に並べたものである。

最も高かったのは B-19 の理解度で標準偏回帰係数が 0.345、次いで B-17 の 0.224、他に B-18 (0.127)、B-12 (0.078)、B-15 (0.066) と続いた。

判定結果で有意となったのは B-16「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」までの 9 項目である。

(表最下段の定数項とは説明しきれない残りの部分である。)

標準偏回帰係数の四則演算が許されるなら、B-4 までの合計が 1.073 で、上位 4 項目の B-19 から B-12 の合計が 0.773 となり、この 4 項目の全体の満足度への寄与率は 72%となる。

また、B-19 (理解度) の全体評価に対する寄与率は 0.345 で、B-18 の 2.7 倍、B-17 の 1.5 倍となっている。つまり、全体評価(肯定的評価:83%)を上げるためには B-19 の理解度(同 79%)を上げる事が最も効果的である。

同時に B-17 の学習意欲や興味・関心度(同 85%)と B-12 の印刷教材の質・評価(同 83%)の向上に努めることで全体評価が上昇するものと考えられる。

(※「B-18 新しい知識が身につく視野が広がった」については個人的な評価に依るところが大きく、施策として具体的な方法を見つけにくいいため、割愛した。)

表 2 - 2 【学部】重回帰分析結果

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定
B-20.全体評価	0.345	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]
	0.224	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]
	0.127	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]
	0.078	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]
	0.066	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]
	0.062	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]
	0.057	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]
	0.042	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[**]
	0.031	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]
	0.021	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	[]
	0.022	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	[]
定数項			[**]

学部の重回帰分析の最後に施策を進めていく上で、役に立つと思われる、B-19 の理解度と相関の高い項目を上位 13 位までを挙げることにする。

ただ、2017 年度は下記の理由により偏相関係数を採用する。

※ X, Y の 2 つの関係に他の変数が影響を持っているときにその効果を差し引かないと X, Y の関係の強さを正しく評価できない。この場合、単相関係数ではなく偏相関係数を使う。

表 2 - 3 【学部】 B-19 の理解度と相関の高い上位 13 項目

順位	項目名	B-19との 偏相関係数	判定
1	B-(10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.101	[**]
2	B-(18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.096	[**]
3	A-(1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	0.083	[**]
4	B-(3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.081	[**]
5	A-(3)印刷教材を熱心に学習した	0.075	[**]
6	B-(15) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.065	[**]
6	A-(2)放送授業を十分に視聴した	0.065	[**]
8	B-(16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.057	[**]
9	B-(5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.052	[**]
10	B-(1) 放送授業の難易度は適切だった	0.052	[**]
11	B-(11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.031	[]
12	B-(17) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	0.015	[]
13	B-(8)TVの特性が十分に生かされていると感じた／ 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.011	[]
参考	B-(20) 全体評価	0.336	[**]

凡例	有意水準
[**]	0.01
[*]	0.05

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

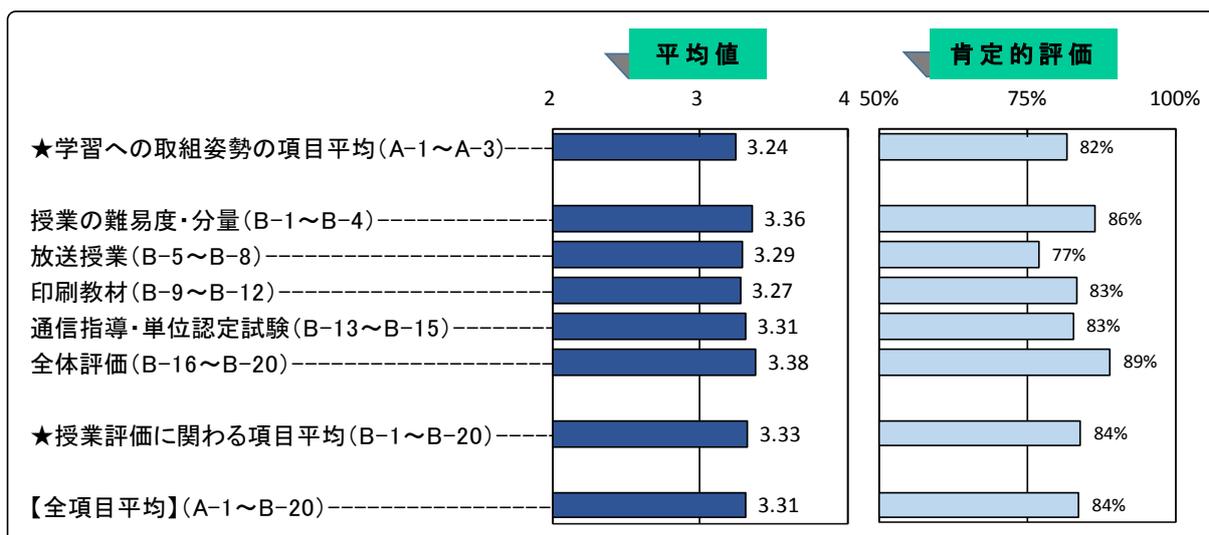
評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の項目平均を算出したのが（図 2－47）である。

学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%と）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか迷うことになるため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、新規開設科目の年度比較は比率の差の検定結果から、大学院は学部ほどサンプルサイズが大きくないため（2017 年度 705 人、2016 年度 453 人、2015 年度 1148 人）、概ね 5 ポイントの差で有意となり 4 ポイント以下では有意差はなかった。そのため比較対象の差が 5 ポイント以上で「差がある」と扱う事にする。

『学習への取組み姿勢』から『全体評価』までは、『全体評価』が 89%と最も高く、他に『授業の難易度・分量』『印刷教材』『通信指導・単位認定試験』が 80%以上の評価を得ていた。『放送授業』が 77%と唯一 8 割を下回った。

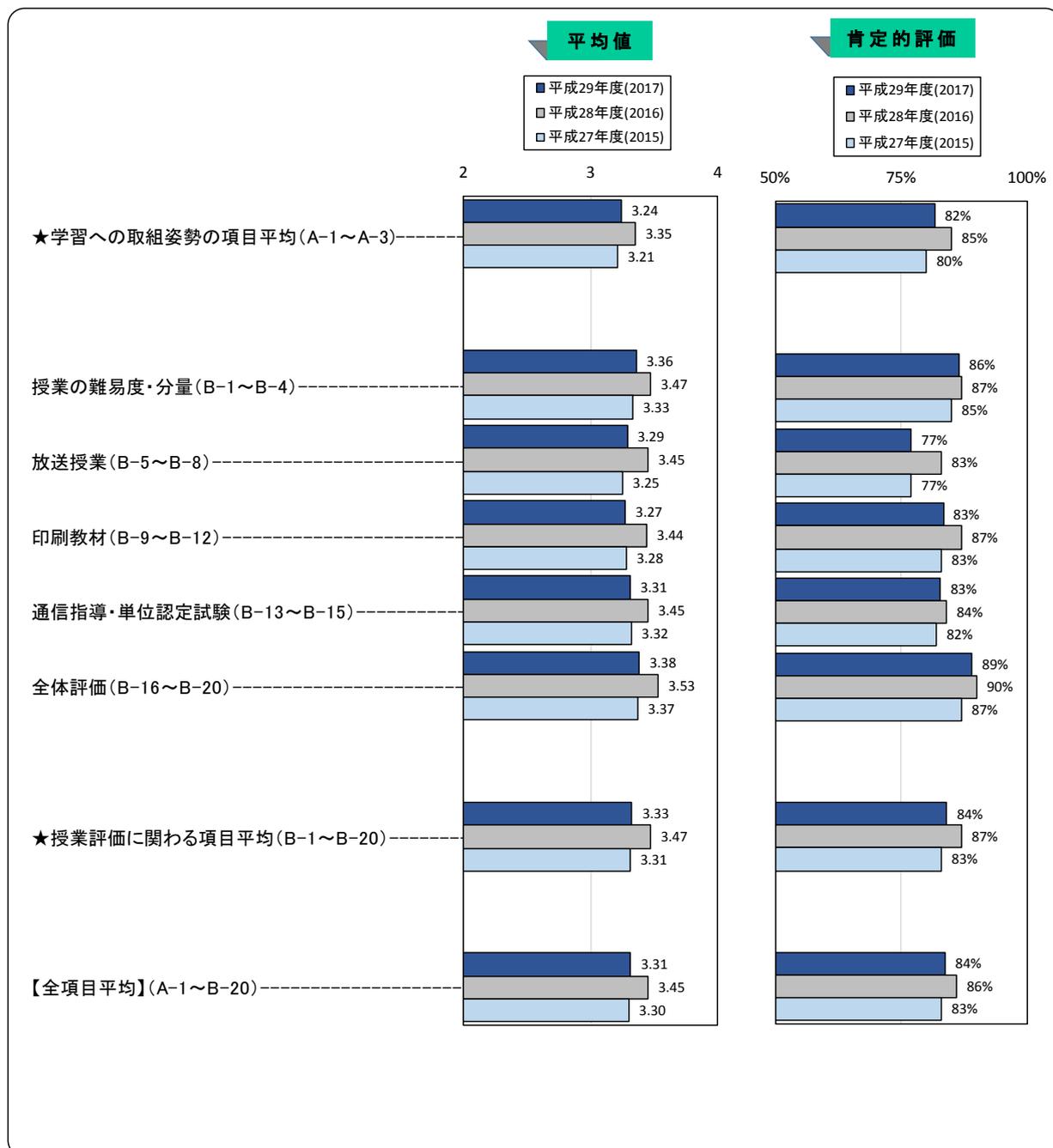
図 2－47 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-48）、2017年度新規開設科目は、『全体評価』までは、2016年度に比べ『学習への取組み姿勢』『放送授業』『印刷教材』で3～6ポイントの減少がみられた。

その他の『授業の難易度・分量』『通信指導・単位認定試験』『全体評価』ではそれほど変化はみられなかった。

図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



年齢階層別では（図2-49）全ての項目において20歳代の評価が低かったが、20歳代の回答者は11人と小サンプルだったため参考値とし、以下同様とする。

『学習への取組み姿勢の項目平均』は30歳代から年代の上昇と共に比率の増加がみられた。

『授業の難易度・分量』は全ての年代で80%を超え、特に30歳代から50歳代で高かった。

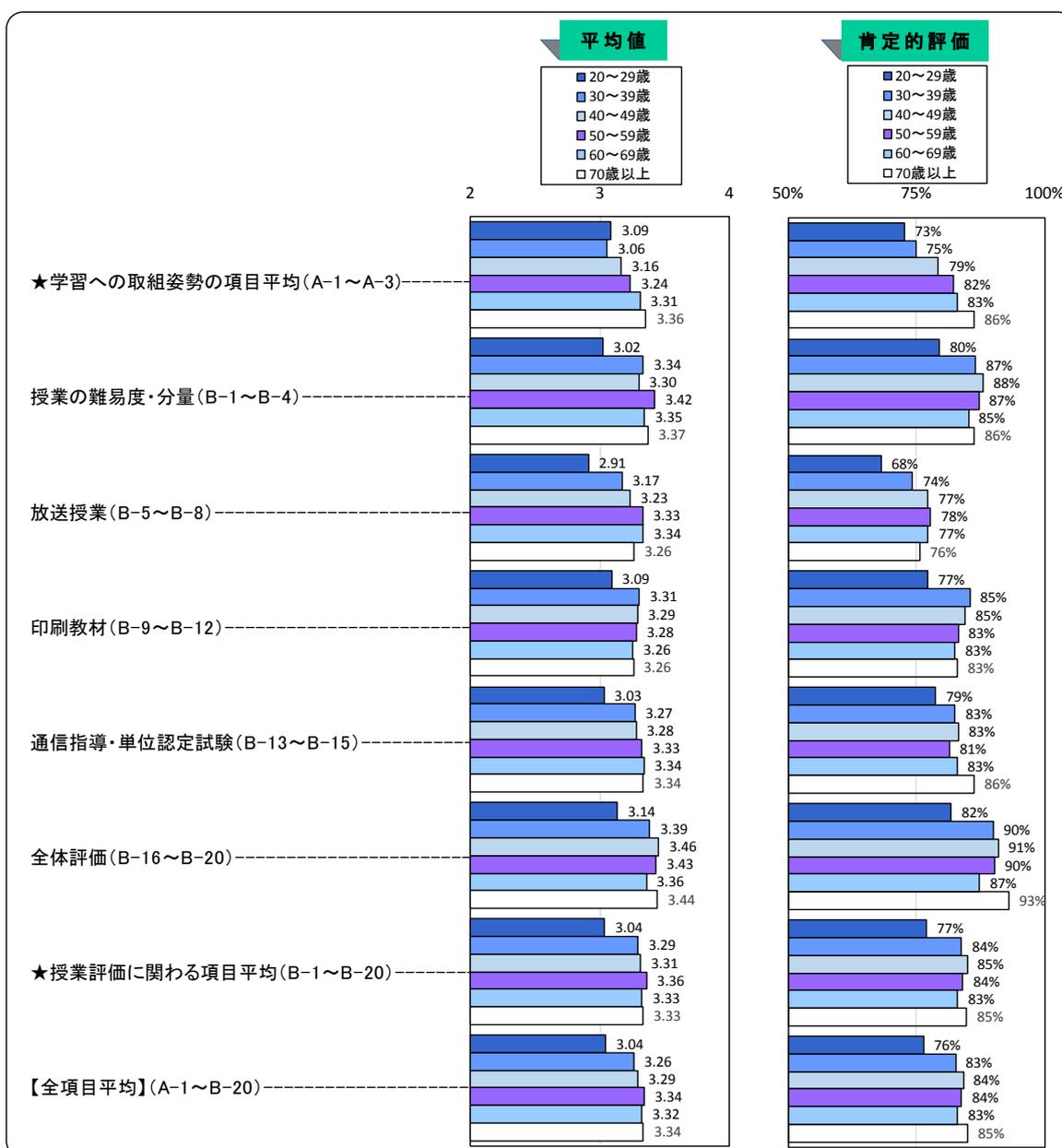
『放送授業』は全年代で80%を下回り年代間に差はみられなかった。

『印刷教材』と『通信指導・単位認定試験』は20歳代を除けば全て80%越えて評価は高かった。

『全体評価』は9割前後の評価で前述の5項目より評価が高かった。

前述の結果『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』『全項目平均（A-1～B-20）』ともに20歳代を除く各年代で83%～85%に達していた。

図2-49 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向

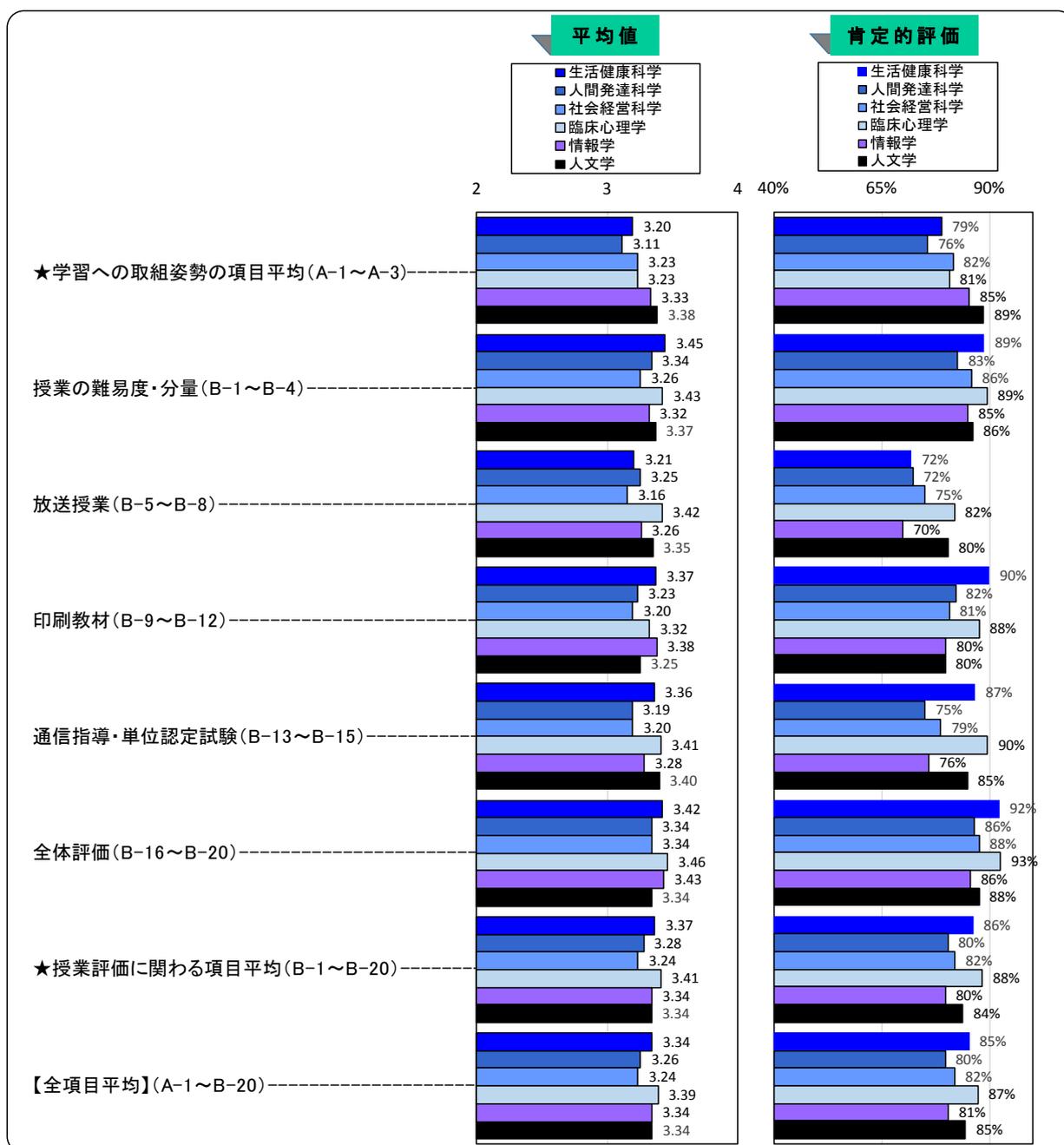


科目の所属プログラム別に項目平均をみると（図2-50）、『学習への取組み姿勢』では「人文学」が89%と他を圧倒していた。

『授業の難易度・分量』『印刷教材』『通信指導・単位認定試験』『全体評価』の4項目では「生活健康科学」と「臨床心理学」が上位2位を占め、特に『全体評価』でそれぞれ92%と93%と際立っていた。

『放送授業』は「臨床心理学」と「人文学」が上位で、それ以外のプログラムは他の項目に比べても低率であった。

図2-50 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向



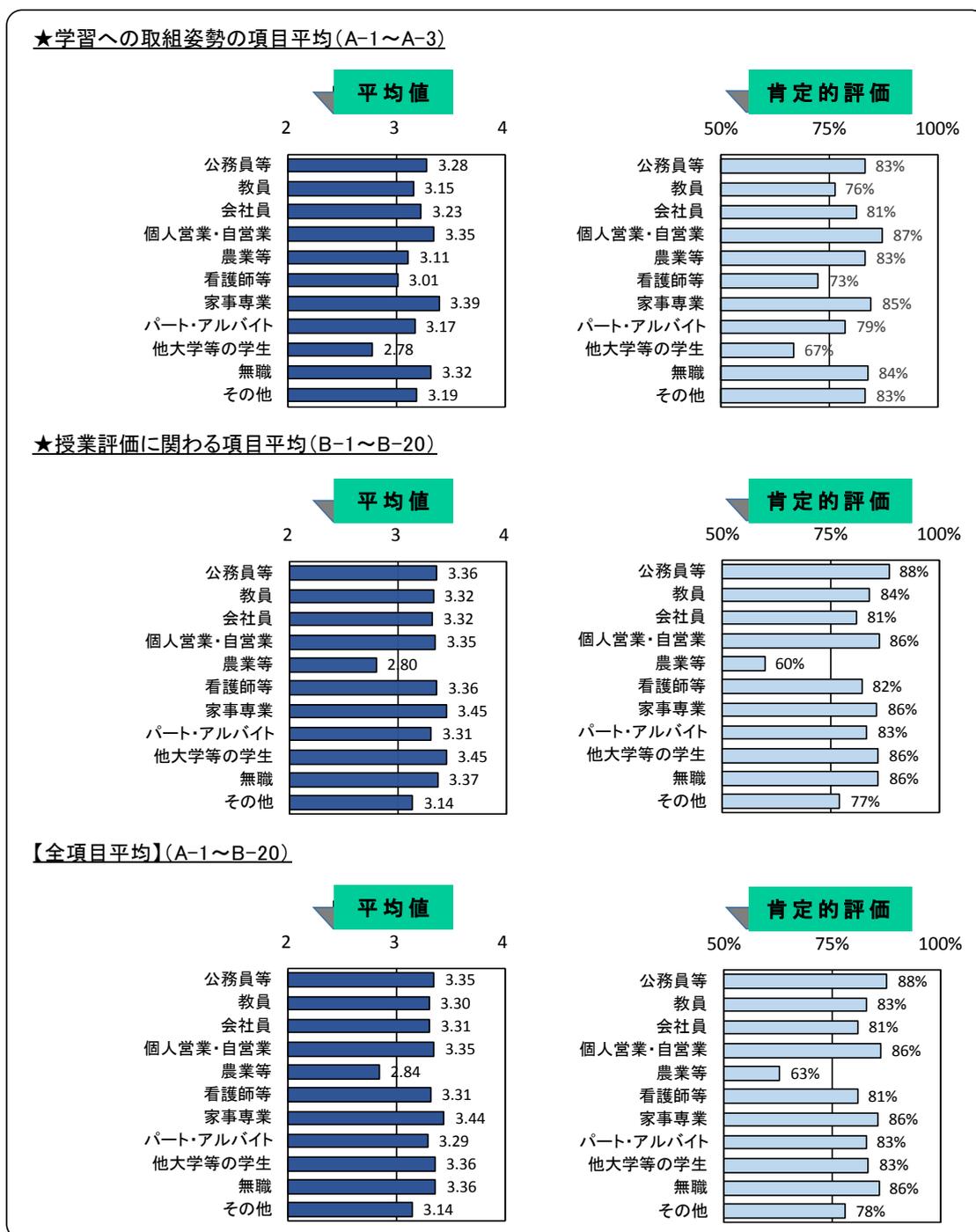
職業別では（図2-51）『学習への取組み姿勢』は「個人営業・自営業」「家事専業」「無職」で評価が高く、「看護師等」で低かった。

『授業評価に関わる項目平均』は各職業で評価が高く、中でも「公務員等」は88%に達していた。

（「農業等」（6人）と「他大学等の学生」（3人）は標本数が少ないため%表記はそぐわず、これ以降言及の対象としないこととする。）

『全項目平均』をみるといずれも「その他」以外では80%を越え、特に「公務員等」は88%と高率であった。

図2-51 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向



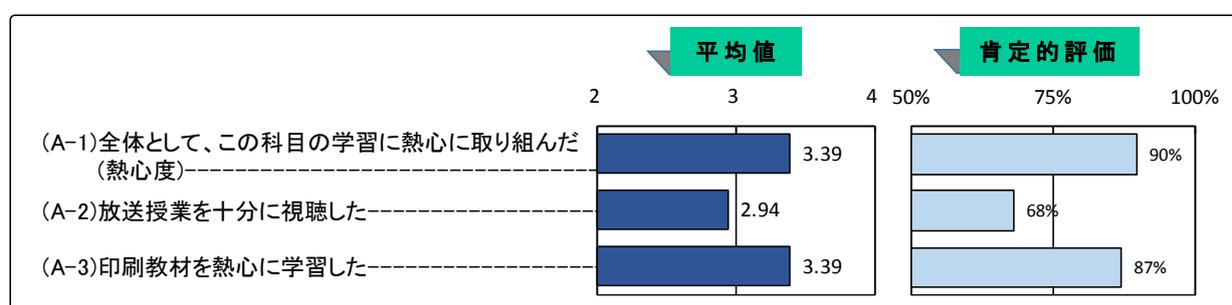
Ⅱ－2－2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果をみていく。

学習への取組み姿勢（図2-5-2）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」の肯定的評価は90%前後でそれぞれの熱心度は高かった。

一方、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は68%で前述の2項目に比べると極端に低かった。

図2-5-2 【大学院】回答者全体の取組姿勢

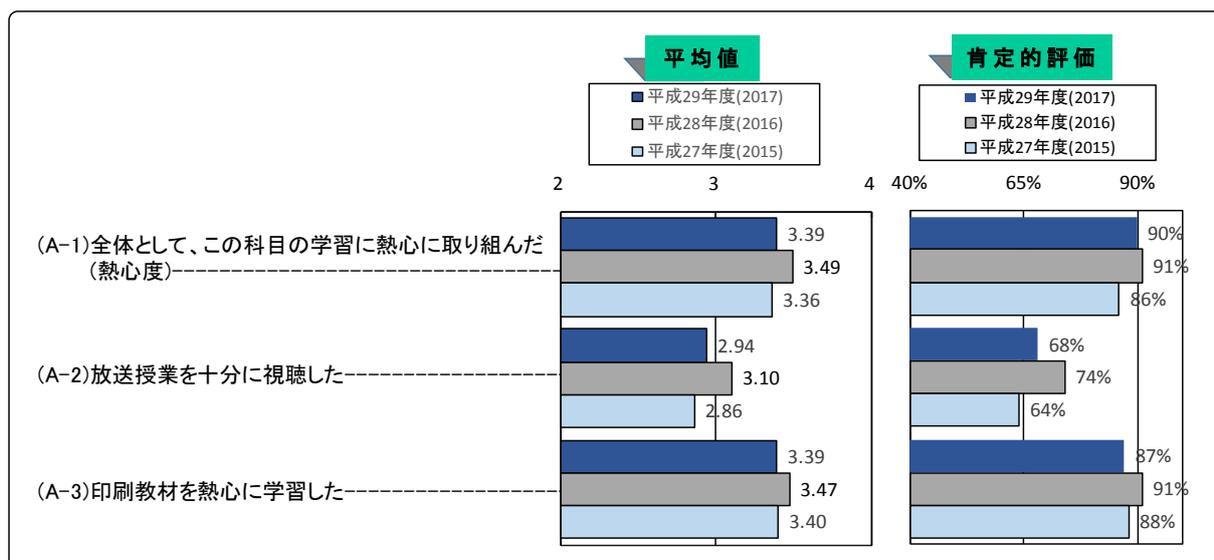


学習への取組み姿勢を時系列で見ると（図2-53）（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」については、2016年度は2015年度から5ポイントアップで90%代に上昇し、それを2017年度も維持できていた。

ただ、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」については、2017年度は2016年度に比べ6ポイントの減少で70%を割り込んだ。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」も2016年度に比べ4ポイント減少した。

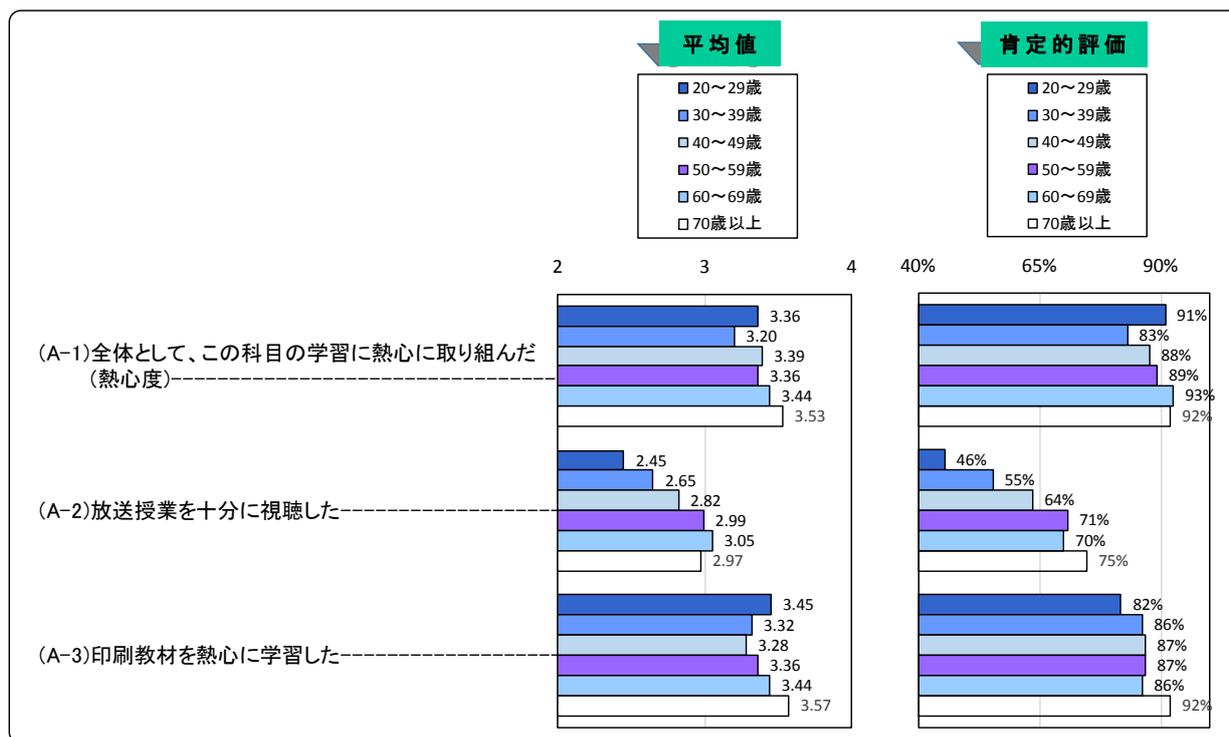
図2-53 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



年齢階層別では（図2-54）（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は概ね年代が上がるほど評価も高くなる傾向がみられ「A-2」の上昇度は大きい。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は年代に関係なく評価が高く、特に70歳以上で92%に達していた。

図2-54 【大学院】年齢階層別の取組姿勢

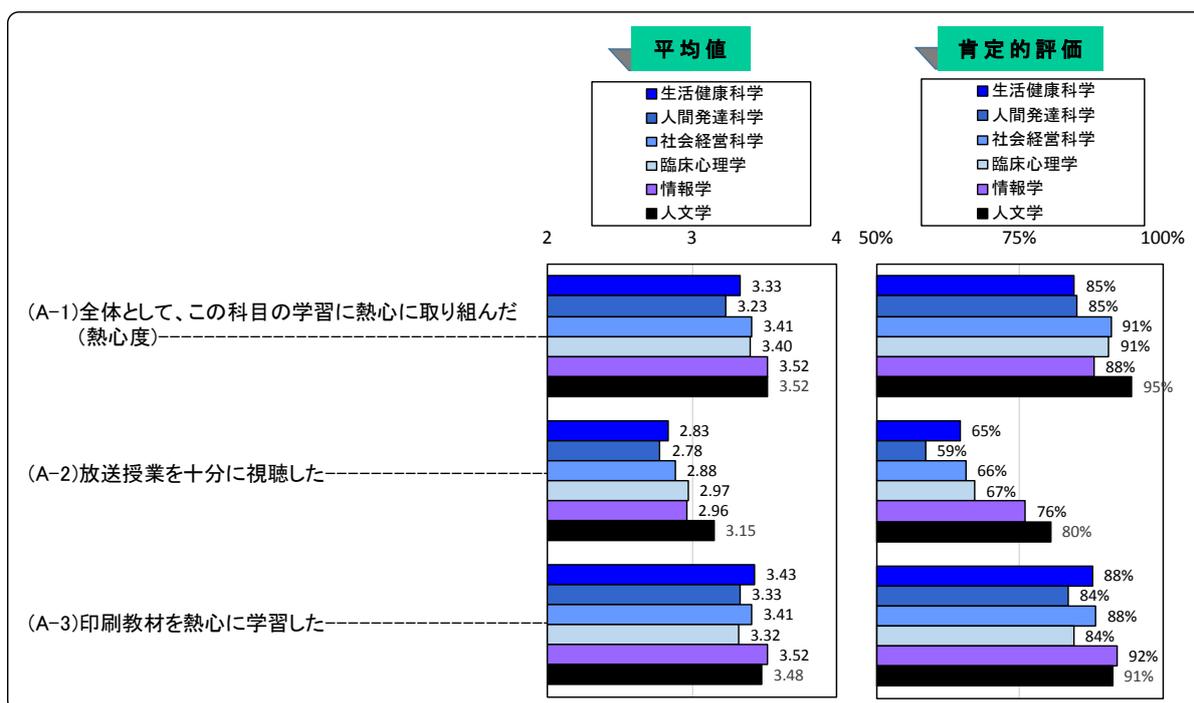


所属プログラム別では（図2-55）（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は全てのプログラムで85%以上と高率で特に「人文学」で95%と高かった。

反対に（A-2）「放送授業を十分に視聴した」については他の2項目に比べ一様に低く最も高かったのは「人文学」の80%であった。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は前述の「A-1の熱心度」同様、全てのプログラムで評価が高く「情報学」と「人文学」では9割に達していた。

図2-55 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

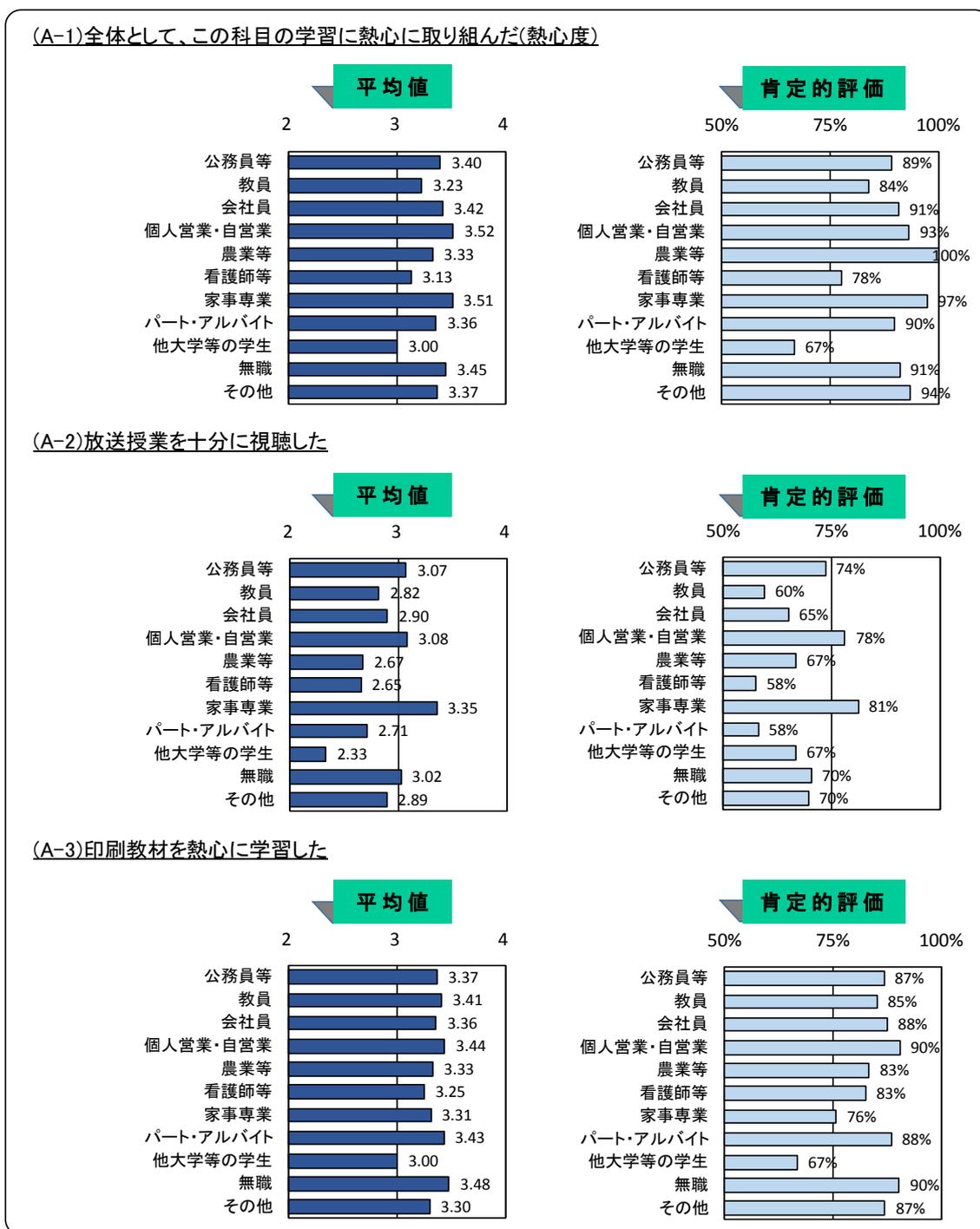


職業別では（図2-56）（A-1）「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では「看護師等」と「教員」は他の職業と比べ値が低かった。それ以外の職業は90%前後と高率で、特に「家事専業」は97%に達していた。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は、総じて低い値で「看護師等」と「パート・アルバイト」は6割を切っていた。

（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」は「家事専業」以外は80%台から90%で高い水準であった。

図2-56【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図2-57）は、全体では「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が60%を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が30%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は5%と極めて少ない。

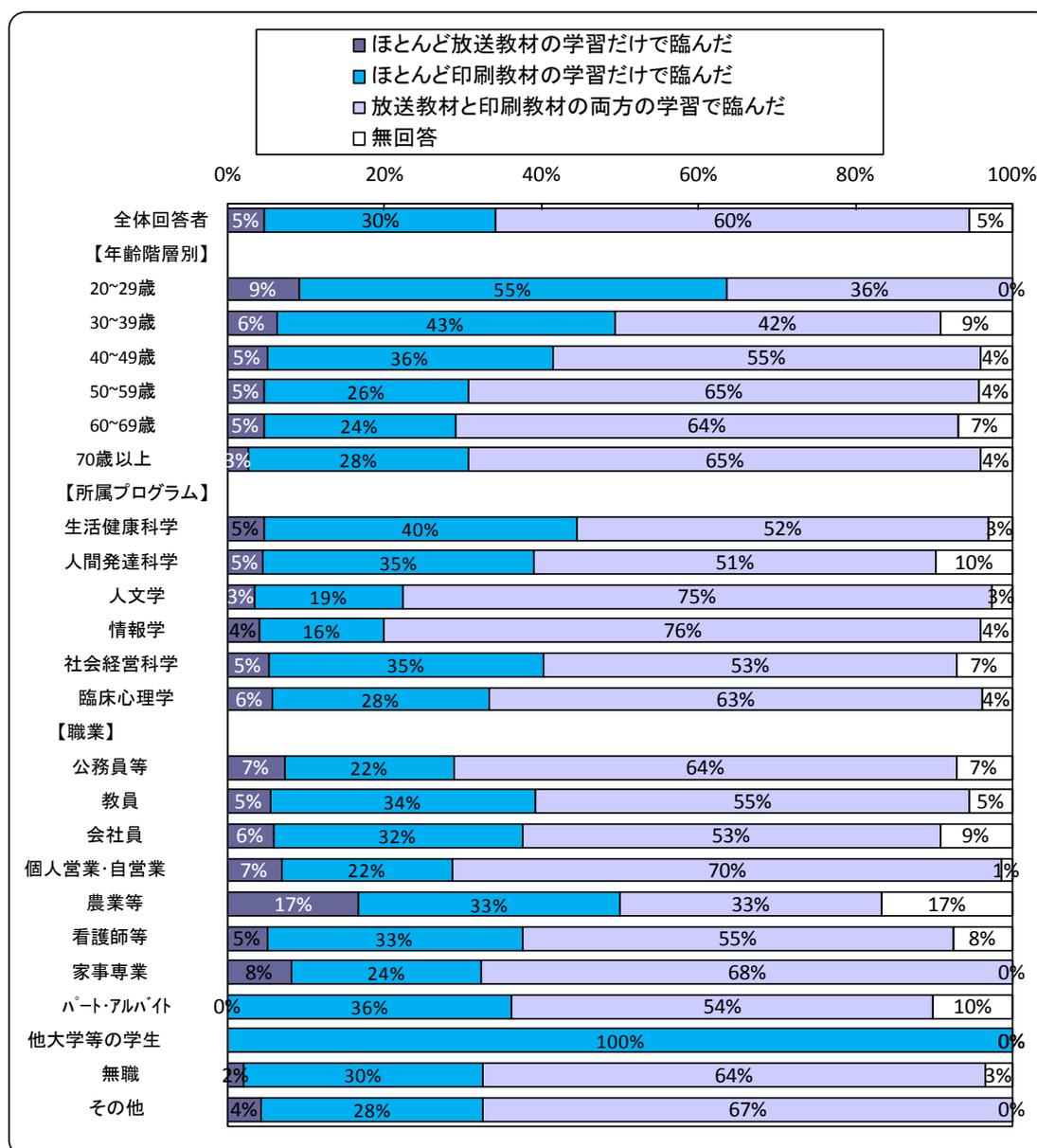
年齢階層別では、年代が低いほど「印刷教材の学習だけ」の比率が高く、30歳代で「印刷教材の学習だけ」と「放送教材と印刷教材の両方」が同水準で、40歳代以降は「放送教材と印刷教材の両方」が55%から65%で推移していた。

所属プログラム別では、全体との対比で「放送教材と印刷教材の両方」は「人文学」「情報学」で高く、「生活健康科学」「人間発達科学」「社会経営科学」で低かった。

「臨床心理学」は全体と同傾向であった。

職業別では全体と比べ「放送教材と印刷教材の両方」が多かったのは「個人営業・自営業」「家事専業」「その他」で67%～70%に及んでいた。

図2-57 【大学院】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

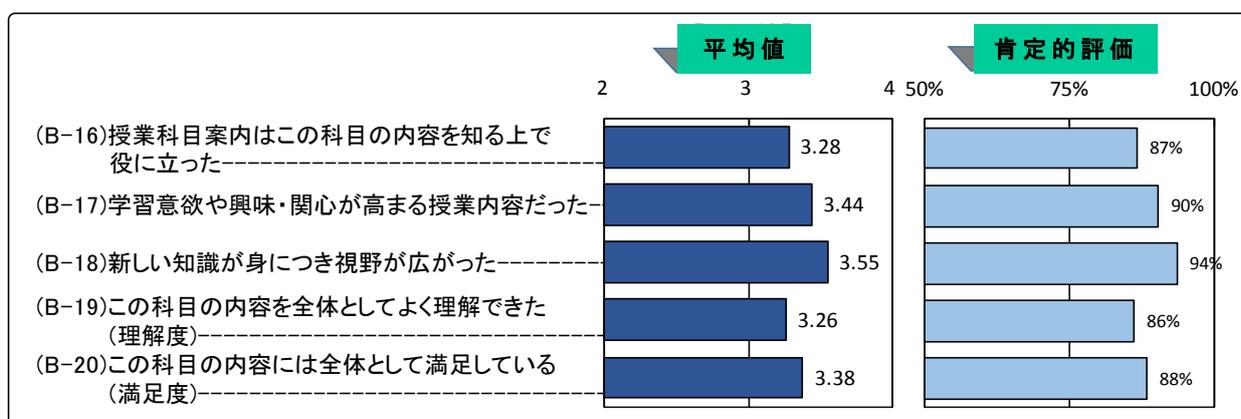
(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとにみていくこととする。

全体評価では（図 2－5 8）いずれの項目も高い評価で、特に（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は 94%に達していた。

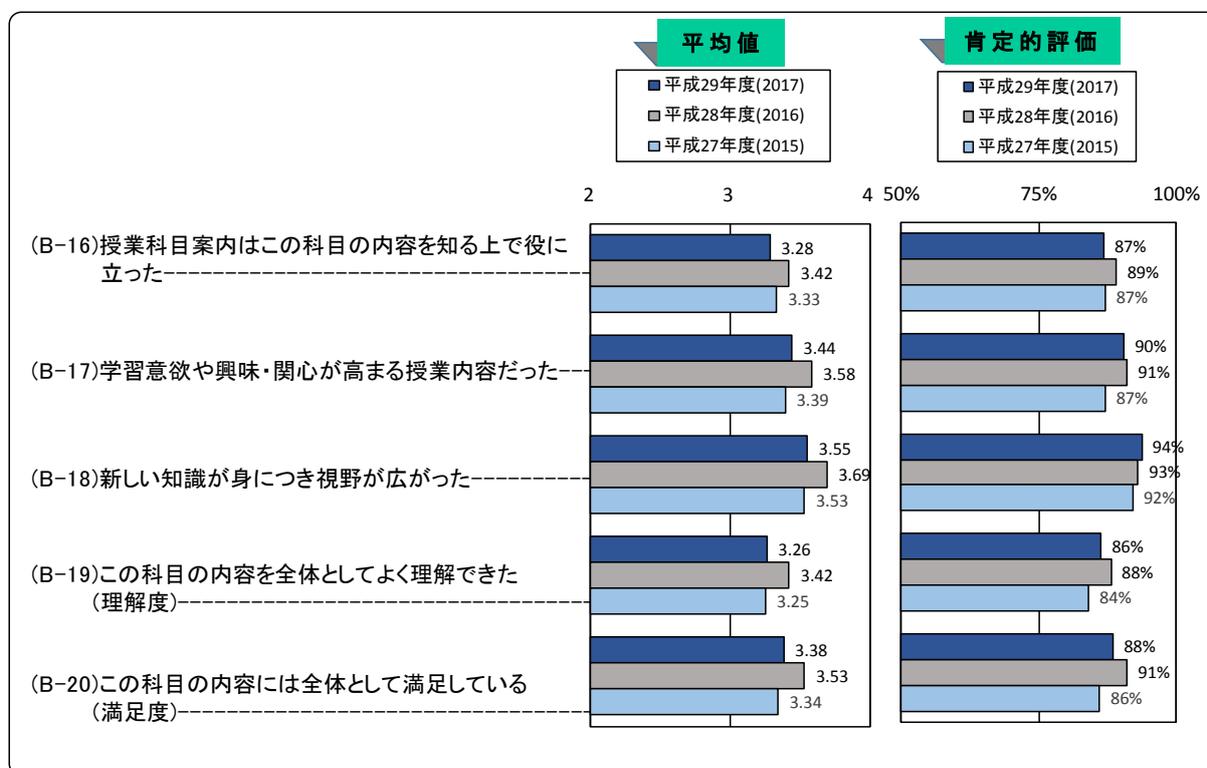
それ以外では（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も 90%の支持率であった。

図 2－5 8 【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-59）この三年間ほとんど変わりがなく同水準であったが、増減で言うと（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」以外は微減傾向となっている。

図2-59 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）

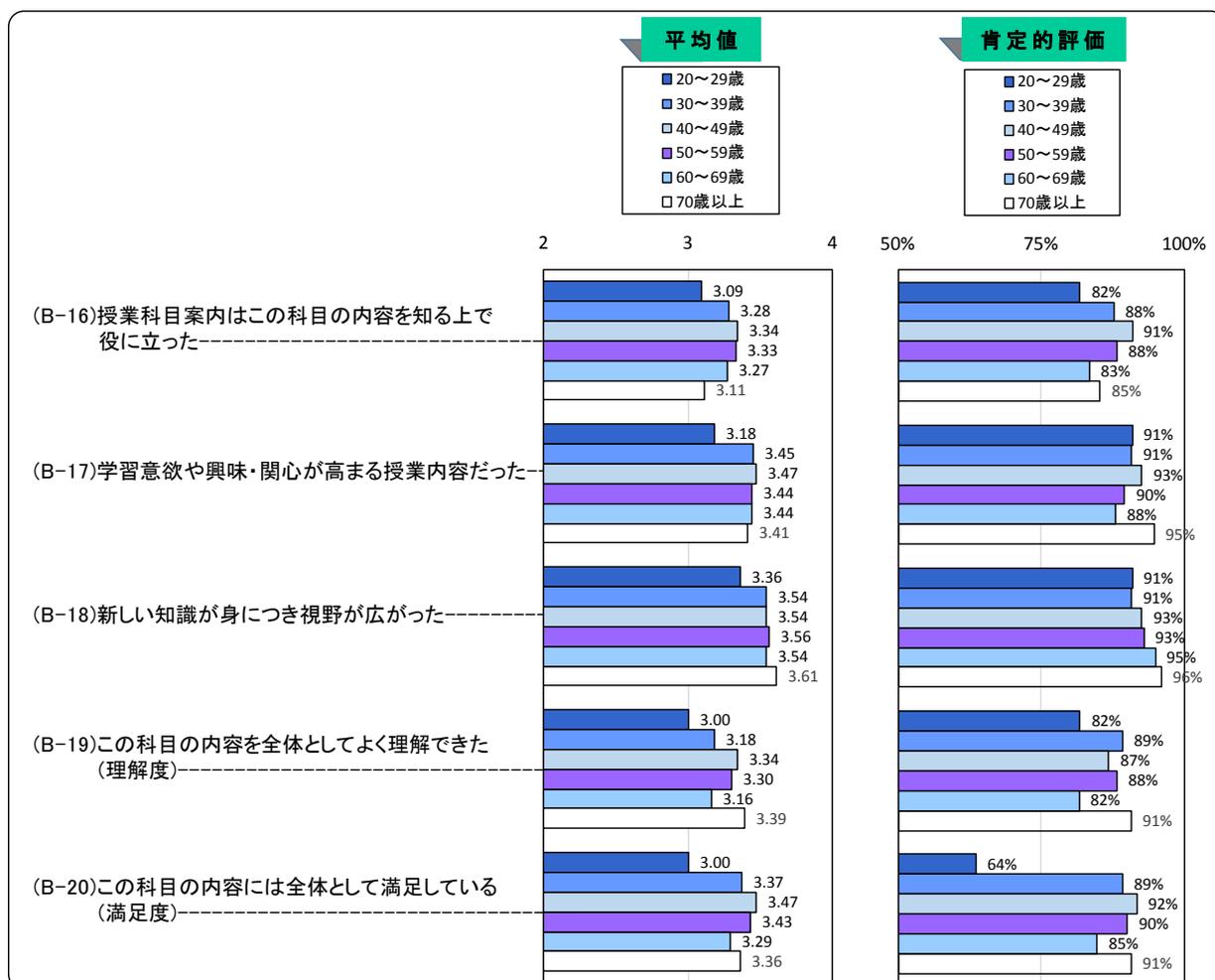


年齢階層別では（図2-60）、標本数の少ない20歳代を除けば、全ての項目で最も低い値が（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」における50歳代の82%で、この事から全体的に評価が高いことがわかる。

中でも（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は全年代から90%台の高い支持率を得ていた。

70歳以上は評価が高く（B-16）「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」以外の4項目で最上位であった。

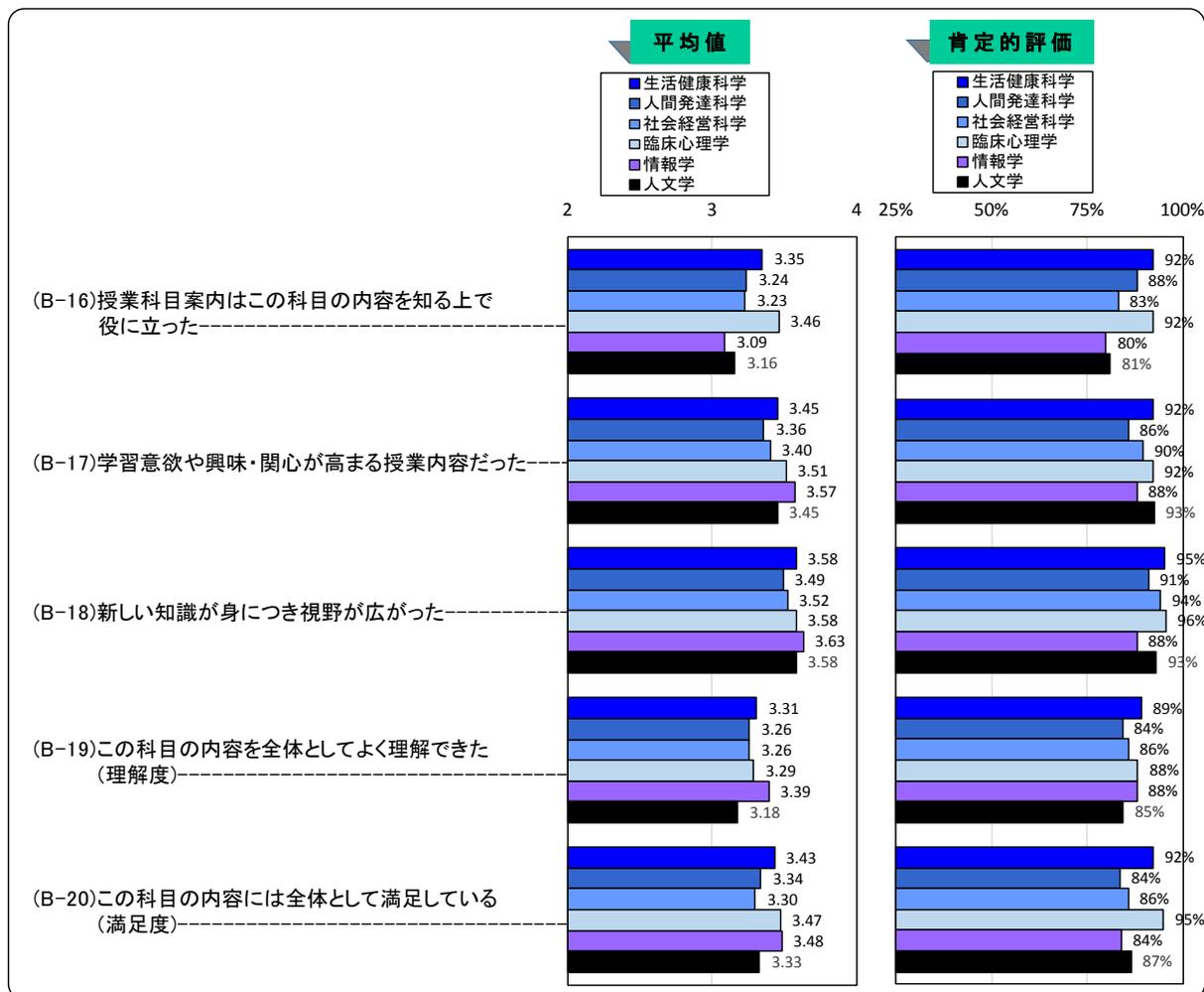
図2-60【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価をみると（図2-61）、「生活健康科学」と「臨床心理学」の評価が高く、全項目で上位1位と2位を占めていた。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については「情報学」の支持率も同率2位と高かった。

図2-61 【大学院】所属プログラム別の全体評価

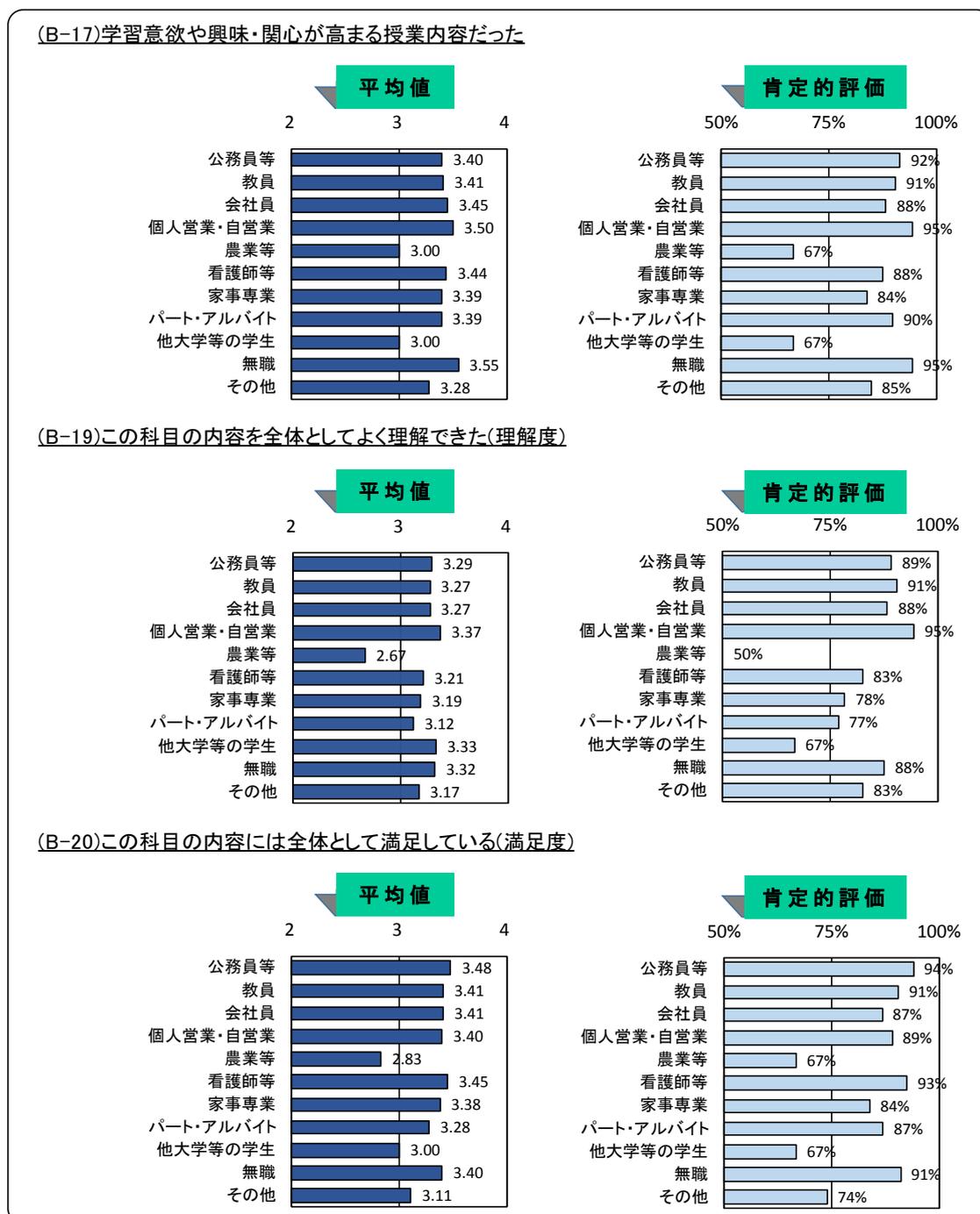


職業別では（図2-62）、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」はいずれの職業でも高く、特に「個人営業・自営業」と「無職」が95%と高かった。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は「教員」と「個人営業・自営業」が高く、反対に「家事専業」と「パート・アルバイト」で低かった。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」は「公務員等」と「看護師等」が高く、「その他」で低かった。

図2-62【大学院】職業別の全体評価

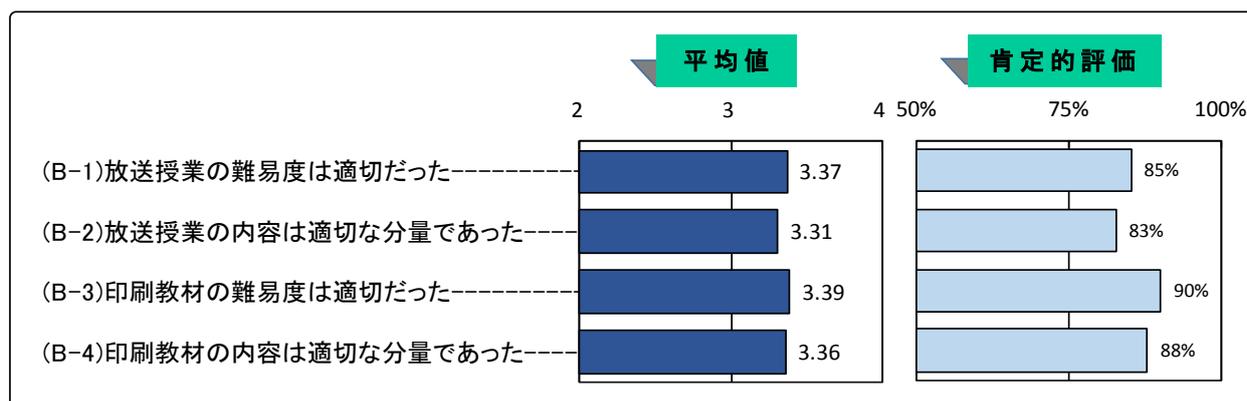


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとにみていく。

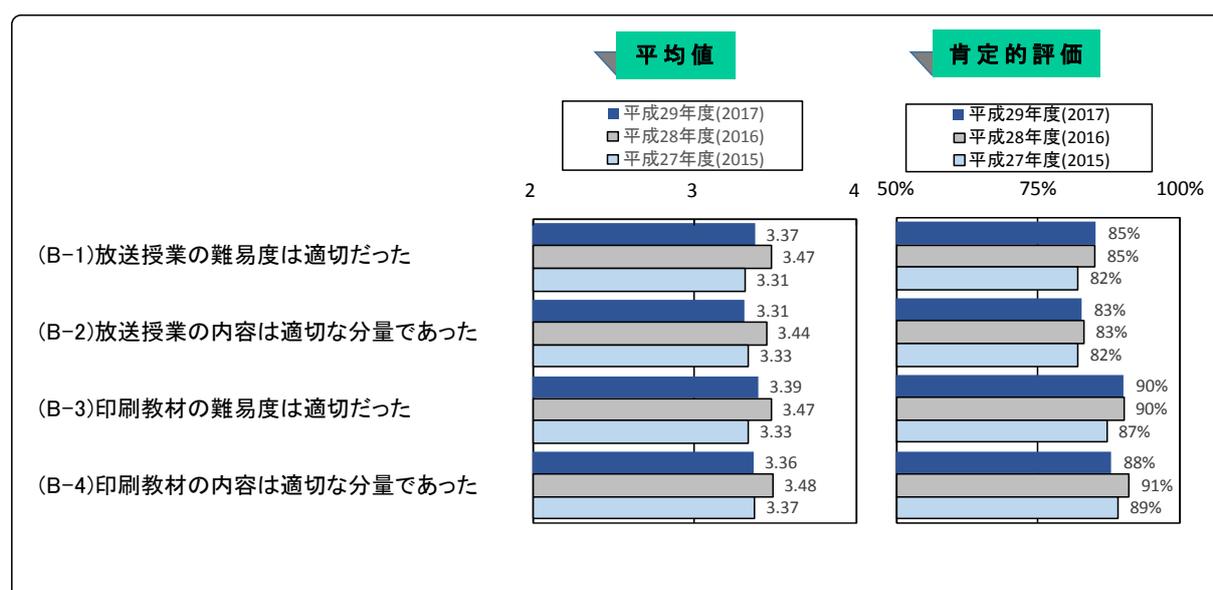
授業の難易度・分量の評価は（図2-63）いずれも高い評価となっている。ただ、『放送授業』の支持率（B-1,2）より『印刷教材』（B-3,4）の支持率の方が高かった。

図2-63 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度で比較すると（図2-64）、2016年度との比較で（B-4）「印刷教材の内容は適切な分量であった」は2017年度が微減であったが、それ以外は全く変わらなかった。

図2-64 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



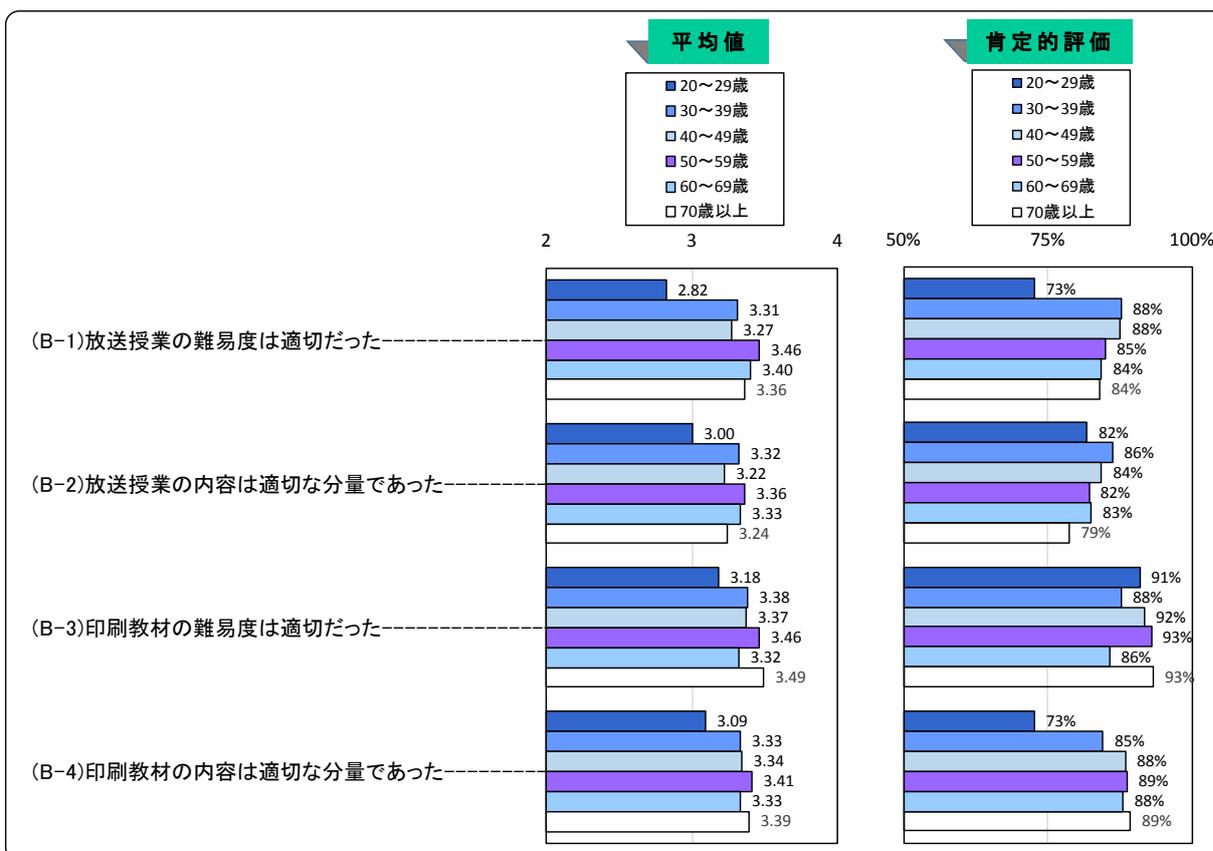
年齢階層別に授業の難易度・分量をみると（図2-65）（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」は30歳代、40歳代で評価が高かった。

同様に（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」は30歳代をピークに年齢の上昇と共に評価は下降傾向で、70歳以上で79%となっている。

（B-3）「印刷教材の難易度は適切だった」では30歳代と60歳代で支持率が低かった。

（B-4）「印刷教材の内容は適切な分量であった」は年代間に大きな差はなく一様に高い評価であった。

図2-65 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

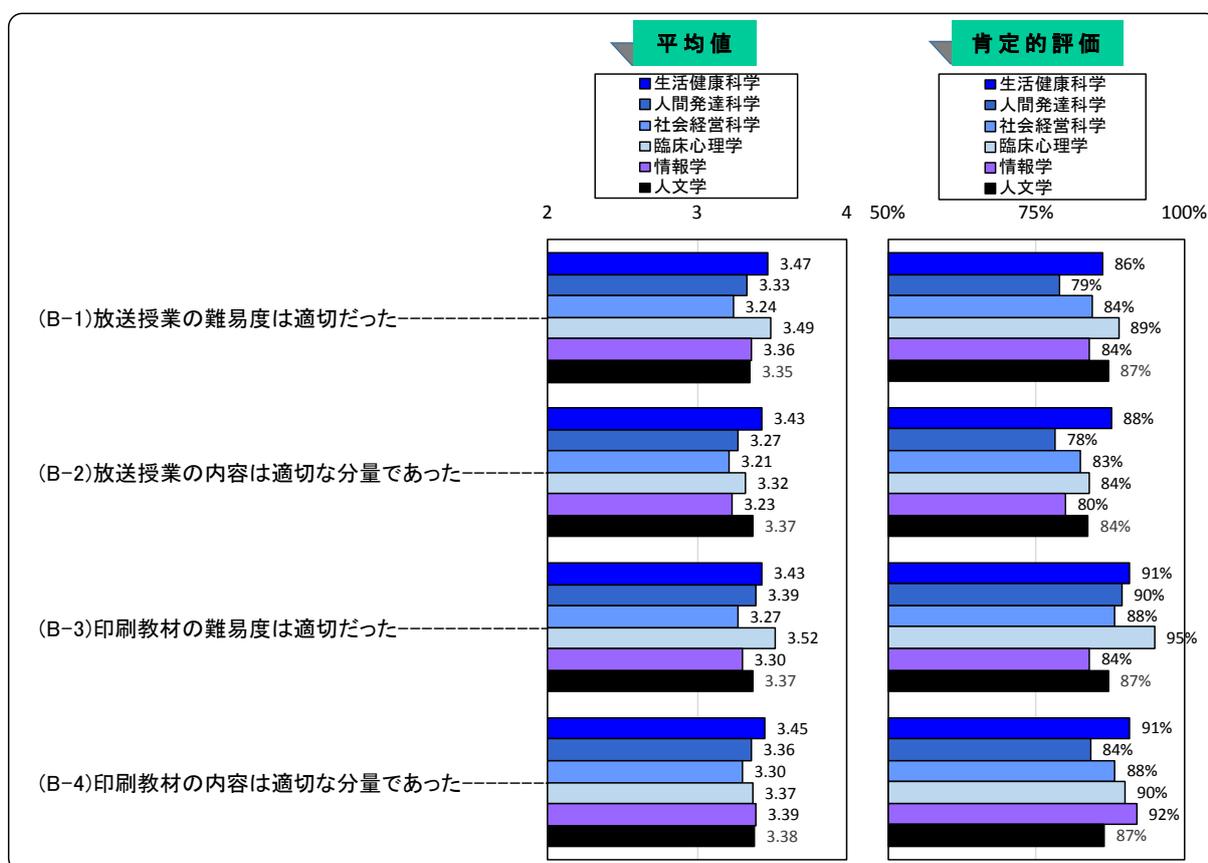


所属プログラム別に授業の難易度・分量をみると（図2-66）最も高い評価をしたのは、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では「臨床心理学」、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では「生活健康科学」であった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は「情報学」であった。

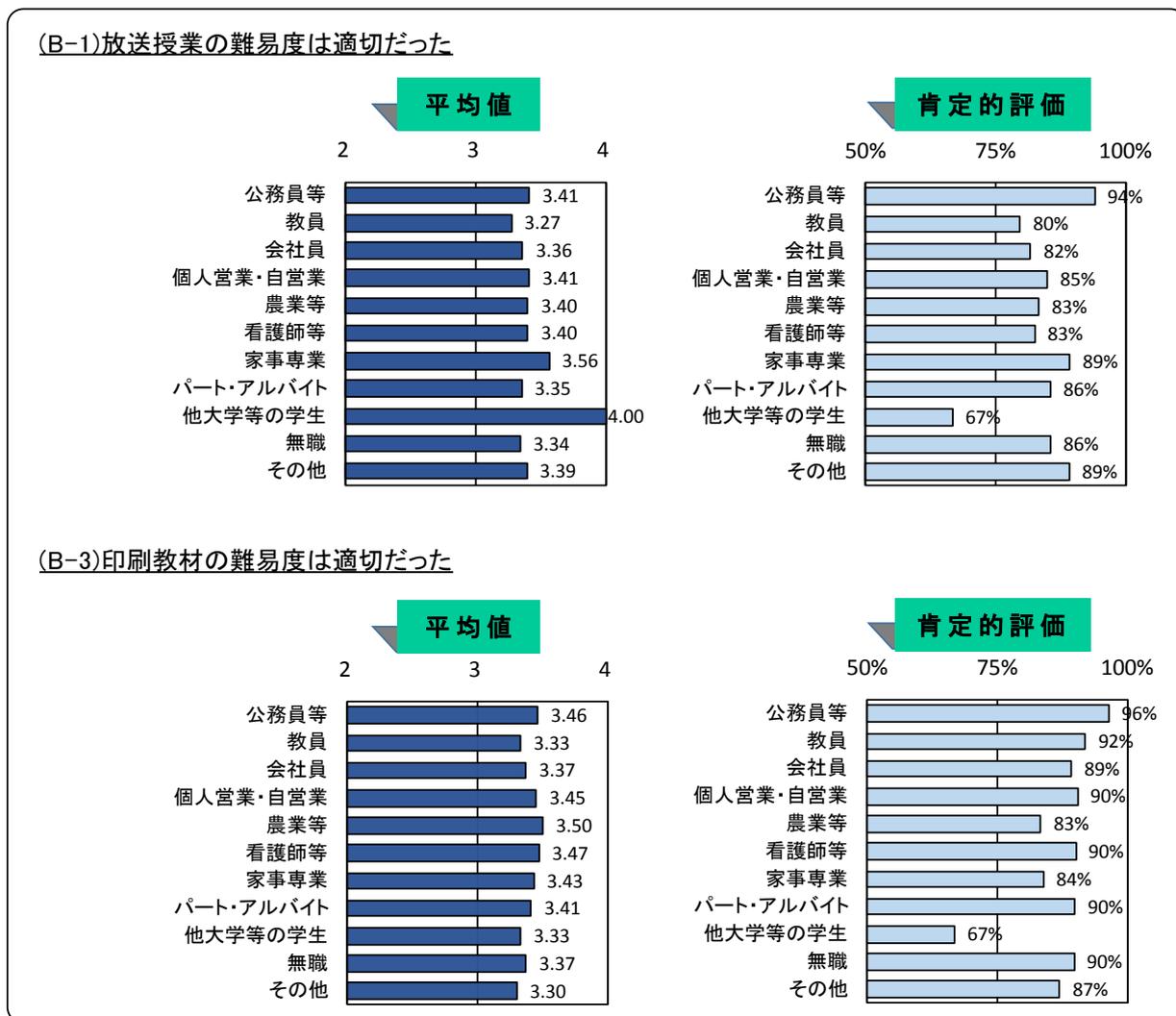
反対に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」以外の3項目で「人間発達科学」の評価が最も低く、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」で最も低かったのは「情報学」であった。

図2-66 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度をみると（図2-67）、放送授業については「公務員等」と「家事専業」「その他」が高く、印刷教材では「公務員等」と「教員」が高かった。それ以外の職業についても両項目に対して80%以上の支持率であった。

図2-67【大学院】職業別の授業難易度の評価



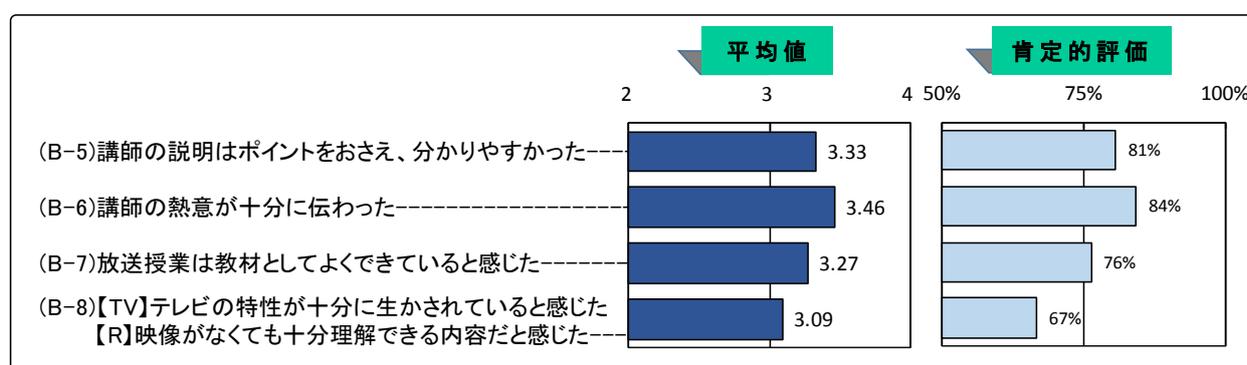
(3) 放送授業

ここからは放送授業について評価項目ごとにみていく。

放送授業に関する評価項目をみると（図2-68）(B-5) (B-6)の講師に対する評価はそれぞれ81%、84%と高く、放送授業の自体に対する評価の(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は76%と前2者に比べると低かった。

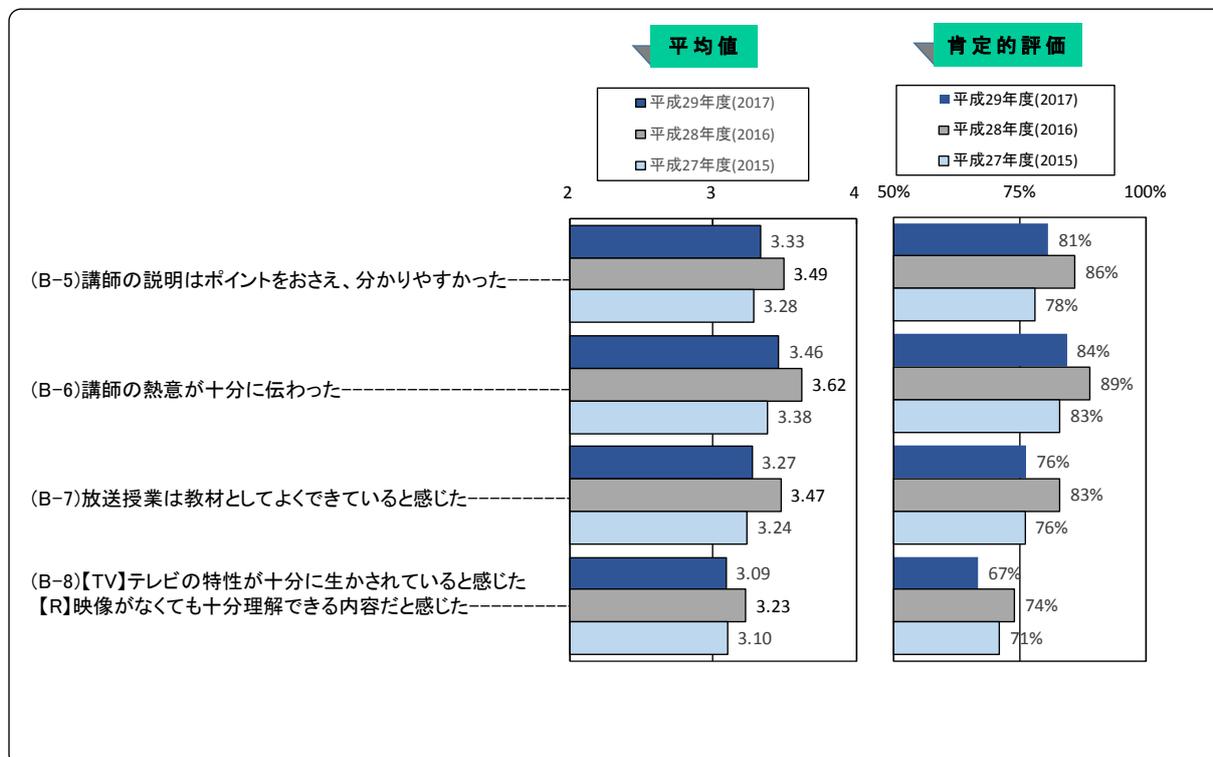
(B-8)「テレビの特性が十分に活かされていると感じた／(ラジオ)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は67%にとどまっている。

図2-68 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-69）2017年度は全ての項目で2016年度より評価が低くなっていた。

図2-69 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）

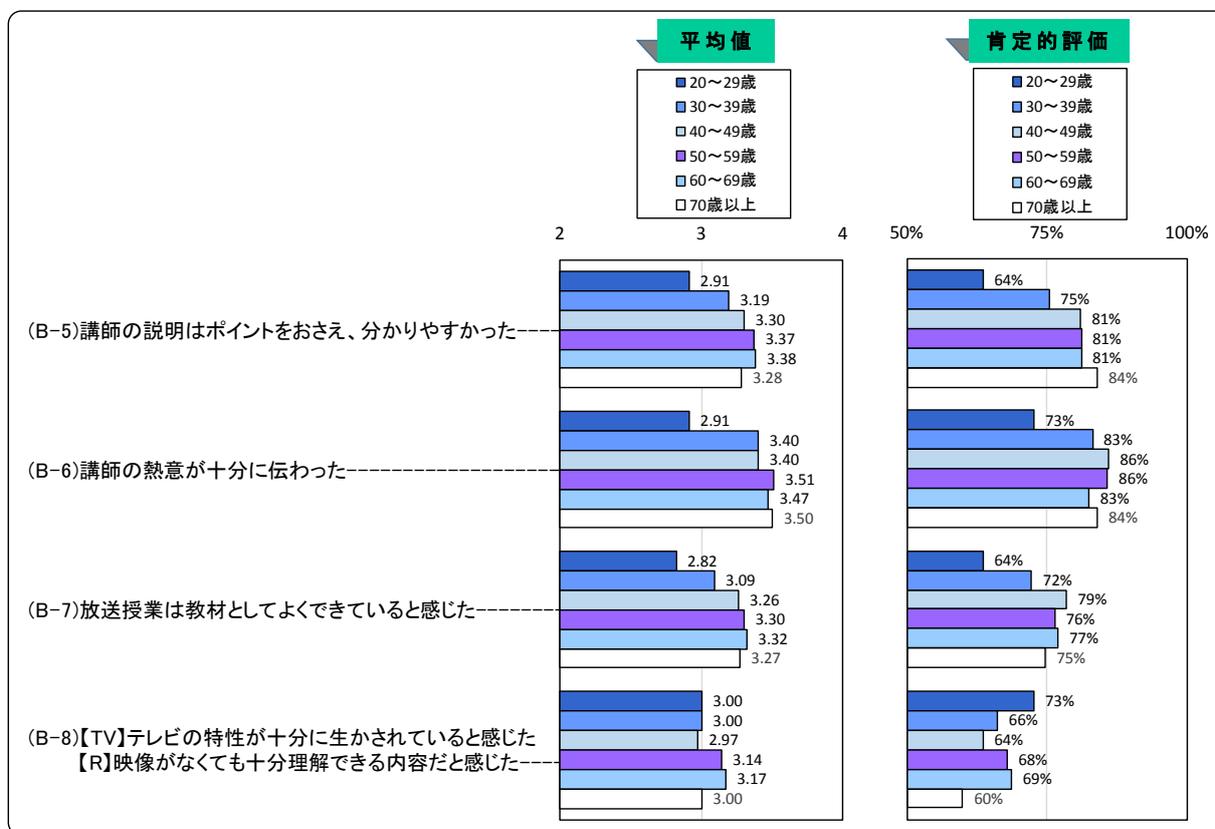


年齢階層別では(図2-70)(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」については30歳代が80%を割り込んでいたが、それ以上の年代では80%以上の支持率であった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では更に支持率は高く83%~86%に及んだ。放送授業、自体の評価である(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は最も高い評価でも40歳代の79%にとどまった。

(B-8)「テレビの特性が十分に活かされていると感じた／(ラジオ)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は20歳代を除くと全ての年代で60%台と低率であった。

図2-70【大学院】年齢階層別の放送授業の評価

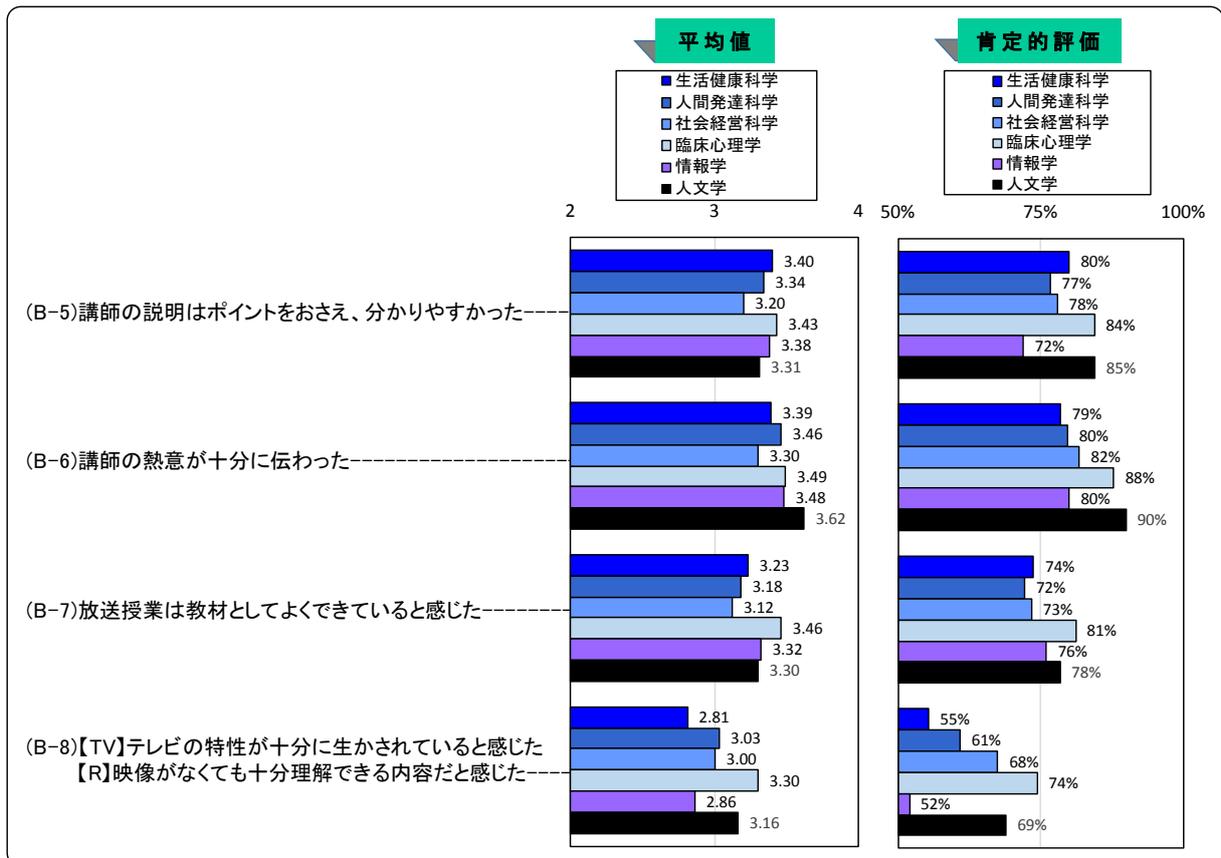


所属プログラム別では（図2-71）放送授業の全ての項目で「臨床心理学」と「人文学」が上位2位までを占めていた。

反対に低かったのは「情報学」の（B-8）「テレビの特性が十分に活かされていると感じた／（ラジオ）映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」であった。

（B-6）「講師の熱意が十分に伝わった」と（B-7）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」については3位以降でプログラム間にそれほど差はなかった。

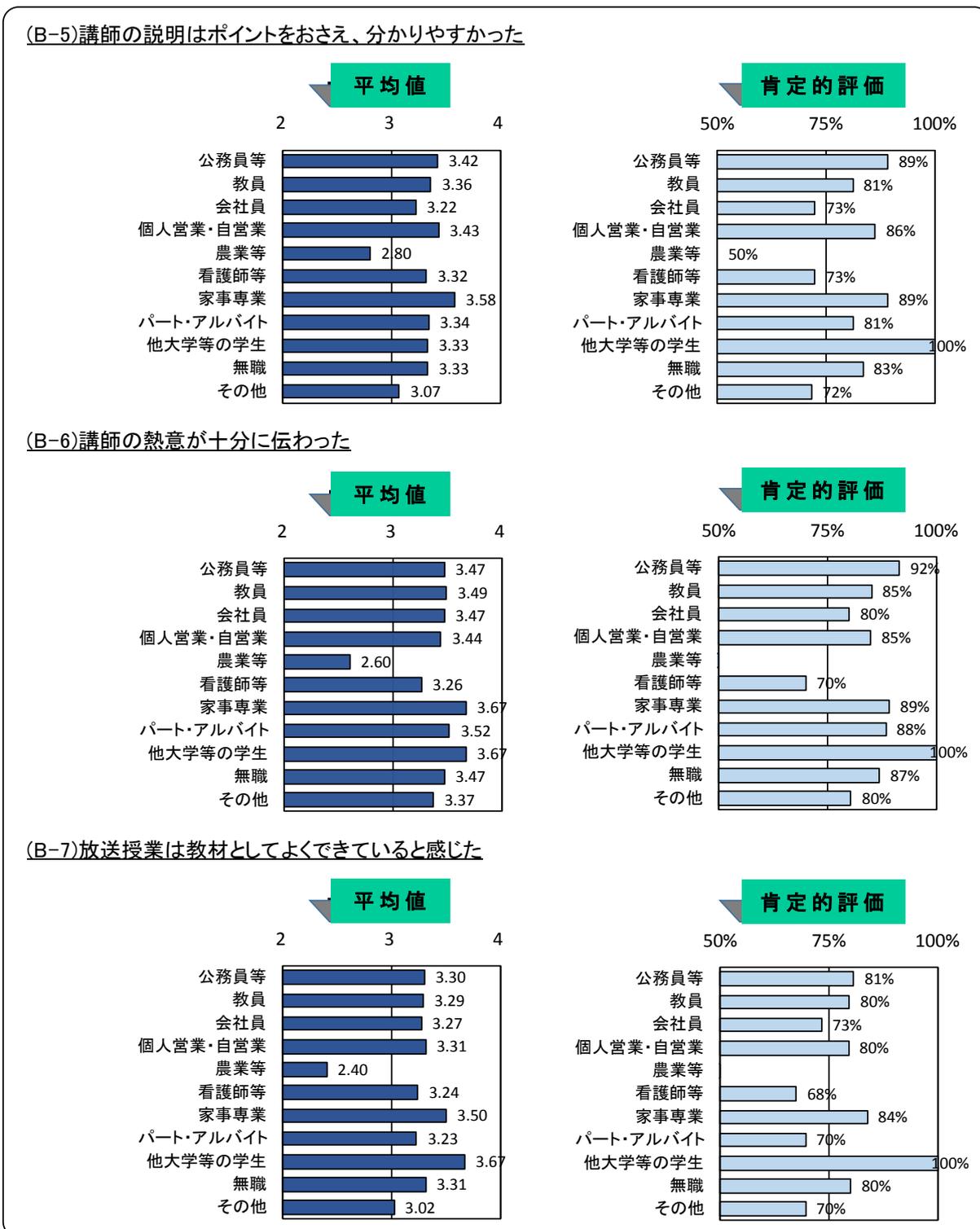
図2-71 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



職業別では（図2-72）全ての項目で「公務員等」と「家事専業」が上位2位を占めていた。

反対に支持率が低かったのは（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」では「その他」「会社員」「看護師等」で、残りの2項目については「看護師等」が最も低かった。

図2-72【大学院】職業別の放送授業の評価



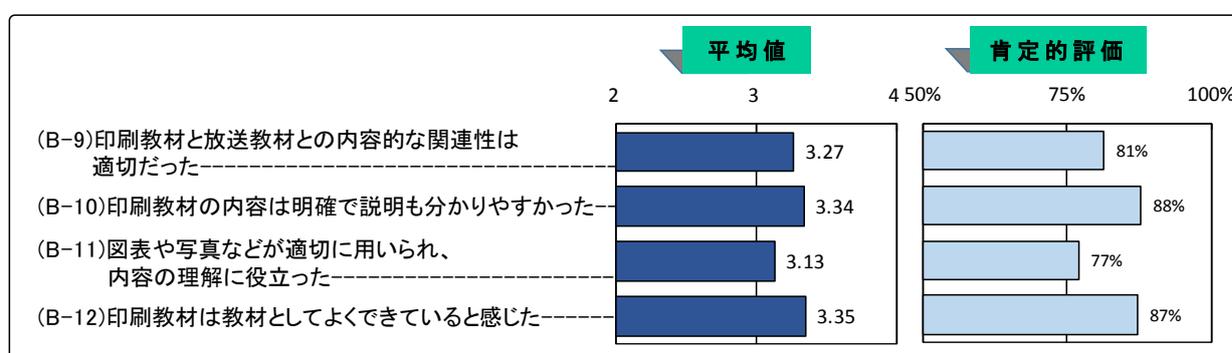
(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとにみていく。

印刷教材の評価項目では(図2-73)印刷教材に対する直接的な評価である(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」(88%)と(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」(87%)と高かった。

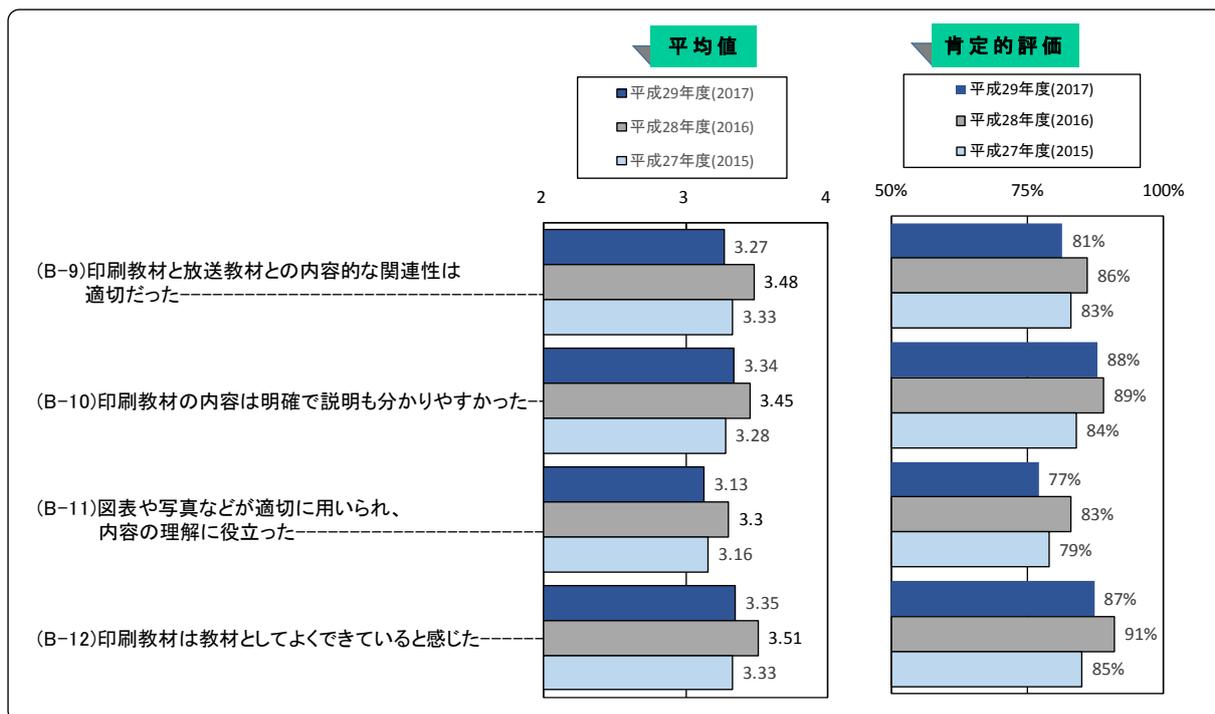
(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」については項目間の比較では低い支持率で、77%にとどまっていた。

図2-73 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-74）2017年度は（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」、（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」の3項目については、2016年度から4～6ポイントの減少がみられたが、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、ほとんど変化はなかった。

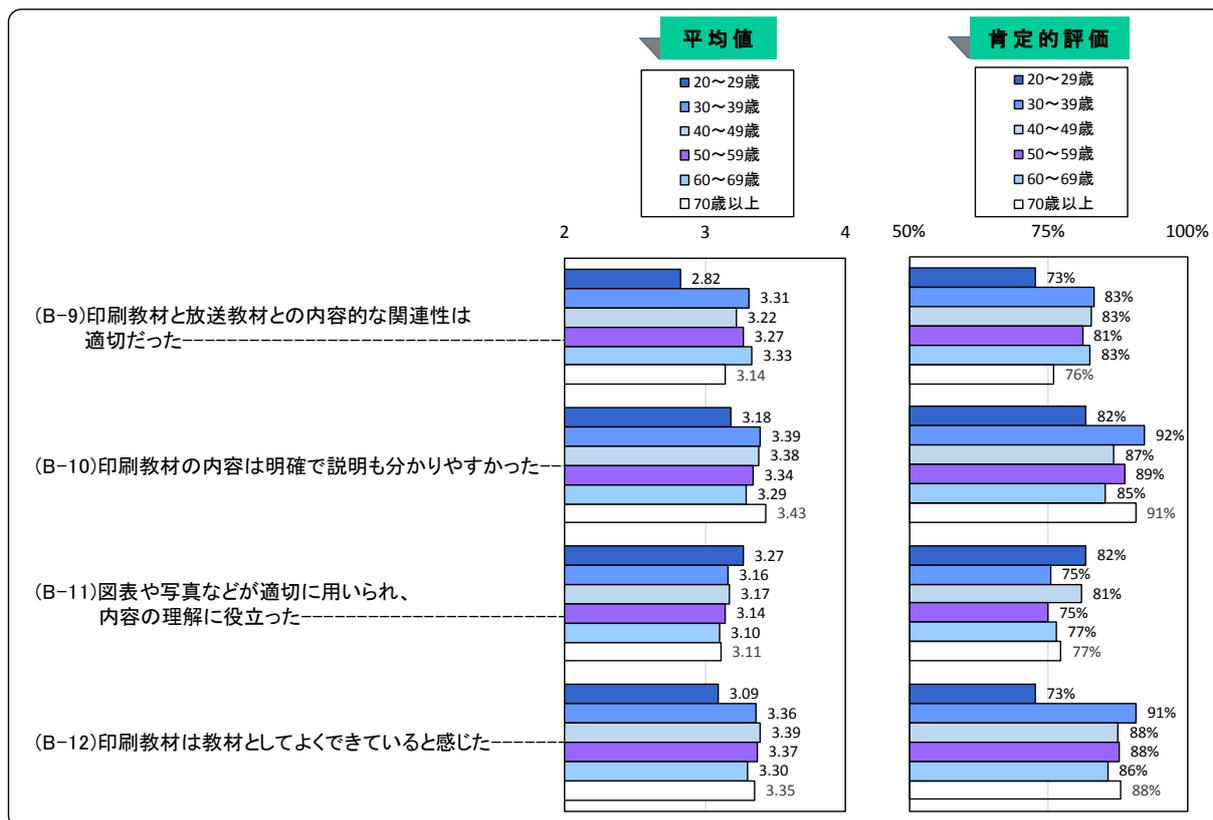
図2-74 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別の評価（図2-75）では、30歳代が（B-9）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、（B-12）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」で最も高かった。

（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」は20歳台以外では40歳代で高かった。

図2-75 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価

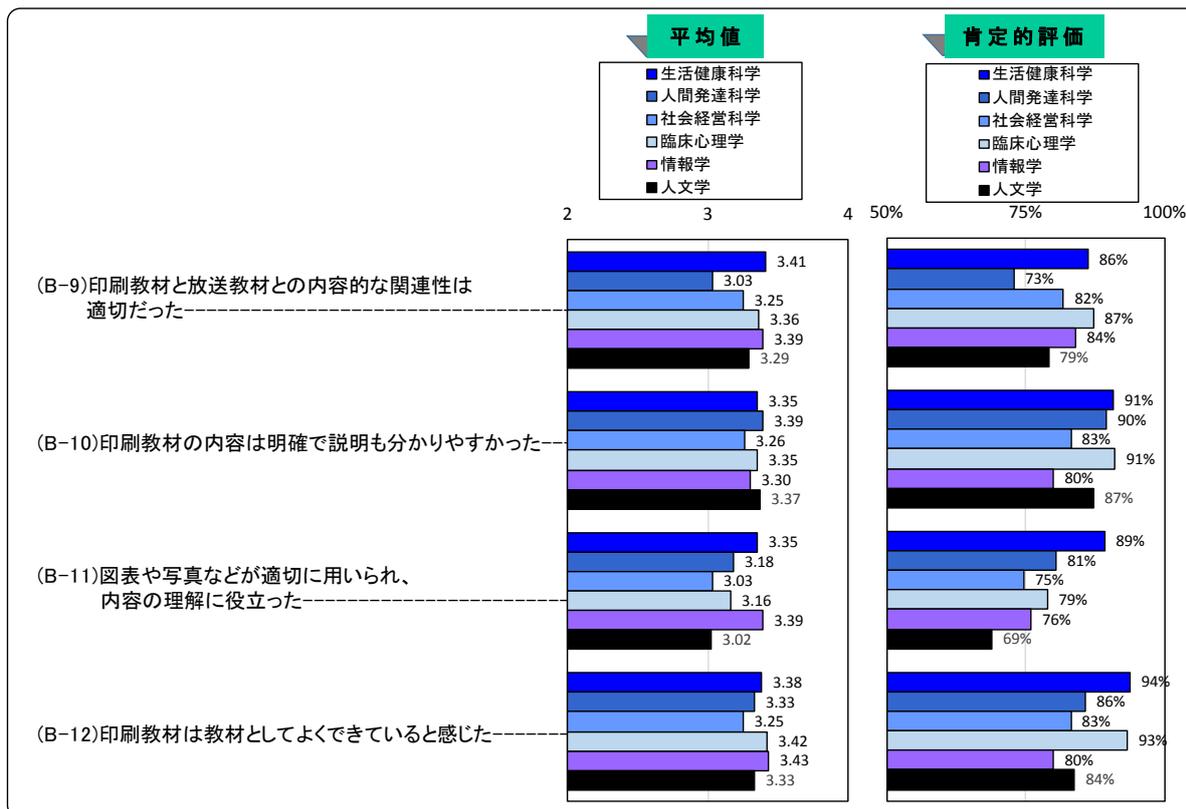


所属プログラム別の評価をみると（図2-76）「生活健康科学」は全項目で高い評価を得ており、「臨床心理学」も評価が高かった。

（B-10）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については「人間発達科学」も高かった。

（B-11）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」については高い評価をした「生活健康科学」とそれ以外のプログラムとの差が大きい。

図2-76 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価

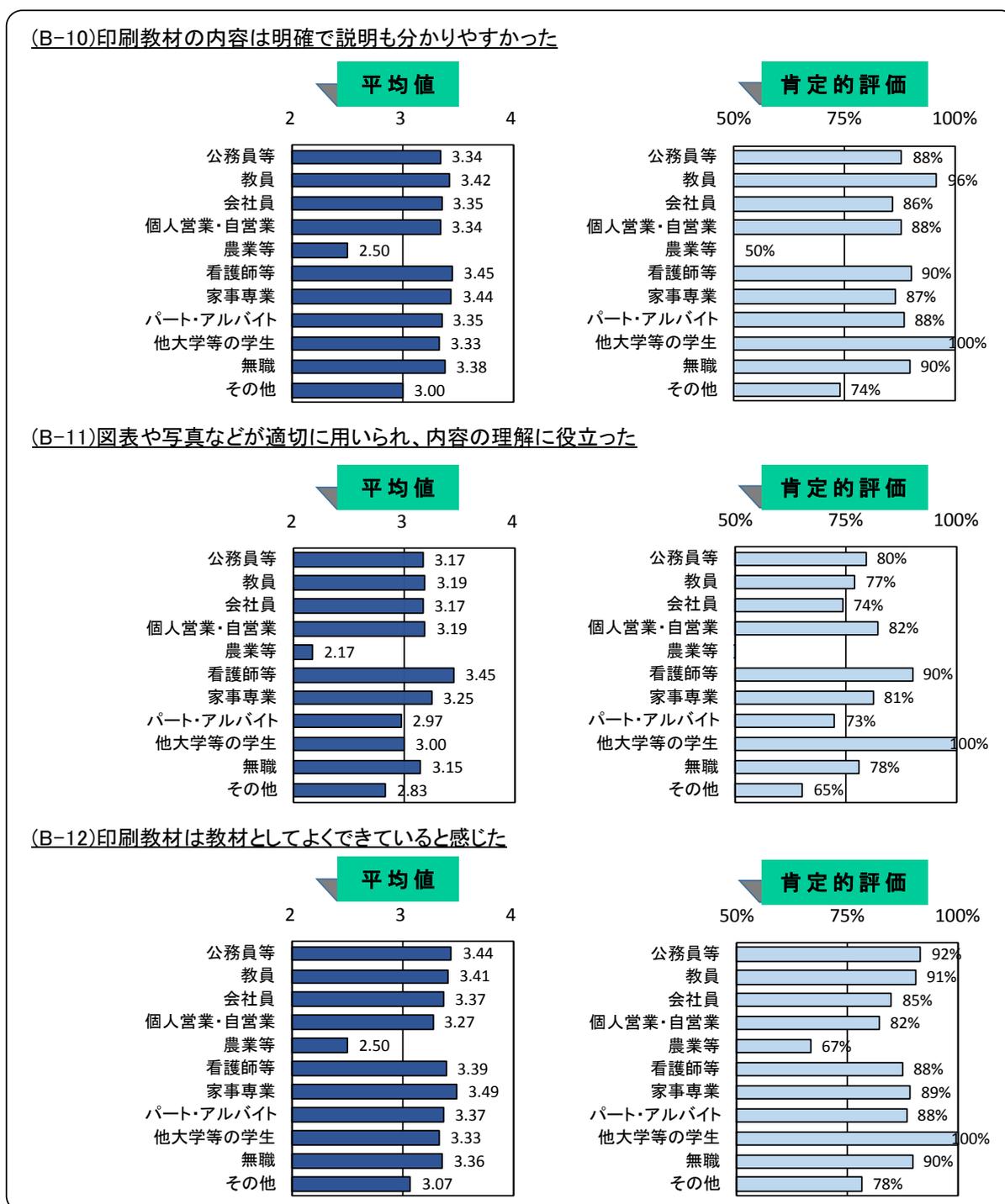


職業別(図2-77)にみると(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については「その他」以外から高い評価を得ており、特に「教員」は96%と際立っていた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では「看護師等」の評価が90%と目立っていた。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は「その他」が78%と他の職業と比べ低率だが、それ以外では90%前後の評価が多く(B-10)同様、全般的に高い評価を得ていた。

図2-77【大学院】職業別の印刷教材の評価



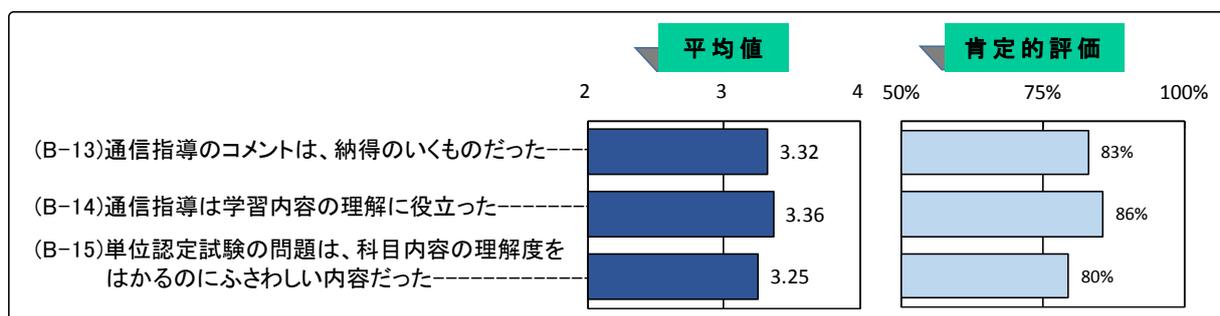
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとにみていくことにする。

通信指導については（図2-78）(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が肯定的評価83%、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」が86%と高評価であった。

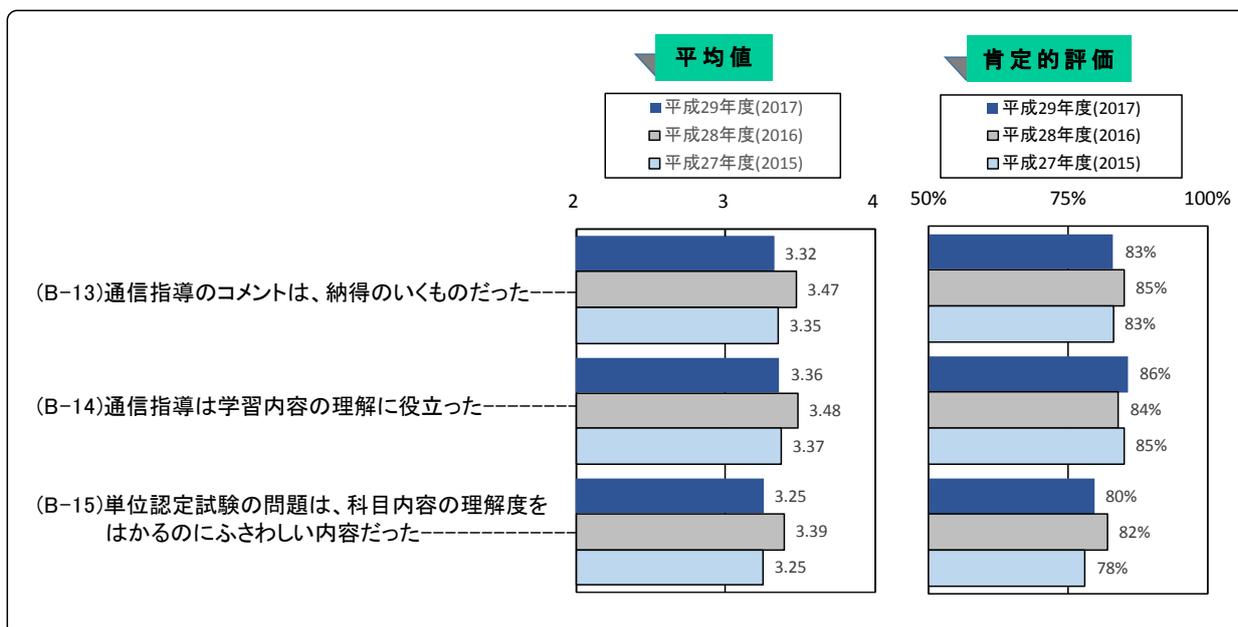
単位認定試験についても(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」が80%と評価が高かった。

図2-78【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列でみると（図2-79）2016年度との比較で(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は微減、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は微増であった。

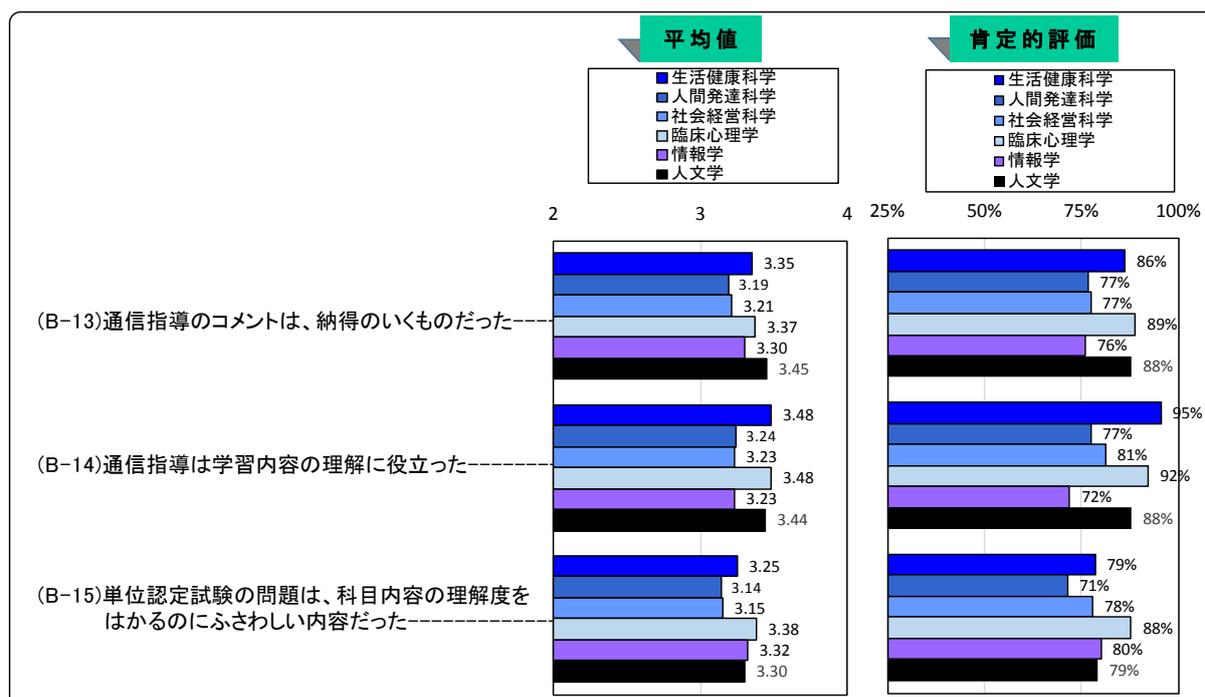
図2-79【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



所属プログラム別では（図 2-80）（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」は「生活健康科学」「臨床心理学」「人文学」の上位3プログラムとそれ以外で、評価の差が7～13ポイントと大きく2極化がみられた。

（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は「臨床心理学」が最も高かった。

図 2-80 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析で〈全体評価〉の全体の満足度 B-(20) を目的変数とし、それ以外の各項目を説明変数として分析を試みる。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを
 知ること目的とする。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-(20)
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 A①～③、B(1)～(19) : 全 22 問
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{22}x_{22}$ (説明変数が全 22 問の場合)

説明変数が多すぎると全体の満足度を表すために適した重回帰式を得られないことが経験的に分かっているため、学部同様、重回帰分析の中で、目的変数との相関関係が強い説明変数を自動的に選択する「変数減少法」を用いて解析を行うことにする。

使用するデータは調査票の表面の I. の A と B、全設問を全て回答した 530 人のローデータを使用する。

■大学院の重回帰分析

決定係数は目的変数のばらつきのうち、これらの説明変数で説明できる割合を表し、1 に近いほど当はまりがよいとされ、当該重回帰式の決定係数は 0.718 であった。

大学院も変数減少法で分析を試みたが、全体評価と A-②「放送授業を十分に視聴した」、A-③「印刷教材を熱心に学習した」及び(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」の単相関係数の符号は+であったが、得られた 3 者の標準偏回帰係数は-となり、またそれぞれの単相関係数が 0.200、0.293、0.384 で他の項目の中で最下位に位置していたため、この 3 項目を除外して分析を行った。

◆分析精度

重相関係数 R	0.847
決定係数	0.718
自由度修正済み決定係数	0.711
説明変数の数	12
ダーヴィンワトソン比	1.946

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 1.946 となった。

今回の重回帰分析では分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%ある事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	261.0	529				
回帰による変動	187.4	12	15.6	109.7	0.000	[**]
回帰からの残差変動	73.6	517	0.142			

標準偏回帰係数とは偏回帰係数間の相互比較を可能にするためのものである。各説明変数の目的変数に対する影響力の度合い(寄与率)がこれによって分かる。

下表は「B-20. 全体評価」の説明変数として「標準偏回帰係数」の高い順に並べたものである。

最も高かったのは B-19 の理解度で標準偏回帰係数が 0.247、次いで B-18 の 0.201、他に B-17 (0.173)、B-4 (0.138)、B-15 (0.113) と続いた。

判定結果で有意となったのは B-13 の「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」までの 9 項目である。

(表最下段の定数項とは説明しきれない残りの部分である。)

標準偏回帰係数の四則演算が許されるなら、B-16 までの合計が 1.261 で、上位 5 項目の B-19 から B-15 の合計が 0.872 となり、この 5 項目の全体の満足度への寄与率は 69%となる。

全体評価(肯定的評価:88%)を上げるためには B-19 の理解度(同 86%)を上げる事が最も効果的で、同時に B-17「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容」(同 90%)と B-4「印刷教材の内容は適切な分量であった」(同 88%)の向上に努めることで全体評価が上昇するものと考えられる。

ただ、大学院は「全体評価(88%)」を含め、「B-17(90%)」「B-4(88%)」の肯定的評価が高いため、何らかの方法を用いて「B-17」と「B-4」の評価を高めるのは容易ではないと思われる。

(※「B-18 新しい知識が身につく視野が広がった」と「B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」については漠然としていて、特に個人的な評価に依るところが大きく、施策として具体的な方法を見つけにくいため、割愛した。)

表 2-4 【大学院】重回帰分析結果

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定
B-20.全体評価	0.247	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]
	0.201	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]
	0.173	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]
	0.138	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	[**]
	0.113	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]
	0.102	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	[**]
	0.098	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[*]
	0.071	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[*]
	0.063	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	[*]
	0.055	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[]
	-0.047	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	[]
-0.069	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	[]	
定数項			[**]

大学院の重回帰分析の最後に施策を進めていく上で、役に立つと思われる、B-19 の理解度と相関の高い項目を上位 12 位までを挙げることにする。

ただ、2017 年度は下記の理由により偏相関係数を採用する。

※ X, Y の 2 つの関係に他の変数が影響を持っているときにその効果を差し引かないと X, Y の関係の強さを正しく評価できない。この場合、単相関係数ではなく偏相関係数を使う。

表 2 - 5 【大学院】 B-19 の理解度と相関の高い上位 12 項目

順位	項目名	B-19との 偏相関係数	判定
1	A- (3)印刷教材を熱心に学習した	0.208	[**]
2	B- (3) 印刷教材の難易度は適切だった	0.187	[**]
3	B-(10)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.133	[**]
4	A- (1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	0.079	[]
5	B-(16) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	0.048	[]
6	B-(11)図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	0.043	[]
7	B- (5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.040	[]
8	B- (8)TVの特性が十分に生かされていると感じた／ 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.035	[]
9	B- (6)「講師の熱意が十分に伝わった」	0.031	[]
10	B-(18) 新しい知識が身につく視野が広がった	0.023	[]
11	A- (2)放送授業を十分に視聴した	0.020	[]
12	B- (2) 放送授業の内容は適切な分量であった	0.007	[]
参考	B-(20) 全体評価	0.336	[**]

凡例	有意水準
[**]	0.01
[*]	0.05

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ－１．学部

【学部】「基盤科目」科目の傾向

よかった点

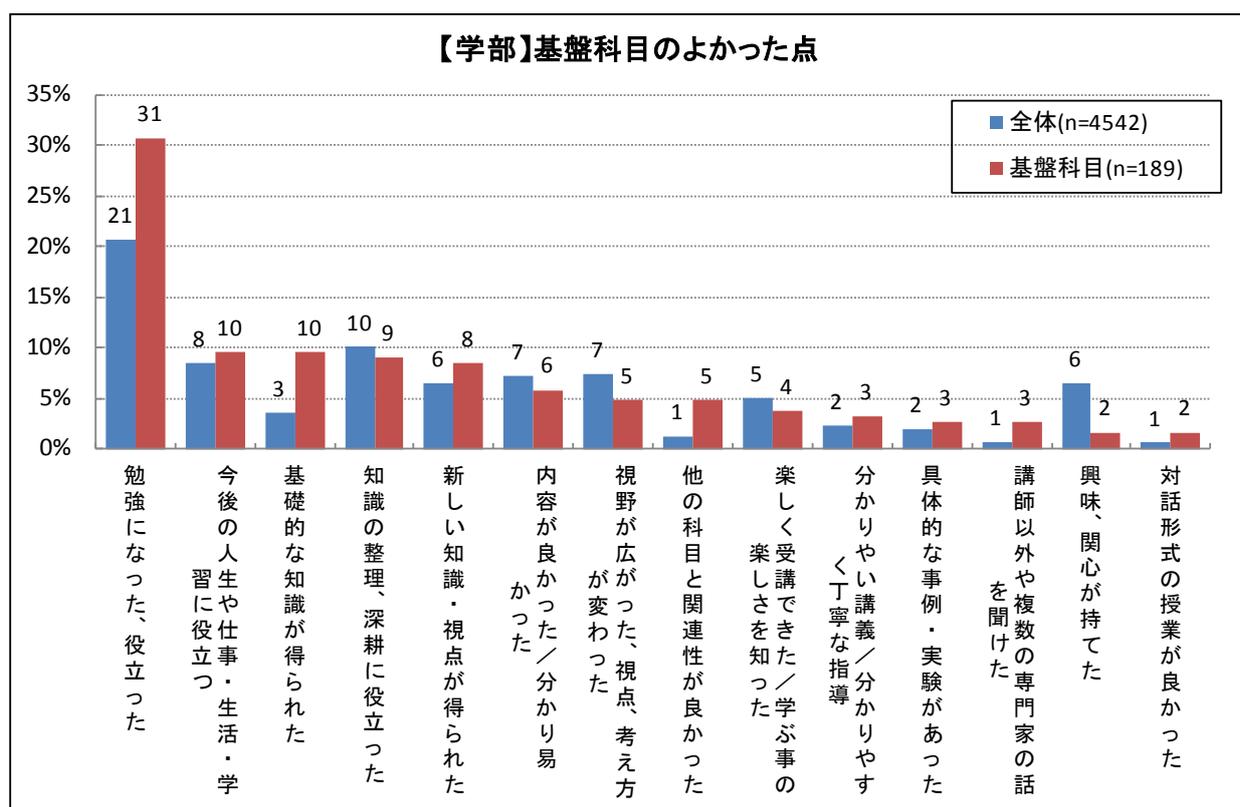
自由記述の統計表から学部の基盤科目で 2%以上の回答があった項目とその項目の全体の比率をグラフ化した。(大学院を含む他の科目も同じ扱いをした。)

よかった点では「勉強になった、役立った」が 31%と最も多く、全体を 10 ポイント上回わり満足度の高さが伺える。

その他、全体を大きく上回ったのは「基礎的な知識が得られた」で、反対に「興味、関心が持てた」は全体より 4 ポイント減であった。

個別の事例や具体的な事に対する評価は少なく、履修の結果得られた総合的なベネフィットに対する評価の方が多く挙げられていた。

図 2－8 1 【学部】よかった点



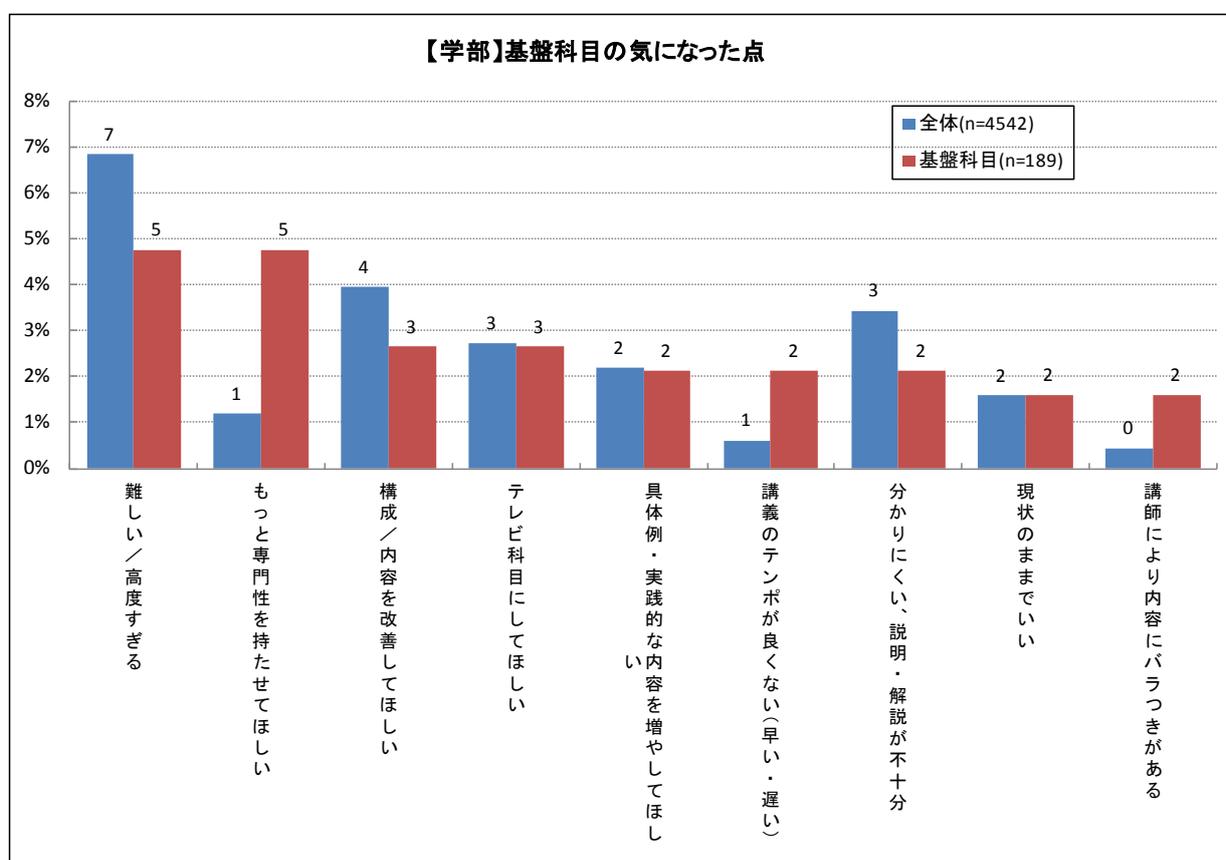
【学部】「基盤科目」科目の傾向

気になった点

「難しい/高度すぎる」と「もっと専門性を持たせて」という相反する意見が同程度みられた。

「もっと専門性を」については全体の比率が 1%である事から基盤科目特有の意見だと思われる。

図 2-82 【学部】気になった点



【学部】「基盤科目」科目 抜粋

よかった点

- 卒論の単位は取得したので、この後、修士論文に挑戦したく、この科目を受講した。長文を書く際のパラグラフや引用についての「他者の言葉」という示唆的な切り口に共感した。日本語リテラシーについても、放送授業も楽しく、日本語アカデミックライティングと共に新しい視点を感じており、できれば面接授業を企画して頂き、受講したいと思っている。文章を書く上で正しい書き方（自分の中でそう思っていた）にこだわり、自信のない時もありました。受講しながら自分を見直すことができ、多くを学び、楽しかったです。
- 「準備」、「参照」、「考察」、「まとめ」の各段階を、整理、吸収できた。また、「目指すべきもの」と「独りよがりにならない」ことは、文章を書くための心得としてもスキルとしても重要なポイントとして理解できた。
- 従来（高校までに）習う文章の書き方が基本だと思い込んでいたが、目的に応じて異なる書き方をしてよいと気付いたこと。
- 将来、卒業研究に取り組む予定だが、どのように進めていけばよいのか、イメージを掴むことができた。客観的な学術的な文章を書く上で、大事なことがわかった。卒論だけでなく、通信指導のレポートや、記述式の単位認定試験の文章作成にも役立つ内容だった。
- 以前に同じ講師の科目「日本語とコミュニケーション」、「日本語リテラシー」を受講して、理解しやすい工夫がされていると感じていたので、今回受講する切っ掛けともなったが、「日本語リテラシー」とも関連があり、より理解できたのではないかと思う。
- 卒業研究をしたいと思っているので、教科書自体が例えとしてわかりやすい内容だった。第15章をまねて、論文を書いてみたい。
- オンライン授業を受講したかったが、パソコンが使えなくて困っていた。パソコンが使えるのが普通で、誰にも教えてもらえることがなかった。この科目を受講して、パソコンが使えるようになって良かった。
- 以前に地元のビジネススクールでワープロを習ったが、その知識のままPCの時代になり、独学でやってきた。今回基礎から今まで独学でしてきた事を振り返る事ができ、足りなかった点、よくわかっていなかった点など、きちんと身につける事ができ、大変有意義だった。
- 日常生活でも仕事でも使用しているパソコンについて、基礎的なことを学ぶ機会があって良かった。「使って慣れる」と書いてあって、安心した。
- 他の科目にも同じような内容のものがあったが、難しい内容に思え、理解するまでに時間を要して年齢、性別の異なる生徒役が、実際にPCを使用しながら授業が進行し、わかりやすかった。
- 実際に授業の中でパソコンを使用していたので、文字で見るとよりも分かりやすかった。

【学部】「基盤科目」科目 抜粋

気になった点

- 基盤科目となっていたので、いち早く学ぶべきかと思い、受講したが、私にとっては気の重くなる科目となってしまった。もう少し学ぶ事に慣れてから受講すべきだったかと。ラジオでの教授の体験談、対談は楽しく聞ける事もあった。
- 「日本語リテラシー」よりも、かなり難しくなっていると感じた。文章を書くのが苦手なために受講したが、後半の方は勉強法がわからなかった。先生によって文章の書き方が違ったので、難しかった。
- 印刷教材の内容が多いわりには、わかりにくいと感じた。どうしても科目の性質上、ただ文章が長い説明文になってしまうのだろう。その辺は映像の方がずっとわかりやすい。
- 教科書なので限界はあると思うが、あるテーマに絞って、例えば「夏目漱石と猫の関係」とか、そのテーマに沿った論文を書き進めていきつつ、具体的なひな形を示していく、論文ライブ的な要素を盛り込むのも面白いと思うが、如何でしょうか。
- 特にないが、放送授業と印刷教材の内容が少し違うところがあるので、印刷教材を少しだけ、内容があまり重ならず重要でないところは減らす、又は順番を少し変えることも良いかと思う。後で読んでも振り返りやすさが増すかなと思う。
- 放送授業と自宅のパソコンとを見比べて、どのようにしたら授業の通りにパソコンを操作できるかがわかりづらく感じた。
- PC操作などに関しては、私は簡単すぎると思えたが、初めてPCを触る人考えた場合は適切なものかもしれない。
- PCを普段から利用してるものには、特に初めのうちは簡単すぎて退屈だった。全くの初心者向けと一通りできる人向けに分けてあれば、なおありがたい。
- 生徒役の人がいたのでわかりやすかったが、生徒中心の講義よりも、もう少し内容を深く理解できる方向へ行った方が良かったのではないかと感じた。
- PC操作の画面で、どこをクリックすれば良いのか等、操作の手順や画面上の説明など、わかりにくい箇所があった。その面では、印刷教材の大きさももう一回り大きい方が、より見やすくなると思う。
- オンライン授業の方がやりやすいのかもしれないと感じた。少しずつ課題をクリアしながら段階を踏んで学んでいけると、確実にパソコンの技術が身につくのでは、と思った。

【学部】「基盤科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	22	36	58	分かりやすく、勉強になった		2	2
基礎的な知識を得られた	11	7	18	手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	6	12	18	読み物として面白い内容だった		1	1
知識の整理、深耕に役立った	9	8	17	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		1	1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	11	5	16	ポイントが明確に押さえられていた		1	1
内容が良かった、分かりやすかった	4	7	11				
視野が広がった、視点、考え方が変わった	4	5	9				
他の科目と関連性が良かった	2	7	9				
具体的な事例・実験があった	1	4	5				
興味を持てた、関心を持てた	3		3				
楽しく受講できた、面白かった	1	2	3				
最新の情報・研究が学べた	2		2				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1	1	2				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1		1				
身近に感じる事が出来る内容だった	1		1				
自分の意見・考えが持てるようになった	1		1				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1				
面接授業や実習が良かった	1		1				

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた	2		2
分かりやすく丁寧な指導だった		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく講義していた	3	2	5
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		5	5
楽しく視聴できた	2	2	4
対話形式の授業が良かった	1	2	3
映像や写真が多用され、分かりやすかった	2		2
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1	1	2
放送のテンポや時間構成が良かった		1	1
印刷教材との関連が良かった		1	1

【学部】「基盤科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	6	3	9
難しい、高度すぎる、理解できない	2	3	5
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	3		3
現状のままでいい、満足している		3	3
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分	2		2
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	1	2
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい		2	2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
最新の内容の講義にしてほしい	1		1
参考文献を紹介してほしい	1		1
質問や相談がしたい	1		1
判断・評価できるレベルに達していない		1	1
内容の重複・他科目との重複が見られる	1	1	2
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1	1	2
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		2	2
放送授業と内容が異なる		2	2
難しい、文章が回りくどい	1		1
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	1		1
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1		1
色刷りにしてほしい	1		1
放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	1		1
構成・内容が良くない、面白くない		1	1
具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
参考資料や付録を載せてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		5	5
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	3	1	4
講義のテンポが良くない	3	1	4
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1	2	3
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2		2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
具体例・事例を増やしてほしい	1	1	2
例題・実習を増やしてほしい	1	1	2
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった		2	2
構成・内容が良くない	1		1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
講師以外は必要ない、違和感がある	1		1
タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	1		1
印刷教材と内容が異なる	1		1
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった		1	1
まとめや学習ポイント、総括がほしい		1	1
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		1	1
ノートを取る余裕がほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問、難易度に違和感があった	1		1
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
試験の会場・日程について一考を	1		1
記述式および記述に関して改善してほしい		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

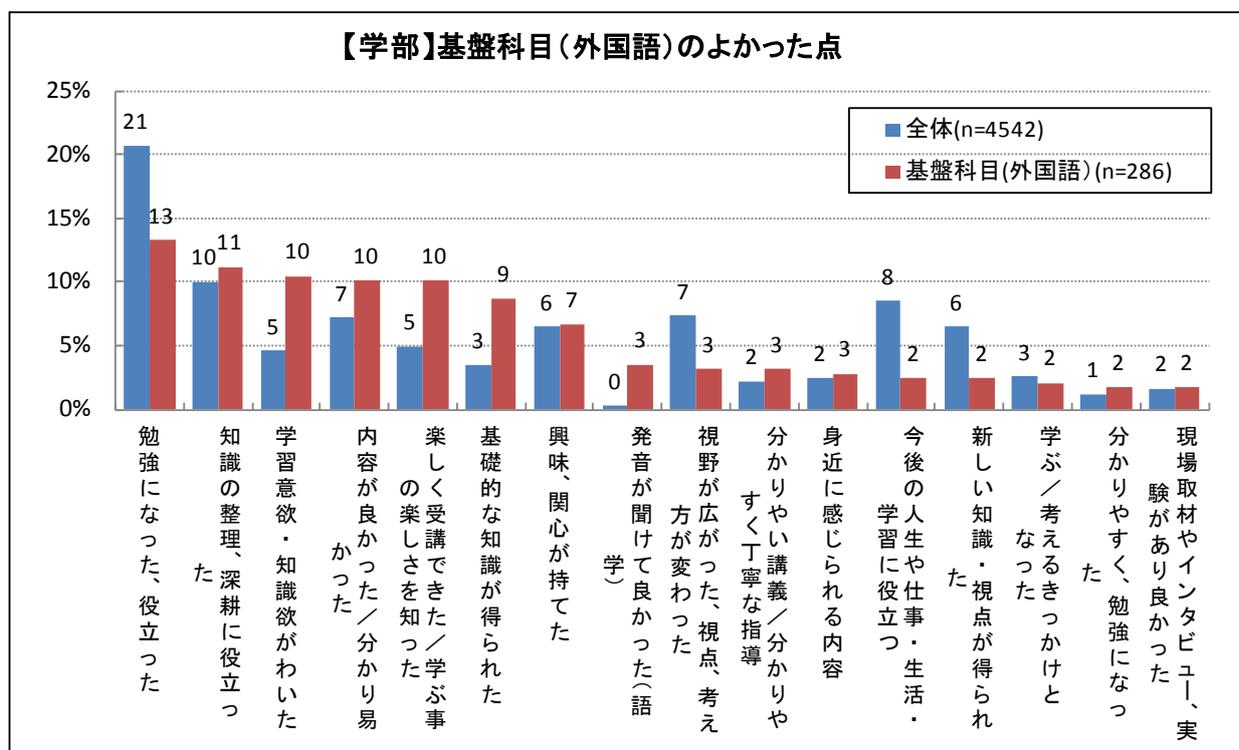
- もっと専門性を持たせてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- テレビ科目にしてほしい
- 具体例・事例を増やしてほしい
- 内容を充実させてほしい

【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

全体と比べると「勉強になった、役立った」(13%)といった漠然とした回答は少なく、「知識の整理、深耕に役立った」「学習意欲・知識欲がわいた」「内容が良かった／分かり易かった」「楽しく受講できた／学ぶ事の楽しさを知った」「基礎的な知識が得られた」といった具体性を帯びた内容が1割挙げられていた。

図 2 - 8 3 【学部】よかった点



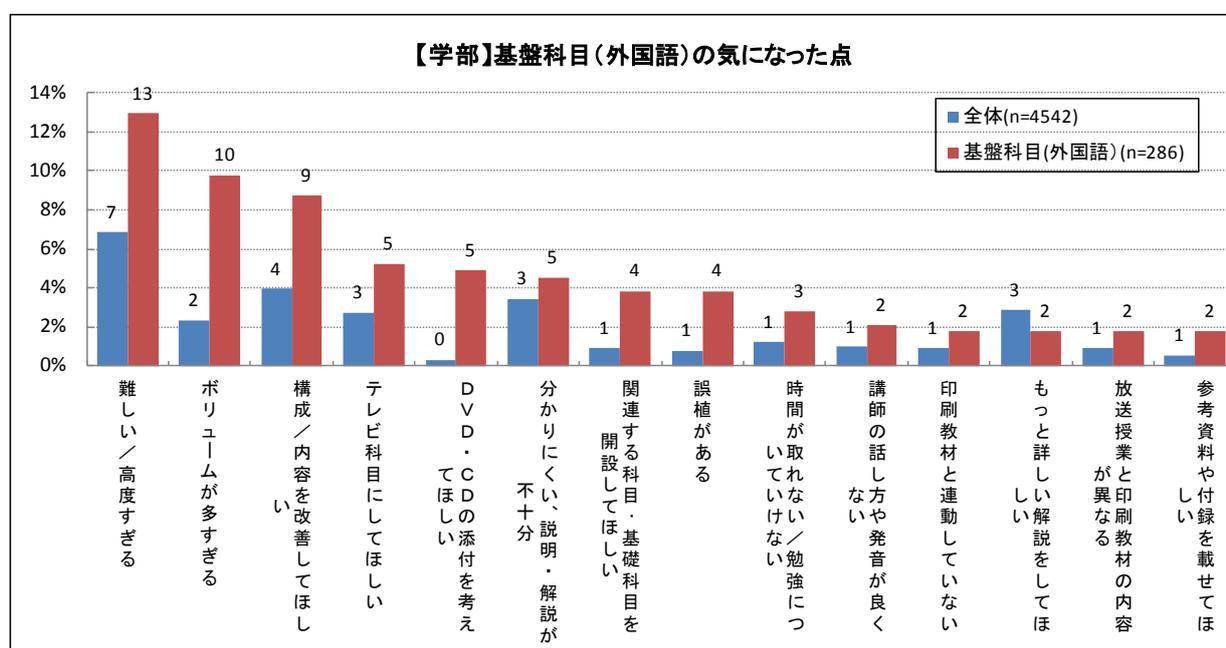
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

気になった点

上位3項目の「難しい／高度すぎる」「ボリュームが多すぎる」「構成／内容を改善してほしい」については全体と比べ、倍以上の比率で、特に「ボリュームが多すぎる」については「基盤科目（外国語）」特有の“気になった点”であった。

また、他の項目についても全体より比率が高い傾向で、「DVD・CDの添付を考えてほしい」についても固有の意見として挙げられていた。

図2-84 【学部】気になった点



【学部】「基盤科目（外国語）」 科目 抜粋

よかった点

- イタリア語を初めて勉強したが、教材のレベルも難しすぎず、1回に学ぶ文法の量も丁度良かったです。楽しく勉強できました。
- イタリア語は自分にとって難しいことがわかった。現在の自分のレベルがよくわかり、どのようなレベルから学習したら良いのか見当が付き、良かった。
- イタリア語の文法は他の外国語より複雑なところがあるが、講師の先生の懇切丁寧なご説明で、大変よく理解できた。ありがとうございました。
- 毎回、「今日の文法」で順序立ててきっちり文法を学べたのが良かった。とても良くわかった。イタリアの食文化を知ることができて、楽しかった。
- わかりやすい説明が、学習意欲をかきたててくれた。久しぶりに充実した時間を持つことができた。これからも教材を活用し、復習を重ね、少しでも向上できるように努力したいと思っている。
- 英語をパズルのような法則に基づいた考え方で、理解することができた。もしかしたら、もっと話せるようになるかと思えた。
- 外国の言語としての学習のみならず、イタリア語が持ち合わせている特殊性や、イタリア語の様々な文化や歴史を学ぶことが出来た。さらに、イタリアという国についても学ぶことができたと考えます。
- スペイン語の知識がゼロだったので、他言語を学ぶ新鮮さと意欲などを呼び起こすきっかけになった。
- スペイン語そのものについて勉強できただけでなく、普段の自分であれば興味を持たなかった事柄についても知ることができ、興味の幅が広がった。
- 文法や言葉の意味を深く知る事ができ、今までの英語の勉強で理解しづらい点も良くわかった。また講師の会話、授業で使われる曲も楽しく、よりイメージしながら、学ぶことができた。
- 印刷教材、放送教材ともにわかりやすさが際立っていて良かった。講師のやり取りも、面白いものが多く感じられた。個人的には、合間に流れる英語の曲が良かった。
- 印刷教材がコンパクトにまとめられて良かった。新しい言語として親しみが湧いた。資料として使われている内容が新しく、楽しかった。

【学部】「基盤科目（外国語）」 科目 抜粋

気になった点

- 一般的に語学は日々の積み重ねが必要で、仕事の間にするには、やはりハードだったし、進行が早くて復習と暗記が追いついていけなかった。
- 初歩と言われる割に難易度が高いように感じた。スキットの例文も難しかったので、もう少し初心者に近寄ってもらいたかった。
- 内容が多すぎて、全くの初学者には少し難しいように感じた。接続法を含め、読み方などはもう少し詳しく、2回分くらい取って、Ⅰ、Ⅱに分けてほしいと思った。
- 他の外国語科目のように、「Ⅰ」、「Ⅱ」と、科目のレベルを設定してほしい。次のステップに進める科目がある方が、継続して学習しやすいと思う。
- 初歩のイタリア語なので、TVの最後に出てくる文化コーナーが、イタリア人の早口のしゃべりで理解できず、必要ないのではないかと思う。
- ネイティブスピーカー（講師及びビデオのゲスト）の話は、初学者としてレベルが高く、別途、副教材等にて、まとめて解説が欲しかった。食の科学等、興味深いテーマが多くあった。
- ラジオの授業のせいなのか、放送授業と印刷教材の関連性等や、どうやって学習すれば良いのか、大変戸惑ってしまった。放送授業で先生が言っている意味が印刷教材に記載されていないし、印刷教材に書かれている内容を補足する説明なども放送授業にない等、大変わかりづらかった。
- やはり映像教材だともっと楽しく学習できそうに思う。先生方の語りは音声だけでも説得力があるが、どんな表情で話されているのか見たい。
- 印刷教材の説明が少ないと感じ、辞書、文法書、単語書を購入して学習に使用した。学ぶべきポイントを、もう少し詳しく説明してもらえたら良いなと考えます。

【学部】「基盤科目(外国語)」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	22	16	38	分かりやすく、勉強になった		5	5
知識の整理、深耕に役立った	10	22	32	事例・コラムが良かった	1	2	3
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	14	16	30	新しい知識・視点を得ることができた	1	1	2
内容が良かった、分かりやすかった	10	19	29	読み物として面白い内容だった		2	2
基礎的な知識を得られた	4	21	25	体系的に良くまとめ、整理されていた		1	1
楽しく受講できた、面白かった	9	12	21	ポイントが明確に押さえられていた		1	1
興味を持てた、関心を持てた	10	9	19				
視野が広がった、視点、考え方が変わった	4	5	9				
身近に感じる事が出来る内容だった	2	6	8				
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	4	3	7				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2	4	6				
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	2	3	5				
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1	3	4				
自分のペースで勉強できた	2	1	3				
専門的な内容だった、レベルが高かった	1	2	3				
受験・資格取得に役立った	2		2				
現状のままでいい、満足している			1				
最新の情報・研究が学べた			1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
発音が聞いて良かった	6	4	10
楽しく視聴できた	7	1	8
分かりやすく講義していた	2	6	8
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	5		5
対話形式の授業が良かった	1	3	4
映像や写真が多用され、分かりやすかった	3		3
映像・テレビで良かった	3		3
受講して良かった	2	1	3
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1	1	2
新しい発見や驚きがあった		2	2
テーマ音楽が良かった		2	2
インターネットで受講できた	1		1
印刷教材との関連が良かった		1	1

【学部】「基礎科目(外国語)」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	12	19	31
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	9	17	26
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	9	2	11
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	7	4	11
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった		8	8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	2	5
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	4	5
講義内容と科目名に乖離がある	2	1	3
現状のままでいい、満足している	2	1	3
分かりにくい、説明・解説が不十分	2		2
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	2		2
科目の分類に疑問がある	1	1	2
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった		2	2
内容・講師に思想的偏りがある	1		1
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		1	1
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい		1	1
質問や相談がしたい		1	1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
DVD・CDの添付を考えてほしい	11	3	14
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	6	5	11
誤植がある		11	11
参考資料や付録を載せてほしい	3	2	5
構成・内容が良くない、面白くない	1	2	3
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1	2	3
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	1	1	2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		2	2
和訳・英訳がほしい		2	2
内容が薄い、少なすぎる	1		1
設問の解も載せてほしい	1		1
色刷りにしてほしい	1		1
索引を充実させてほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		15	15
構成・内容が良くない	7	4	11
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	4	2	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分		6	6
印刷教材と連動していない		5	5
放送授業が聞き取りづらい	3	1	4
印刷教材と内容が異なる	1	3	4
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	2	1	3
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	2	1	3
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1	1	2
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		2	2
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
映像についての補足資料をPDF等でほしい	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
設問の解もほしい		1	1
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	3		3
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき		3	3
問題が多かった、範囲が広がった		3	3
教材・電卓持込み可にしてほしい		3	3
試験内容の設問、難易度に違和感があった		1	1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった		1	1
教材の持ち込みは不要		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- DVD・CDの添付を考えてほしい
- 印刷教材と連動していない
- 内容を充実させてほしい
- テレビ科目にしてほしい
- 内容が理解しにくい、難しい
- 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる
- 解説が不十分

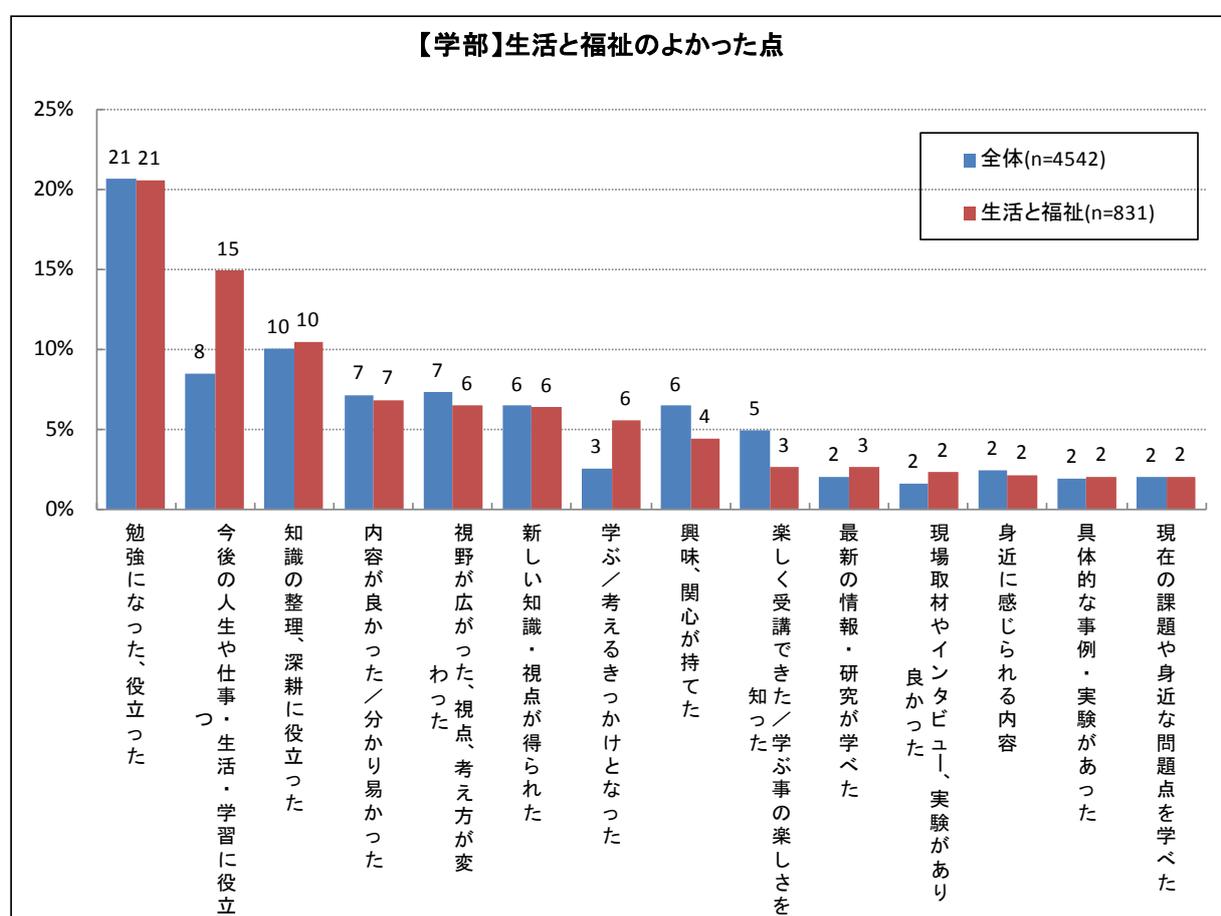
【学部】「生活と福祉」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」は21%で最も多く、次いで「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」が15%とこれに続いた。

「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」は全体を大きく上回り目立っている。それ以外の項目は、全体と同じ傾向であった。

図 2 - 8 5 【学部】よかった点



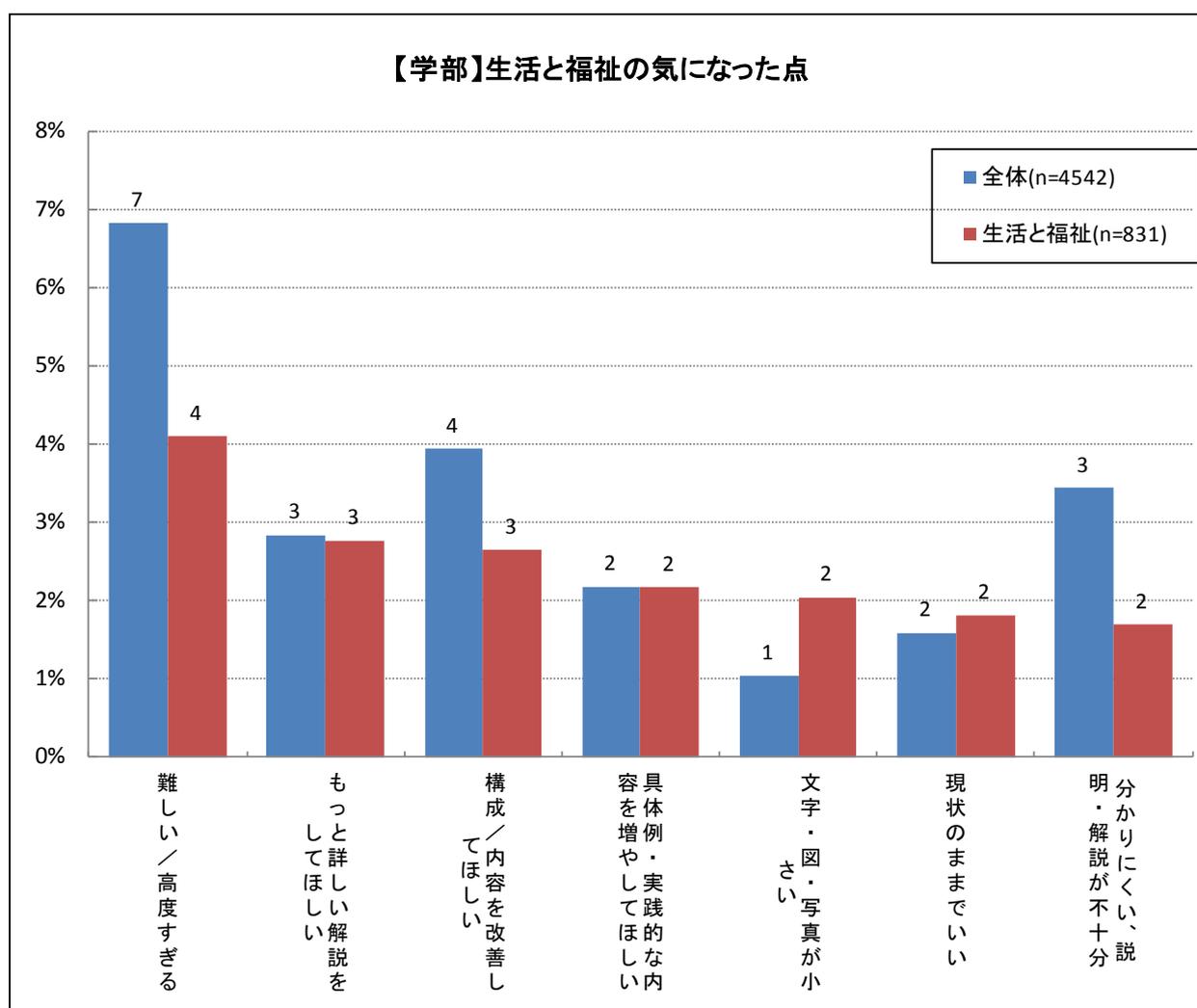
【学部】「生活と福祉」科目の傾向

気になった点

最も多かったのは「難しい／高度すぎる」であったが、全体の2分の1程度で、4%に過ぎず「生活と福祉」のほとんどの履修生はそう感じていなかったと考えられる。

それ以外でも「現状のままでいい」を除く2%以上の項目は5項目に過ぎず、「生活と福祉」科目で”気になった点”を挙げた履修生の割合は少なかった。

図2-86 【学部】気になった点



【学部】「生活と福祉」科目 抜粋

よかった点

- 「1. イントロダクション」では、疾病の発生、回復過程を理解することができ、その後の学習の基礎をしっかりと学ぶことができた。「疾病の成立と回復促進」という題名から、この科目を選択した。ただ単に、疾病について学習を深める科目だと思っていたが、細胞レベルから各疾病に至るまで学習ができ、とても満足している。
- 健康というテーマは、いろいろな観点から見て、自分で意識して近づくことができると思う。この科目は、社会背景から捉えた健康に対する視点を学び、非常に勉強になった。
- 少子高齢化社会での問題点および少子化の現実を踏まえての心構え等、理解することができた。しかしすぐにはこの問題、解決できないジレンマもあり、難しい社会問題でもあることが知り得た。
- 今まで関わる事がなかった分野であったが、授業が進むに従って興味も深まった。新聞等の断片的な情報と違って、時代の流れ、全体からの現状を知ることによって、理解しやすかった。実際の現場での取り組みなども垣間見ることができて、勉強になった。自分も共生社会の一員である自覚を新たに持つことができ、これからの人生への取り組み方も変わると感じている。
- 社会環境、生活環境、まちづくり、マーケティング、消費者行動分析など、退職者も、社会生活実践者として、興味を持って楽しく学習できた。難しい情報、通信技術用語の学習になった。
- 健康というものが、自分自身だけでなく、社会全体にどのような関わりを持っているかを、体系的に理解を深める糸口になったと思う。
- 在宅看護の具体的なイメージがしっかりとつかめたと思う。通常の看護と異なる特性、その特性こそが在宅看護の特長だと感じた。様々なリスク、課題があると思うが、今後とも勉強していきたいと考える。
- 通信制看護学校の単位取得のため受講した。知っている、理解していると思っていた分野だが、思いの外、知らない事も多く、新しい知識を得ることができた。
- まちづくりの視点、コンセプト作り、実行及び、評価といった、一連の流れで、具体的事例をベースに多くの概念を学び取ることができ、視座を高めることができた。
- データに基づきながら（グラフを活用した）解説はわかりやすく良かったことと、今後の社会の変化についての方向性が見えてきたところが良かった。
- 「在宅看護論」を学んで、放送教材では在宅看護の様子も視聴できたことが良かった。看護を提供されることで安心して自宅療養をして、家族の方も在宅看護の提供によって心強く生活している様子が感じられた。
- 関連する分野で活躍している人をゲスト・スピーカーとして招待し、その話を聞いたこと。実践的な話は、講義では得られないものがある。

【学部】「生活と福祉」科目 抜粋

気になった点

- 点字や障害を助ける道具の説明がもっとあると良かった。障害を持った方がどんなことに困っていて、私たちはどんなサポートをすれば良いのかを教えて欲しかった。
- 背景、制度、看護技術、文化など、幅広い領域をカバーする必要があり、全体に個々の単元が薄くなる印象がある。事例紹介でよく補われているとも思うが、もう少し踏み込んで良いと思う。
- 放送授業の各回の説明が、講師によってレベルに違いがあり、1つの科目としては、もう少し統一性があると良いように感じた。
- 放送授業が印刷教材の読み上げのみでは、もったいないと思う。放送授業も、印刷教材も両方使用したくなるような工夫を望む。
- 社会科学の分野故か、文章にとりとめがなく、中には半ページほど何を言わんとしているか判明しないところもあり苦労した。
- 印刷教材の内容が少し難しく思えた。法律関係をもう少しわかりやすく要約してほしい。放送授業と印刷教材の内容が少し違うように思えた。
- 挿入されている図が縮小されているせいか、とても字が小さくて見づらく読めないものもあった。ほとんどの図がそのような状態であった。

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	131	40	171	分かりやすく、勉強になった	9	2	11
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	70	54	124	手に置き、今後も読みたい内容だった	4		4
知識の整理、深耕に役立った	60	27	87	ポイントが明確に押さえられていた	3		3
内容が良かった、分かりやすかった	48	9	57	図版や表が役に立った	1	1	2
視野が広がった、視点、考え方が変わった	43	11	54	新しい知識・視点を得ることができた	1		1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	37	15	52	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	34	12	46	体系的に良くまとめ、整理されていた	1		1
興味を持てた、関心を持てた	28	8	36	最新の情報や研究が紹介されていた	1		1
最新の情報・研究が学べた	17	4	21	事例・コラムが良かった	1		1
身近に感じるものが出来る内容だった	10	8	18	引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった		1	1
具体的な事例・実験があった	16	1	17				
現在の課題や身近な問題点を学べた	14	3	17				
楽しく受講できた、面白かった	11	6	17				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	10	1	11				
基礎的な知識を得られた	7		7				
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	3	2	5				
専門的な内容だった、レベルが高かった	3	1	4				
他の科目と関連性が良かった	3		3				
自分の意見・考えが持てるようになった	2	1	3				
放送授業と印刷教材のバランスが良かった	2		2				
受験・資格取得に役立った	1	1	2				
現状のままでいい、満足している	1		1				
面接授業や実習が良かった	1		1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらえた		1	1
興味関心が深まった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
簡単だった		2	2
印刷教材が持ち込めて良かった		2	2
単位がとれた		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	18	1	19
分かりやすく講義していた	12		12
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	4	4	8
映像や写真が多用され、分かりやすかった	6		6
楽しく視聴できた	4	1	5
講師の熱意や人柄の良さを感じた	4	1	5
図表がわかりやすかった	4		4
対話形式の授業が良かった	3		3
アシスタントが良かった	3		3
新しい発見や驚きがあった	2		2
映像・テレビで良かった	2		2
インターネットで受講できた	2		2
受講して良かった	1		1
実例や身近な例を取り上げていた	1		1

気になった点

(単位:人)

科目全般	印刷教材		
	意見	テレビ	ラジオ 合計
難しい、高度すぎる、理解できない	23	5	28
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	20	3	23
現状のままでもいい、満足している	10	5	15
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	11	2	13
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	10	1	11
放送授業と印刷教材の内容が異なる	9	2	11
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	8	8	8
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	8	8	8
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	2	7
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	4	1	5
講義内容と科目名に乖離がある	4	4	4
最新の内容の講義にしてほしい	4	4	4
現実に活かせる内容にしてほしい	3	1	4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	3	3
科目の分類に疑問がある	2	2	2
内容の重複・他科目との重複が見られる	2	2	2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	1	2
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1	1	2
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	1	2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1	1	1
大切な科目なので、受講を勧めてほしい	1	1	1

印刷教材	放送授業		
	意見	テレビ	ラジオ 合計
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	13	4	17
難しい、文章が回りくどい	6	2	8
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	7	7	7
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	6	6	6
内容が薄い、少なすぎる	5	1	6
色刷りにしてほしい	5	5	5
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	2	5
誤植がある	3	1	4
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	2	2	4
放送授業と内容が異なる	3	3	3
放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	3	3	3
構成・内容が良くない、面白くない	2	1	3
放送授業の要約を載せてほしい	2	1	3
設問の解も載せてほしい	2	2	2
参考資料や付録を載せてほしい	1	1	1
索引を充実させてほしい	1	1	1
教材の装丁・デザインを改善してほしい	1	1	1

放送授業	通信指導		
	意見	テレビ	ラジオ 合計
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	6	3	9
テレビ科目にしてほしい	9	9	9
具体例・事例を増やしてほしい	5	2	7
構成・内容が良くない	6	6	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	4	2	6
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	4	2	6
印刷教材と連動していない	5	5	5
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	3	1	4
まとめや学習ポイント、総括がほしい	2	2	4
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	3	3	3
印刷教材と内容が異なる	2	1	3
講義のテンポが良くない	2	2	2
放送授業の時間が合わない	1	1	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	1	1
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	1	1	1
解説中のページを画面に表示してほしい	1	1	1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1	1	1
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1	1	1
専門家の意見が聴きたい	1	1	1
講師以外は必要ない、違和感がある	1	1	1
手話通訳、または字幕がほしい	1	1	1
図・表・写真を利用してほしい	1	1	1

通信指導	単位認定試験		
	意見	テレビ	ラジオ 合計
課題範囲が広すぎる、難しい	1	1	1
練習問題がほしい	1	1	1

単位認定試験	単位認定試験		
	意見	テレビ	ラジオ 合計
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	4	4	4
問題数が少なかった	3	1	4
教材の持ち込みは不要	3	3	3
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	2	3
試験内容の設問、難易度に違和感があった	2	2	2
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	2	2	2
教材・電卓持ち込み可にしてほしい	2	2	2
通信指導や前学期と内容が同じだった	1	1	2
試験の会場・日程について一考を	1	1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 実践的な内容を増やしてほしい／充実させてほしい
- 文字・図・表・写真が小さい
- 放送授業と印刷教材の内容が異なる
- 具体例・実例を増やしてほしい
- 構成または内容を改善してほしい

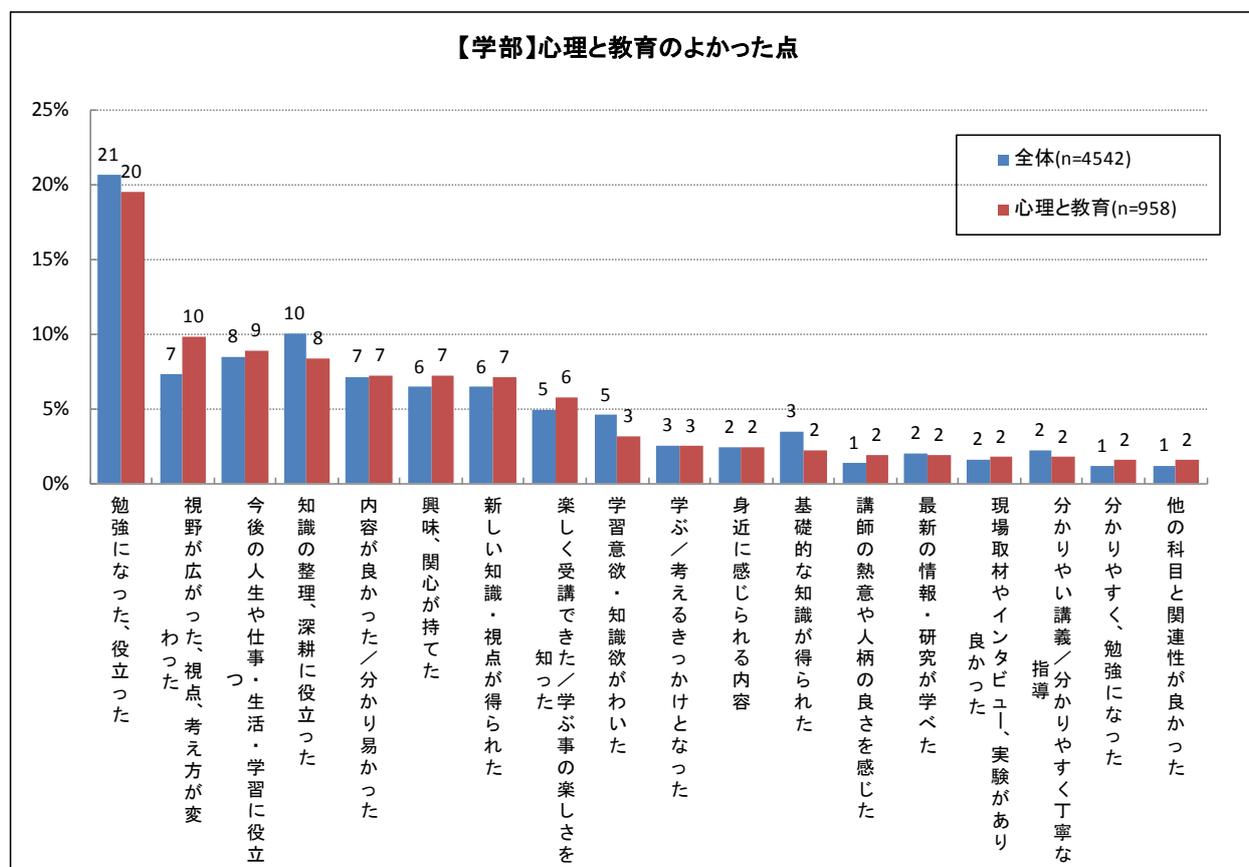
【学部】「心理と教育」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」が 20%と最も多く、次いで「視野が広がった、視点、考え方が変わった」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」が約 1 割で続いた。

他に「知識の整理、深耕に役立った」等が上位であったが、全体との違いはあまりなく、2～3%の項目が多岐にわたっていた。

図 2-87 【学部】よかった点



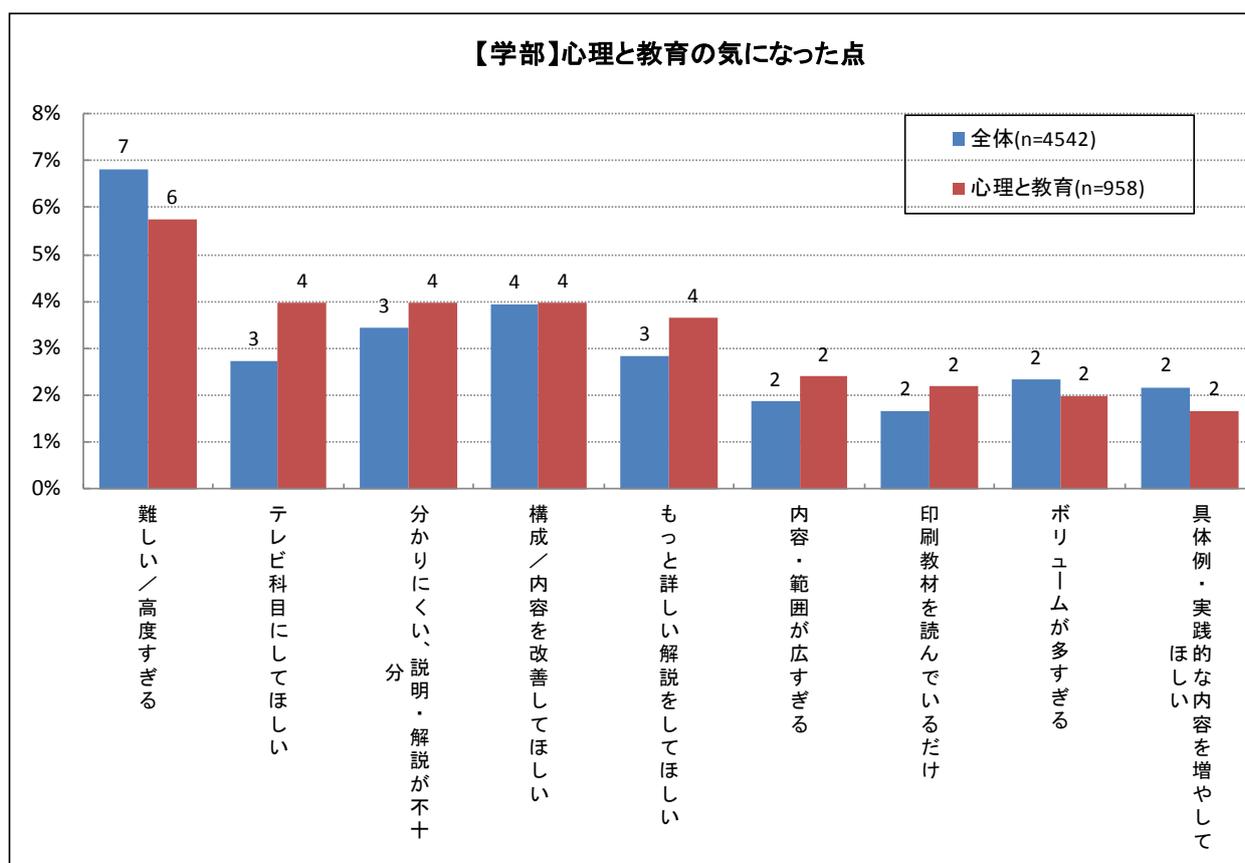
【学部】「心理と教育」科目の傾向

気になった点

最も多いのが「難しい／高度すぎる」が6%で、「心理と教育」科目の全体からみれば少数派の評価であった。

全体と比べほとんど差はなく、同じ傾向であった。

図 2-88 【学部】気になった点



【学部】「心理と教育」科目 抜粋

よかった点

- 人間の発達における一生を段階に分け、ストーリー性がある内容であり、自身のこれまでの発達段階を顧みることができたことは、大変有意義だった。
- 精神分析と昔話（ギリシャ神話、グリム童話）との関連性という意外な面を知ることができ、面白かった。また、世界の昔話に共通点があることも印象的で、興味の持てる科目であった。
- 精神分析、ユング心理学の入門書として興味を持って学習出来た。内容が分かりやすく、それでいて奥深さがよく分かった。今後、更に勉強していきたいと思う。
- 文系科目では学べない領域を、文系科目の知識だけで知ることができ、視野が広がった。説明が非常に親切でわかりやすかった。
- 人間の発達について、新たな認識を得ることができた。特に老年期における発達について、自分のことと関連して大きな興味を持った。エリクソンについて、これからさらに勉強するつもりでいる。
- 現代の最新の内容が含まれているので、生徒指導の流れをとらえることができた。自分の従来の考え方を反省することができたので、受講して良かったと思う。
- 他に受講していた心理学系の科目の理解にも役立った。また、自分に当てはめたり、家族に当てはめて考えてみることもでき、今後の人生にプラスになりそうだと感じた。
- 自然科学の基礎知識だけでも7割は解答できるものの、実際の現場に携わっている人のインタビューや映像を見られるのは、放送大学の利点だと思う。
- 沢山の講師の方から、それぞれの専門分野の色や形に関することについて、ダイジェスト的に学べたので良かったと思う。興味を持った分野の講義を受講したいと思った。

【学部】「心理と教育」科目 抜粋

気になった点

- この授業を受けて簡単に思った人と、自分のように難しく感じた人と両極端だと思う。正直しっかり理解できたのは第一章のみ（身近な統計での復習のような内容であった）で、他の章からは全く理解できず、「言葉」を覚えるだけで精一杯で、「統計」を学ぶまでには至らなかった。改善すべき点があるとしたら、授業科目案内でどのような予備知識が必要かもっと明確に書いて頂きたい。
- 人間の心理を危機の切り口から分析するため、学習内容が非常に多岐にわたり、量が多いと感じた。可能であれば、ⅠとⅡに分離して広範囲をカバーするなどが希望される。
- 「心理カウンセリング序説」とかぶっているところが少し多いのかなと思ったが、改善すべきかどうかはわからない。
- 実際の心理学実験から得られたデータを解析する演習授業があると良い。実験と統計法のどちらにも役立つと思う。
- 認定心理士に必要な科目ということで受講したが、テレビと教材だけでは理解に無理があると思った。統計学を大学在学中に学んでいたのも、まだ理解できることが多かったと思うが、スクーリングが必要な科目かもしれない。
- ラジオのため、表や図等が見られず、また、聞いているだけだと講師の発音や言い回しにより、よく聞き取れないことがある。特に心理学は言葉が難しいので、工夫（図や表、絵など）して、授業をして頂けると嬉しい。
- この科目は、講師が数名で担当しており、人によっては、印刷教材の内容をそのまま読んでいることもあり、せっかく視聴しているのだから、周辺知識などを盛り込んだ授業内容にしてほしかった。
- 放送を聞きながら、教材のどの部分の話がされているのか、放送と教材の内容把握が大変だった。放送前に何度も読み返すことが必要なのかなと感じている。
- 放送授業がテレビ科目であると良かった。ピアジェの理論などは、その様子をテレビで見られると、知識やイメージがふくらむと思う。
- 初めてこの科目をとったわけだが、すでに大学の心理学や教師のための再入門のための科目であろうか、難しい式も出て、印刷教材だけでは、初めてデータ分析に入門する者にはとっつきにくかった。

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	107	80	187	分かりやすく、勉強になった	3	12	15
視野が広がった、視点、考え方が変わった	70	24	94	読み物として面白い内容だった		6	6
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	62	23	85	体系的に良くまとめ、整理されていた	1	1	2
知識の整理、深耕に役立った	34	46	80	最新の情報や研究が紹介されていた	1	1	2
興味が持てた、関心が持てた	35	34	69	事例・コラムが良かった	1	1	2
内容が良かった、分かりやすかった	36	32	68	引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	1	1	2
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	46	21	67	新しい知識・視点を得ることができた	1		1
楽しく受講できた、面白かった	23	24	47	ポイントが明確に押さえられていた	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	17	13	30	手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	18	6	24	愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
身近に感じる内容が良かった	17	6	23	図版や表が役に立った		1	1
基礎的な知識を得られた	2	19	21				
最新の情報・研究が学べた	10	6	16				
他の科目と関連性が良かった	6	9	15				
現在の課題や身近な問題点を学べた	11	2	13				
具体的な事例・実験があった	7	2	9				
専門的な内容だった、レベルが高かった	4	2	6				
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2	2	4				
放送授業と印刷教材の内容が異なった	2	2	4				
受験・資格取得に役立った	3		3				
現状のままでいい、満足している	2		2				
自分のペースで勉強できた	1	1	2				
自分の意見・考えが持てるようになった	1	1	2				
放送授業と印刷教材のバランスが良かった		1	1				
面接授業や実習が良かった		1	1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった		1	1
内容が適切だった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	14	4	18
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	17		17
分かりやすく講義していた	13	3	16
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	9	3	12
楽しく視聴できた	6	2	8
映像や写真が多用され、分かりやすかった	5		5
対話形式の授業が良かった	5		5
参考文献を紹介してくれた	1	3	4
図表がわかりやすかった	3		3
アシスタントが良かった	3		3
印刷教材との関連が良かった		3	3
受講して良かった	2		2
実例や身近な例を取り上げていた	2		2
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	2		2
映像・テレビで良かった	2		2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1		1
放送のテンポや時間構成が良かった	1		1
インターネットで受講できた	1		1

【学部】「心理と教育」

気になった点

(単位:人)

科目全般	印刷教材						
	意見	テレビ	ラジオ	合計			
難しい、高度すぎる、理解できない	33	8	41	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	9	8	17
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	24	11	35	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	7	3	10
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	19	6	25	色刷りにしてほしい	3	3	6
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	20	3	23	難しい、文章が回りくどい	2	4	6
分かりにくい、説明・解説が不十分	12	9	21	放送授業の要約を載せてほしい	2	3	5
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	9	8	17	構成・内容が良くない、面白くない	2	2	4
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	8	4	12	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	2	2	4
現状のままでもいい、満足している	7	5	12	具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい	3		3
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	8	3	11	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	6	2	8	誤植がある	2		2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	6	1	7	放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	2		2
講義内容と科目名に乖離がある	6	1	7	内容が薄い、少なすぎる	1	1	2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	5		5	参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1	1	2
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4	1	5	索引を充実させてほしい	1	1	2
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	4		4	資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1
内容の重複・他科目との重複が見られる	1	3	4	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
判断・評価できるレベルに達していない		4	4	和訳・英訳がほしい	1		1
放送授業と印刷教材の内容が同じである		4	4	設問の解も載せてほしい	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3		3	参考資料や付録を載せてほしい		1	1
最新の内容の講義にしてほしい	2	1	3	教材の装丁・デザインを改善してほしい		1	1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1	1	2				
参考文献を紹介してほしい		2	2				
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1				
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい		1	1				
質問や相談がしたい		1	1				

放送授業				通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
テレビ科目にしてほしい			38	38	指導内容、コメント、対応に不満がある	3	1	4
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	13	8	21	問題の解答・解答例・解説がほしい	1	3	4	
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	5	9	14	放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1		1	
構成・内容が良くない	8	1	9	課題の内容・量が的確ではない		1	1	
印刷教材と連動していない	3	6	9	課題範囲が広すぎる、難しい		1	1	
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	5	3	8					
放送授業が聞き取りづらい	2	6	8					
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	3	4	7					
印刷教材と異なる講義が聴きたい	2	5	7					
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	5	1	6					
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	5		5	試験内容の設問、難易度に違和感があった	5	6	11	
具体例・事例を増やしてほしい	4	1	5	試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	5	6	11	
講義のテンポが良くない	3	2	5	試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった		4	4	
まとめや学習ポイント、総括がほしい	2	3	5	問題が多かった、範囲が広がった	2		2	
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2	問題の解答・解説・用紙がほしい	2		2	
図・表・写真を利用してほしい	1	1	2	問題数が少なすぎ、難易度を上げるべき	1	1	2	
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1	問題数が少なすぎ	1	1	2	
例題・実習を増やしてほしい	1		1	教材・電卓持込み可にしてほしい	1	1	2	
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1		1	試験の会場・日程について一考を	1	1	2	
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1	評価方法に疑問を感じる	1		1	
専門家の意見が聴きたい	1		1	試験時間が短い・問題数が多かった	1		1	
印刷教材と内容が異なる	1		1	記述式および記述に関して改善してほしい	1		1	
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		1	1	試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1	
手話通訳、または字幕がほしい		1	1					
1科目の放送時間が短い		1	1					
ノートを取る余裕がほしい		1	1					

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

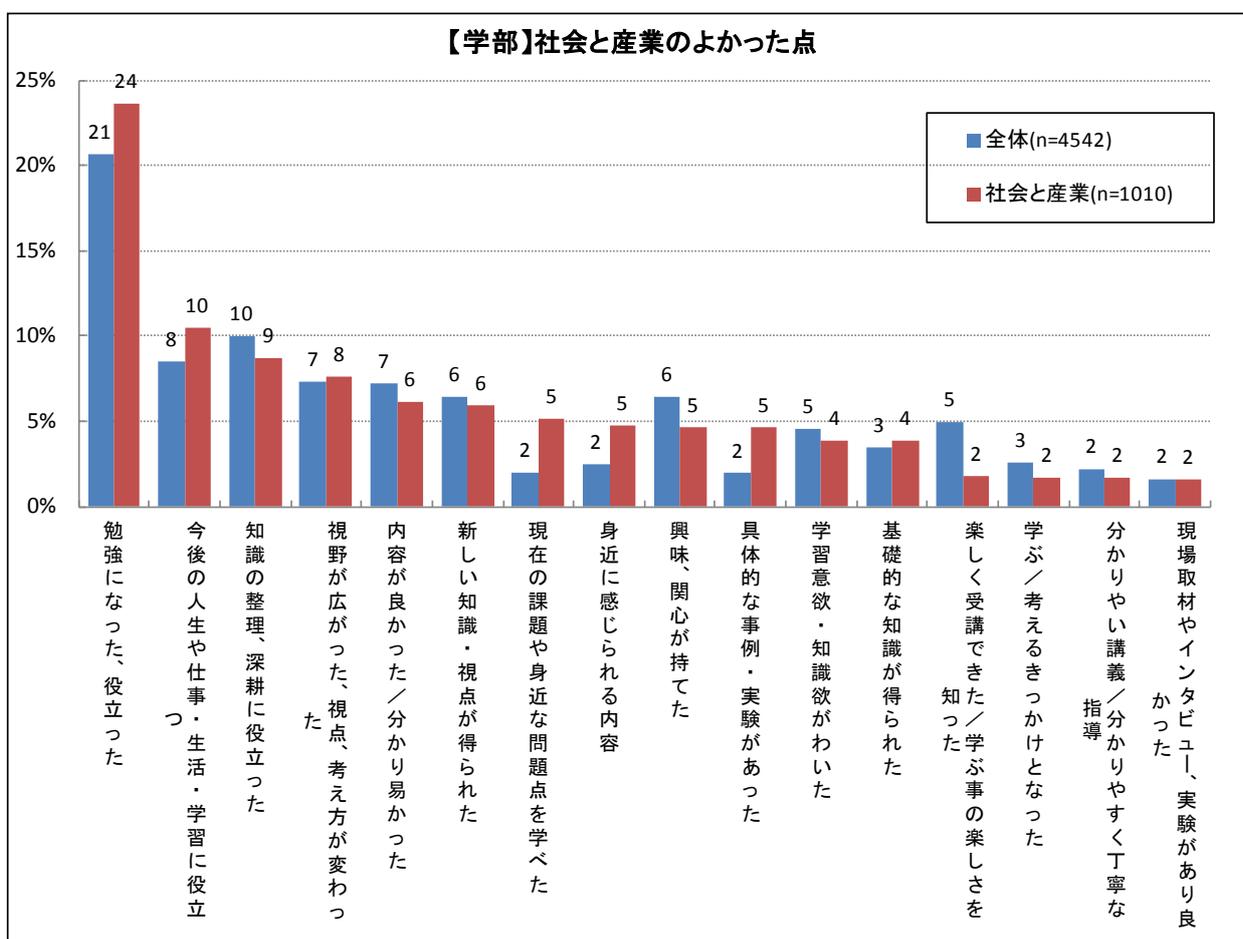
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- テレビ科目にしてほしい
- もっと専門性を持たせてほしい
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった
- 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる

【学部】「社会と産業」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」が圧倒的に多く、他の意見の2倍以上となっている。それ以外では「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「知識の整理、深耕に役立った」「視野が広がった、視点、考え方が変わった」が1割程度で上位に挙げられた。

図 2 - 8 9 【学部】よかった点

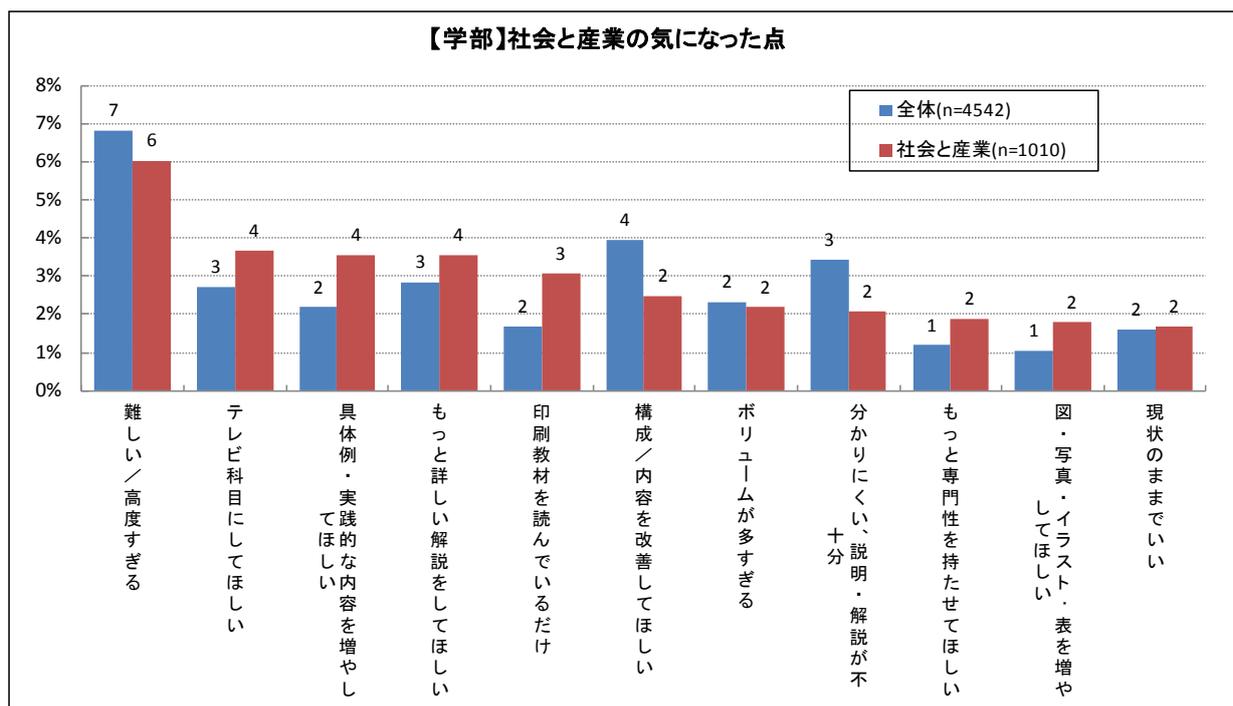


【学部】「社会と産業」科目の傾向

気になった点

「社会と産業」でも「難しい／高度すぎる」が最も多かったが、6%に過ぎず大半の履修生はそうは感じていなかったと言えよう。

図 2 - 9 0 【学部】気になった点



【学部】「社会と産業」科目 抜粋

よかった点

- 各章に学生A、B等が登場し、会話形式の囲み欄があって、問題点がわかりやすく、ポイントの理解になった。また、法律の理解は時に難解だったりするが、わかりやすく、必要な法を知り、時代の変化に順応できる教育を身につけることの大切さを学んだ。
- 日本の近現代を築いた政治思想がどのように形成されたか、どのように特質を持つかを、独自の視点から複数の論点に絞って解く、優れた専門科目と思った。啓発されることの多い充実した授業だった。
- 地方行政に携わっていたこともあり、ある程度の知識や経験があったので、比較的スムーズに学ぶことができた。働く人がわかりやすいように工夫されていて、とても良かった。
- 新しい分野の学問まで今まで学習したことのない言葉が多く見られ、辞書を調べて意味を理解するようにつとめた。今後の世界における産業、経済、技術の発展方向がわかった。
- 政治思想史を、新しい視点から解説されているところが良かった。参考文献をプロのアナウンサーに朗読させていたが、聴きやすいと共に、講師による説明に変化がついて良かった。
- 期待通りの内容であったし、基礎的な物理化学の素養でも理解でき、楽しく学習できた。特に炭素が素材としてあらゆる製品に影響を与えている現実、今後の方向も併せて興味をもった。
- 労働に関する法の基礎的な考え方が理解できて良かった。現在問題になっている労働問題について、判例を引用しながら解説されていて、わかりやすかった。
- 職場で発生する労働問題と法との関係について、具体的事例や判例に基づき、解説してもらえたので、会社員の私にとっても身近な問題、知識として取っつきやすく、面白かった。
- 放送授業の説明やまとめの表示がわかりやすかったし、その実践している様子の動画やインタビューは興味深かった。説明も日々変動する社会情勢に合わせてあり、理解を深められた。
- テレビ科目であることを活かして、映像資料をたくさん見ることができ、学習内容のイメージを持つのに役立った。
- 講師全員が熱心。テストやその他の出題内容が、ポイントを実に理解しやすいようにできている。頭に入り、忘れても思い出しやすい。
- 放送大学客員教授の話だけではなく、ゲストとして関係企業に勤務している諸氏の話が、とても専門、かつわかりやすくてとても良かった。

【学部】「社会と産業」科目 抜粋

気になった点

- 理系ではない主婦が、家庭で実践できる環境問題への具体的な取り組み方を教えてほしかった。内容が難しすぎて落ち込む程、よくわからない内容だった。レベルが高すぎだと思う。
- とにかく内容の難易度が高い。試験自体は持ち込み可であったため何とかしたが、講義内容を理解するには高校レベルを超えた物理化学の知識が必要であろうと感じた。
- 判例法理の説明が多く、わかりにくい。内容的に仕方ないところもあるが、表や図を使うなどして、わかりやすい説明をしてほしい。
- 「日本政治思想史」というテーマを体系的に学びたいと思っていたが、話があちこちに飛んでいくので混乱した。
- 教材、授業ともに講師の個人成果発表の場となっている傾向があり、無名の学生が初めて学ぶにあたって、視野に偏りが出るのではないかと感じた。教材の中で取り上げる内容については、第三者的視野が必要だと思う。
- 放送授業と印刷教材の内容が一致しない授業が一部あった。印刷教材のどのあたりを話しているのか、少し説明があるとよりわかりやすくなると思った。
- ラジオなので仕方ないが、やや単調である。もう少し話すスピードを上げるか、対話形式の回があっても良い。
- テレビを視聴していて、分かりやすく話をしていると思うが、パワーポイントなどをもう少し多く使って、主要な部分などは説明してほしかった。
- 放送授業において、放送教材をそのまま読むのはやめていただきたい。要点とか重要な点を要領よく説明し、教材には書かれていない新しい情報なども取り入れて授業を行ってほしい。教材をそのまま読むのであれば、授業はいらぬ。特にラジオの場合は聞いていても頭に入らない。
- 印刷教材と放送授業の双方で勉強を進めたが、内容的に工夫がほしい。放送授業は印刷教材の内容をなぞらせるのではなく、重点ポイントをより詳しく説明があるべきだと思う。印刷教材の練習問題の解答がなく、教材に解答や簡単な解説があってしかるべき。
- 印刷教材は良くまとまっていると感じたが、ポイントは箇条書きにしてメリハリをつけた構成にしてほしい。放送は朗読になりすぎず、テキストの順序を逸脱しないようにして、まとめやすくポイントを繰り返すなど工夫がほしい。

【学部】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	120	119	239
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	58	48	106
知識の整理、深耕に役立った	39	49	88
視野が広がった、視点、考え方が変わった	28	49	77
内容が良かった、分かりやすかった	19	43	62
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	26	32	58
現在の課題や身近な問題点を学べた	19	33	52
身近に感じる内容が出来る内容だった	29	19	48
興味が持てた、関心が持てた	15	32	47
具体的な事例・実験があった	15	32	47
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	14	25	39
基礎的な知識を得られた	15	22	37
学びきっかけとなった、考えるきっかけとなった	5	12	17
楽しく受講できた、面白かった	6	9	15
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2	10	12
最新の情報・研究が学べた	8	3	11
自分の意見・考えが持てるようになった	1	6	7
専門的な内容だった、レベルが高かった	4	1	5
他の科目と関連性が良かった		3	3
面接授業や実習が良かった		3	3
受験・資格取得に役立った		2	2

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった	4	5	9
体系的に良くまとまり、整理されていた	1	2	3
事例・コラムが良かった	1	2	3
読み物として面白い内容だった		3	3
ポイントが明確に押さえられていた	1	1	2
基本的な知識を得られた、概要が分かった	1	1	2
新しい知識・視点を得ることができた		2	2
図版や表が役に立った		2	2
最新の情報や研究が紹介されていた	1		1
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった		1	1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	1		1
添削・コメントをしてもらえた		1	1
学習内容の整理に役立った		1	1

放送授業

意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	15	1	16
分かりやすく講義していた	11	5	16
講師の熱意や人柄の良さを感じた	2	5	7
映像や写真が多用され、分かりやすかった	5		5
事例や身近な例を取り上げていた	4	1	5
対話形式の授業が良かった	3	2	5
楽しく視聴できた	1	2	3
図表がわかりやすかった	2		2
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2		2
アシスタントが良かった	2		2
受講して良かった	1	1	2
放送のテンポや時間構成が良かった	1	1	2
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	1		1
印刷教材との関連が良かった	1		1
映像・テレビで良かった	1		1
参考文献を紹介してくれた		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
簡単だった		1	1

【学部】「社会と産業」

気になった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	26	22	48	テレビ科目にしてほしい			37 37
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	16	20	36	印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	14	17	31
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	18	12	30	難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	6	7	13
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	12	7	19	印刷教材と連動していない	5	7	12
現状のままでもいい、満足している	8	9	17	講師の話し方や発音、講義態度が良くない	5	6	11
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	9	4	13	まとめや学習ポイント、総括がほしい	3	4	7
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	6	7	13	印刷教材と異なる講義が聴きたい	3	4	7
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3	9	12	具体例・事例を増やしてほしい	5	1	6
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	5	9	放送授業が聞き取りづらい	1	5	6
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	6	9	例題・実習を増やしてほしい	5		5
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	5	3	8	興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2	3	5
最新の内容の講義にしてほしい	4	4	8	講義のテンポが良くない	2	3	5
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2	6	8	構成・内容が良くない	3	1	4
講義内容と科目名に乖離がある	2	5	7	図・表・写真を利用してほしい	1	2	3
内容・講師に思想的偏りがある		7	7	テレビ、ラジオ両方で対応してほしい		3	3
科目の分類に疑問がある	5	1	6	設問の解もほしい	2		2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	4	2	6	テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	2		2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	5	6	講師以外は必要ない、違和感がある	1	1	2
判断・評価できるレベルに達していない	3		3	テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	3		3	講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1		1
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2	1	3	ノートを取る余裕がほしい	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	2	1	3	講師により内容にバラつきがある、解説が異なる		1	1
質問や相談がしたい	2	1	3	講師の独りよがりになっている		1	1
放送授業と印刷教材の内容が同じである	2		2	講師以外の人の解説がほしい	1		1
内容の重複・他科目との重複が見られる	1	1	2	ゲストが直接話すのではなく、講師が要点を説明してほしい		1	1
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1		1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		1				
参考文献を紹介してほしい		1	1				
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい		1	1				
各施設の利用について、充実・改善してほしい		1	1				
印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	7	11	18	指導内容、コメント、対応に不満がある	3	7	10
設問の解も載せてほしい	14		14	課題の内容・量が的確ではない		4	4
難しい、文章が回りくどい	5	8	13	問題の解答・解答例・解説がほしい	2		2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	11	13	記述式および記述に関して改善してほしい		2	2
内容が理解しにくい、難しい、説明が不十分	6	6	12	課題範囲が広すぎる、難しい		1	1
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	8	1	9				
構成・内容が良くない、面白くない	4	4	8				
誤植がある	2	5	7				
放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	3	1	4				
具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい	2	2	4				
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1	2	3				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい		3	3				
参考資料や付録を載せてほしい	1	1	2				
内容が薄い、少なすぎる		2	2				
講師により、内容にバラつきがある	1		1				
色刷りにしてほしい	1		1				
放送授業の要約を載せてほしい		1	1				
主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
●難しい、高度すぎる、理解できない				試験内容の設問、難易度に違和感があった	4	6	10
●もっと詳しい説明・解説をしてほしい				教材・電卓持込み可にしてほしい	5	3	8
●テレビ科目にしてほしい				試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	3	5	8
●印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった				問題数が少なかった	2	5	7
				試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2	3	5
				試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	2	3	5
				○×式、選択式にしてほしい		4	4
				記述式および記述に関して改善してほしい		3	3
				問題が多かった、範囲が広がった		2	2
				教材の持ち込みは不要	1		1
				試験に関する情報を早く教えてほしい		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった

- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- もっと専門性を持たせてほしい
- 図・写真・イラスト・表を増やしてほしい
- 具体例・実例を増やしてほしい

【学部】「人間と文化」科目の傾向

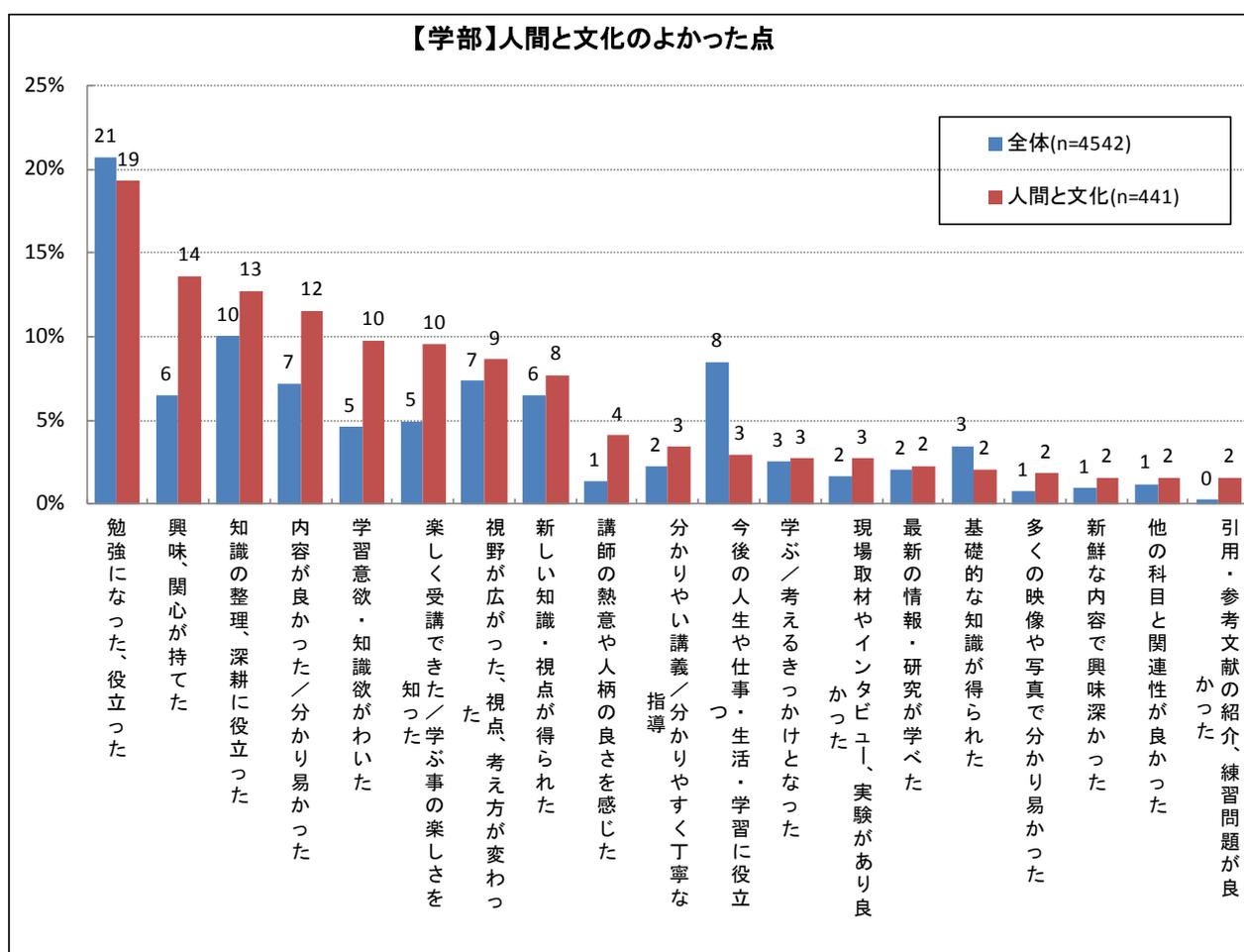
よかった点

「勉強になった／役だった」が最も多く、19%に上っていた。

次の「興味、関心が持てた」は14%で、全体より倍以上となり「人間と文化」で多く挙げられた評価であった。

それ以外の「知識の整理、深耕に役立った」「内容が良かった／分かり易かった」「学習意欲・知識欲がわいた」「楽しく受講できた／学ぶ事の楽しさを知った」も1割以上に挙げられ、いずれも全体を上回っていた。

図 2-91 【学部】よかった点



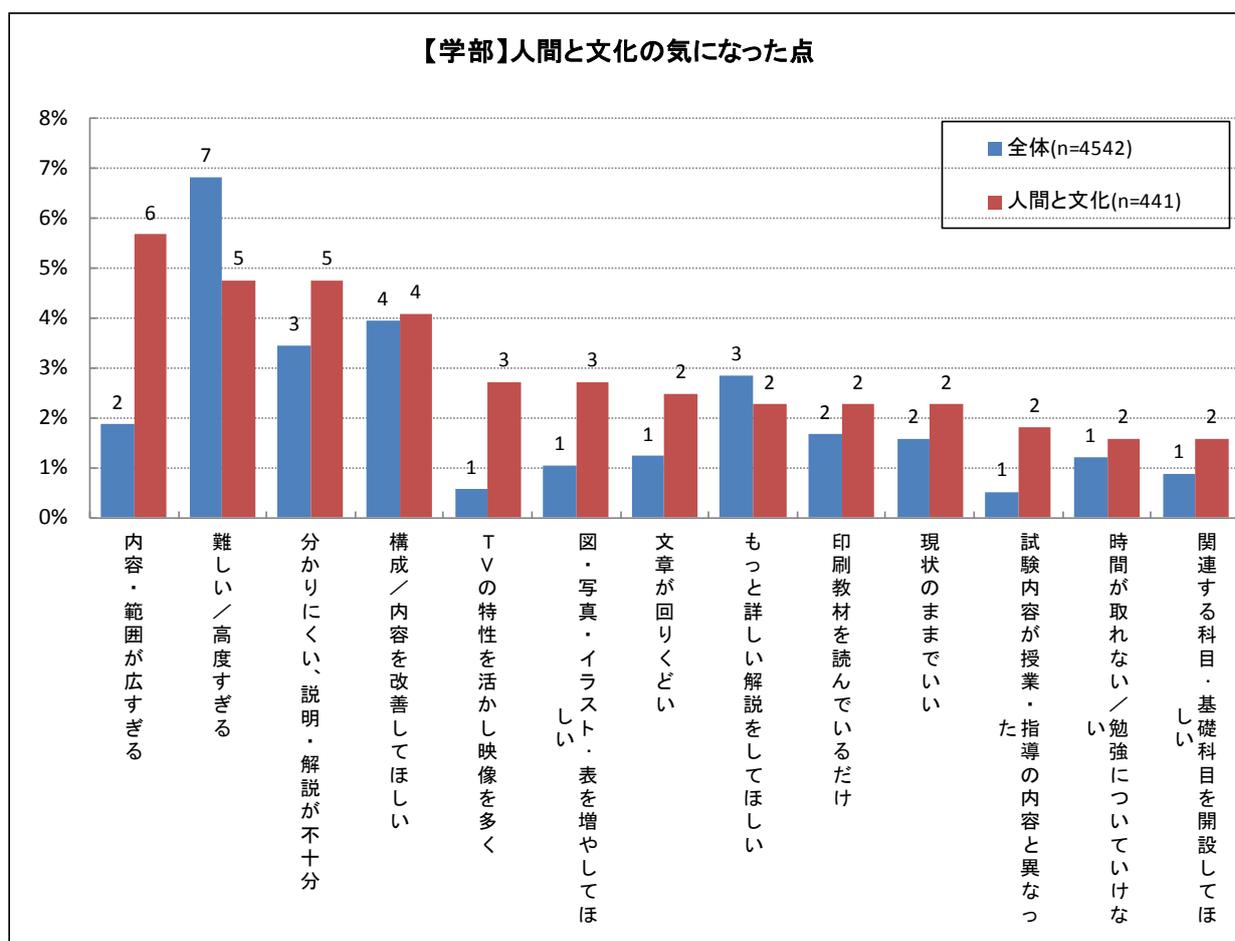
【学部】「人間と文化」科目の傾向

気になった点

上位3項目の「内容・範囲が広すぎる」と「分かりにくい、説明・解説が不十分」は全体より高く、「難しい／高度すぎる」は全体の方が高かった。

それ以外の項目についても全体との差がみられ、全体と傾向を異にしていた。

図2-92 【学部】気になった点



【学部】「人間と文化」科目 抜粋

よかった点

- フッサールやハイデガーといったドイツ哲学との関連を含めて（ドイツ哲学からの影響）の講義が意義深かったこと。ポール・リクールのような近年見直されている哲学者について知ることができたこと。
- 初めての受講だったので、自分の好きなことでないと続かないのではという不安があったが、興味ある分野を選んだおかげで最後まで飽きることがなかった。舞台を見に行く楽しみが増えた。
- 舞台芸術の中にも、歴史、文化、宗教、政治等、掘り下げた視点で見ると、大変興味深いものであることがよく理解できた。
- 中学、高校で学習した歴史知識が少し蘇ってきたことに加え、当時知らなかった新たな知識が加わったのは良かった。放送の中で歴史的な場所、遺跡の紹介もあり、機会があればぜひ訪れてみたいと思った。
- 20世紀のフランス哲学を概観することができた。その哲学と社会や文化、歴史との関係について、私なりに考察を深められるようになった。
- 個々の哲学者たちの時代背景と、それぞれの関連性をひとかたまりで捉えた視点を得られた（それまでの自分はバラバラに読書などで知識を得ていたため、整頓されていなかった）。
- 我々の時代から新しい発見、視点が多くなっており、興味深い授業だった。テレビで現地の模様をリアルに見ることができたのも良かった。
- 個々の哲学者たちの時代背景と、それぞれの関連性をひとかたまりで捉えた視点を得られた（それまでの自分はバラバラに読書などで知識を得ていたため、整頓されていなかった）。
- 我々の時代から新しい発見、視点が多くなっており、興味深い授業だった。テレビで現地の模様をリアルに見ることができたのも良かった。
- 今回日本文学関連（日本文学の名作を読む、日本文学概論、古事記と万葉集）を受講したが、お互いに関連があり、大変分かり良かった。近世文学については今まで読んだことのない作品が多く、大変勉強になった。
- 放送授業（テレビ）の特性が活用されていて良かった。地方にいと接する機会が少ない映像を見ることができた。
- 本文が印刷教材に取り上げられて、全文を理解するのに役立った。物語に関して興味を持つことができたし、これから読むための理解に役立つ話が多くあったので良かった。物語の古典からの系譜の中で捉えられたことがよくわかった。源氏物語の原文に〔 〕書きの補足で読めることを知り、より身近に感じた。
- 講師の考えが講義に適切に反映されており、参考文献でもいくつか目を通す意欲がわいた。

【学部】「人間と文化」科目 抜粋

気になった点

- もう少し解説をわかりやすくしていただけるとありがたい。TV放送にして視覚にうったえる場面が増えると理解しやすくなるかも。
- 対象とする名作文学の幅が、広すぎるような感じがした。もう少し対象を絞って、深みのある原文解釈に触れてほしいと感じた。
- 放送教材の中で、現地訪問して講師の先生と現地の専門家の方のやりとりがあるが、印刷教材との関連性を持たせるとか、内容の深みを持たせるとか、内容を見直した方が良いと思う。何となく時間つぶしのような雰囲気を感じてしまった。
- ラジオを聞いても、印刷教材を読んでも、理解しにくいところがあった。印刷教材の内容をもう少し増やして欲しかった。
- 講師の専攻によって扱う人物、思想が取り上げられ、固定しているので、数人で協議して教材としてまとめてほしい。
- 印刷教材の文章に難しいところが多々あり、自分にとって理解するのが大変だった。
- 通信指導の内容やテスト（単位認定）の内容が、もう少しテキストの内容とリンクしたもので学習評価を測ってほしい。テキストと講義（TV）の内容だけでは解答できない設問が多いと感じた。
- 概論の科目のその先を独学で学ぶ時の指針が示されていればもっと良いと感じた。

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	40	45	85
興味を持てた、関心を持てた	29	30	59
知識の整理、深耕に役立った	32	24	56
内容が良かった、分かりやすかった	21	30	51
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	18	25	43
視野が広がった、視点、考え方が変わった	24	14	38
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	21	12	33
楽しく受講できた、面白かった	13	17	30
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	8	5	13
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	6	6	12
最新の情報・研究が学べた	8	2	10
基礎的な知識を得られた	4	4	8
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	3	4	7
他の科目と関連性が良かった	1	6	7
身近に感じる事が出来る内容だった	2	4	6
専門的な内容だった、レベルが高かった		2	2
現状のままでいい、満足している		1	1
自分の意見・考えが持てるようになった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	4	3	7
分かりやすく、勉強になった	3	3	6
図版や表が役に立った		3	3
さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1	1	2
読み物として面白い内容だった		2	2
愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1		1
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
新しい知識・視点を得ることができた		1	1
基本的な知識を得られた、概要が分かった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
添削・コメントをしてもらった		1	1
興味関心が深まった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	14	4	18
分かりやすく講義していた	11	4	15
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	12		12
楽しく視聴できた	9	3	12
映像や写真が多用され、分かりやすかった	8		8
受講して良かった	2	1	3
新しい発見や驚きがあった	1	2	3
実例や身近な例を取り上げていた	1		1
映像・テレビで良かった	1		1
インターネットで受講できた	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		1	1
参考文献を紹介してくれた		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		1	1
印刷教材の内容が同じだった		1	1

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	16	9	25	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	9	3	12
難しい、高度すぎる、理解できない	7	9	16	難しい、文章が回りくどい	5	6	11
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	5	10	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	5	6	11
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	5	5	10	参考資料や付録を載せてほしい	3	3	6
現状のままでいい、満足している	2	8	10	フリガナ、専門用語の説明などがほしい		4	4
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	9	10	構成・内容が良くない、面白くない	2	1	3
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	5	2	7	内容が薄い、少なすぎる	2	1	3
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	6	7	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	2	3
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3	3	6	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	2		2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1	4	5	色刷りにしてほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	3		3	放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	1		1
判断・評価できるレベルに達していない	2	1	3	参考図書が大学図書館にあるのか、情報がほしい		1	1
講義内容と科目名に乖離がある		3	3	印刷教材の大幅改定をしないでほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	1	2				
参考書や問題集、補助教材を紹介してほしい		2	2				
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1				
各施設の利用について、充実・改善してほしい	1		1				
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1				
内容の重複・他科目との重複が見られる	1	1	2				
内容・講師に思想的偏りがある	1	1	2				
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		1	1				
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい		1	1				
大切な科目なので、受講を勧めてほしい	1	1	2				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	11	1	12	記述式および記述に関して改善してほしい	1	1	2
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	5	5	10	指導内容、コメント、対応に不満がある		2	2
構成・内容が良くない	4	1	5	問題の解答・解答例・解説がほしい	1		1
具体例・事例を増やしてほしい	4	1	5	放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている		1	1
印刷教材と連動していない	4	1	5				
印刷教材と異なる講義が聴きたい	3	2	5				
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1	4	5				
テレビ科目にしてほしい		5	5				
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	2	1	3				
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2	1	3				
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2	1	3				
講師の独りよがりになっている	2	1	3				
印刷教材と内容が異なる	2	1	3				
講義のテンポが良くない	1	1	2				
放送授業が聞き取りづらい	1	1	2				
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1	1	2				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1				
放送授業の時間が合わない		1	1				
図・表・写真を利用してほしい		1	1				
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい	1		1				

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 図・写真・イラスト・表を増やしてほしい

- テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい
- 印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった
- 試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった

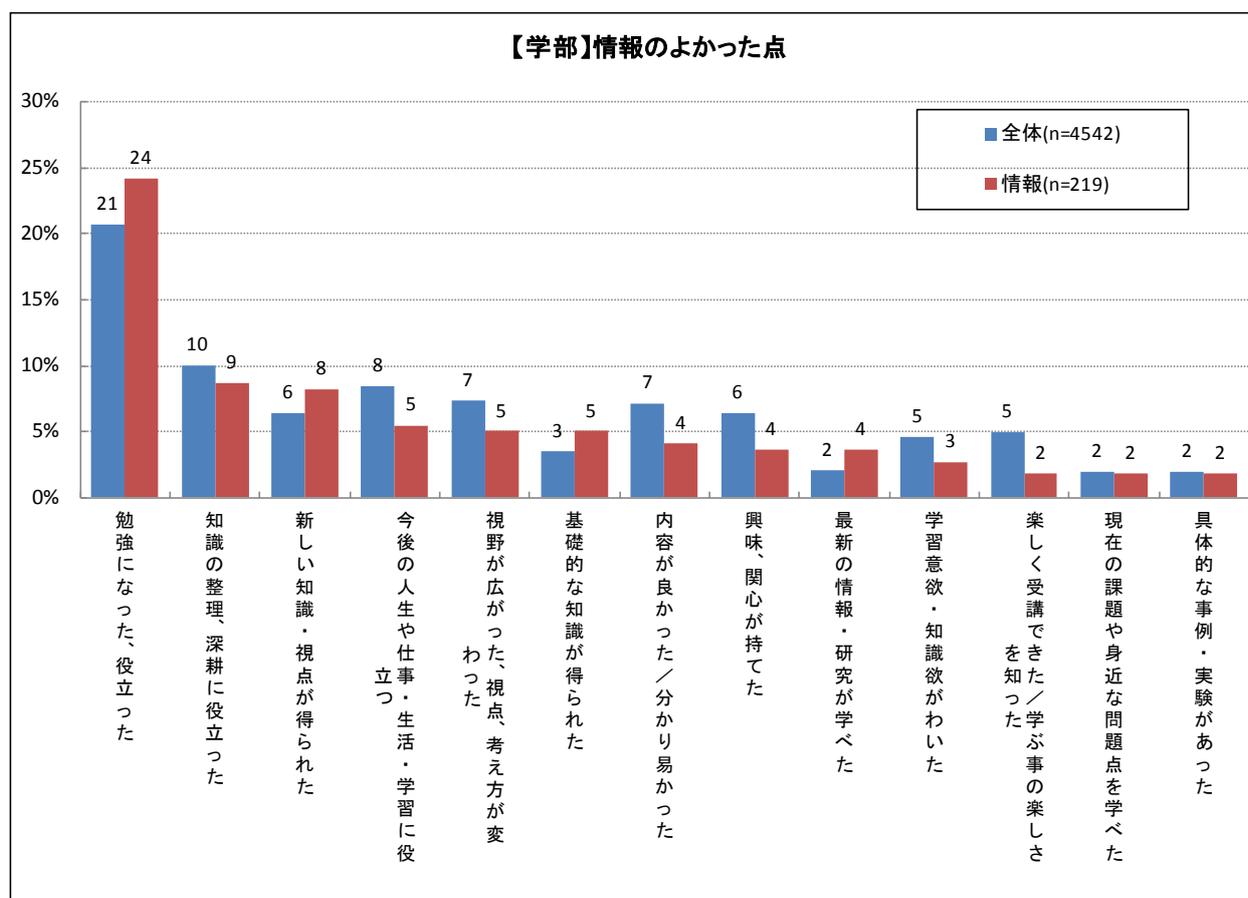
【学部】「情報」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役立った」が最も多く 24%で際立っていた。他では「知識の整理、深耕に役立った」「新しい知識・視点が得られた」で1割弱。

他に4~5%の項目が多くみられるが、全体と傾向を異にしていた。

図 2-93 【学部】よかった点



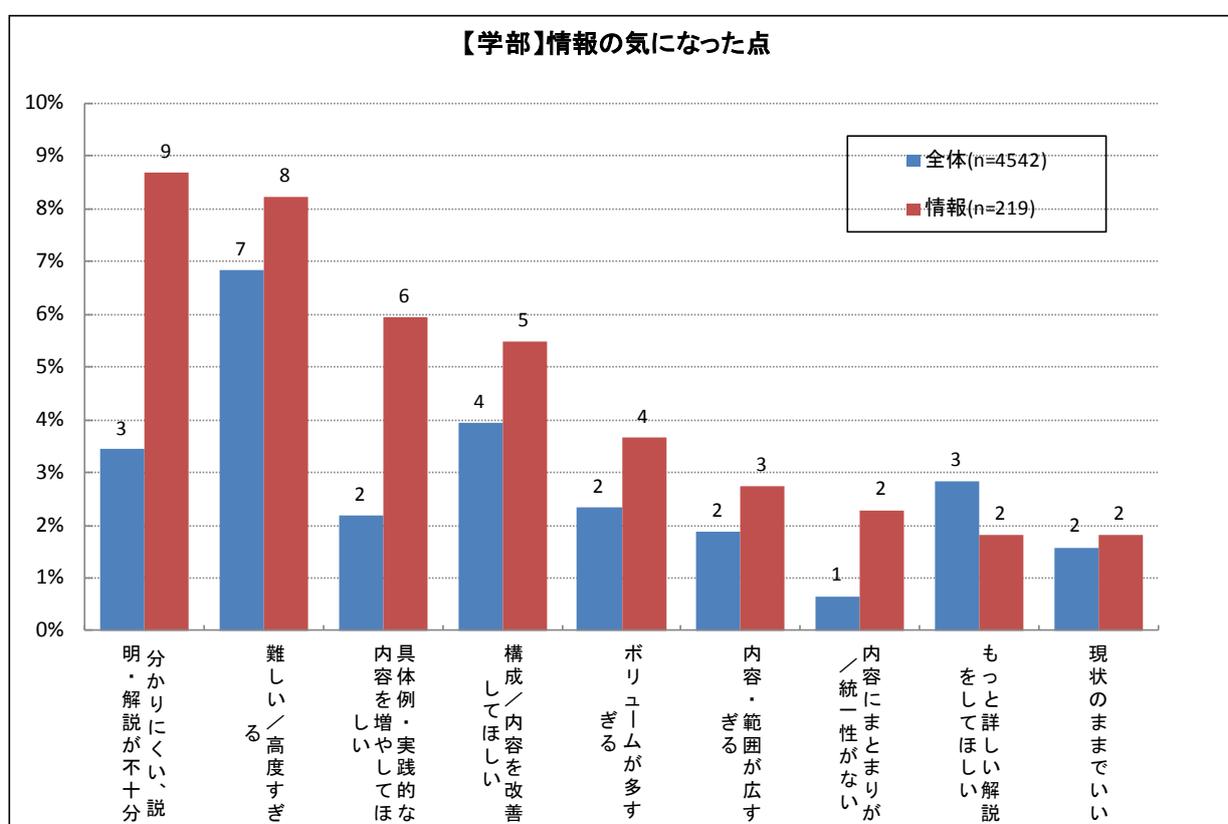
【学部】「情報」科目の傾向目

気になった点

「分かりにくい、説明・解説が不十分」「難しい／高度すぎる」が1割弱挙げられ、次いで「具体例・実践的な内容を増やしてほしい」が6%で続いた。

「分かりにくい、説明・解説が不十分」と「具体例・実践的な内容を増やしてほしい」は全体との差が、極めて大きかった。

図 2-94 【学部】気になった点



【学部】「情報」科目 抜粋

よかった点

- 最適化問題、意思決定問題等に関して、数理的手法を幅広く取り上げた構成は、非常に良いと思う。理論と応用のバランスも適切ではないかと思った。非常に良い科目だと思う。
- 日常無意識に使用しているパソコン、自動販売機等に使用されているコンピュータがいかに複雑で、難解で、奥の深いものであることが理解できた。コンピュータの入口に入ることができたので、もう少し勉強したい意欲が出た。
- 空間モデル、統計モデル等について、概念的理解が向上した。学習者がわかっているものとして省略するようなことがなく、基礎的なことを丁寧に説明してくれて、ありがたかった。
- 児童、生徒、学生の授業への新しい教育方法、ICTツール活用がよく理解できた。また、障害者支援の内容は良かった。中国の放送大学の実情を初めて知った。ビデオの活用が適切で、理解しやすかった。
- 身近なものから、これからの展望など、いろんな視点から学べたと思う。放送授業だけはわかりにくかったが、しっかり印刷教材を読めば理解できたので、授業内容は良かったと思う。
- 比較的新しい学問分野だが、どのようなものがあるのか、系統立てて知ることができた。
- 問題を解決する方法が研究されているのだと知り、他の研究にどのようなものがあるのか、興味がわいてきたこと。
- 学校でのICT活用支援を行っているので、体系的に背景やポイントを学ぶことができ、今後の業務に役立てることができそうだと感じた。
- 知識として知っていることも多かったが、改めて理論的に学ぶことによって、誤解していた点や、知らなかったことが整理でき、理解できた。
- テキストが非常に分かりやすく、実践性もありそうで、興味深い内容ばかりだった。

気になった点

- この科目がどういうことに役立つのか、実際どのような場面で使えるのか理解できなかった。理解不足であることは十分承知である。
- 取り扱い内容が幅広いため、各章の参考書などを全てについて入手・閲覧することは難しく、発展的な取り組みや自己学習が難しい。
- 各授業の結び付きがおかしいのではないかと感じる時があったので、全体としての方向性を明確にした方が良いのではないかと思う。
- 「教育のための」という科目名から連想される授業内容としては、専門的なウェイトが大きいと感じた。実践例や教授活動に活用できる方法やICTを、教育現場に活用する際の留意点等、実践的内容を想像してしまうため、科目名には配慮が必要と考える。
- 仕事で行っていることと近いこともあるが、新しさを感じない。レトロなコンピュータの仕組みから授業内容に含まれるので、新しいことが少なくなる。動作と管理が分かっても良いのではないか。
- 立て板に水の講義内容で、熱意は伝わるのだが、聞く側としては緊張の連続で、一息つく余裕がなく疲れてしまう。講義の中にユーモアを交えて頂くと、心地良く拝聴できるようになると思う。
- テキストが分かりやすいので、テレビ放送の方はもっと実生活での活用をテーマにしても良いと思う。この科目は、理数系の科目の中で最も実生活で役立ちそうな印象を受けた。
- 特に印刷教材の中の式の解き方を詳細に示して欲しい。式の変化が理解出来ず、つまづいてしまう。詳細な解説はWEB上でも良いので、どのような公式や解き方で式を解き進めたのか、理解しやすくして欲しい。
- 通信指導や印刷教材に誤植があり、問題を解く手が止まってしまった。特に通信指導は誤植かどうか確かめる手段がなく、学習に大幅な遅れが生じた。

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	53		53	分かりやすく、勉強になった	2		2
知識の整理、深耕に役立った	19		19	巻末付録の内容が良かった	1		1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	18		18	放送授業と内容が連動している	1		1
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	12		12				
視野が広がった、視点、考え方が変わった	11		11				
基礎的な知識を得られた	11		11				
内容が良かった、分かりやすかった	8		8				
興味が持てた、関心が持てた	8		8				
最新の情報・研究が学べた	8		8				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	6		6				
楽しく受講できた、面白かった	4		4				
現在の課題や身近な問題点を学べた	4		4				
具体的な事例・実験があった	4		4				
身近に感じる事が出来る内容だった	3		3				
専門的な内容だった、レベルが高かった	3		3				
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2		2				
他の科目と関連性が良かった	2		2				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1		1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	3		3	内容が適切だった	1		1
事例や身近な例を取り上げていた	2		2				
映像や写真が多用され、分かりやすかった	2		2				
講師の熱意や人柄の良さを感じた	2		2				
分かりやすく講義していた	1		1				
映像・テレビで良かった	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1		1

【学部】「情報」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	12		12
分かりにくい、説明・解説が不十分	10		10
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	8		8
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	7		7
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	6		6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4		4
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4		4
現状のままでもいい、満足している	4		4
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	3		3
講義内容と科目名に乖離がある	3		3
最新の内容の講義にしてほしい	3		3
判断・評価できるレベルに達していない	2		2
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	2		2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2		2
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	2		2
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	2		2
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
内容の重複・他科目との重複が見られる	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	1		1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1		1
各施設の利用について、充実・改善してほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	9		9
構成・内容が良くない、面白くない	5		5
難しい、文章が回りくどい	2		2
参考資料や付録を載せてほしい	2		2
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1		1
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	1		1
誤植がある	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題の内容・量が的確ではない	2		2
誤植がある	2		2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	2		2
試験内容の設問、難易度に違和感があった	1		1
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	1		1
問題が多かった、範囲が広がった	1		1
問題数が少なかった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	6		6
具体例・事例を増やしてほしい	6		6
構成・内容が良くない	4		4
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	3		3
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2		2
放送授業の時間が合わない	2		2
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
図・表・写真を利用してほしい	1		1
例題・実習を増やしてほしい	1		1
設問の解もほしい	1		1
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	1		1
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1		1
印刷教材と内容が異なる	1		1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1		1
映像についての補足資料をPDF等でほしい	1		1
1科目の放送時間が短い	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 分かりにくい、説明・解説が不十分
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 具体例・実例を増やしてほしい

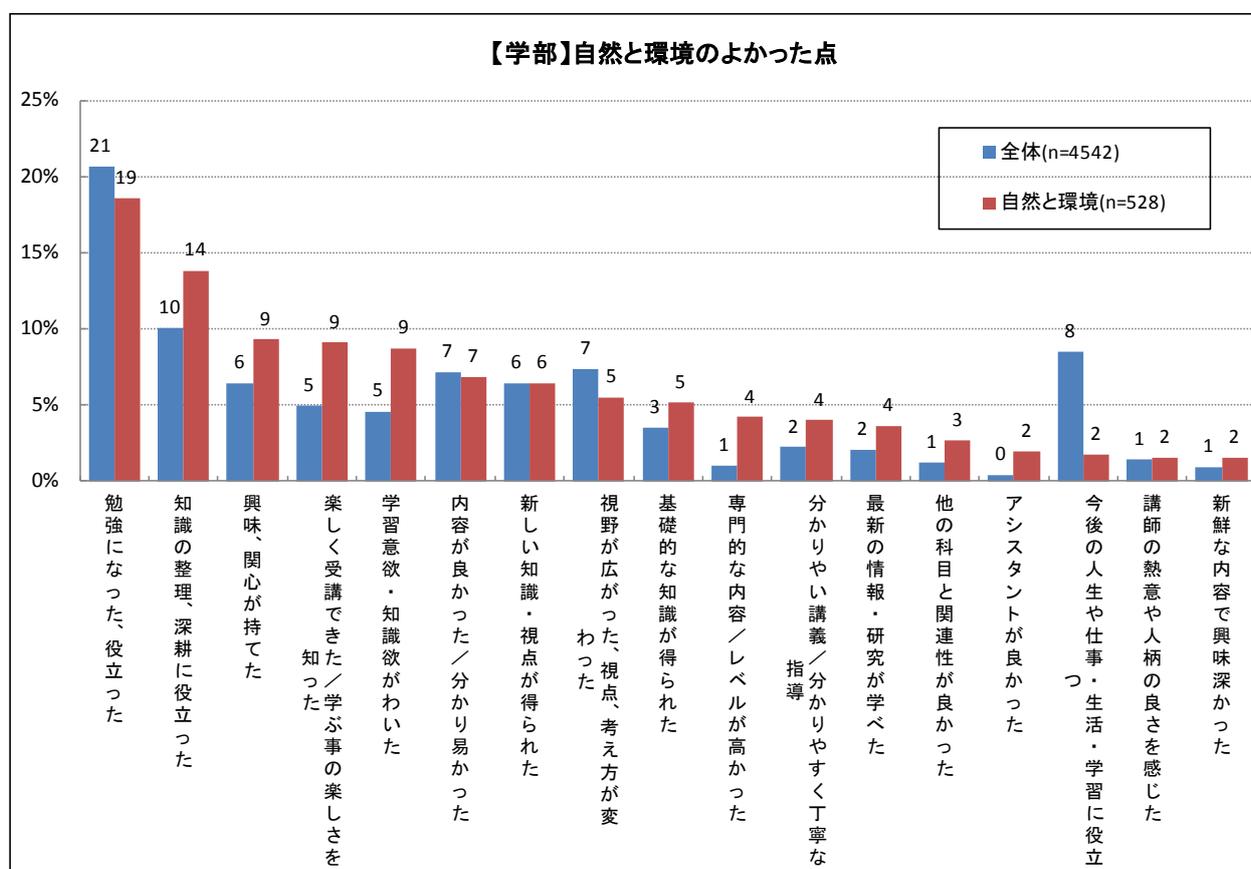
- 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい

【学部】「自然と環境」科目の傾向

よかった点

トップ項目の「勉強になった・役立った」は19%で全体と変わらなかったが、「知識の整理、深耕に役立った」「興味、関心が持てた」「楽しく受講できた／学ぶ事の楽しさを知った」「学習意欲・知識欲がわいた」については、14%～9%で全体より3～4ポイント高かった。

図 2 - 9 5 【学部】よかった点

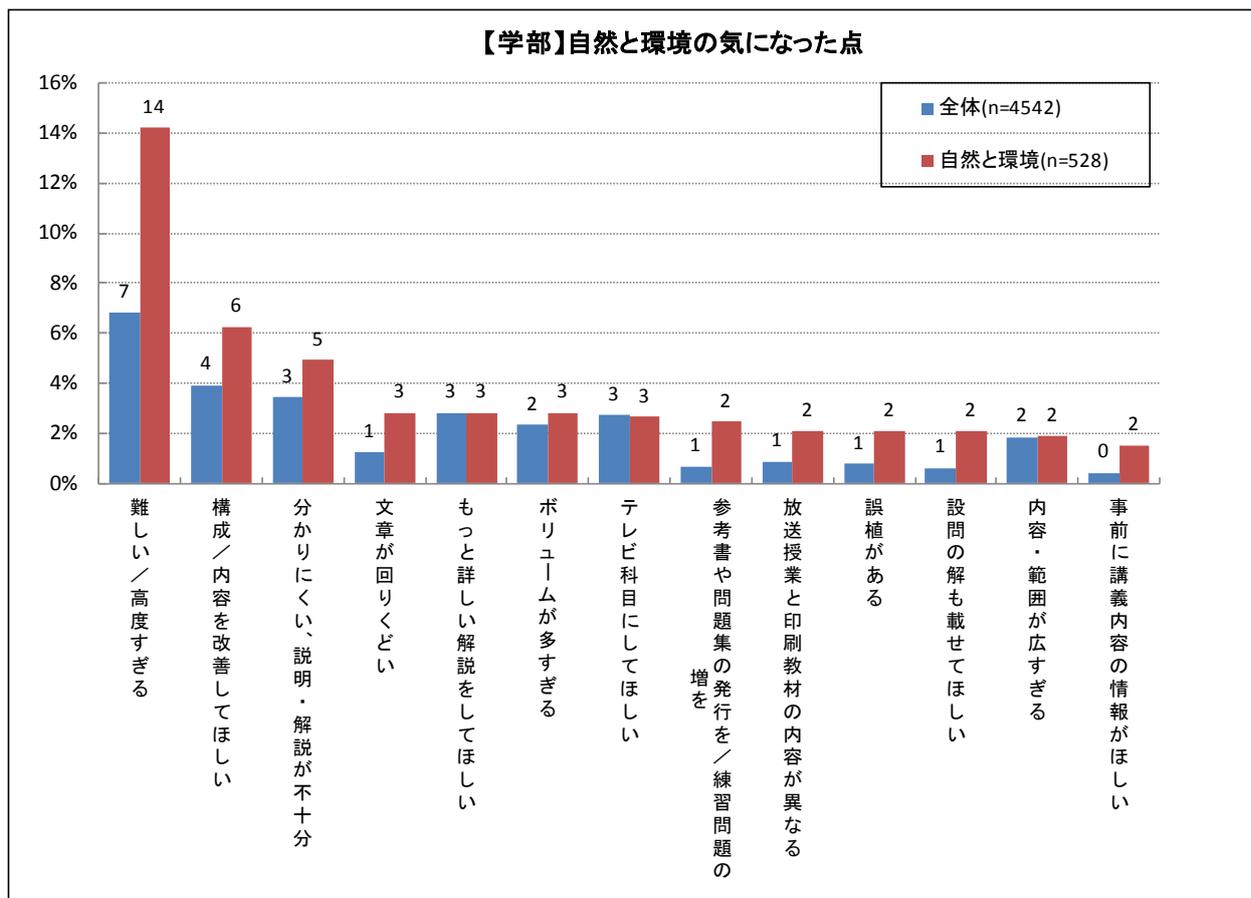


【学部】「自然と環境」科目の傾向

気になった点

「難しい／高度すぎる」が14%で群を抜いており、全体のダブルスコアで、「自然と環境」の代表する項目となっていた。

図2-96 【学部】気になった点



【学部】「自然と環境」科目 抜粋

よかった点

- 進化と多様化という広い範囲の導入として、わかりやすい説明がなされており大変興味深かったし、勉強していて楽しかった。今後いろいろな本を読んで、勉強してみたいと思う。
- 化学結合について、量子論の観点から、体系的に学ぶことができた。また、最新の生命化学の一端を学ぶことができたので、受講して良かったと思う。
- 宇宙について興味があったが、今まで勉強する機会がなかった。初歩的ではあるが宇宙全体のことをわかり、すっきりした。楽しい講義だった。
- 数式を中心として物理を理解するということが難しかったのだが、更に勉強していこうという気持ちになった。また、物理学者のプロフィールや歴史のところも良かった。
- 生物系の科目は全て履修してきたが、今回この科目を学習することで、体系づけられた知識を習得できたと思う。
- もともと興味のある分野だったので、学習できて満足。内容は大分高度で、なかなかついていくのが大変だったが、印刷教材に沿った講義だけでなく、国立天文台などのロケがあったりして、とても楽しめた。
- 放送授業がとても理解しやすく、今まで気付かなかったこと、わからなかったことについて、「そうだったのか」と思えたこと。復習のために、既に受講済みの「初歩からの物理」も受講した。断片的だった知識が、少しずつ繋がってきたこと。
- 写真や映像が豊富。天文学の成り立ちから量子論まで、歴史を追ってあるところがわかりやすかった。また、宇宙の構造や恒星、惑星など、幅広く扱っているので、興味深く学べた。
- 放送教材が対話形式になっていて、アシスタントの方がよく疑問に思った点を質問してくれていたのので、普通に視聴するよりも、どうしてこうなるんだろうと考えながら勉強することができた。
- 印刷教材、提出問題の回答、自習問題の回答及び認定問題回答を照らし合わせて勉強した、丁寧な指導が良かった。

【学部】「自然と環境」科目 抜粋

気になった点

- 専門性の高い分野についての放送講義が物足りなかった。例えば「相対性理論」について等は、もっと時間を割いて説明してもらいたかった。
- 1時限の内容があまりにも多すぎて、学習しきれない。また、内容も難しすぎ、テキスト、テレビ授業だけでは理解できなかった。
- 各担当の先生方の授業内容は、専門的な分野をわかりやすく講義されていたと思うのだが、内容の関連性が、つまり統一性に工夫を凝らして頂けたら、より一層「生物の進化と多様化の科学」が理解しやすくなったと思う。
- 初歩からの物理との違いがあまりないように思う。前半と後半で科目を分けるとか、内容がかぶらない方が良いように感じた。
- 本とテレビで、同じグラフなのに軸の目盛りの単位が異なる（または表記方法が異なる）場合があって、戸惑うことがあった。テレビで、指し棒が説明と違う場所を示していることが何回かあり、わかりにくいと感じたことがあった。
- 前半の式が続く講義で、挫折しそうになった。後半に向かってどんどん面白くなるので、この前半をどう乗り切るかだと思う。
- 内容量の多さから、口調が速いと感じる回もあり、伝えられることは減ってしまうが、ポイントを絞っても良いのではないか。
- 数学系科目は式を多用するので、耳で式を理解するには困難を伴う。また、グラフや図形などが理解の助けとなることが多いので、テレビ授業化を願う。
- 印刷教材は分量のわりに内容の密度が高い。数学的記述が多いためだが、受講期間だけで数学的記述までの読解は難しい。テキスト（印刷教材）に、演習問題と解説を増やしてほしい。もしくは、問題集などを紹介してほしい。内容の割に演習量が少なく、身に付かない。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	87	11	98	事例・コラムが良かった	2	1	3
知識の整理、深耕に役立った	61	12	73	体系的に良くまとめ、整理されていた	1	2	3
興味が持てた、関心を持てた	48	1	49	分かりやすく、勉強になった	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	39	7	46	読み物として面白い内容だった	1		1
楽しく受講できた、面白かった	41	1	42	手元に置き、今後も読みたい内容だった	1		1
内容が良かった、分かりやすかった	32	4	36	愛情・熱意が伝わる教材だった	1		1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	33		33	新しい知識・視点を得ることができた	1		1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	29		29	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1
基礎的な知識を得られた	23	4	27				
専門的な内容だった、レベルが高かった	20	2	22				
最新の情報・研究が学べた	19		19				
他の科目と関連性が良かった	13	1	14				
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	7	2	9				
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	8		8				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	6	1	7				
具体的な事例・実験があった	2	3	5				
身近に感じる内容が出来る内容だった	4		4				
自分の意見・考えが持てるようになった	3	1	4				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1				
放送授業と印刷教材のバランスが良かった	1		1				
面接授業や実習が良かった	1		1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく丁寧な指導だった	1	1	2
添削・コメントをしてもらえた	1		1
学習内容の整理に役立った	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく講義していた	18	1	19
アシスタントが良かった	10		10
講師の熱意や人柄の良さを感じた	7	1	8
楽しく視聴できた	6		6
対話形式の授業が良かった	5	1	6
映像や写真が多用され、分かりやすかった	4		4
受講して良かった	3		3
新しい発見や驚きがあった	2		2
現場取材やインタビュー、実験があつて良かった	2		2
実例や身近な例を取り上げていた	1		1
発音が聞けて良かった	1		1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1		1
映像・テレビで良かった	1		1

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	57	2	59
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	16		16
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	15		15
放送授業と印刷教材の内容が異なる	11		11
分かりにくい、説明・解説が不十分	10		10
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	9	1	10
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	9		9
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	8		8
現状のままでいい、満足している	7		7
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5	1	6
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	4	2	6
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	3	2	5
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	3	1	4
判断・評価できるレベルに達していない	3		3
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3		3
科目の分類に疑問がある	3		3
内容の重複・他科目との重複が見られる	3		3
参考文献を紹介してほしい	3		3
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2		2
講義内容と科目名に乖離がある	2		2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1	1	2
最新の内容の講義にしてほしい	1		1
内容・講師に思想的偏りがある	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
質問や相談がしたい	1		1
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	15	1	16
難しい、文章が回りくどい	12	3	15
誤植がある	11		11
設問の解も載せてほしい	10	1	11
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	3	5	8
参考資料や付録を載せてほしい	7		7
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	6		6
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	5	1	6
構成・内容が良くない、面白くない	5		5
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	5		5
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	5		5
色刷りにしてほしい	5		5
内容が薄い、少なすぎる	4		4
具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
放送授業と内容が異なる	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題範囲が広すぎる、難しい		2	2
課題の内容・量が的確ではない		1	1
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1		1
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
誤植がある		1	1
指導内容、コメント、対応に不満がある		1	1
練習問題がほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	13	3	16
テレビ科目にしてほしい		14	14
構成・内容が良くない	10	2	12
講義のテンポが良くない	5	2	7
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	6		6
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	6		6
まとめや学習ポイント、総括がほしい	5	1	6
1科目の放送時間が短い	4	2	6
図・表・写真を利用してほしい	4		4
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	3		3
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	3		3
印刷教材と連動していない	2	1	3
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	2		2
印刷教材と内容が異なる	2		2
例題・実習を増やしてほしい	1	1	2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1		1
放送授業の時間が合わない	1		1
具体例・事例を増やしてほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1		1
専門家の意見が聴きたい	1		1
講師以外には必要ない、違和感がある	1		1
ノートを取る余裕がほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	4		4
試験内容の設問、難易度に違和感があった	3		3
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	3		3
教材・電卓持込み可にしてほしい	2		2
評価方法に疑問を感じる	1		1
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1		1
問題数が少なかった	1		1

- 主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約
- 難しい、高度すぎる、理解できない
 - もっと詳しい説明・解説をしてほしい
 - 構成または内容を改善してほしい
 - テレビ科目にしてほしい
 - 設問の解も載せてほしい
 - 放送授業と印刷教材の内容が異なる
 - 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい

【学部】「夏季集中科目（司書）」科目の傾向

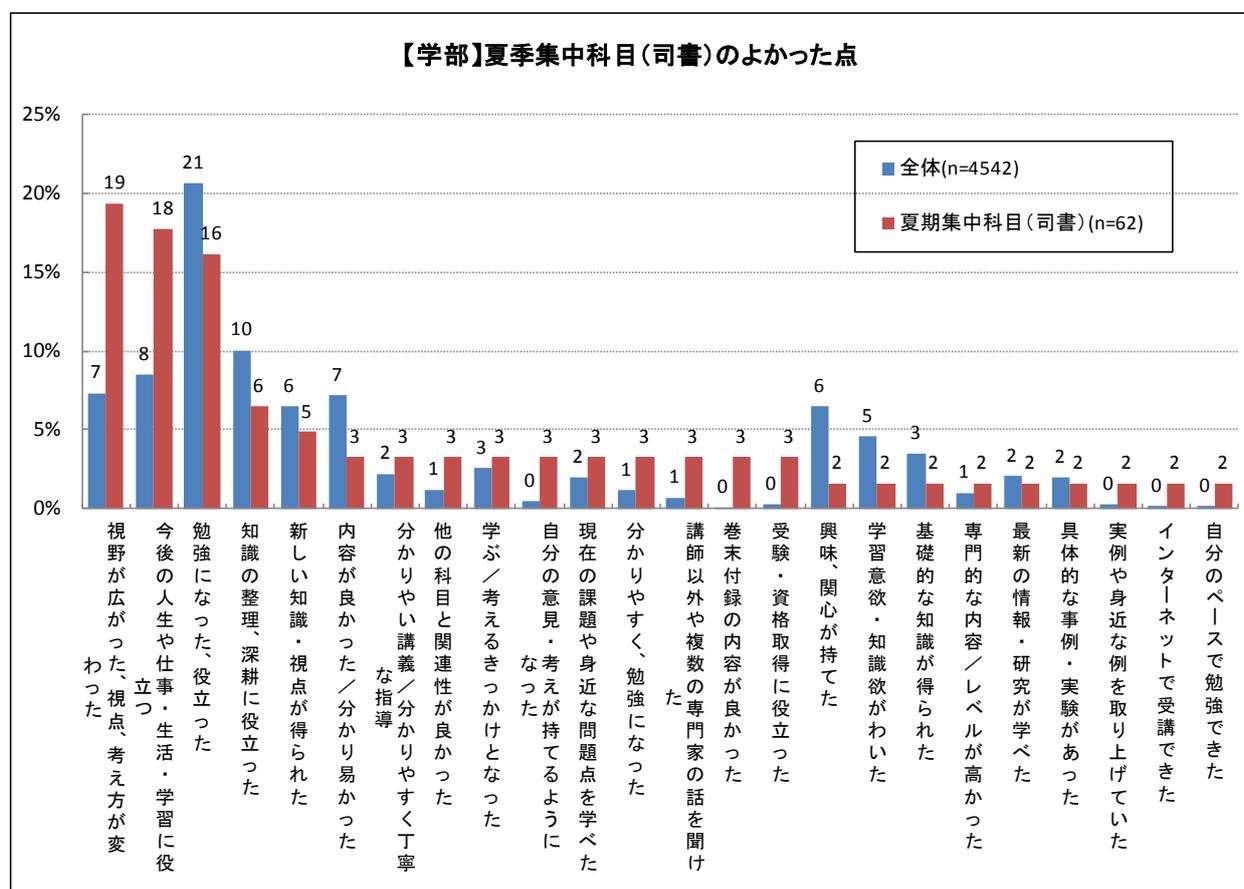
よかった点

上位 3 項目の「視野が広がった、視点、考え方が変わった」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「勉強になった、役立った」に集中していた。

後はほとんど 2~3%の項目で多岐にわたっている。

前述の 3 項目の 1 位と 2 位の項目は全体より 10 ポイント以上高く、大きな差がみられた。

図 2-97 【学部】よかった点



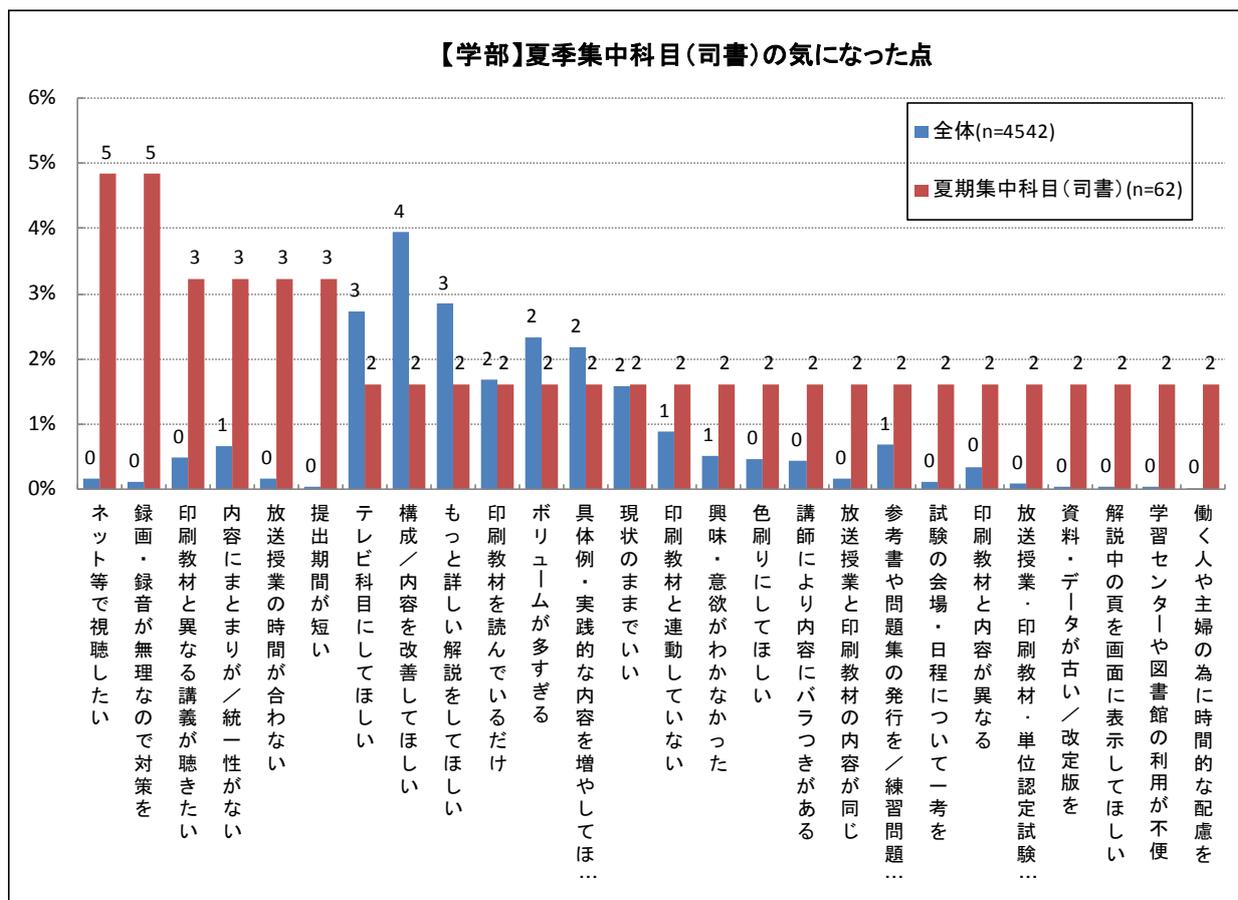
【学部】「夏季集中科目（司書）」科目の傾向

気になった点

5%～3%の上位6項目は、全体との比較で分かるように、ほとんどが「夏季集中科目（司書）」固有の”気になった点”であった。

また、他の科目とは違い2%の項目が数多く散見された。

図2-98 【学部】気になった点



【学部】「夏季集中科目（司書）」科目

よかった点

- 図書館の全体像が示されており、とてもわかりやすかった。学校経営の中で、図書館が果たす役割が示されていて、今後役に立てたいと思った。
- 学校機構全体の中における学校図書館の位置づけや役割がしっかり理解できて良かった。こうした立場を堅持して職員会議等で、学校図書館の改革を提示していこうと思う。
- 学校図書館活用データベースを知ったり、様々な工夫をしている司書教諭の方々と、学びを通して知り、視野が広がった点。授業の展開、ポイントで実践に役立つ内容がふんだんにあった。
- 学校全体の中での図書館の位置づけ、あり方が理解でき、より広い角度から学校司書の仕事をとらえられるようになった。
- 学校図書館関連の法律他、基準などを、講義、及び付録で知ることができ、2学期からの学校司書の仕事に自信を持って臨めるようになったこと。体系的に学んだことで、理想とする学校図書館像を描くことができるようになったこと。感謝しています。
- 学校の図書館がどのように運営、活用されているのかわかり、とても深く理解できた。講師の先生の語りもわかりやすく、大変勉強になった。ゲストの方との話も楽しかった。実際の現場の司書教諭の方の話、学校司書の方の話が聞けて良かった。教科書もカラー写真などが載っていて、わかりやすかった。良かった。
- 司書教諭のテキストとして、一番最初に取り組み内容だったため。他の科目を学習する上での基礎になって良かった。
- 学校図書館の歴史と現状、および課題を理解することができた。学校図書館に関わるにあたり、そのおかれている背景と知識を知っているのといないのでは、働き方や考え方に大きな差が出ると思うので、ためになったと思う。
- この科目が単位認定されれば、司書教諭の免許をやっと取る事ができるので良かった。

気になった点

- 情報メディア、電子メディアの解説をもう少し詳しく豊富な事例をあげて、取り上げてほしい。
- ラジオのタイムフリー機能で、聴講できるようにしてほしい。家事や移動などの時間で聴講しやすくなるため。
- 話し方や表現が単調だった。15章に分けられているが、同じような話が何度も繰り返されていて、内容が薄い感じがする。もっとうまく編集すれば7章くらいにまとめられるのではないか。
- テレビ科目なのに、印刷教材を読むだけだったりする部分が多く、せっかくの映像を生かしきれていないと感じた。印刷教材のみで学習を進めた部分が多かった。
- 録音できる環境になかったので、聞き逃してしまうことが度々あった。
- テキストがカラーだとよりわかりやすい。テキストでは情報が古く（学校司書の方に関して）、テレビ、ラジオだと新しい情報が入っているので、2つをどちらも熟読聴することで理解できること（テキストも可能な限り、新しくして頂きたい）。通信指導の返却が遅いので、単位認定試験を取り進む際にコメントを見られないこと。
- 放送授業終了から、通信指導の提出日までが短い。通信指導の返送から、認定試験日まで短い。勉強できない。

【学部】「夏季集中科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
視野が広がった、視点、考え方が変わった			12	12	分かりやすく講義していた		2	2
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ			11	11	講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		2	2
勉強になった、役に立った			10	10	実例や身近な例を取り上げていた		1	1
知識の整理、深耕に役立った			4	4	インターネットで受講できた		1	1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた			3	3				
内容が良かった、分かりやすかった			2	2				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった			2	2				
自分の意見・考えが持てるようになった			2	2				
現在の課題や身近な問題点を学べた			2	2				
他の科目と関連性が良かった			2	2				
自分のペースで勉強できた			1	1				
興味を持てた、関心を持てた			1	1				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた			1	1				
基礎的な知識を得られた			1	1				
専門的な内容だった、レベルが高かった			1	1				
最新の情報・研究が学べた			1	1				
具体的な事例・実験があった			1	1				
受験・資格取得に役立った			1	1				

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
分かりやすく、勉強になった			2	2
巻末付録の内容が良かった			2	2

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
受験・資格取得に役立つ			1	1

【学部】「夏季集中科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も			3	3	資料・データが古かった、改定版を出してほしい		1	1
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい			1	1	色刷りにしてほしい		1	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1				
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる			1	1				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない			1	1				
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい			1	1				
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい			1	1				
放送授業と印刷教材の内容が同じである			1	1				
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便			1	1				
現状のままでもいい、満足している			1	1				

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
提出期間が短い、スケジュールの改善を			2	2
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている			1	1

放送授業				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい			3	3	試験の会場・日程について一考を		1	1
放送授業の時間が合わない			2	2				
印刷教材と異なる講義が聴きたい			2	2				
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった			1	1				
構成・内容が良くない			1	1				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない			1	1				
解説中のページを画面に表示してほしい			1	1				
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる			1	1				
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった			1	1				
印刷教材と内容が異なる			1	1				
印刷教材と連動していない			1	1				
テレビ科目にしてほしい			1	1				

- 主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約
- インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も
 - 録画・録音が無理なので、対策を考えてほしい
 - 働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい
 - 印刷教材と異なる講義が聴きたい
 - 提出期間が短い、スケジュールの改善を

【学部】「オンライン」科目の傾向

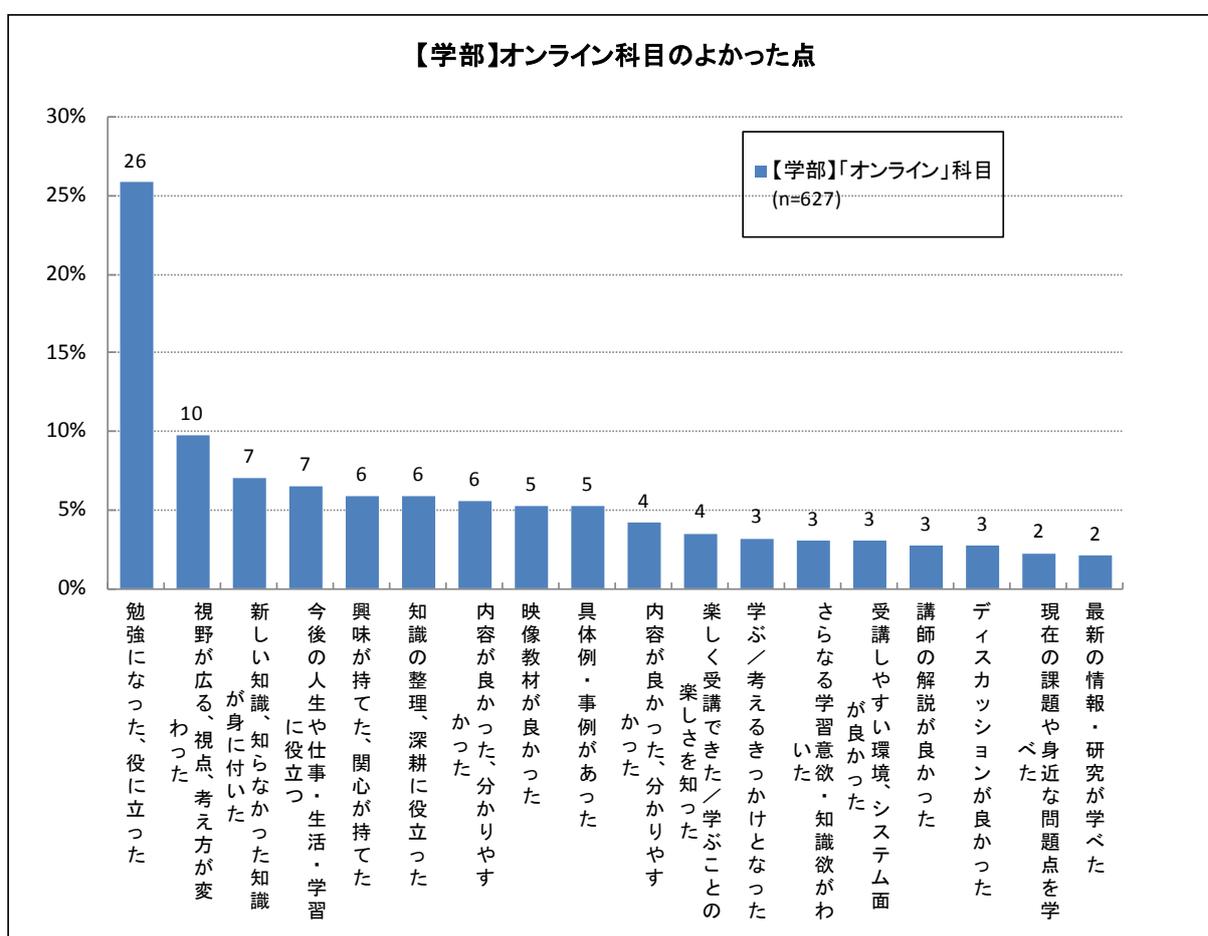
よかった点

下図は学部のオンライン科目全体の良かった点で、2%以上挙げられた項目を載せたグラフである。

「勉強になった、役に立った」が26%で断然のトップ項目。

他では「視野が広がる、視点、考え方が変わった」「新しい知識、知らなかった知識が身に付いた」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」が上位に挙げられた。

図 2-99 【学部】よかった点

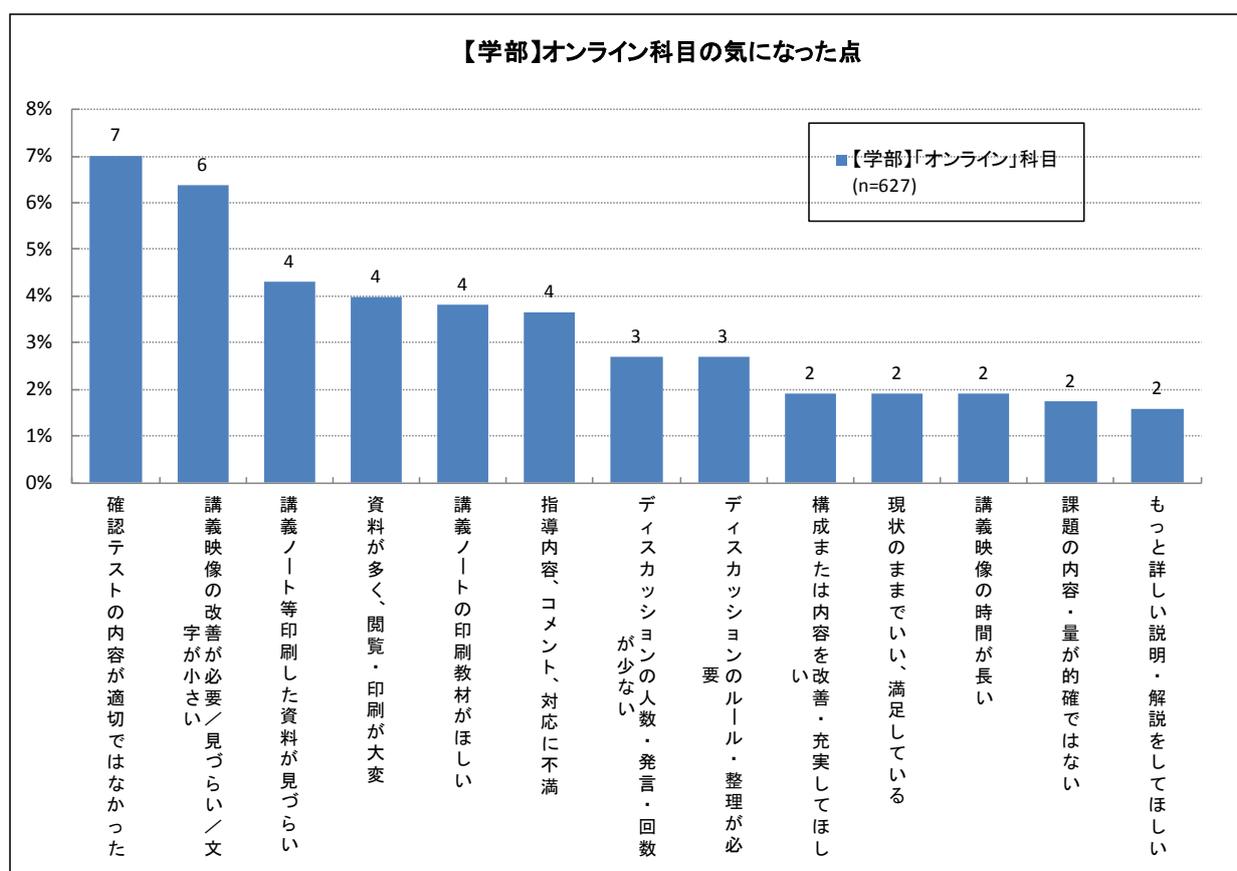


【学部】「オンライン」科目の傾向

気になった点

「確認テストの内容が適切ではなかった」「講義映像の改善が必要／見づらい／文字が小さい」「講義ノート等印刷した資料が見づらい」が上位に挙げられたが、比率は1割未満で、2%以上の項目数も少なく、逆説的だが満足度の高さが伺えた。

図 2-100 【学部】気になった点



【学部】「オンライン」科目 抜粋

よかった点

- 無理に 45 分間聞くことなく、自分のペースで授業が聞ける。チェックマークがあるのでどこまで学習したかわかる。テストもよい。
- 単に知識・情報を身に付けるだけでなく、生涯学習を進めている自分の自己再認を図ることにもつながり、意義は大きかった。
- まったく未知の領域であったため、単純に面白いと感じた。実際の映像が解説付きで見られるため、実感しやすかった。講師の方の話し方やテンポが良く、聞き取りやすかった。一つ一つの講義映像が 5～20 分程度であったため、短い時間でも区切り良く見られるので学習しやすかった。
- 予習課題がこれからやる内容への関心を高めた。資料の提示や映像記録なども興味深かった。獣害の問題など、公共哲学や社会経営的な発想に近いものを感じた。関連科目として勉強してもよいかと思えた。
- ビデオを見て、設問に答えて、という流れだったので、理解が深まったことが良かった。また、生涯学習をいろいろな視点から学ぶことができ、とてもためになった。
- 初めてのオンライン授業。一人で取り組む放送授業と違い、ディスカッションでいろいろな方の意見が聞けてよかった。また、参加している方の背景を多少なりとも知ることができ、励みにもなった。
- 講義ノートが映像講義のほぼ全ての内容を網羅しており、素晴らしい。他のオンライン講義はもちろん、通常の放送授業でも、このような講義ノートを用意すべき。
- 確認問題について質問をさせていただいたのですが、大変すみやかに、丁寧なご回答をいただきました。ありがとうございました。

気になった点

- 講師の説明が分かりにくいことがたびたびあった。指示代名詞を多用されると、自分の理解が正しいか分からなくなることがあった。講義資料にスクリプトを付けて頂けるとありがたい。講義資料は解像度が低く、細かな文字を判読できず、結局利用しなかった。メモ欄を確保するよりも資料を大きくするなど、解像度を上げて欲しい。
- 小テストの質問内容の表現があいまいで、返答に困る場合があった気がする。講義内容において、あまり重要ではない部分が質問になっていた場合もある気がする。
- いろいろな人がいると思うが、レポートの 400 字程度という分量は少なすぎると感じた。採点の手間を考えるとあまり長大にしたくないことも理解できるが、もう少し長めに設定しても良いのではないか。
- 練習問題が次の講義で学ぶ内容を出題していたりとか、講義ノートの表記に誤りがあった。講義ノートの内容で意味が分からない部分が多すぎる。難しい専門用語を棒読みするのではなく、受講者に分かりやすい講義にしてほしい。
- 講義ノートのグラフ資料が細かすぎて、数字等が確認できなかった。グラフ等、数字がわかるような資料にしていきたい。
- 最後のレポートの提出期限が小テストの期限よりも早いので、放送授業のペースよりも早く終了させなければならないと思われる。できれば、もう少し、余裕が欲しい。

【学部】「オンライン科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった、役に立った	162	具体例・事例があった	33
視野が広がった、視点、考え方が変わった	61	映像教材が良かった	33
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	44	内容が良かった、分かりやすかった	26
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	41	講師の解説が良かった	17
興味が持てた、関心が持てた	37	講義ノートが理解に役立った	5
知識の整理、深耕に役立った	37	確認テストが理解に役立った	5
内容が良かった、分かりやすかった	35	講師の熱意や人柄の良さを感じた	4
楽しく受講できた、面白かった	22	1回の講義が分割されていて短時間でも取り組めた	3
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	20	講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	3
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	19	学習のポイントが分かりやすく説明されていた	2
受講しやすい環境だった、システム面が良かった	19	小テストを繰り返し学習できる	2
ディスカッションが良かった	17	講師と迅速にやりとりができて良かった	2
現在の課題や身近な問題点を学べた	14		
最新の情報・研究が学べた	13		
身近に感じる内容が出来る内容だった	12		
自分のペースで勉強できた	9		
基礎的な知識を得られた	8		
自分の意見・考えが持てるようになった	3		
他の科目と関連性が良かった	3		
専門的な内容だった、レベルが高かった	2		
具体的な事例・実験があった	1		
オンライン教材と講義ノートのバランスが良かった	1		
面接授業や実習が良かった	1		
		設問解答(小テスト・レポート・ディスカッション等)	
		意見	合計
		レポート提出は良かった	1

気になった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	17	確認テストの内容が適切ではなかった	44
ディスカッションのルール・整理が必要	17	講義映像の改善が必要	40
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	12	講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい	27
現状のままでいい、満足している	12	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	25
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	10	講義ノートの印刷教材がほしい	24
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	9	指導内容、コメント、対応に不満がある	23
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	7	講義映像の時間が長い	12
双方向性がなかった	7	課題の内容・量が的確ではない	11
難しい、高度すぎる、理解できない	6	講義内容と、各テストの内容がずれている	9
オンライン上の操作・説明がわかりにくい	5	映像の時間を統一してほしい	5
現実に活かせる内容にしてほしい	4	講義が分割されすぎている	4
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	講義ノートではなく、テキストがほしい	4
最新の内容の講義にしてほしい	4	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	2
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	4	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2
交流の場を用意してほしい	4	図表は講義メモに載せてほしい	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	確認テストの回数を増やしてほしい	1
講義内容と科目名に乖離がある	3		
内容の重複・他科目との重複が見られる	3		
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	2		
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	2		
参考文献を紹介してほしい	2		
オンライン教材と講義ノートの内容が同じである	2		
アンケートの必要性や実施時期に疑問	2		
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	1		
判断・評価できるレベルに達していない	1		
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		
内容・講師に思想的偏りがある	1		
オンライン教材と講義ノートの内容が異なる	1		
学習の進捗状況がわかる画面がほしかった	1		
		設問解答(小テスト・レポート・ディスカッション等)	
		意見	合計
		評価方法に疑問を感じる	5
		試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	3

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 確認テストの内容が適切ではなかった
- 講義映像の改善が必要
- 講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい
- 講義ノートの印刷教材がほしい
- 指導内容、コメント、対応に不満がある
- 資料が多く、閲覧・印刷が大変だった
- ディスカッションの人数・発言・回数が少ない
- ディスカッションのルール・整理が必要

Ⅲ－２．大学院

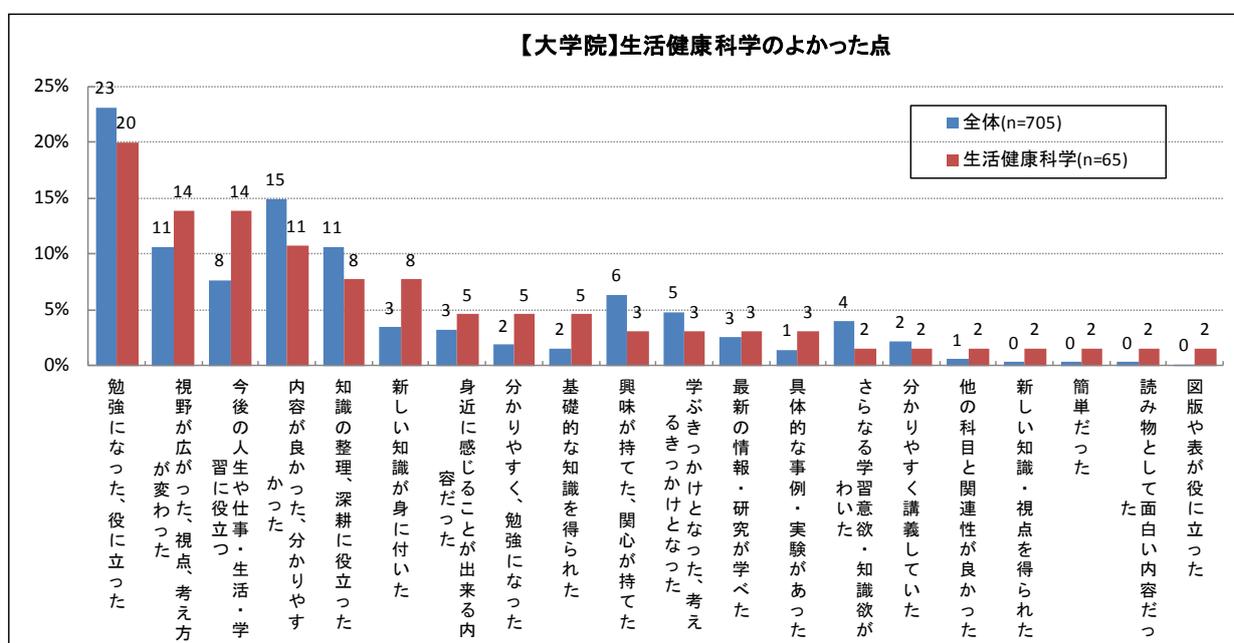
【大学院】「生活健康科学」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」が最も多く 20%、次いで「視野が広がった、視点、考え方が変わった」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「内容が良かった、分かりやすかった」が 14%～11%で上位に挙げられた。

他に 2～3%の項目がよかった点として数多く挙げられていた。

図 2－101 【大学院】よかった点



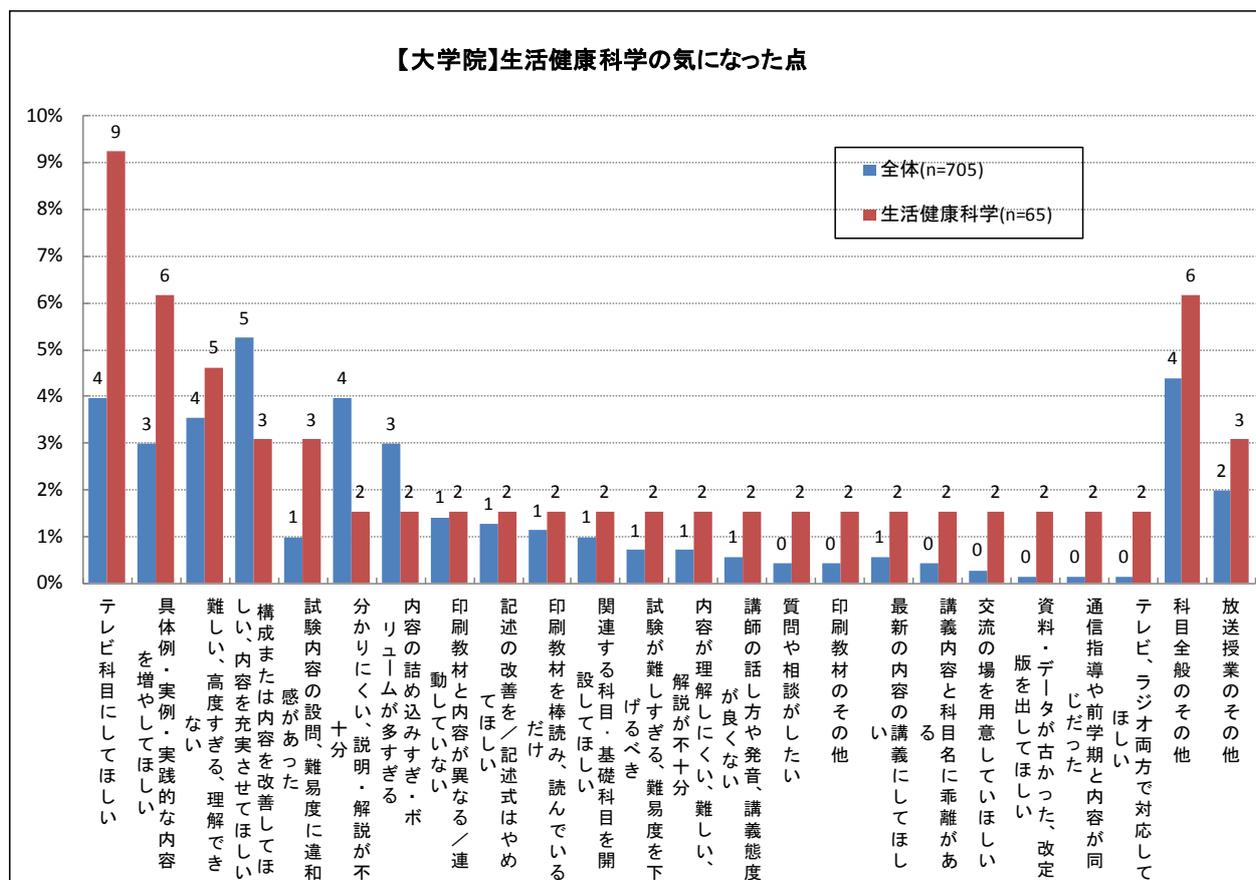
【大学院】「生活健康科学」科目の傾向

気になった点

「テレビ科目にしてほしい」が全体を大きく上回り、9%でトップ項目。次いで「具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい」「難しい、高度すぎる、理解できない」が上位に挙げられた。

“気になった点”でも2%の項目が多く散見された。

図 2-102 【大学院】気になった点



【大学院】「生活健康科学」科目 抜粋

よかった点

- 授業は、前半が総論的な内容、後半が各論的な個別のテーマで構成されていて、リスクやリスク管理についてよく理解できた。各回の内容の幅と深さも適切であり、理解しやすかった。
- 生活者視点でのリスクマネジメント全般をつかむことができた。
- 加齢とともに健康、スポーツに関わる事が深まり、関心が高まった。この科目は内容がきめ細かく記述されていて、とても参考になった。
- 日頃なかなか知ることのできない、リスクに関する客観的視点が学べて良かった。
- 一人一人が、国や自治体、企業などに全面的に頼らず、自立して生きていかなければならない時代になっている中で、誰もが知っておくべき領域だと思った。
- この科目の基本的な事項がよく整理され、最新の研究からの知見も紹介されていたので良かった。
- 印刷教材について、筋肉の構造、働きなどが、図でわかりやすく整理されていた。新しい知識を得ることができた。また、参考書としても優れていると思う。

気になった点

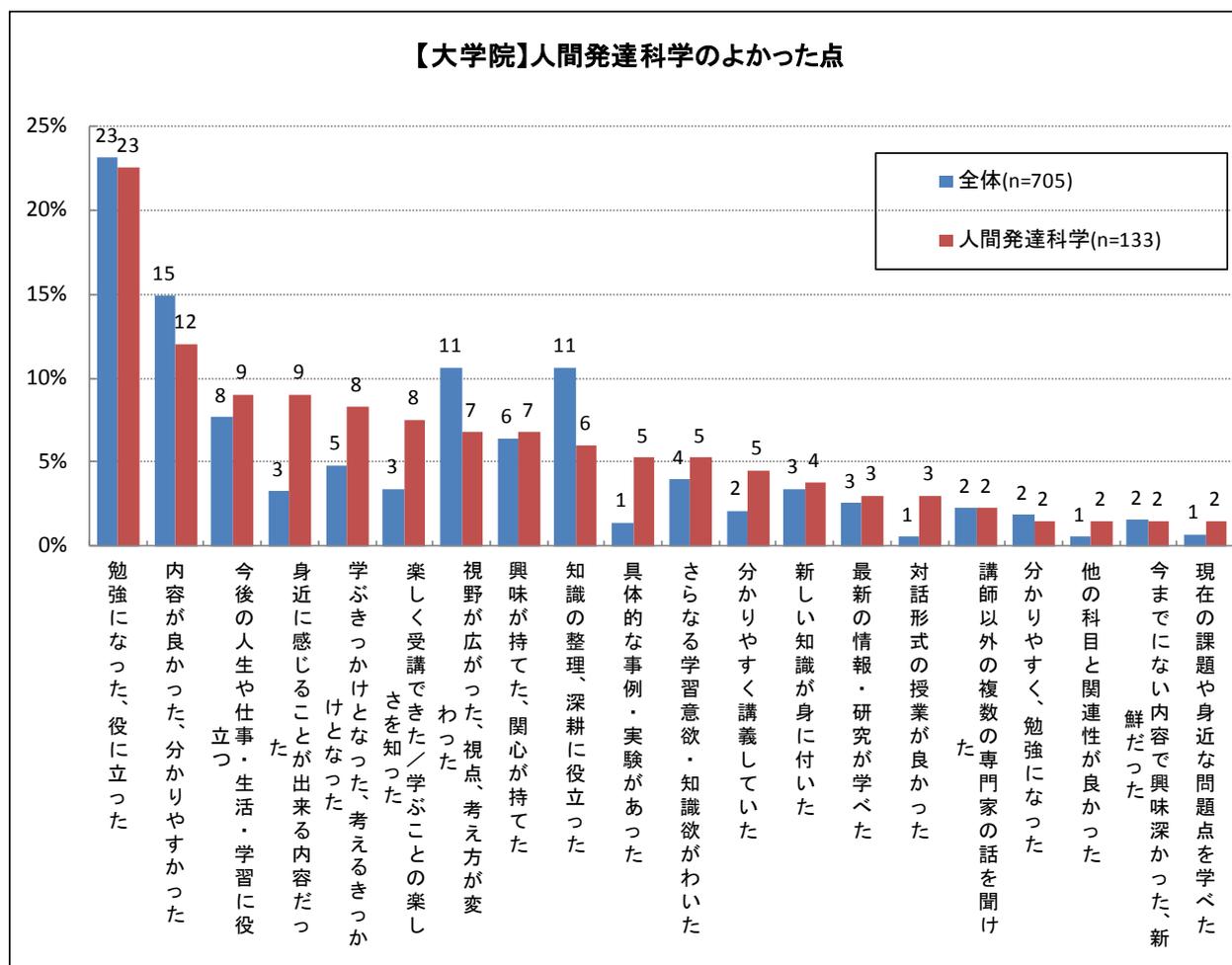
- 専門性（医学的見地）が高すぎて、基礎知識がない私にとっては難しすぎた。また、図もわかりづらく感じた。
- 難しかった。まだ十分に解明されていない情報も多く、矛盾する結果を含む研究データは、なくても良いのかなと思った。
- 特にエネルギー生成過程の説明が専門的すぎて、ラジオの口頭講義だけでは理解不能。もう少し一般人にわかりやすく説明してほしい。専門用語の羅列では、ひたすら眠気がおそってくるので、具体的に一般人の健康や、生活に結びつく内容の講義が望ましいのではないか。
- 毎回、放送教材を聞きながら、印刷教材を開いて学習していた。できればページ数を伝えてもらえるとありがたい。例えば「図の1-2を見て」などと言われてそのページを見ていると、話が次にいっていることがあり、何度か何ページをやっているのかわからなくなることがあった。ラジオを巻き戻して、再度聞くという作業があったので、ページ数を言ってもらえると嬉しい。
- 資料（5年間使用の教科書）がどうしても古くなる場所もあるので、補足としてプリントを研究課題として、できるだけ送付してもらえたら取り組みやすくなる。
- 通信指導はレポート形式とするべきだと思う。通信指導、試験の両方が択一では学習した感覚にならない。幅広い単位認定なので、各々の単元の学習に関する文献など、まとめると良い。
- テストの難易度は高いと感じた。通常はテキストと自習学習、過去問で対応できるのだが、対応できなかった。

【大学院】「人間発達科学」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」が最も多く 23%、次いで「内容が良かった、分かりやすかった」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「身近に感じることが出来る内容だった」が 1 割前後で上位に挙げられた。

図 2-103 【大学院】よかった点

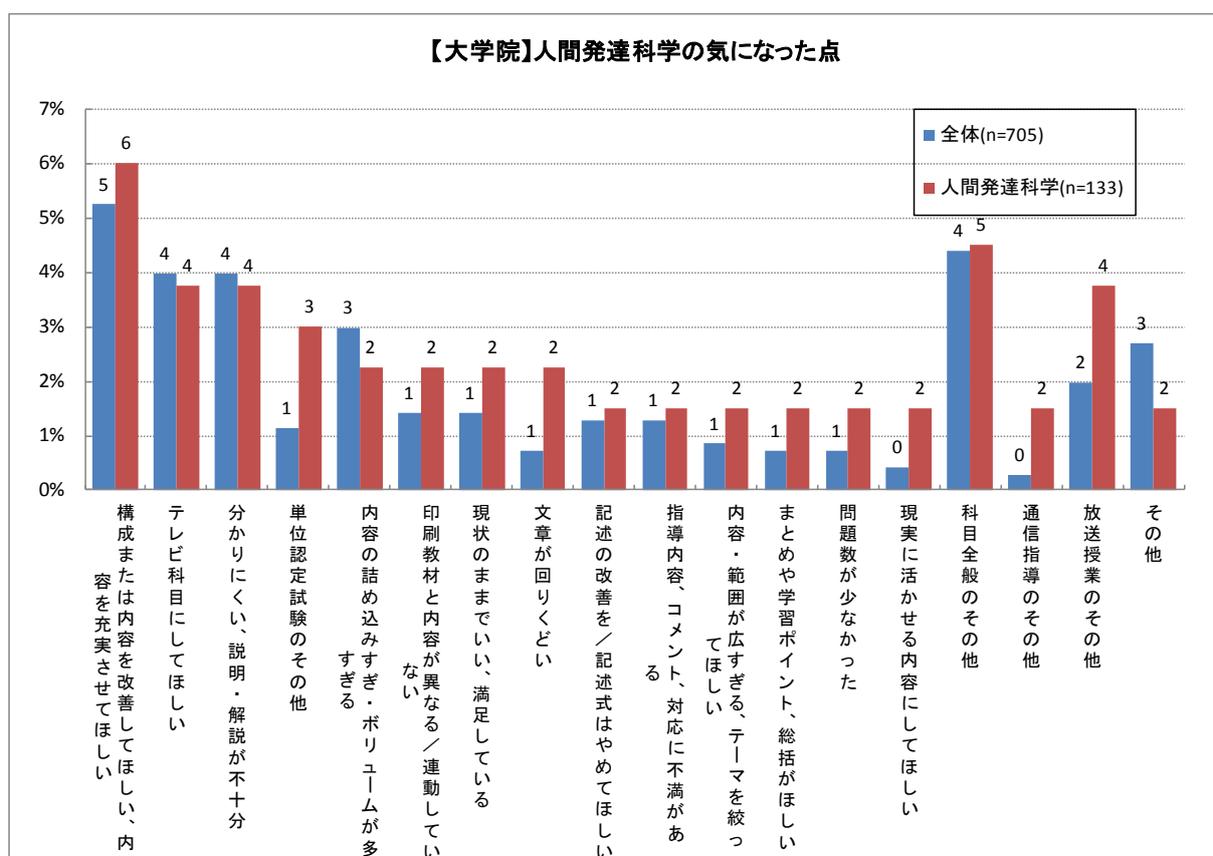


【大学院】「人間発達科学」科目の傾向

気になった点

「構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい」「テレビ科目にしてほしい」「分かりにくい、説明・解説が不十分」が上位であったが、最も多くて6%にとどまっていた。

図 2-104 【大学院】気になった点



【大学院】「人間発達科学」科目 抜粋

よかった点

- 今後の学習指導要領改定も踏まえた、カリキュラム編成のあり方を学べた点。現役の教員には役立つと思う。
- 自分自身が、生涯発達という概念から、成人期以降の発達に関心があるため、内容的に興味の持てるテーマが複数あった。
- 自身の研究分野に引きつけて学ぶことができた。教育文化の歴史的な変化や、日本での特色について理解することができた。各回のゲストの話が参考になった。
- 自分の年齢が内容と一致しているので興味深かった。問題点、課題が明確にされ分かりやすい。対処方法もきちんと取り上げられている。
- 今年改訂され、新しくなったテキスト内容は、来たる学習指導要領改訂の現場教員に備えるべき内容を網羅しており、受講のタイミングが良かった。テキストが大変ボリュームがあり、こなすのは大変であったが、高校・中等教育学校についての記述が、さらにも良かった。
- 具体的な事例が多く紹介されており、内容を理解する上で役立った。今日的な課題についても言及されており、今後の動向についても知ることができた。
- カリキュラム編成について、多方面の実践を具体的に紹介されており、勉強になった。また、ラジオ放送では、実際の実践者を呼んで紹介していたことも良かった。
- 印刷教材を講師が読むだけではなく、ゲストの話を変えながら講義を進めていたことで、イメージがしやすくなった。

気になった点

- 今後の教育文化の創造や可能性をもっと深く知りたかったが、十分に理解できなかった。
- 研究学説が多くて、論点を絞ることができなかった。むしろ学説史としての流れを講義して頂き、今日的な課題をテーマとして頂きたい。
- 放送授業で、放送回によって内容の濃さにばらつきが感じられた点（印刷教材の内容との重複が、かなり見られた回など）。
- 講師とアシスタントとの対話形式は、テーマを明確にする効果はあるが、内容を掘り下げるためには適さないのではないか。
- 放送授業で、多くのゲストを招いておられ、おもしろかったが、印刷教材とリンクしていない面もあった。講師の苦労もあったと感じるが、テーマを絞ってゲストに語ってもらった方が、わかりやすかったと考える。
- 印刷教材と放送内容の関連性は理解できるが、教材のカリキュラム実践例への理解がしにくいように感じた。
- 個人的な学習方法としては、学習内容を年表にしてテストに臨んでみた。時間軸でまとめる表などがあると、全体を俯瞰できて良いと思う。
- 通信指導の課題、自習型課題は択一式だったので、とても取り組みやすかった。しかし、単位認定試験は論文的な内容だろうと思っていたが、択一式だったので残念だった。

気になった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	難しい、文章が回りくどい	3
現状のままでもいい、満足している	3	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3
現実に活かせる内容にしてほしい	2	構成・内容が良くない、面白くない	2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	1
判断・評価できるレベルに達していない	1	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1
難しい、高度すぎる、理解できない	1	参考資料や付録を載せてほしい	1
分かりにくい、説明・解説が不十分	1	誤植がある	1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1	放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	1
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1		
講義内容と科目名に乖離がある	1		
最新の内容の講義にしてほしい	1		
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	1		
放送授業と印刷教材の内容が異なる	1		
		通信指導	
		意見	合計
		指導内容、コメント、対応に不満がある	2
		放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている	1
		記述式および記述に関して改善してほしい	1
		単位認定試験	
		意見	合計
		問題数が少なかった	2
		試験内容の設問、難易度に違和感があった	1
		試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1
		問題が多かった、範囲が広がった	1
		記述式および記述に関して改善してほしい	1
放送授業			
意見	合計		
構成・内容が良くない	5		
テレビ科目にしてほしい	5		
印刷教材と連動していない	3		
まとめや学習ポイント、総括がほしい	2		
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1		
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	1		
手話通訳、または字幕がほしい	1		

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 印刷教材と連動していない
- 構成・内容が良くない
- テレビ科目にしてほしい
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

【大学院】「人文学」科目の傾向

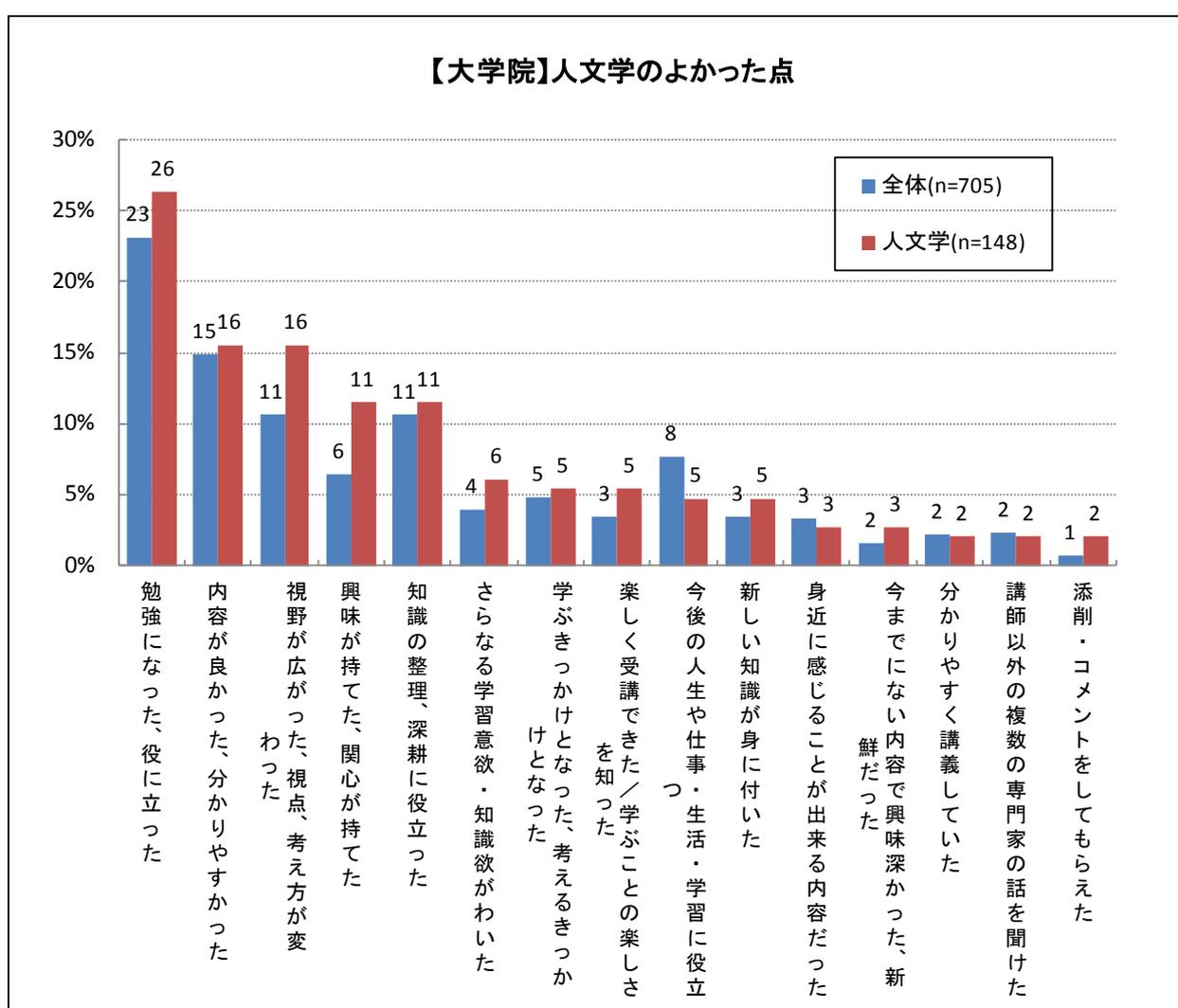
よかった点

最も多かったのは「勉強になった、役に立った」で 26%となり、4 人に 1 人の割合。他では「内容が良かった、分かりやすかった」「視野が広がった、視点、考え方が変わった」が各 16%で続いた。

「興味が持てた、関心が持てた」「知識の整理、深耕に役立った」も上位で 1 割に達していた。

10%以上の項目が 5 項目と他のプログラムと比べ多い方であった。

図 2-105 【大学院】よかった点

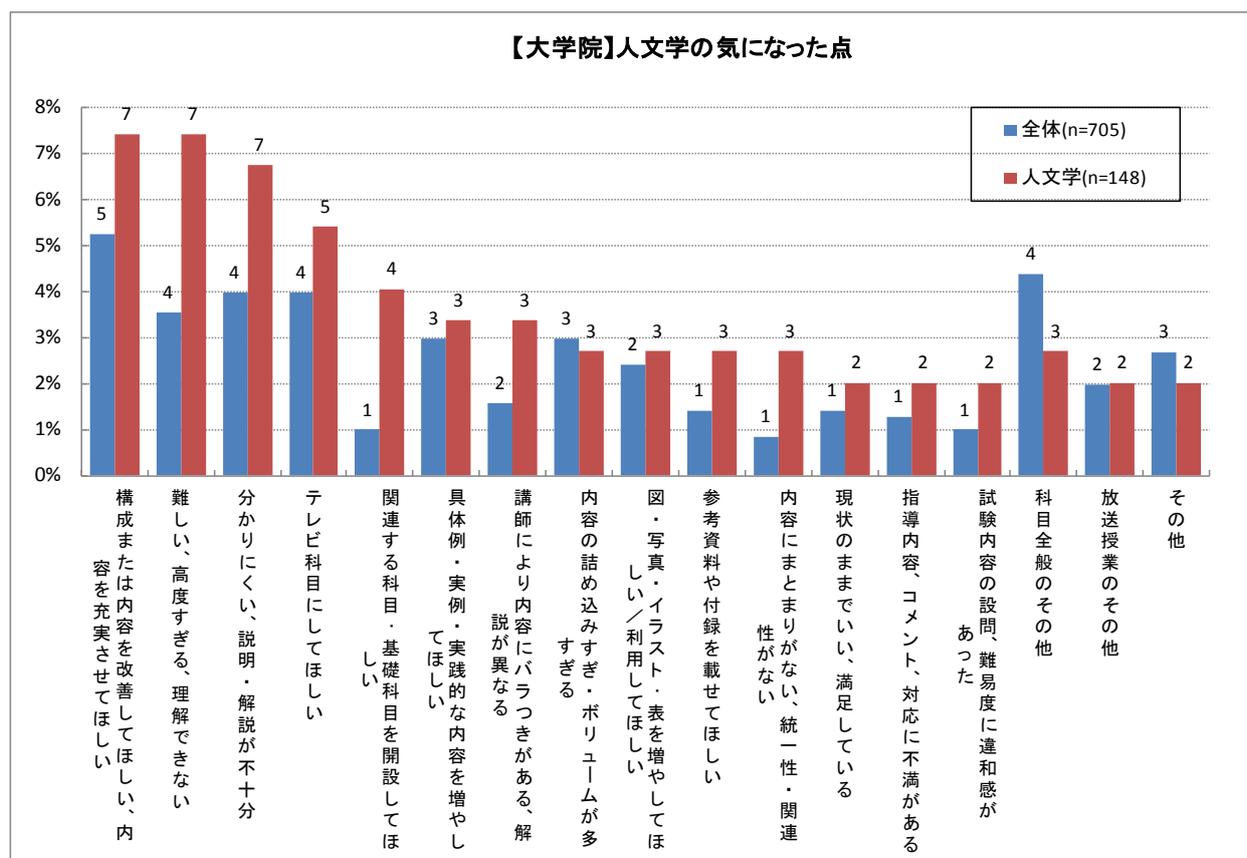


【大学院】「人文学」科目の傾向

気になった点

「構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい」「難しい、高度すぎる、理解できない」「分かりにくい、説明・解説が不十分」がそれぞれ7%で上位に挙げられ、いずれも全体を上回っていた。

図2-106 【大学院】気になった点



【大学院】「人文学」科目 抜粋

よかった点

- 中国、朝鮮社会の中堅層に視点を当てた分析は、社会の動向を理解する上で参考になった。とりわけ、社会が発展する時の政治、社会学、国際関係、その調整の課程は歴史のテーマと思った。
- 言語の背景にある民族、文化の衝突と融合が浮かび上がり、文化人類学との共通点も多く、非常に興味深い科目であった。また、母語の日本語の文法成立過程、問題点などがわかり、為になった。今後も読み返したいテキストです。
- レポート、テスト、共に選択方式であり、私が選んだもの以外も学びのヒントとなった。「論じる」ことが重視されており、学問を追究する意欲が湧いた。
- 自分の専攻分野とも関連して、大変新しく、深い視野に触れさせて頂き、とても勉強になった。歴史研究の姿勢、そのものを問う先生の熱意が素晴らしく、非常に感銘を受けた。
- 必ずしも定説となっていないなくても、講師の問題意識などに触れることで、日本語の新しい側面を見ることができた。
- 印刷教材も非常によく準備されていて、先生方の熱意が伝わる教材だった。日々の学習でも、放送と印刷を併用することが可能な配慮がなされている点は、素晴らしいと思われた。
- 通信指導のコメントに学生に対する誠実さ、愛情が感じられ、学習の励みになった。また、今まであまり学習していない内容だったので、はじめは難しかったのだが、次第に興味が出てきて、新たな視野と知見を得ることができた。
- この科目を受講することにより、それぞれの先生の研究方法を汲み取ることができた点。また、各科目の終わりに示された「史料」や「研究課題」の解明で、大学や公立図書館などへ自然と足を運ぶ機会が多くなった点。これら、多くの研究文献に触れることによって次の研究意欲が湧いてきた点。これらは科目の利点であると思っている。

気になった点

- 日本語文法の知識が必要だと感じた。その点、初めに1章か2章分ほど補足説明があると、全体がもっとわかりやすく概観でき、効果的に学習できるかもしれない。
- 英語、翻訳、中国語、日本語が大きなテーマだったが、教授陣を増やして、もっと多角的に組まれると、受講生の強い関心と呼ぶだろう。
- 広い話題と多くの言語を紹介していて良かったが、反面、始めと終わりでのまとめ、この科目全体での統一が良くつかめず、話題がアクセントだったり、歴史だったり、やや展開について行けないところもあった。
- 講義内容に関して、十分な事前説明がなく、馴染みのない内容を押しつけられるような印象であった（特に第1講義）。
- 初めての科目で、幅広い言語学の内容をまとめてあったが、言語学のジャンルというか、範疇について、だいたいの図式みたいなものを表示していただくと、体系的にわかりやすかったと思う。
- 講師の4人の講義内容が、あまり噛み合っていなかった。それぞれを1科目として、充実した講義を設定してほしい。
- 複数の講師が、自分の担当回だけ話しているので、全体を通底する掘り下げが感じられない。第15回のディスカッションでは、先生方は、他の先生の担当回は視聴しないまま、適当にしゃべっているだけのように感じた。
- 授業の内容は多岐に渡る入門書のようにでありながら、試験問題はまるで別の科目の試験のようにかけ離れている印象だった。この科目を学んで問われる試験問題としては不適切な気がした。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった、役に立った	39	分かりやすく、勉強になった	2
内容が良かった、分かりやすかった	23	手元に置き、今後も読みたい内容だった	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	23	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1
興味が持てた、関心が持てた	17	基本的な知識を得られた、概要が分かった	1
知識の整理、深耕に役立った	17		
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	8		
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	8		
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	7		
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	7		
楽しく受講できた、面白かった	6		
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	4		
身近に感じる内容が出来る内容だった	4		
専門的な内容だった、レベルが高かった	1		

通信指導		
意見	合計	
添削・コメントをしてもらえた	3	3

放送授業	
意見	合計
分かりやすく講義していた	3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	3
楽しく視聴できた	2
新しい発見や驚きがあった	2
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1
印刷教材との関連が良かった	1

気になった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	9	参考資料や付録を載せてほしい	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3
難しい、高度すぎる、理解できない	6	放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	6	構成・内容が良くない、面白くない	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4	講師により、内容にバラつきがある	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	3	内容が薄い、少なすぎる	1
現状のままでいい、満足している	3	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1
分かりにくい、説明・解説が不十分	2	和訳・英訳がほしい	1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1		
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1		
講義内容と科目名に乖離がある	1		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	1		
放送授業と印刷教材の内容が同じである	1		

通信指導	
意見	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	3
課題の内容・量が的確ではない	1
問題の解答・解答例・解説がほしい	1
インターネットで行いたい	1

放送授業		単位認定試験	
意見	合計	意見	合計
テレビ科目にしてほしい	8	試験内容の設問、難易度に違和感があった	3
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	5		
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	4		
構成・内容が良くない	1		
図・表・写真を利用してほしい	1		
具体例・事例を増やしてほしい	1		
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	1		
印刷教材と内容が異なる	1		
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1		

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい
- テレビ科目にしてほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 講師により内容にバラつきがある、解説が異なる

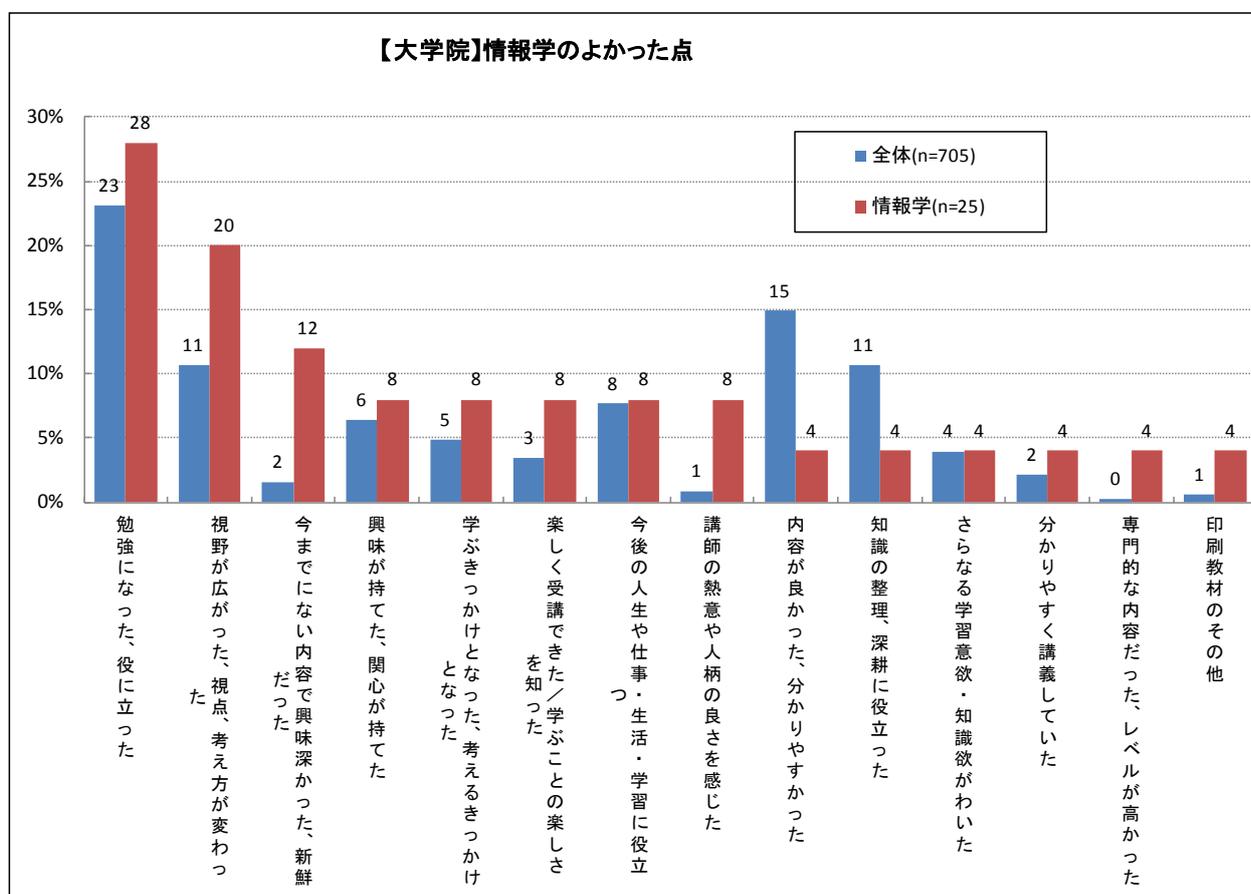
【大学院】「情報学」科目の傾向

よかった点

25人中7人は「勉強になった、役に立った」事を、5人は「視野が広がった、視点、考え方が変わった」を”よかった点”として挙げていた。

(サンプルサイズは大学院の中で最も少なく、5人の回答で20%となり比率が高くなる事に注意が必要。)

図 2-107 【大学院】よかった点



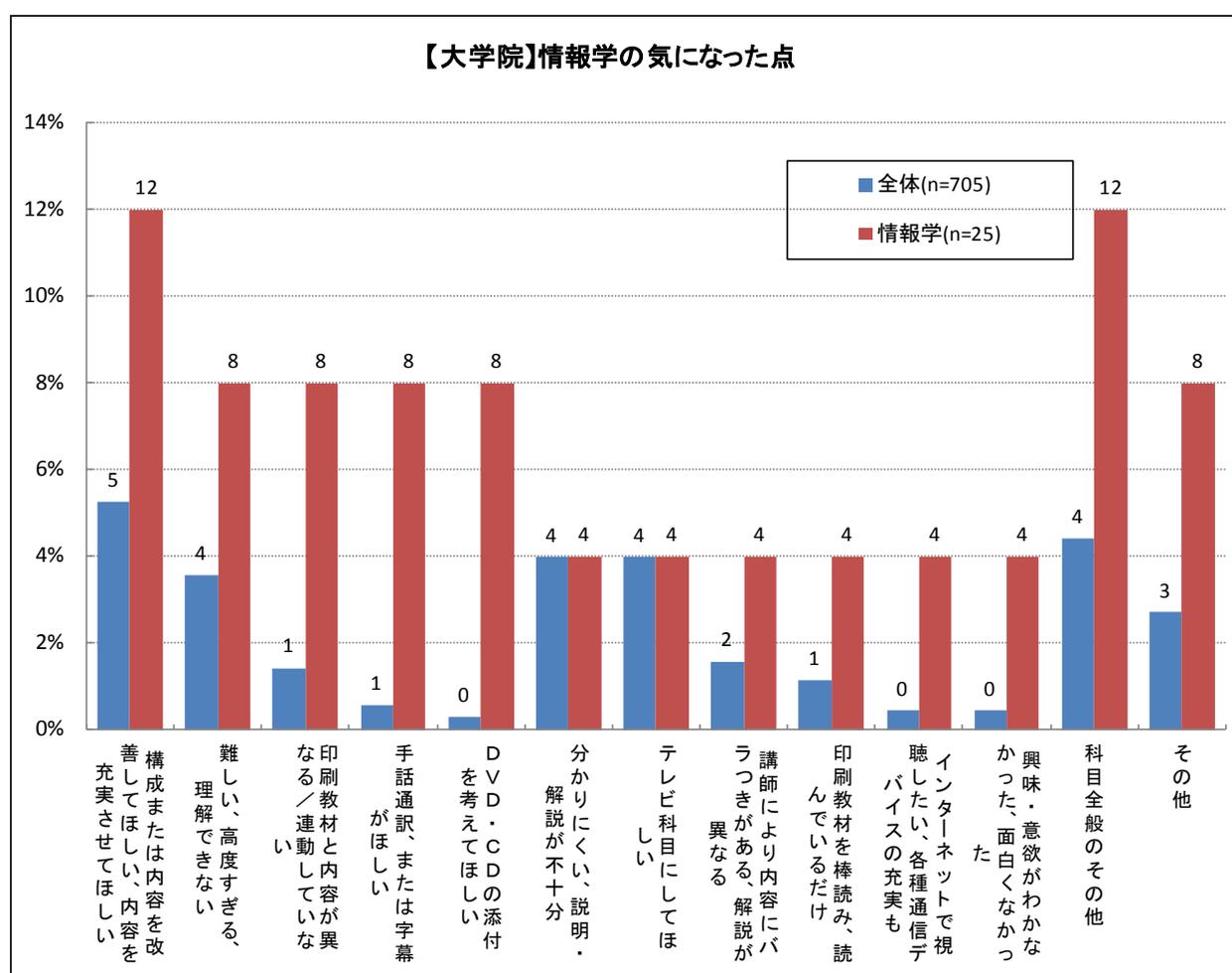
【大学院】「情報学」科目の傾向

気になった点

「構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい」は3人から、「難しい、高度すぎる、理解できない」「印刷教材と内容が異なる／連動していない」「手話通訳、または字幕がほしい」「DVD・CDの添付を考えてほしい」はそれぞれ2人から挙げられた。

回答は1人で複数の内容を答えているが、サンプルサイズが25人なので”気になった点”を挙げた人の多さが伺える。

図2-108 【大学院】気になった点



【大学院】「情報学」科目 抜粋

よかった点

- 音楽を情報として捉え、それが脳でどのように受け入れられるかということの仕組みを理解でき、それがさらにいろいろな分野ですでに活用されていたり、今後新たに应用できることを理解できた。
- ハイパーソニックエフェクトについて、いろいろな観点から、脳科学、共同体の音楽、古楽器、周波数、音源などから、情報の持つ特異効果などについて学ぶことができた。
- 実際に音楽に関わる仕事をしているが、新たな視点で音楽を捉えることができた。身近な音楽についても考察でき、興味深かった。
- 学習センターで教科書を一読したので受講を決めた。「インドネシア・バリ島のガムラン」のページを見て、授業の魅力を予想した。主任講師が大変丁寧で、教科書の写真（多数あり）はモノクロなのに美しい。日本古来の楽器の良さを改めて知ることができた。

気になった点

- 教育の時には、その分野を出来るだけ広く深く知ることが望ましく、研究の時にはその中に局在するテーマを深く、となるのが好ましいと思われる。ハイパーソニック効果は確かに素晴らしい発見だが、全体の中での位置づけや講座全体の構成とのバランスを考える余地がある。
- 教科書とラジオが並行していなく、編集者のミスかと感じた箇所もある。ラジオの場合、受講者が迷うことが起こらないように配慮してほしい。
- 字幕付きの配信を見るができなかった。
- この科目に以前から興味があり、テレビ放送の時代に録画して、熱心に視聴していたが、ラジオでは限界があるのではと感じる。「音」という目に見えないものを可視化して捉える努力が全く無駄になっていると残念に思う。また、内容的に前後重複している部分があり、整理されるとありがたい。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
勉強になった、役に立った	7
視野が広がった、視点、考え方が変わった	5
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	3
楽しく受講できた、面白かった	2
興味が持てた、関心が持てた	2
学びきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	2
内容が良かった、分かりやすかった	1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1
知識の整理、深耕に役立った	1
専門的な内容だった、レベルが高かった	1

放送授業	
意見	合計
講師の熱意や人柄の良さを感じた	2
分かりやすく講義していた	1

【大学院】「情報学」

気になった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	3	DVD・CDの添付を考えてほしい	2
難しい、高度すぎる、理解できない	2	講師により、内容にバラつきがある	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	1		

放送授業	
意見	合計
印刷教材と連動していない	2
手話通訳、または字幕がほしい	2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	1
テレビ科目にしてほしい	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 印刷教材と連動していない
- 手話通訳、または字幕がほしい
- DVD・CDの添付を考えてほしい

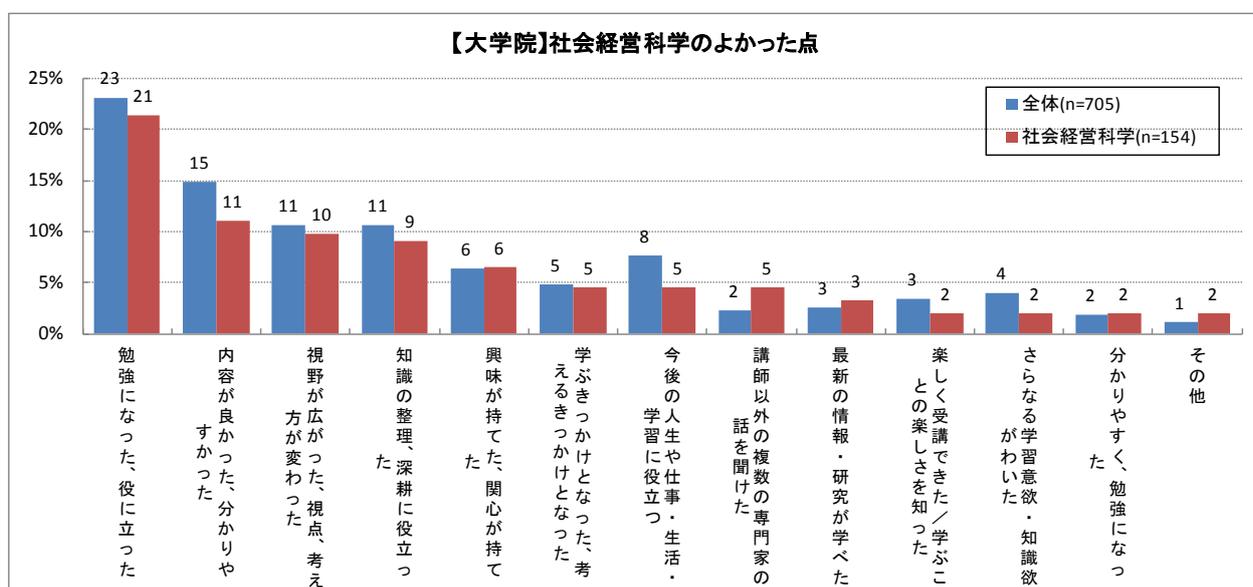
【大学院】「社会経営科学」科目の傾向

よかった点

最も多かったのは「勉強になった、役に立った」で21%、次いで「内容が良かった、分かりやすかった」「視野が広がった、視点、考え方が変わった」「知識の整理、深耕に役立った」が15%～11%でこれに続く。

全体とはそれぞれの項目で数ポイント低い、同じような傾向がみられた。

図 2-109 【大学院】よかった点



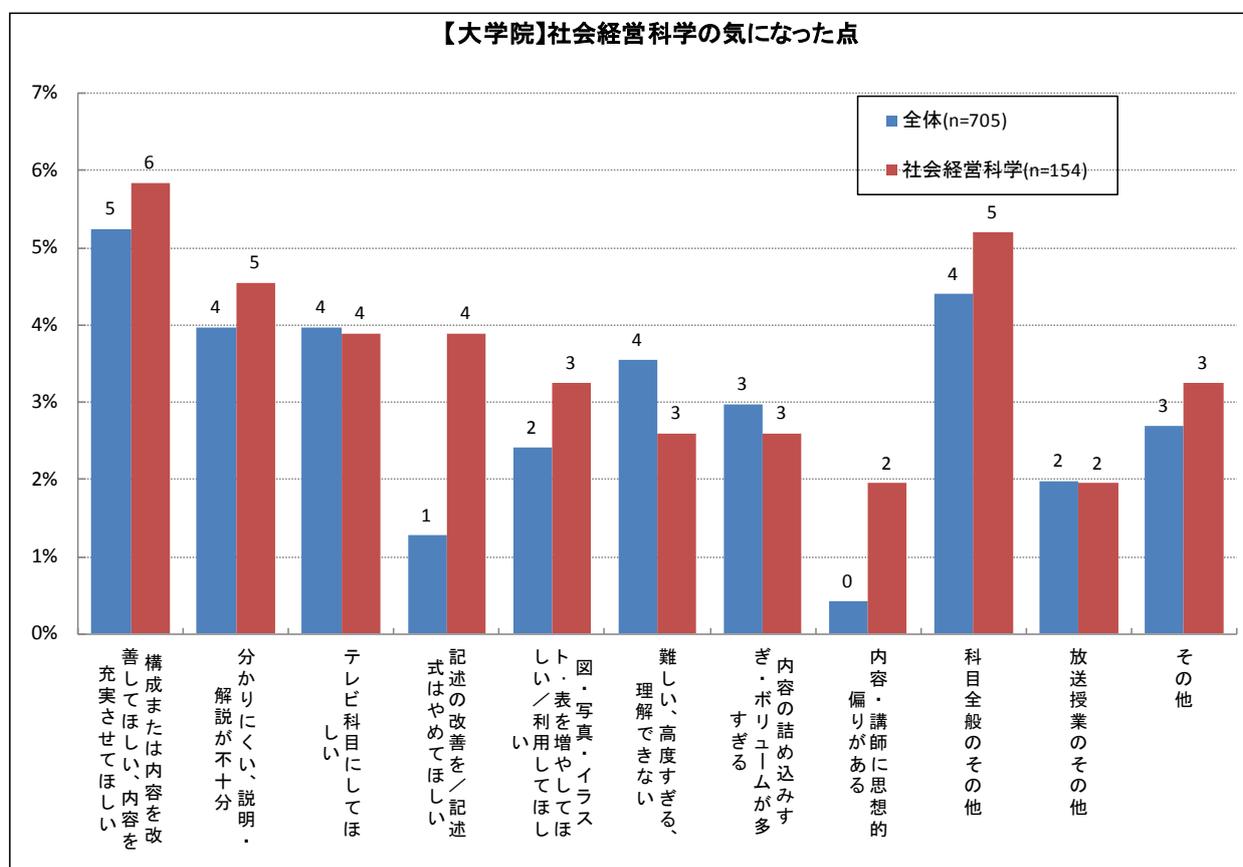
【大学院】「社会経営科学」科目の傾向

気になった点

「構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい」「分かりにくい、説明・解説が不十分」「テレビ科目にしてほしい」「記述の改善を／記述式はやめてほしい」が6～4%で挙げられた。

全体と比べると「記述の改善を／記述式はやめてほしい」は3ポイントの差はあるが、それ以外は、全体と同じ傾向となっていた。

図 2 - 1 1 0 【大学院】よかった点



【大学院】「社会経営科学」科目 抜粋

よかった点

- 内容はバラエティに富んでおり面白かった。歴史的な部分はストーリーがあり、説得力があった。地方行政は初めての内容が多く、ためになった。経済と科学、災害は話題性に富んでいた。
- 経済学に不慣れな者にも、一部経済学の本を参考にすれば、一通り理解できるように丁寧に解説されている。
- 経済政策の役割を、効率性の追求だけでなく、不確実性への対処にも置こうとする講師の立場に共感をおぼえることができた。その研究成果、奥深さも含めて、大学院の授業内容として、ふさわしいものだったと思う。
- 公共哲学をめぐる主な論点やテーマなどについて概観することができた。その中で特に関心を持った理論家についていくつか著作を読み、得るところがあった。
- 学部時代、民事訴訟法を専攻していたが、刑訴、倒産手続、民事保全や執行まで幅広く学べる科目で視野が広がり、現代訴訟法を体系的に学習できて良かった。
- 不確実性、災害などを想定内にした視点（または、想定外を組み入れた視点）は、とても意外であり、思考を柔軟にして頂いた。
- 経済学を、新たな視点で切り込んでいく意気込みに感銘を受けた。今までの経済理論をことごとく微塵にしていくには圧倒された。先生の熱意を感じられる授業と思う。
- 新しい知識に触れることができた。経済政策の主要な、タイムリーな内容が揃い、充実したテキストだと思う。

気になった点

- 前半と後半の結び付きが弱い。リアルな行政と理論と対比させているが、リアルな行政、政治の視点で一貫すべきであったと思う。
- 毎章扱う内容が豊富なため、「詰め込みすぎ」な印象。できれば、扱う思想家間の違いなど、「チャート」や「図解」で整理できれば、より理解が進むと思う。
- それぞれのテーマの関連性は弱く、「公共政策」というより「公共政策というテーマへのアプローチのいくつかを紹介する」という感じであった。公共政策という名称でされる、どういう学問が行われてきたかという総論的な部分をもう少し知りたいと思った。
- 放送内容はテキストとほぼ一緒なので、放送ならではの特色がほしい。対談とかトピックスを加えるとか、引用部分の読み手を替えるなど、工夫しないと眠くなる。
- 講義内容を簡単にまとめたエッセンスを各回の最後に示してもらえると、さらに良いと思う。あと、通信指導はもう少し内容の濃いものを望む。問題数も少なすぎる。

よかった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった、役に立った	33	分かりやすく、勉強になった	3
内容が良かった、分かりやすかった	16	読み物として面白い内容だった	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	15	手元に置き、今後も読みたい内容だった	1
知識の整理、深耕に役立った	14	新しい知識・視点を得ることができた	1
興味が持てた、関心が持てた	10		
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	7		
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	7		
最新の情報・研究が学べた	5		
楽しく受講できた、面白かった	2		
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	2		
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	2		
身近に感じる事が出来る内容だった	2		
現在の課題や身近な問題点を学べた	2		
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1		
自分の意見・考えが持てるようになった	1		
基礎的な知識を得られた	1		
具体的な事例・実験があった	1		

通信指導	
意見	合計
添削・コメントをしてもらえた	2
内容が適切だった	1

放送授業	
意見	合計
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	7
受講して良かった	2
楽しく視聴できた	1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1
新しい発見や驚きがあった	1
実例や身近な例を取り上げていた	1
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	1
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1

【大学院】「臨床心理学」科目の傾向

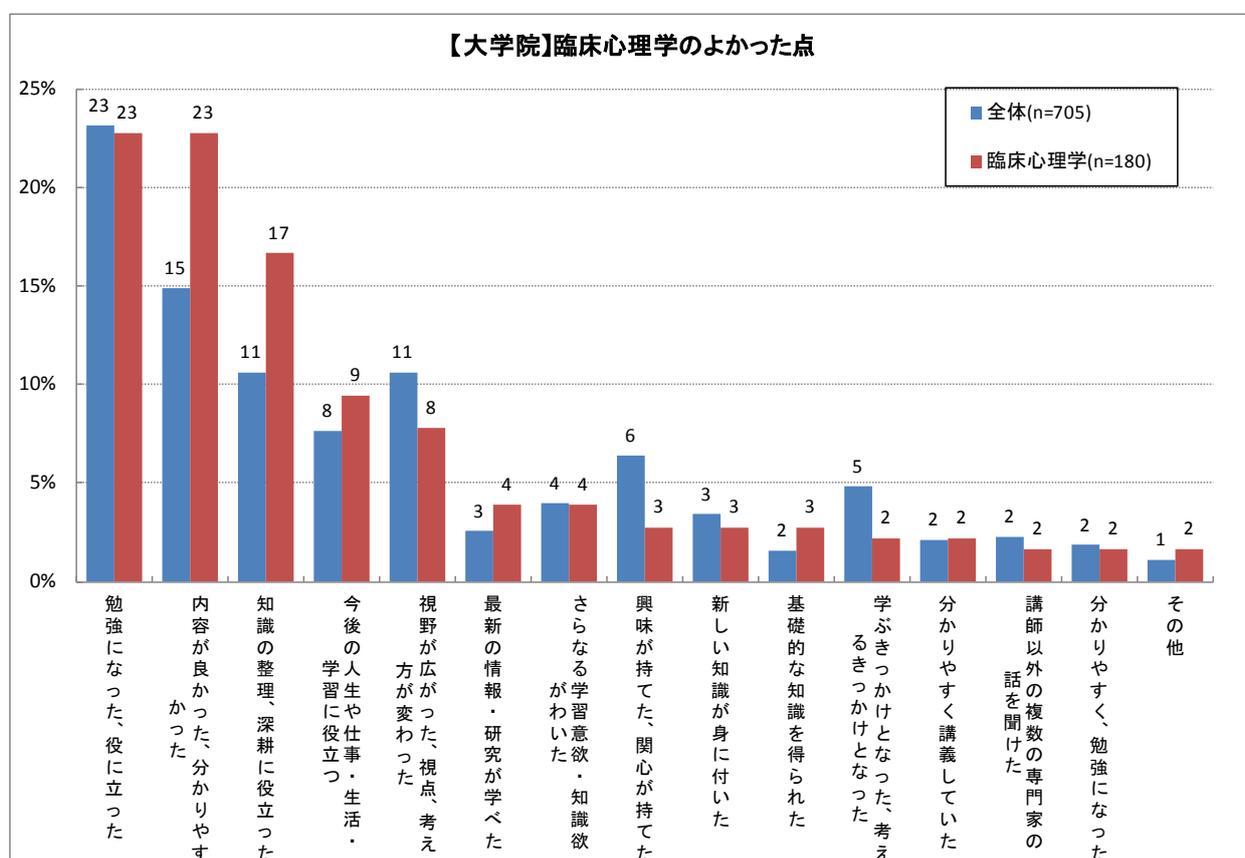
よかった点

「勉強になった、役に立った」と「内容が良かった、分かりやすかった」がともに 23% でトップ項目、次いで「知識の整理、深耕に役立った」が 17% で続いた。

他に「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「視野が広がった、視点、考え方が変わった」が 1 割弱で挙げられた。

全体との比較では 2 番目の「内容が良かった」と 3 番目の「知識の整理、深耕にやくだった」が大幅に上回っており、満足度の高さが伺えた。

図 2-1-1-1 【大学院】よかった点

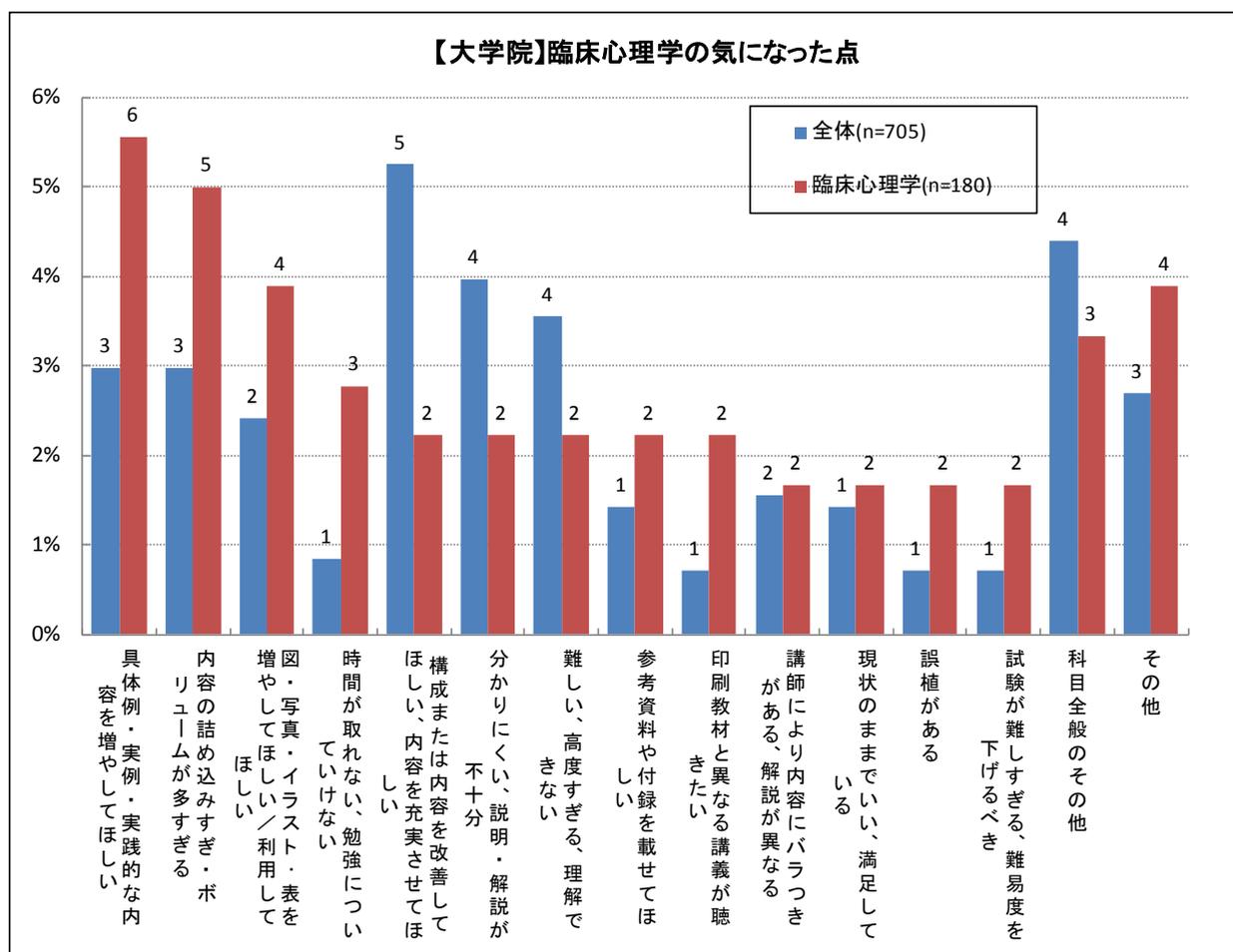


【大学院】「臨床心理学」科目の傾向

気になった点

全体との比較では上位4項目の「具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい」「内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる」「図・写真・イラスト・表を増やしてほしい／利用してほしい」「時間が取れない、勉強についていけない」は全体より2～3ポイント高く、反対に5～7項目の「構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい」「分かりにくい、説明・解説が不十分」「難しい、高度すぎる、理解できない」は全体より2～3ポイント少なく、全体と傾向を異にしていた。

図2-112 【大学院】よかった点



【大学院】「臨床心理学」科目 抜粋

よかった点

- 臨床心理学の核となる内容について、一つ一つ詳細に、且つ広い視野で学ぶことができ、理解が深まった。また、分野によっては、もっと勉強したいと知識欲が刺激された。
- 心理臨床と法、および倫理の視点が的確におさえられていたので、理解が深まった。事例、判例などがあれば、理解が深まると感じた。
- 心理臨床の科目の名にふさわしく、心理臨床と法と倫理が、かくも深くかかわっていることを学ぶことができた。これからが真の学びであり、スタートに立ったと考えている。この学びをこれからの心理臨床に生かしていきたいと思っている。
- 現職とこれから目指す心理職へのステップとしても必須の科目だと思う。あまりに広範囲で、どこから手を付けたら良いかと思っていたが、この科目のお陰で土台ができたと思う。
- 「心理学系科目」はほぼ履修している。その決算の意味で本教科は高く評価できた。多角的視点から、「法」の存在があり、改めて学習の必要性を感じた。
- 難しい内容だが、親切、丁寧に伝えて下さっているのを感じた。全体を通して、30回全てで感じられると思う。
- 多彩な先生方が一堂に会し、臨床心理学の奥深さを垣間見る思いがした。大まかではあるが、それぞれの分野の内容と流れがわかり、今後の方向性を考える上で参考になった。
- 臨床の実践の中で、法律は必要な知識であったにもかかわらず、心理臨床の実践の視点から整理された法律の教材は、これまでなかったと思う。非常に役立った。また、分野ごとに（章の単位で）分類されてまとめられていたのでわかりやすかったし、今後も見直す時に、すぐに必要とする知識が果たせそうだと思う。

気になった点

- 法令のことにに関しては全く触れたことがなかったので、理解するのに時間がかかった。関連する法規を1頁にまとめるなど、調べやすく、見やすい工夫があると学習しやすかった。
- 分かりやすく説明されており良かったが、現代の問題点、課題を深めてほしい。
- 分野が幅広く多岐に渡っていたので、分量が多く感じられた。法整備の背景（時代の変化や社会的要請）や世界各国の流れが、もう少しあると良いと感じた。
- 改善というより具体例（事例）を挙げて考えられる倫理配慮を取り上げたり、研究に使用する倫理配慮と同意説明書などのサンプル、作成の際の基準等も教示いただけると更に学びが深められたのではないと思う。
- 各章ごとに講師が違うため、説明の仕方、要点の置きどころが違う。一貫して印刷教材を読んだり、放送を聞くのが困難である。説明の仕方等に、科目を通しての一貫性が欲しかった。
- ラジオがほぼ教科書の音読ばかりだったので、途中で聴かなくなり、教科書中心の学習を進めた。テキスト以外の内容にも幅広く触れるなど、工夫がほしかった。
- 幅広い内容を網羅するため、羅列的な記載が見受けられた。学部で受講していなかった内容については、自分で調べながら理解することが必要になることも結構多かったように思う。
- 印刷教材に、カラーページがあると見やすい。文章だけでは複雑で、イメージしにくく、難しい内容もあった。図や表、わかりやすい表現にしてもらえたらと思う。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
内容が良かった、分かりやすかった	41	分かりやすく、勉強になった	3
勉強になった、役に立った	41	手元に置き、今後も読みたい内容だった	2
知識の整理、深耕に役立った	30	愛情・熱意が伝わる教材だった	2
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	17	体系的に良くまとまり、整理されていた	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	14		
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	7		
最新の情報・研究が学べた	7		
興味を持った、関心を持った	5		
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	5		
基礎的な知識を得られた	5		
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	4		
身近に感じる事が出来る内容だった	2		
楽しく受講できた、面白かった	1		
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1		
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		
他の科目と関連性が良かった	1		
受験・資格取得に役立った	1		

単位認定試験	
意見	合計
試験内容が適切だった	1
単位がとれた	1

放送授業	
意見	合計
分かりやすく講義していた	4
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	3
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	2
実例や身近な例を取り上げていた	1
参考文献を紹介してくれた	1
講師の熱意や人柄の良さを感じた	1

気になった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	9	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	7
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	5	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	5	参考資料や付録を載せてほしい	4
難しい、高度すぎる、理解できない	4	誤植がある	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	構成・内容が良くない、面白くない	2
現状のままでもいい、満足している	3	講師により、内容にバラつきがある	2
各施設の利用について、充実・改善してほしい	2	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい	1
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	1	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1
内容の重複・他科目との重複が見られる	1	色刷りにしてほしい	1
最新の内容の講義にしてほしい	1	索引を充実させてほしい	1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	1
交流の場を用意してほしい	1	放送授業の要約を載せてほしい	1

放送授業		通信指導	
意見	合計	意見	合計
印刷教材と異なる講義が聴きたい	4	指導内容、コメント、対応に不満がある	2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2	練習問題がほしい	1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	2		
印刷教材と内容が異なる	2		
テレビ科目にしてほしい	2		
構成・内容が良くない	1		
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにく	1		
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1		
単位認定試験と連動していない	1		
手話通訳、または字幕がほしい	1		

単位認定試験	
意見	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	3
問題数が少なかった	2
試験内容の設問、難易度に違和感があった	1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

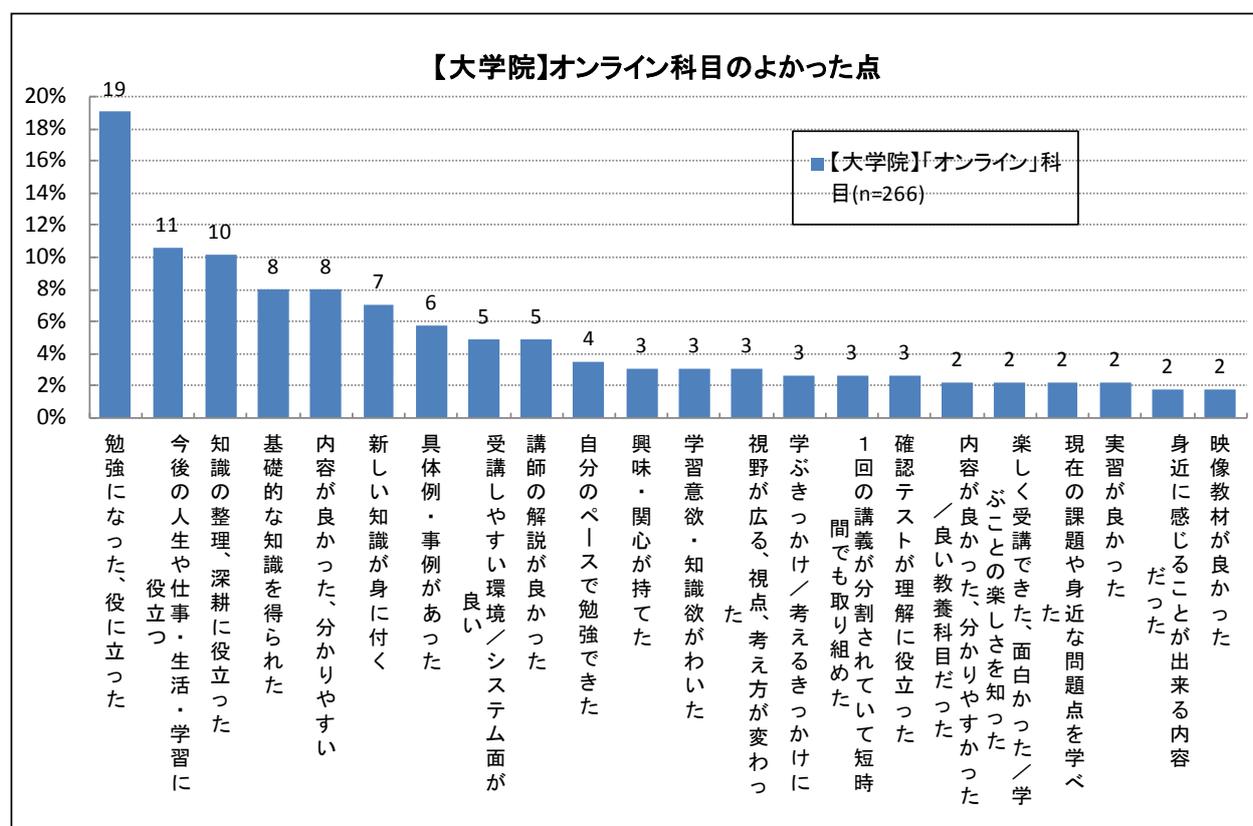
- 具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい
- 内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる
- 図・写真・イラスト・表を増やしてほしい
- 時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった
- 参考資料や付録を載せてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない

【大学院】「オンライン」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」が最も多く 19%、次いで「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「知識の整理、深耕に役立った」が 1 割挙げられ、他に「基礎的な知識を得られた」「内容が良かった、分かりやすい」が上位であった。

図 2-113 【大学院】よかった点

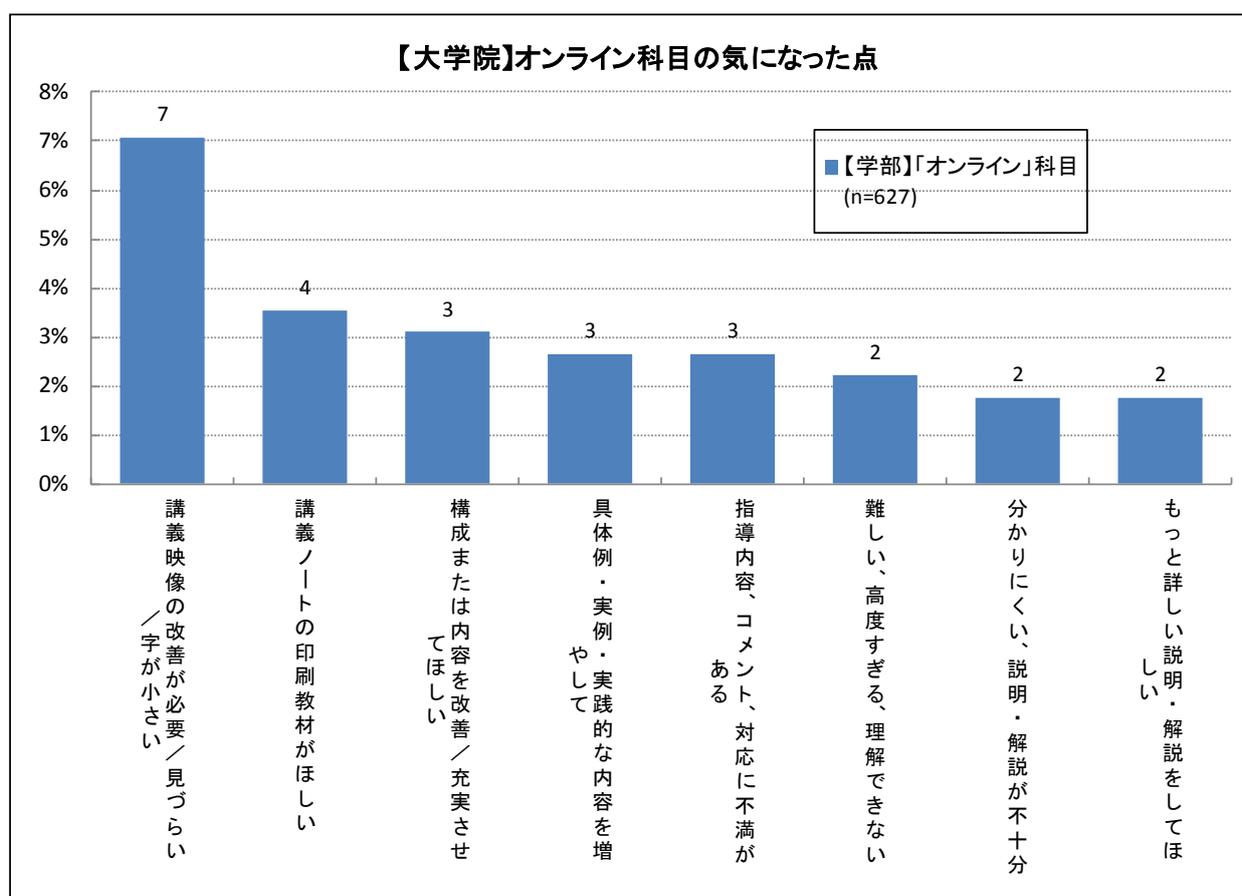


【大学院】「オンライン」科目の傾向

気になった点

“気になった点”は最も多くても「講義映像の改善が必要／見づらい／字が小さい」の7%で、それ以外は4～2%の推移で、2%以上の項目数も“よかった点”に比べ8項目と極端に少なく、大学院のオンライン科目の満足度が伺えた。

図2-114 【大学院】気になった点



【大学院】「オンライン」科目 抜粋

よかった点

- 来年度より修士全科生となり、研究をすすめたいと考えているため、研究方法、全体の流れ、取り組みなどがわかり、とても有意義であった。
オンライン授業であったため、自分のペースで進めることが出来、テストの受験にセンターへ行く必要がなくて良かった。授業のテーマとも、とても合っていたと思う。
テキストが印刷教材ではないため、持ち運ぶ必要がなく、どこでもすぐに確認できるところが良かった。
- スマートフォンを利用し、細切れの時間が有効活用できて学習意欲が高まった。
小テストによってメリハリができ、学習が継続できた。
医療安全について知識が増えた(学びたかったけれど、どこで知識を得たらいいかわからなかった)。仕事に幅ができたように感じる。
- 医療安全学の歴史や最近の傾向など、最新の情報を知ることができ、自分の仕事を見直すきっかけになりました。講義の内容だけでなく、参考文献やサイトなどを広く紹介してくれていたのも、今後の学習や情報収集にもつながりました。
- はじめてオンライン授業と選択した。小テストが理解度を知る上で、特に良いと思う。
また、字幕システムに大いに助けられた。
今季、2科目のオンライン授業を受講したが、大変満足している。
講師をはじめ、企画制作のご尽力にも感謝を述べたい。
- 予習は必要ないが、毎回の医療安全の経緯が経時的に語られ、その中に医療安全とはどのように考えられてどのように実践すべきかが講義されるため、全ての講義の終了時にノートをまとめてから小テストに挑む必要があり、本当に良い科目でした。
- 臨床推論について様々な成書を参考にしてきたが、最も理解が進んだと感じている。
特に、情報収集とその内容の分類、統合と分析については、それまで理解が不十分だった点が、レポートや小テストで明確になり、正しい理解を持つことができた。今後の理学療法およびその教育にあたる際にとっても参考になる内容であった。
- PDFで教材が提供されたこと。オンラインだと何も残らず、後に学習したことを振り返ったり、調べ直すときに不便だと思っていた。
- オンライン授業は、少しずつ理解を深められるところがよいと思った。
映像が短時間で区切られており、テンポよく学習することができた。

【大学院】「オンライン」科目

気になった点

- R分析を使うセッションが説明不足と感じました。前提知識のない私にとっては、あまりに説明が飛躍しており、途中のセッションから困りました。R分析ツールを使用する部分について動画ではまったく解説もありませんでしたので、丁寧な解説がほしかったです。付属の印刷文書を印刷しても、理解できる説明ではなかったため、自分で調べて理解をすることで対応いたしました。
- テストの解説が、詳しくない部分もあり、解答がわかりにくいところがありました。読んですぐ理解したいのに、残念でした。調べた結果もきちんと合っているのか、再テストしないとわからず、勉強不足とは思いますが…どの辺が解答なのかわかりにくかったです。

最終テストは同じ問題の繰り返しで、他の授業との違いを感じました。同時期に受けていた他の試験は、最終だけは同じ問題の繰り返しはありませんでした。何回も受けることで、より理解が進んだので、少し残念です。

- 中間レポートの先行研究に関する課題ですが、まだ研究テーマが定まっていない選科生にとっては先行研究の対象が定まらず、難しいように思えます。基本的に、すでに研究指導を開始している全科履修生を対象にしているのが当然ともいえますが、放送大学の場合、選科履修生も数多くいるようですので、そちらに対する配慮もあると良いかと思えます。
とはいえ、私はここで先行研究の論文を手当たり次第で読んでいって、紆余曲折の末、結局自分のやりたいことが見えたようでした。
そのような効果もあり、課題自体は有意義だと思いますので、まだテーマが十分に定まらない学生に、もう少し、ヒントというか、ガイドのようなフォローがあると良かったように思えます。
- 中間レポートに関して、アドバイスいただいた内容をもう少し詳しく記載してほしい。引用文献の書き方についてアドバイスいただいたが、正解の例文を知りたかった。
- 講義メモはレジメレベルで不十分と感じます。やはり、他の講義のように冊子の教科書があると良いと感じています。
- ミニレポートの内容が同じなので、どのように記載していけばいいのか難しかった。少しずつ内容を変えたほうが、理解できるのではないかと思います。
- レポート課題が最後近くに2回あったが、1回目は、中盤当たりの第8回の講義辺りに設定してもらえるとよかった。講義の視聴順番を飛ばしてレポートに取り掛かる手もあるが、律義に第1回目の講義から視聴する者にとっては、最後にしんどい思いをする。

【大学院】「オンライン科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
勉強になった、役に立った	43	内容が良かった、分かりやすかった	18
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	24	具体例・事例があった	13
知識の整理、深耕に役立った	23	講師の解説が良かった	11
基礎的な知識を得られた	18	1回の講義が分割されていて短時間でも取り組めた	6
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	16	確認テストが理解に役立った	6
受講しやすい環境だった、システム面が良かった	11	実習が良かった	5
自分のペースで勉強できた	8	映像教材が良かった	4
興味が持てた、関心が持てた	7	講師の熱意や人柄の良さを感じた	3
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	7	講師の指導が良かった	2
視野が広がった、視点、考え方が変わった	7	講義ノートが理解に役立った	1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	6	手元に置き、今後も読みたい内容だった	1
内容が良かった、分かりやすかった	5	小テストを繰り返し学習できる	1
楽しく受講できた、面白かった	5		
現在の課題や身近な問題点を学べた	5		
身近に感じる内容が出来る内容だった	4		
自分の意見・考えが持てるようになった	3		
専門的な内容だった、レベルが高かった	3		
最新の情報・研究が学べた	3		
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	2		
具体的な事例・実験があった	1		
オンライン教材と講義ノートのバランスが良かった	1		
ディスカッションが良かった	1		
		設問解答(小テスト・レポート・ディスカッション等)	
		意見	合計
		レポート提出は良かった	2

【大学院】「オンライン科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	7	講義映像の改善が必要	16
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	6	講義ノートの印刷教材がほしい	8
難しい、高度すぎる、理解できない	5	指導内容、コメント、対応に不満がある	6
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	講義が分割されすぎている	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	講義ノートではなく、テキストがほしい	3
内容の重複・他科目との重複が見られる	3	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	3
双方向性がなかった	3	課題の内容・量が的確ではない	3
現状のままでもいい、満足している	3	確認テストの内容が適切ではなかった	2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	2	図表は講義メモに載せてほしい	1
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	1	講義内容と、各テストの内容がずれている	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	1		
参考文献を紹介してほしい	1		
質問や相談がしたい	1		
オンライン上の操作・説明がわかりにくい	1		
学習の進捗状況がわかる画面がほしかった	1		
ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1		
		設問解答(小テスト・レポート・ディスカッション等)	
		意見	合計
		試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 講義映像の改善が必要
- 講義ノートの印刷教材がほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい

- 具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 指導内容、コメント、対応に不満がある
- 難しい、高度すぎる、理解できない

2017年度学生による授業評価集計結果概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 郵送による質問紙調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
H29(2017)	2	3	8	10	12	4	3	7
	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)	計					
	1	0	50					

【大学院】

	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	社会経営科学	臨床心理学	計
H29(2017)	2	3	2	1	4	2	14

① 対象者

2017年度第1学期履修登録者
 ※対象科目の全登録者から学部科目250人、大学院科目200人を無作為抽出
 ※登録者数が上記の人数未満の科目は全数
 ※1人当たり最大3科目まで

(4) 調査時期

質問紙配布: 8月8日(平成28年度第1学期単位認定試験終了後)
 質問締切: 9月29日
 調査結果の集計: 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H29(2017)	13,027	11,515	1,512	5,229	4,524	705	40.1%	39.3%	46.6%

付録) 2017年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
2015	13.8%	14.4%	13.3%	12.6%	2.6%	8.8%	69.2%	16.4%	8.9%
	旧専攻所属全科履修生								
2016	7.4%	14.4%	13.2%	13.9%	5.7%	6.2%	66.3%	21.0%	8.4%
	旧専攻所属全科履修生								
2017	12.6%	21.5%	11.0%	11.1%	4.1%	10.3%	75.3%	17.7%	6.1%
	旧専攻所属全科履修生								

年次	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2015	51.2%	47.3%	0.4%	7.3%	12.5%	18.5%	18.3%	27.6%	14.9%
2016	47.4%	51.2%	0.2%	7.3%	13.7%	20.7%	18.5%	26.1%	13.0%
2017	48.2%	50.2%	0.4%	6.8%	11.1%	20.5%	19.1%	27.0%	14.7%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科学								修士全科学 (計)	修士選科学	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
2015	6.1%	3.3%	1.7%	2.4%	-	4.2%	0.7%	1.4%	20.1%	66.5%	9.0%
	旧プログラム所属修士全科学										
2016	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	23.4%	23.4%	63.1%	10.4%
	旧プログラム所属修士全科学										
2017	3.0%	4.1%	5.0%	6.5%	-	7.5%	1.3%	0.9%	28.6%	62.6%	7.7%
	旧プログラム所属修士全科学										

年次	性別		年齢別						
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
2015	52.4%	44.0%	3.7%	10.5%	21.3%	26.7%	27.0%	9.6%	
2016	65.1%	33.1%	1.8%	7.5%	18.5%	27.4%	30.7%	13.5%	
2017	51.1%	46.4%	1.6%	9.2%	17.2%	30.1%	30.8%	10.6%	

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

付録) 2017年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2015	3.14	3.17	3.10	3.24	3.25	3.21	3.22	3.21	3.23	3.22	3.29	3.09	3.19	3.21	3.16	3.26	3.26	3.25	3.23	3.24	3.20
2016	3.14	3.18	3.09	3.21	3.26	3.16	3.20	3.24	3.16	3.23	3.34	3.08	3.18	3.23	3.13	3.25	3.25	3.24	3.27	3.30	3.22
2017	3.14	3.14	3.13	3.23	3.23	3.23	3.20	3.18	3.23	3.21	3.27	3.16	3.18	3.19	3.18	3.28	3.28	3.27	3.28	3.26	3.30

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2015	3.27(3.75~2.65)	3.26	3.29	-	-	3.30	3.34	3.38	3.15	3.08
2016	3.27(3.75~2.65)	3.29	3.19	3.31	3.07	3.25	3.22	3.33	3.26	3.20
2017	3.26(3.50~3.02)	3.24	3.29	3.44	3.02	3.36	3.23	3.25	3.31	3.13

※()内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区分別		
自然と環境	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)
3.17	-	-
3.10	3.25	3.21
3.25	3.50	-

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2015	3.26	3.28	2.69	3.21	3.28	3.25	3.30	3.29	3.29
2016	3.25	3.24	3.38	3.20	3.16	3.21	3.29	3.30	3.22
2017	3.23	3.29	2.82	3.24	3.24	3.31	3.21	3.26	3.30

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2015	3.21	3.17	3.22	3.31	3.29	3.32	3.33	3.28	3.35	3.25	3.28	3.24	3.28	3.24	3.28	3.32	3.30	3.33	3.30	3.27	3.30
2016	3.35	3.43	3.32	3.45	3.47	3.45	3.47	3.47	3.46	3.45	3.52	3.42	3.44	3.42	3.44	3.45	3.37	3.48	3.53	3.54	3.52
2017	3.24	-	3.24	3.33	-	3.33	3.36	-	3.36	3.29	-	3.29	3.27	-	3.27	3.31	-	3.31	3.38	-	3.38

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	臨床心理学	自然環境科学	社会経営科学
2015	3.34(3.69~2.80)	3.35	3.34	3.42	3.39	3.57	3.18	-	2.81	-
2016	3.53(3.73~3.06)	3.58	3.50	3.73	3.38	3.46	3.07	-	3.61	-
2017	3.38(3.30~3.48)	-	3.38	3.43	3.34	3.33	3.48	3.47	-	3.30

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2015	3.30	3.41	3.24	3.26	3.40	3.33	3.32	3.44	
2016	3.49	3.62	3.50	3.59	3.45	3.46	3.65	3.48	
2017	3.37	3.39	3.00	3.37	3.47	3.43	3.29	3.36	

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ

4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

付録) 2017年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2017年度学生による授業評価の調査結果一覧表【2017年度新規開設科目】(単科集計1 平均評点)コース・科目区分別、プログラム別

学部	調査対象者数	回収率	取組み姿勢			難易度・分量										取組み姿勢										取組み姿勢										取組み姿勢										取組み姿勢										授業にかかわる評価(B1-B20)の平均	全体(A1-B20)の平均																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			回答者数	項目平均	A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	項目平均	B-13	B-14	B-15	項目平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目平均	B-21	B-22	B-23	B-24	B-25	B-26	B-27	B-28	B-29	B-30	項目平均	B-31	B-32	B-33	B-34	B-35	B-36	B-37	B-38	B-39	B-40	項目平均	B-41	B-42	B-43			B-44	B-45	B-46	B-47	B-48	B-49	B-50	項目平均	B-51	B-52	B-53	B-54	B-55	B-56	B-57	B-58	B-59	B-60	項目平均	B-61	B-62	B-63	B-64	B-65	B-66	B-67	B-68	B-69	B-70	項目平均	B-71	B-72	B-73	B-74	B-75	B-76	B-77	B-78	B-79	B-80	項目平均	B-81	B-82	B-83	B-84	B-85	B-86	B-87	B-88	B-89	B-90	項目平均	B-91	B-92	B-93	B-94	B-95	B-96	B-97	B-98	B-99	B-100	項目平均	B-101	B-102	B-103	B-104	B-105	B-106	B-107	B-108	B-109	B-110	項目平均	B-111	B-112	B-113	B-114	B-115	B-116	B-117	B-118	B-119	B-120	項目平均	B-121	B-122	B-123	B-124	B-125	B-126	B-127	B-128	B-129	B-130	項目平均	B-131	B-132	B-133	B-134	B-135	B-136	B-137	B-138	B-139	B-140	項目平均	B-141	B-142	B-143	B-144	B-145	B-146	B-147	B-148	B-149	B-150	項目平均	B-151	B-152	B-153	B-154	B-155	B-156	B-157	B-158	B-159	B-160	項目平均	B-161	B-162	B-163	B-164	B-165	B-166	B-167	B-168	B-169	B-170	項目平均	B-171	B-172	B-173	B-174	B-175	B-176	B-177	B-178	B-179	B-180	項目平均	B-181	B-182	B-183	B-184	B-185	B-186	B-187	B-188	B-189	B-190	項目平均	B-191	B-192	B-193	B-194	B-195	B-196	B-197	B-198	B-199	B-200	項目平均	B-201	B-202	B-203	B-204	B-205	B-206	B-207	B-208	B-209	B-210	項目平均	B-211	B-212	B-213	B-214	B-215	B-216	B-217	B-218	B-219	B-220	項目平均	B-221	B-222	B-223	B-224	B-225	B-226	B-227	B-228	B-229	B-230	項目平均	B-231	B-232	B-233	B-234	B-235	B-236	B-237	B-238	B-239	B-240	項目平均	B-241	B-242	B-243	B-244	B-245	B-246	B-247	B-248	B-249	B-250	項目平均	B-251	B-252	B-253	B-254	B-255	B-256	B-257	B-258	B-259	B-260	項目平均	B-261	B-262	B-263	B-264	B-265	B-266	B-267	B-268	B-269	B-270	項目平均	B-271	B-272	B-273	B-274	B-275	B-276	B-277	B-278	B-279	B-280	項目平均	B-281	B-282	B-283	B-284	B-285	B-286	B-287	B-288	B-289	B-290	項目平均	B-291	B-292	B-293	B-294	B-295	B-296	B-297	B-298	B-299	B-300	項目平均	B-301	B-302	B-303	B-304	B-305	B-306	B-307	B-308	B-309	B-310	項目平均	B-311	B-312	B-313	B-314	B-315	B-316	B-317	B-318	B-319	B-320	項目平均	B-321	B-322	B-323	B-324	B-325	B-326	B-327	B-328	B-329	B-330	項目平均	B-331	B-332	B-333	B-334	B-335	B-336	B-337	B-338	B-339	B-340	項目平均	B-341	B-342	B-343	B-344	B-345	B-346	B-347	B-348	B-349	B-350	項目平均	B-351	B-352	B-353	B-354	B-355	B-356	B-357	B-358	B-359	B-360	項目平均	B-361	B-362	B-363	B-364	B-365	B-366	B-367	B-368	B-369	B-370	項目平均	B-371	B-372	B-373	B-374	B-375	B-376	B-377	B-378	B-379	B-380	項目平均	B-381	B-382	B-383	B-384	B-385	B-386	B-387	B-388	B-389	B-390	項目平均	B-391	B-392	B-393	B-394	B-395	B-396	B-397	B-398	B-399	B-400	項目平均	B-401	B-402	B-403	B-404	B-405	B-406	B-407	B-408	B-409	B-410	項目平均	B-411	B-412	B-413	B-414	B-415	B-416	B-417	B-418	B-419	B-420	項目平均	B-421	B-422	B-423	B-424	B-425	B-426	B-427	B-428	B-429	B-430	項目平均	B-431	B-432	B-433	B-434	B-435	B-436	B-437	B-438	B-439	B-440	項目平均	B-441	B-442	B-443	B-444	B-445	B-446	B-447	B-448	B-449	B-450	項目平均	B-451	B-452	B-453	B-454	B-455	B-456	B-457	B-458	B-459	B-460	項目平均	B-461	B-462	B-463	B-464	B-465	B-466	B-467	B-468	B-469	B-470	項目平均	B-471	B-472	B-473	B-474	B-475	B-476	B-477	B-478	B-479	B-480	項目平均	B-481	B-482	B-483	B-484	B-485	B-486	B-487	B-488	B-489	B-490	項目平均	B-491	B-492	B-493	B-494	B-495	B-496	B-497	B-498	B-499	B-500	項目平均	B-501	B-502	B-503	B-504	B-505	B-506	B-507	B-508	B-509	B-510	項目平均	B-511	B-512	B-513	B-514	B-515	B-516	B-517	B-518	B-519	B-520	項目平均	B-521	B-522	B-523	B-524	B-525	B-526	B-527	B-528	B-529	B-530	項目平均	B-531	B-532	B-533	B-534	B-535	B-536	B-537	B-538	B-539	B-540	項目平均	B-541	B-542	B-543	B-544	B-545	B-546	B-547	B-548	B-549	B-550	項目平均	B-551	B-552	B-553	B-554	B-555	B-556	B-557	B-558	B-559	B-560	項目平均	B-561	B-562	B-563	B-564	B-565	B-566	B-567	B-568	B-569	B-570	項目平均	B-571	B-572	B-573	B-574	B-575	B-576	B-577	B-578	B-579	B-580	項目平均	B-581	B-582	B-583	B-584	B-585	B-586	B-587	B-588	B-589	B-590	項目平均	B-591	B-592	B-593	B-594	B-595	B-596	B-597	B-598	B-599	B-600	項目平均	B-601	B-602	B-603	B-604	B-605	B-606	B-607	B-608	B-609	B-610	項目平均	B-611	B-612	B-613	B-614	B-615	B-616	B-617	B-618	B-619	B-620	項目平均	B-621	B-622	B-623	B-624	B-625	B-626	B-627	B-628	B-629	B-630	項目平均	B-631	B-632	B-633	B-634	B-635	B-636	B-637	B-638	B-639	B-640	項目平均	B-641	B-642	B-643	B-644	B-645	B-646	B-647	B-648	B-649	B-650	項目平均	B-651	B-652	B-653	B-654	B-655	B-656	B-657	B-658	B-659	B-660	項目平均	B-661	B-662	B-663	B-664	B-665	B-666	B-667	B-668	B-669	B-670	項目平均	B-671	B-672	B-673	B-674	B-675	B-676	B-677	B-678	B-679	B-680	項目平均	B-681	B-682	B-683	B-684	B-685	B-686	B-687	B-688	B-689	B-690	項目平均	B-691	B-692	B-693	B-694	B-695	B-696	B-697	B-698	B-699	B-700	項目平均	B-701	B-702	B-703	B-704	B-705	B-706	B-707	B-708	B-709	B-710	項目平均	B-711	B-712	B-713	B-714	B-715	B-716	B-717	B-718	B-719	B-720	項目平均	B-721	B-722	B-723	B-724	B-725	B-726	B-727	B-728	B-729	B-730	項目平均	B-731	B-732	B-733	B-734	B-735	B-736	B-737	B-738	B-739	B-740	項目平均	B-741	B-742	B-743	B-744	B-745	B-746	B-747	B-748	B-749	B-750	項目平均	B-751	B-752	B-753	B-754	B-755	B-756	B-757	B-758	B-759	B-760	項目平均	B-761	B-762	B-763	B-764	B-765	B-766	B-767	B-768	B-769	B-770	項目平均	B-771	B-772	B-773	B-774	B-775	B-776	B-777	B-778	B-779	B-780	項目平均	B-781	B-782	B-783	B-784	B-785	B-786	B-787	B-788	B-789	B-790	項目平均	B-791	B-792	B-793	B-794	B-795	B-796	B-797	B-798	B-799	B-800	項目平均</

2017年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	日本語アカデミックライティング('17)
科目コード	1150022

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
<印刷教材>					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(16)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

付録) 2017年度学生による授業評価集計結果の概要等について

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

<参考までによろしければ以下についてもお答えください>

この授業科目を学習するきっかけとして、本学の告知番組『授業科目案内』(テレビ又はラジオ)を視聴して決めましたか?
(1. はい ・ 2. いいえ)

参考資料：相関係数について

アンケートの分析などで、近年常識になってきているのが統計学の手法である。

「相関」は統計学での基礎的な理論で、ある項目と別の項目の間の因果関係を分析するアプローチである。

例えば、

項目Aの値が高ければ高いほど項目Bの値も高く、

項目Aの値が低ければ低いほど項目Bの値も低い

などの現象がみられたら項目Aと項目Bは相関関係がある可能性がある。

相関係数は、ある項目と別の項目の相関の程度を数値化したものである。

数値化するにあたっていろいろな理論があるが、最も一般的なのが「ピアソンの相関係数」である。(以下、「相関係数」と略記)

これを求める理論の詳細は省略するが、

重要な点は次の2点である。

1) 相関係数は $-1 \sim 1$ までの値を取り得る

2) 相関係数の絶対値が 1 に近ければ近いほど、比べている項目の相関は高いと言える。

1) に関して、相関係数が負の値になるということは、

項目Aの値が高ければ高いほど項目Bの値は低く、

項目Aの値が低ければ低いほど項目Bの値は高い

というような逆転現象がおきている場合である。

2) に関しては、次のよう目安がある。(R は相関係数の値)

$1.0 \geq |R| \geq 0.7$: かなり高い相関がある

$0.7 \geq |R| \geq 0.5$: 高い相関がある

$0.5 \geq |R| \geq 0.4$: 中程度の相関がある

$0.4 \geq |R| \geq 0.3$: ある程度の相関がある

$0.3 \geq |R| \geq 0.2$: 弱い相関がある

$0.2 \geq |R| \geq 0.0$: ほとんど相関がない

参照:

<http://www1.tcue.ac.jp/home1/abek/htdocs/stat/corre.html>

授業評価の組織的な活用

